

○「県政モニター制度」とは

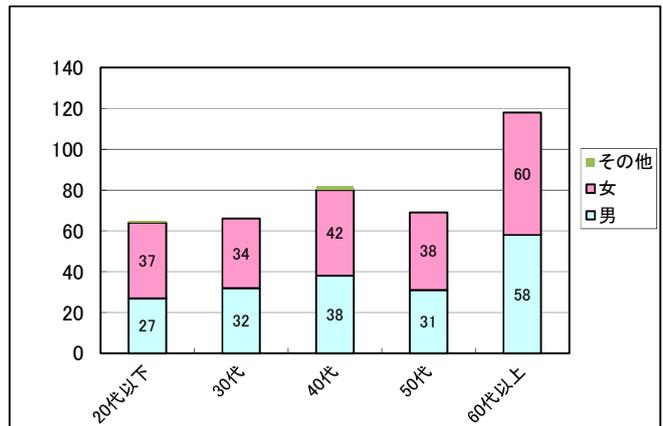
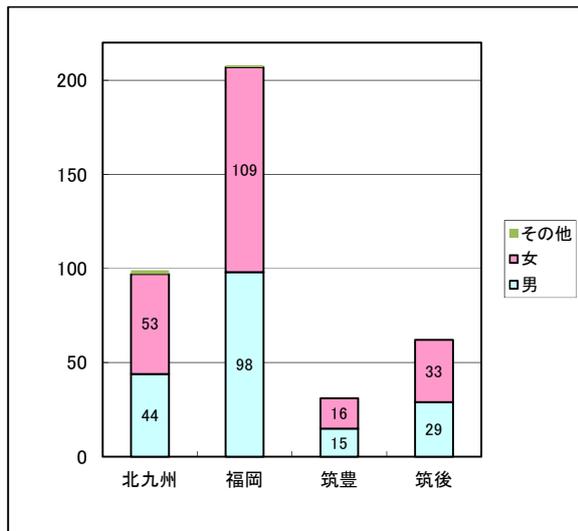
県政に対する県民の意見・要望等を組織的かつ継続的に把握し、県政に活かすことを目的として、県内にお住まいの18歳以上の方から、県政に関心をお持ちの方400名を公募により選定し、約1年間県政モニターとして活動していただくものです。

県政モニターとして選定された方には、年に数回実施される「モニターアンケート」への回答や、県の施策や事業に関して自由に意見等を提出する「モニター提案」を通じて、活動を行っていただきます。

【令和6年度県政モニターの内訳（第1回）】

県内各地区から幅広く御意見等をいただくため、国勢調査結果による県内の人口構成を基礎に、特定の性別、年代、地域に偏らないよう、モニターを選定しています。

地区		北九州				福岡				筑豊				筑後				合計			
性別	年齢別	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計
				44	53	2	99	98	109	1	208	15	16	0	31	29	33	0	62	186	211
	18～29歳	5	10	0	15	16	18	1	35	2	3	0	5	4	6	0	10	27	37	1	65
	30～39歳	9	8	0	17	16	18	0	34	1	3	0	4	6	5	0	11	32	34	0	66
	40～49歳	8	11	2	21	20	22	0	42	4	3	0	7	6	6	0	12	38	42	2	82
	50～59歳	8	9	0	17	17	19	0	36	1	2	0	3	5	8	0	13	31	38	0	69
	60歳～	14	15	0	29	29	32	0	61	7	5	0	12	8	8	0	16	58	60	0	118



○「県政モニター制度」とは

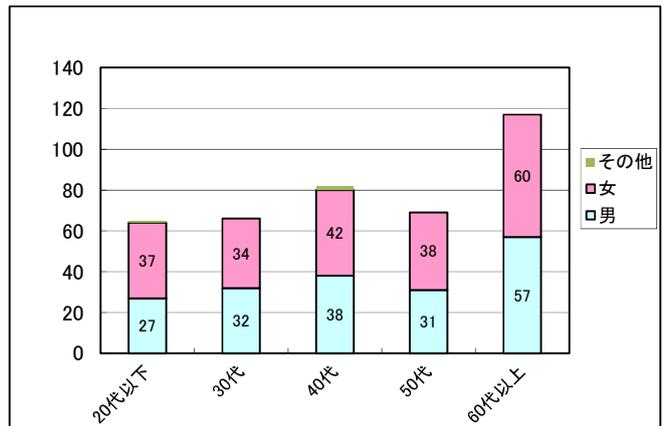
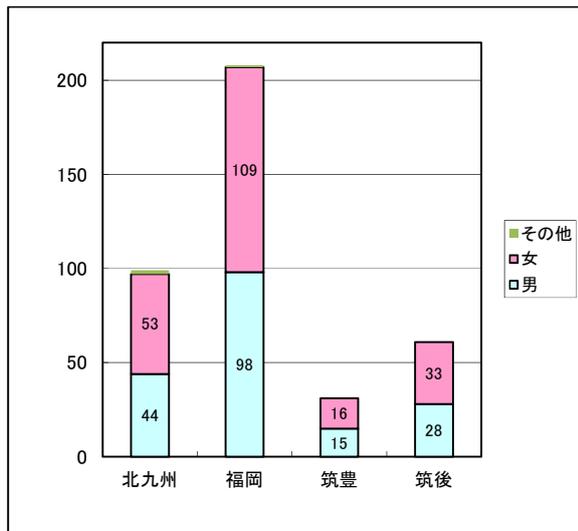
県政に対する県民の意見・要望等を組織的かつ継続的に把握し、県政に活かすことを目的として、県内にお住まいの18歳以上の方から、県政に関心をお持ちの方400名を公募により選定し、約1年間県政モニターとして活動していただくものです。

県政モニターとして選定された方には、年に数回実施される「モニターアンケート」への回答や、県の施策や事業に関して自由に意見等を提出する「モニター提案」を通じて、活動を行っていただきます。

【令和6年度県政モニターの内訳（第2～3回）】

県内各地区から幅広く御意見等をいただくため、国勢調査結果による県内の人口構成を基礎に、特定の性別、年代、地域に偏らないよう、モニターを選定しています。

地区		北九州				福岡				筑豊				筑後				合計			
性別	年齢別	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計
			44	53	2	99	98	109	1	208	15	16	0	31	28	33	0	61	185	211	3
	18～29歳	5	10	0	15	16	18	1	35	2	3	0	5	4	6	0	10	27	37	1	65
	30～39歳	9	8	0	17	16	18	0	34	1	3	0	4	6	5	0	11	32	34	0	66
	40～49歳	8	11	2	21	20	22	0	42	4	3	0	7	6	6	0	12	38	42	2	82
	50～59歳	8	9	0	17	17	19	0	36	1	2	0	3	5	8	0	13	31	38	0	69
	60歳～	14	15	0	29	29	32	0	61	7	5	0	12	7	8	0	15	57	60	0	117



○「県政モニター制度」とは

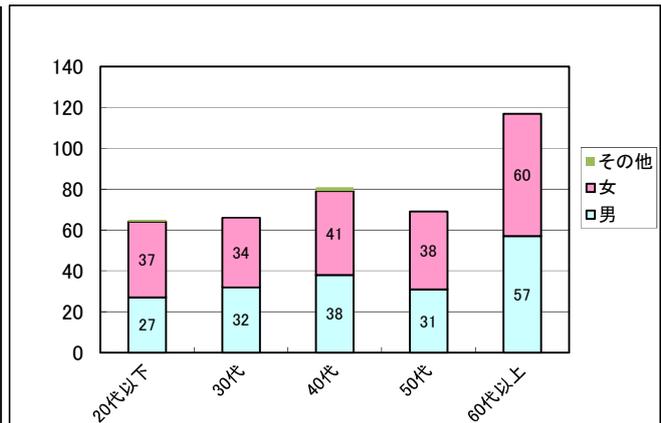
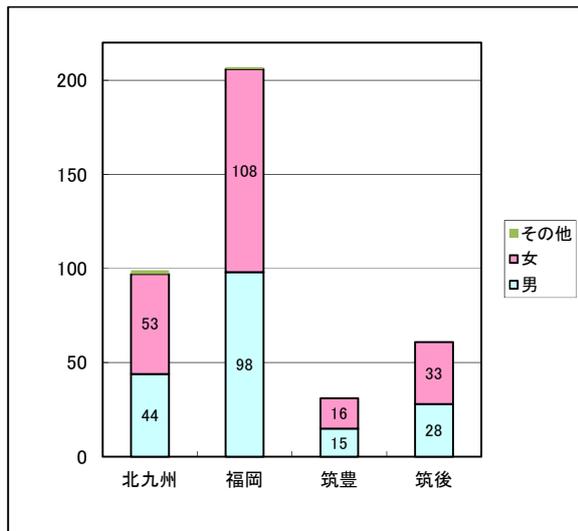
県政に対する県民の意見・要望等を組織的かつ継続的に把握し、県政に活かすことを目的として、県内にお住まいの18歳以上の方から、県政に関心をお持ちの方400名を公募により選定し、約1年間県政モニターとして活動していただくものです。

県政モニターとして選定された方には、年に数回実施される「モニターアンケート」への回答や、県の施策や事業に関して自由に意見等を提出する「モニター提案」を通じて、活動を行っていただきます。

【令和6年度県政モニターの内訳（第4～6回）】

県内各地区から幅広く御意見等をいただくため、国勢調査結果による県内の人口構成を基礎に、特定の性別、年代、地域に偏らないよう、モニターを選定しています。

地区		北九州				福岡				筑豊				筑後				合計			
性別	年齢別	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計	男性	女性	その他	計
				44	53	2	99	98	108	1	207	15	16	0	31	28	33	0	61	185	210
	18～29歳	5	10	0	15	16	18	1	35	2	3	0	5	4	6	0	10	27	37	1	65
	30～39歳	9	8	0	17	16	18	0	34	1	3	0	4	6	5	0	11	32	34	0	66
	40～49歳	8	11	2	21	20	21	0	41	4	3	0	7	6	6	0	12	38	41	2	81
	50～59歳	8	9	0	17	17	19	0	36	1	2	0	3	5	8	0	13	31	38	0	69
	60歳～	14	15	0	29	29	32	0	61	7	5	0	12	7	8	0	15	57	60	0	117



令和6年度第1回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	381		96	199	56	30
	構成比		100.0%	25.2%	52.2%	14.7%	7.9%
性別	女性	199	52.2%	51	103	29	16
	男性	179	47.0%	43	95	27	14
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	62	16.3%	13	35	9	5
	30代	62	16.3%	17	31	10	4
	40代	81	21.3%	21	41	12	7
	50代	62	16.3%	16	33	10	3
	60代	75	19.7%	22	38	5	10
	70代以上	39	10.2%	7	21	10	1

モニター数 400人

回答数 381人

回収率 95.25%

実施期間 R6.7.12～R6.7.31

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和6年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：県の広報活動について

福岡県 総務部 県民情報広報課

1. 調査目的

県では、本県の魅力や県政に関する情報を分かりやすく県民の皆さまにお届けするために、さまざまな広報媒体を使って情報発信をしています。

本アンケートにおいて、県民の皆さまのニーズを把握し、今後の広報活動の参考にさせていただくため、県の広報の現状について調査を行いました。

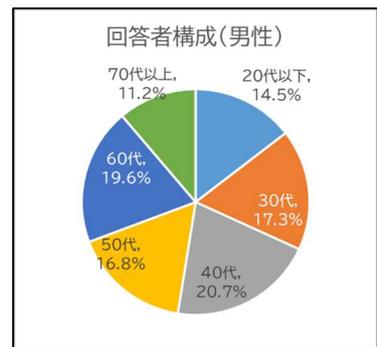
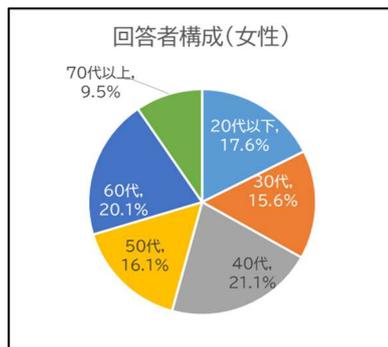
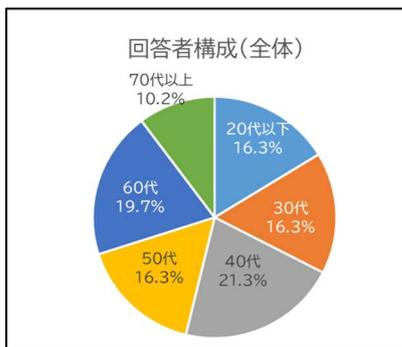
2. 活用状況

県民の皆さまのニーズを把握することにより、県の主要施策に係る広報について、より効果的なアプローチと内容の充実を図ることに活用します。

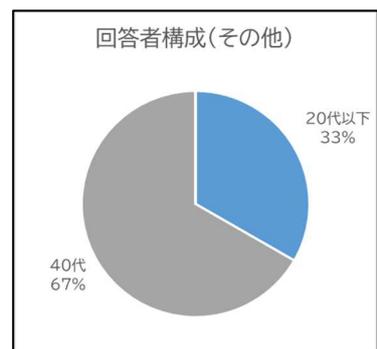
3. 調査時期

令和6年7月12日～7月31日(第1回)

4. 回答者の構成



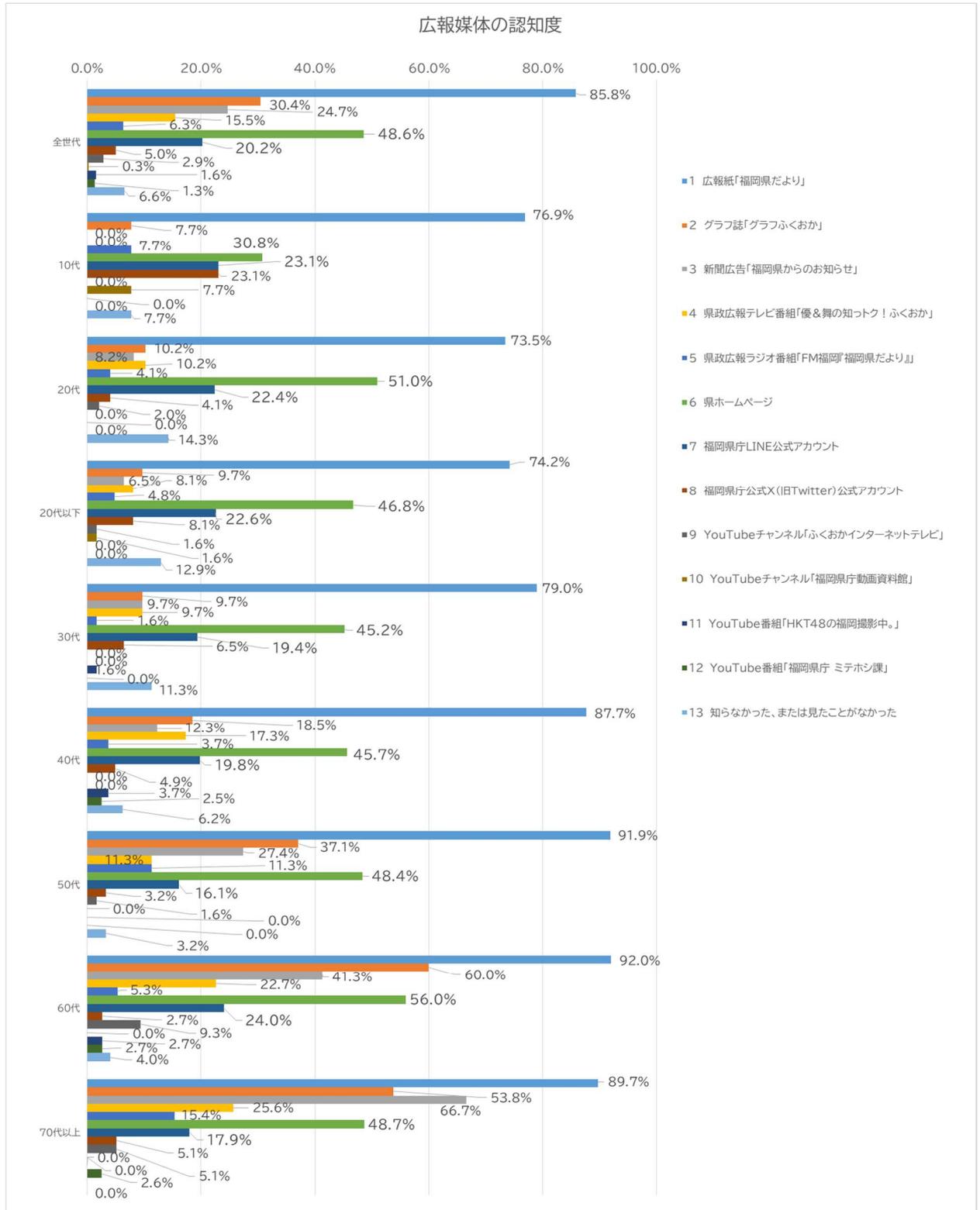
項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊	
	人数(人)	構成比					
総数	人数	381	96	199	56	30	
	構成比		25.2%	52.2%	14.7%	7.9%	
性別	女性	199	52.2%	51	103	29	16
	男性	179	47.0%	43	95	27	14
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	62	16.3%	13	35	9	5
	30代	62	16.3%	17	31	10	4
	40代	81	21.3%	21	41	12	7
	50代	62	16.3%	16	33	10	3
	60代	75	19.7%	22	38	5	10
	70代以上	39	10.2%	7	21	10	1



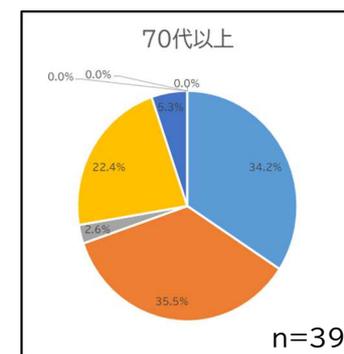
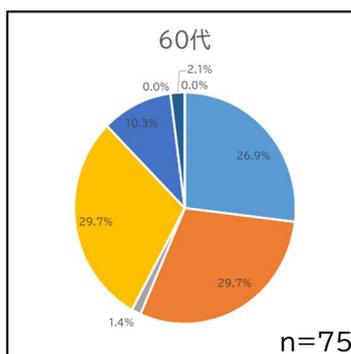
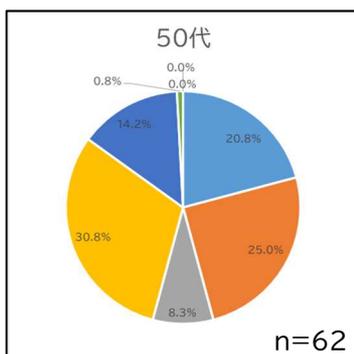
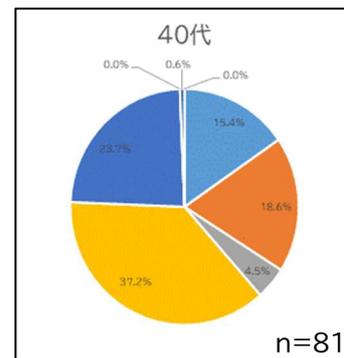
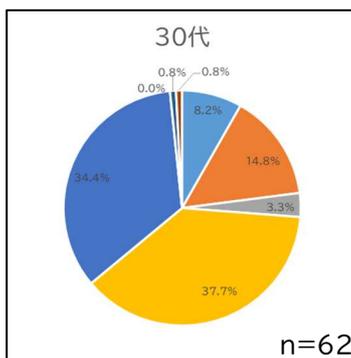
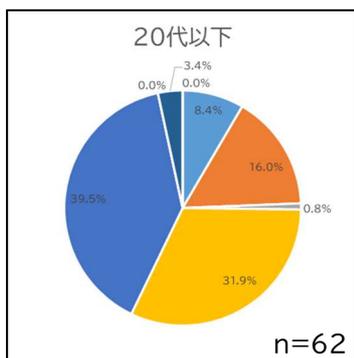
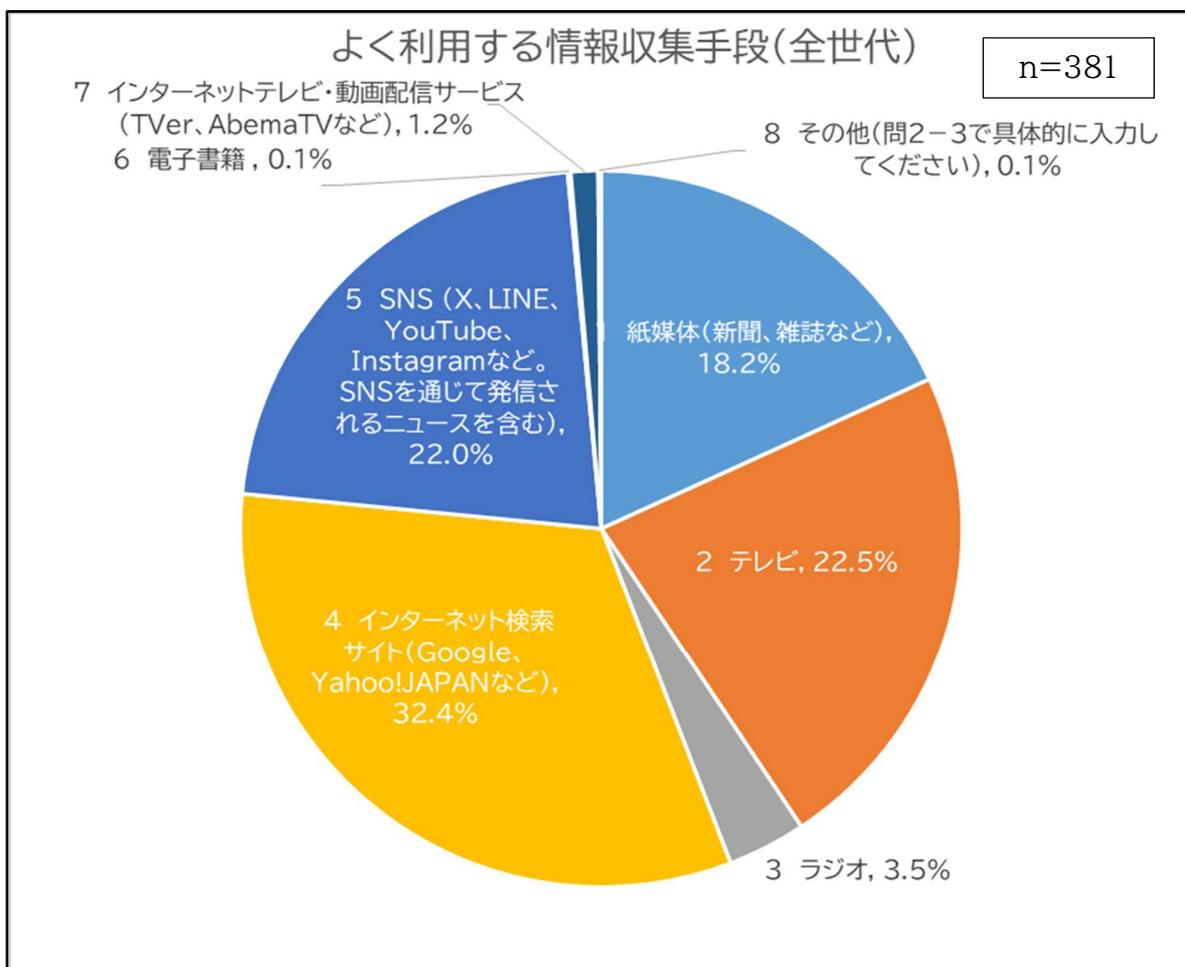
モニター数	400人
回答数	381人
回収率	95.3%

5. 回答結果

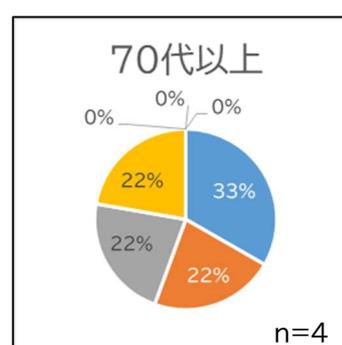
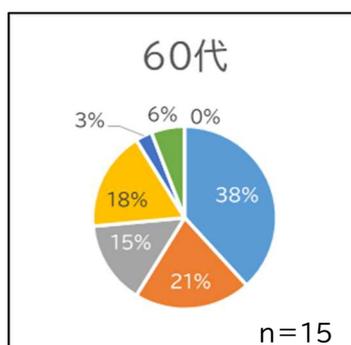
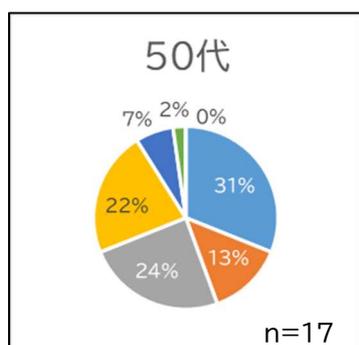
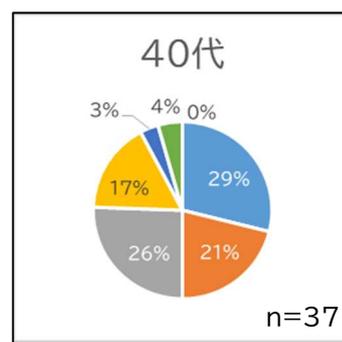
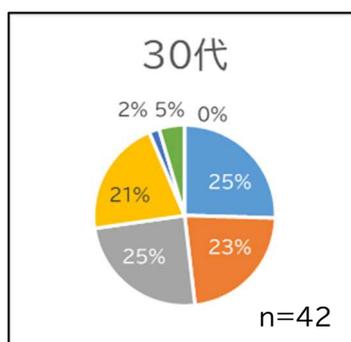
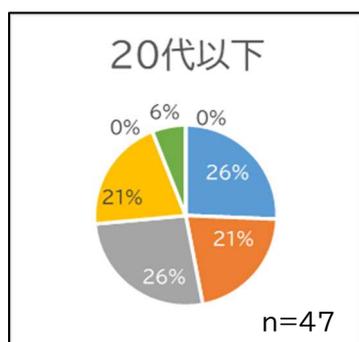
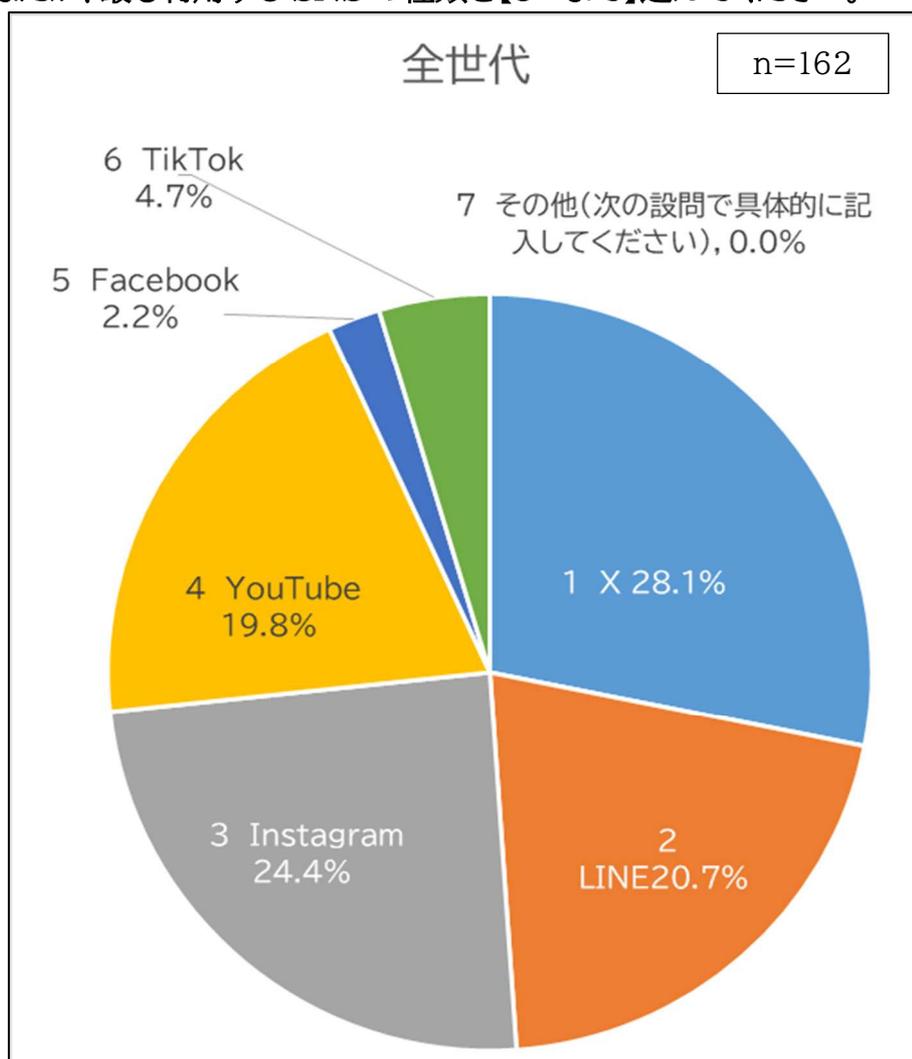
問1 県の広報媒体(※1～※12)について、あなたが、県政モニターに応募される以前から知っていた、または見たことがあるものについて、次の中から【全て】選んでください。



問2 あなたは、普段どのような手段で情報を入手していますか。県政に関する情報に限らず、一般的によく利用する情報収集手段についてご回答ください。
 次の中から最も利用するものを【2つまで】選んでください。



問2-2 問2で「5」を選択された方にお尋ねします。
 あなたが、最も利用する SNS の種類を【3つまで】選んでください。

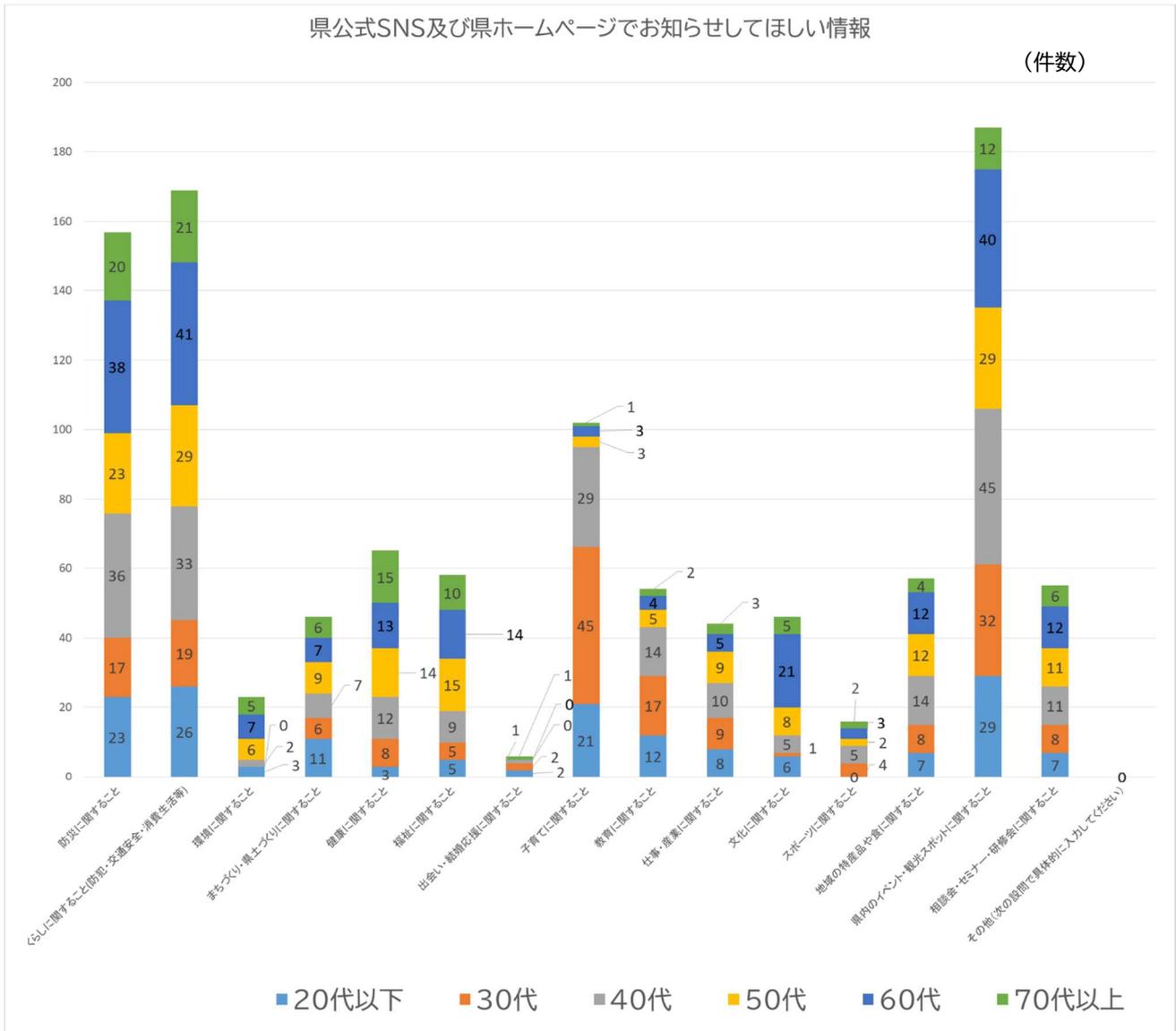


問2-2-2 問2-2で「7」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。
 ※回答なし

問2-3 問2で「8」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

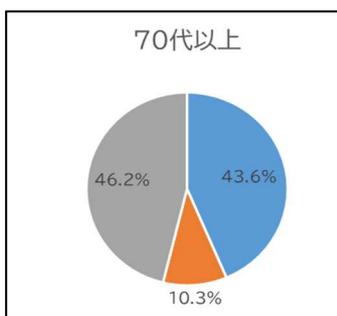
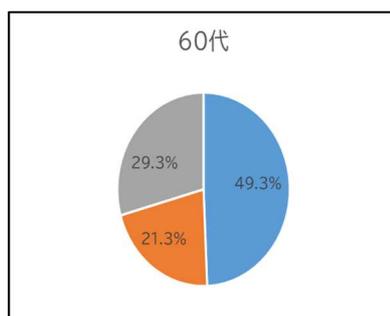
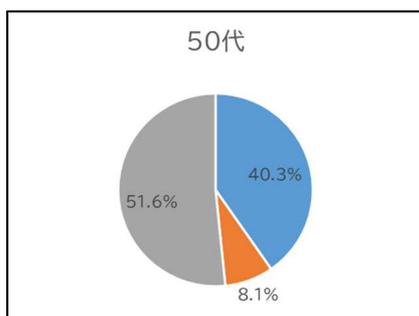
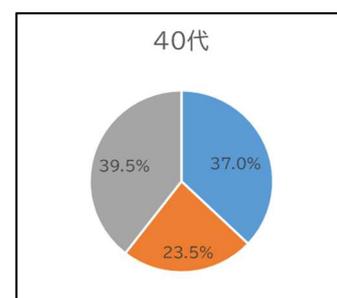
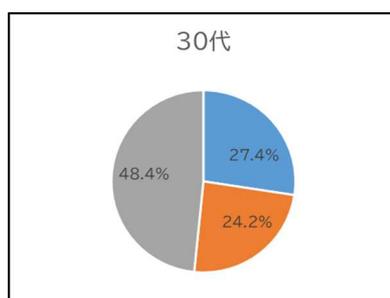
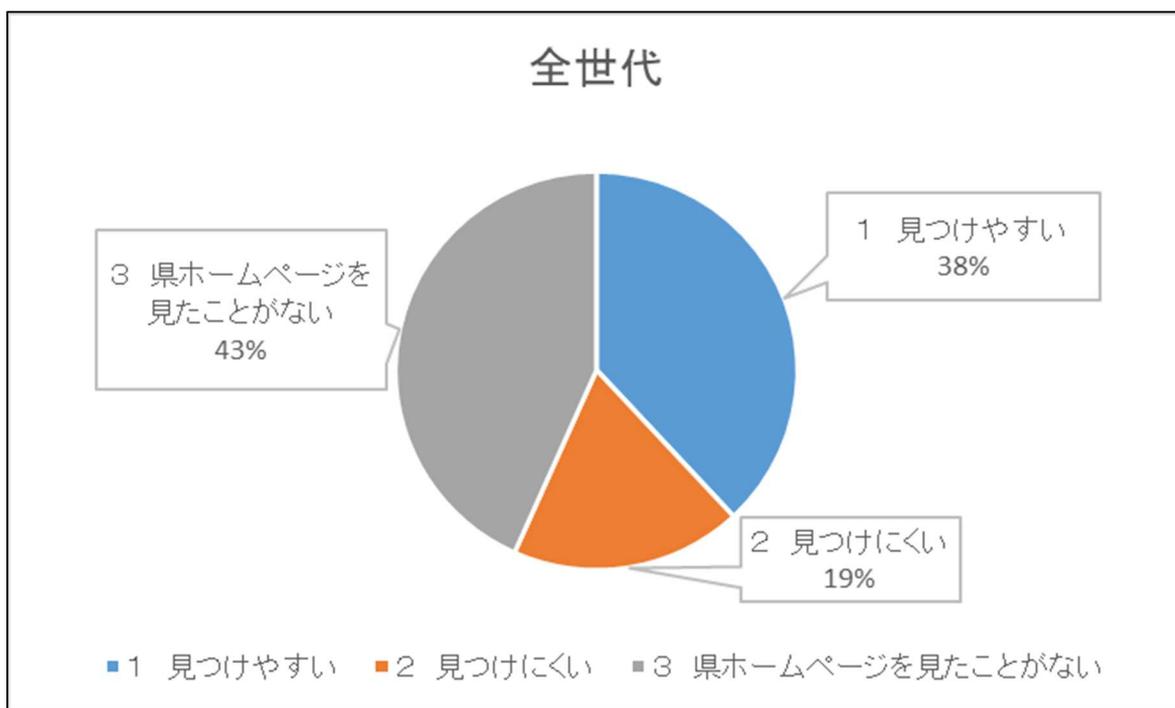
1	息子が小学生なので小学校から配布される手紙と、糸島市在住なので糸島市から配布される広報を拝見しています。
---	--

問3 県公式 SNS 及び県ホームページでどのような情報をお知らせしてほしいと思いますか。
 次の中から【3つまで】選んでください。



問3-2 問3で「16」を選択された方は、具体的に入力してください。
 ※回答なし

問4 県ホームページで、あなたが知りたい情報は見つけやすいですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。



問4-2 問4で「1」又は「2」を選んだ場合は、その理由を具体的に入力してください。

番号	「1」を選んだ方の回答
1	項目ごとに分かれており、知りたい情報が知れるから
2	目的別検索や組織別検索が整備されているから
3	今のままで差し支えありません。
4	新着一覧から大体の情報は得ているから。
5	項目が細かく分けられているので探しやすい。 調べたいことを検索出来るので良い。
6	体系だった構成になっている

7	県庁内のカフェ情報を検索した際、必要な情報にたどり着けた経験から。
8	目次(項目)が簡潔に書いてあり、スマホの小さな画面でも検索しやすい、余白が適切で見やすい
9	普通に見やすいですし、一般的なホームページだと思います。
10	知りたい情報を手軽に見つけることができます。
11	「情報が見つからない時は」と書いてあるところで検索する事も出来るので、探しやすく親切だと思います。
12	パット見てわかりやすい
13	知りたいことが探しやすい
14	普段見慣れているので、比較的目的のものを探すスキルがついてるから
15	入力や操作方法で迷ったりしたことはない。
16	困ったことはありません。
17	コロナの情報を知りたくて検索したとき、検索したいところがすぐに出ていたのでわかりやすかった。
18	見出しがわかりやすく、大項目→中項目→小項目の移行がスムーズ。
19	グーグルと連動した検索で概ね見つけやすくなっているが、事柄によっては必要な情報にアクセスしにくいこともある。
20	検索ワードを入れることで必要な情報画面へ進むことができるから
21	検索エンジンでヒットすれば、一発で知りたいページに飛べるから。似たようなページでも関連のところから知りたいページに飛べるから。
22	見たい項目が比較の見やすい位置に並んでいる。例えば、コロナ対策などは特集として必要な情報がそろえてあったなど。
23	普通に使いやすい。
24	テーマごとに区分されていて見つけやすい
25	トップページに特にお知らせしたい情報(熱中症情報など)が視覚的に見やすく表示されていて分かり易いと感じました。 自分の知りたい事が検索できたり、探したい項目毎に分かれていて見つけやすいです。
26	県のホームページは導入ページが比較的シンプルで入りやすい。導入ページの情報が多すぎるとわかりづらいため。
27	テーマ毎に検索しやすいと思う
28	パスポートの申請要領を確認したかったときに、スムーズに見つけることができました。検索エンジンから直接該当ページに飛ぶことができました。 こどもの夜間救急対応病院もトップページから簡単に見つけることができました。
29	福岡ひみつの旅を利用したいとき、内容や検査実施機関等の検索が探し易かったです
30	明確化しているので
31	カテゴリー分けされているから
32	わかりやすいと思う
33	色使いが多く、カテゴリーが分かりやすく表示されているため
34	テーマ検索がトップページにあるので、見つけやすい
35	項目別になっていて、押して進められるから。
36	見るのはもっぱらスマホですが、スマホ画面でも字の大きさ、画像、検索が見やすいため。
37	イベント情報がピックアップされてて見やすい!

38	項目ごとに、ページへ飛んでいけて、わりと詳しく説明されている為
39	以前よりはまとまりがよくなり、感覚的に情報を検索しやすくなった。文字も大きくて見やすい。
40	テーマ別、目的別、組織別などに検索項目が分類されている。
41	探したいテーマを絞り込んで検索すれば見つかるから。
42	多くの情報を、見やすく、探しやすい、ホームページ上に収めてあると思います。
43	上部にあるタグを使えば、知りたいことに近い内容へすぐに飛べるから。
44	項目で探せるから
45	コロナの時、初めてホームページを利用しました。すぐに確認したい事が見つけれられたので選びました。
46	県のホームページは時々見ますが、情報が見付けられなくて困ったことはありません。
47	携帯版を利用していますが、トップページから探す際、分かりづらいです。自分はイベントなどをよく探すけど、情報が得られない。
48	見たいものが特にある場合は検索で探します
49	検索画面でキーワードを入れれば、だいたいヒットする
50	見出しに書かれている項目の関連付けがうまくできているので検索がしやすいと思う
51	項目ごとに細かく分かれているので、見つけやすい
52	県ホームページ内の案内にそって検索することで、必要な情報を知る事が出来る。
53	普通という感じです。よくあるワードで話題のものがすぐ検索できるのが便利
54	引越しの手続きが全く分からなかったの、とりあえず県のホームページで検索した。トピックが見やすくてすぐ該当ページに飛べた為。
55	年に何度か福岡県のホームページを拝見します。ほんの数回ですが、検索して分かりやすく閲覧できます。
56	簡潔でわかりやすい。時々、リニューアルされると、飽きずに見れると思います。
57	求めるものが検索ですぐに出て来た
58	ホームページを見ていて特に困った記憶がないから
59	知りたいことの答えにたどり着きやすい。
60	検索項目のレイアウトが良く作りこんであり検索しやすい。検索項目の内容も丁寧な作りであり、理解しやすい。
61	あまり、見ることはありませんが、今まで特に見つけにくいことはありませんでした。
62	トップページから項目やキーワードで一定の検索ができるため。
63	新型コロナ感染症が流行ったときは、常に動向をみていました。その他インフルエンザ等も注視しています。わかりやすく表示してあったと思います。
64	テーマ、目的、組織ごとに分類されて見つけやすい
65	簡単に検索できる。
66	インターネットでワード検索して県ホームページに辿りつきやすいから。
67	あまり見たことはないが、情報が見つからないようなイメージはなかった。
68	見やすいホームページだから。よくあるワードがあり、調べたいワードがよく掲載されているから。
69	最初から見たいところは決まっているから。

70	必要な情報にアクセスしやすくなっていると思います。ただ、古い情報も多いので何が最新のものかわからなくなることがあります。
71	最初のページで県が重点的にお知らせしたい項目がわかる
72	検索すると一番上にくるから
73	検索方法が多岐にわたっているので見つけやすいと思います
74	キーワード検索で大体ほしい情報にたどりつけるから。
75	視覚的にわかりやすく直感的な操作が可能だと思う
76	基本、自分が得たい情報は網羅されている。
77	目的別に整理されているので、必要な情報に辿り着きやすい
78	これまでに県ホームページを見たのは、「引越し」と「不妊治療」に関することです。検索 KW を工夫しなくても、知りたいことはすべてホームページに掲載されていたので、見つけやすいと感じました。
79	検索するとすぐ見つかるから
80	特に困ったことがないから。
81	キーワードを入力すると、簡単に検索できるから
82	目的により細分化されていて探しやすいです。
83	目的ごとにカテゴライズされているため、情報が見つけやすいと感じました。
84	サイトが見やすいので比較的に見つけやすいです
85	見つけたい対象が目に入りやすい。 よくあるワードも便利。 期間や場所などが分かりやすい。 色合いが優しい。
86	登録しているところからメールが届く
87	防災関連のハザードマップなどは見つけやすい。
88	具体的に丁寧に掲載されてるので見つけやすいです。
89	LINE の画面からホームページに自動で誘導してくれるから
90	言葉で検索したときに、自分が探している情報にたどりつくことができた
91	レイアウトがすっきりしていて見やすいので
92	LINE に福岡県だよりが入るようにしていますが、県のホームページを始め、防災、福祉、イベントと目に入りやすく、特に新情報として毎日配信されているので見やすいと感じています。
93	カテゴリー別に分かれているため。
94	検索がしやすい イベント等、写真付きで興味を持ちやすい
95	ホームページトップ画面で、テーマ・目的・組織から、知りたい情報を見つけやすく作られている
96	TOP 画面から、カテゴリー的に整然とシンプルにキーワードをたどりやすい。
97	事業に関しては特に幅広く見受けられる
98	内容がわかりやすい
99	カテゴリー別にきちんと整理されてそれぞれリンクしやすく見やすい。
100	見やすいレイアウトでいいと思う。
101	はじめに検索窓がでてくるので、キーワードを入れると知りたい情報に飛びやすいと感じました。
102	カテゴリーに分かれて掲載されていますし、チャットボットも役に立ちそうです。カラフルな作りで目を引きまます。

103	今まで何度か知りたいことがあってアクセスしましたが割と簡単に情報が手に入ったので助かりました。
104	どちらかというを見つけやすいですが
105	項目別のアイコンがあるのでわかりやすいです。
106	グーグルで検索できるから探しやすい。ただ、組織から探すはどの組織が担当かわからないと探しにくいかも…どの課が何やっているとかわからないのでは。
107	関連する項目をたどっていきやすいです。もし見つからなくても検索を利用して探しています。
108	検索する際に、テーマ別・目的別・組織別など、カテゴリーから検索できて調べやすいし、その結果知りたい情報が見つかりやすくなっていると思うから。
109	まず文字が大きく色使いもはっきりしていて読みやすく、何の情報があるか整理されているから。また自身でキーワードを検索することができるから。
110	業務内容や支援内容が整理されていて、分かり易くなっている
111	一度ホームページ内で検索した時すぐに見つかったので。
112	検索機能があるから。 新着情報やイベント情報が一覧で表示されているから。
113	LINE も県たよりも比較的に見やすく作られている。グラフ福岡は性質、内容がちょっと異なっている。
114	トピックごとにタイトルがわかりやすい
115	検索機能を使うことで、知りたい情報に近づくことができるので
116	トップページの「テーマから探す」と「目的から探す」で大体の内容が探せるから。
117	トピックごとに別れている
118	ホームページのトップにテーマから探す項目があるのでわかりやすい
119	イラストを使って、文章だけよりわかりやすい。
120	わかりやすく説明されていますので、見つけやすい。
121	検索が慣れているため。
122	キーワードで検索できるので便利！ 色合いも見やすくていいと思う。
123	大カテゴリー・小カテゴリーなどに細かく分けられており、適切なページへ割り振られているから。
124	良く説明しているから
125	検索項目があるので、そこで検索すると情報を見つけやすい。
126	検索バーで検索をかけるとすぐ目的のページに行くことができる。
127	既に見つけやすい
128	見やすい大きさの字 探しやすいように分けられて書かれている ぱっと見でわかりやすい
129	トップページの最上部に検索の窓(テーマから探す/目的から探す/組織から探す……)を設けているのが親切で使いやすい。
130	大きな項目毎に表示されており、知りたい情報が見つかりやすい。
131	ホームページは、知りたいことでジャンル分けしてあるから。
132	項目がテーマ別に表示されていて探しやすいから。

番号	「2」を選んだ方の回答
1	項目の分け方がわかりにくい

2	毎月県のプレゼント応募をするんですけど、書式が業務的で入力しづらいです。
3	沢山項目があり探しにくいです。
4	見つけにくいとまでは思いませんが、個人的には文字数を減らして、直感的に操作できる画面構成が良いと思います。
5	SNSが発展しているためわざわざ県のホームページを Safari 等で入力し調べることが少ない。また欲しい情報のために何層もページを検索するのが手間なため
6	検索する言葉を入れてもなかなか知りたい情報まで辿り着かないような気がします。
7	福岡の魅力のところをもっと情報を入れてほしい
8	委員会など全ての情報が入っているので情報過多。
9	今現在に必要な情報に辿り着けない。例新型コロナワクチンの接種可能な病院検索がない。これから、補助対象になる可能性のかる帯状疱疹のワクチンの項目もない。
10	目的の単語で検索してもヒットしない
11	県民の健康状態を把握する際の、データの原本(実数)のデータが探しづらいときがある
12	あまり見る機会がない
13	知りたい事が複数の担当課に跨っている情報を探す時に、それぞれの担当課毎でページを飛んで情報を拾ってこちらでまとめないといけない時が多いから
14	あまりそれについて、載せられているのを見たことがない。
15	いろいろな情報が多くて、どこに進めば良いか難しかったです。
16	昔の情報やページが表示され、一番新しい物にたどり着くのにかかることがある。
17	県は情報が多いので、仕方ない面もあるとおもいます 組織からの検索も、プルダウンにしたほうがよいとおもう
18	リンク切れが多い。 同種の情報でも掲載課によって掲載元、リンク先が異なることがある。(例:意見募集) 過去の情報が消されている。県政アーカイブの機能が無い。
19	文字が多い
20	カテゴリの複雑
21	必要な情報に辿り着くまで時間がかかる場合がある。
22	広報誌に目を通してますがみつけにくいのか理解してないのかわからなかったで終わることがあります
23	リンクが多い
24	多くの情報があって、必要な情報がどれを見れば良いのか解りづらい事が偶にあります。
25	タイトルが大きく書かれているが、本文が長く、もう少し簡略化していいと思います
26	検索しにくい
27	県ホームページの検索サイトで知りたい情報を入力しても、次に表現される項目から、さらに中身を見て探さないといけないから。最新情報ではなく、検索数が多い順や今のトピックが上にくるような表示が好ましい。
28	キーワード検索がうまく機能しない

29	直感的なキーワードで必要情報を見つけにくい。検索機能が弱い。
30	項目が文章羅列されているだけのページがあり、目的のページがどれなのか分かりにくいときがあるため。
31	たまたま見つけにくい物を見つけようとしたかと思います。
32	調べたい情報が検索できる点はとても良いと思うが、検索結果が見辛く、本当に欲しい情報が見つけづらい。
33	紙の広報より探しにくい
34	文字が小さい、要旨が簡潔にまとめられていないため
35	見つけにくくはないが、見つけやすくはない 目的のページに行くまで時間がかかる
36	福岡県防災ホームページ、窓口相談、医療機関の3つの文字が大きすぎる。また、その上部の情報が流れていて見にくい。情報の目次があればわかりやすいと思う。
37	大まかな事しか載ってないので結局は問い合わせしないといけないことが多い。例えば確定申告についても会場情報が遅く、実際に行くと手順や受付内容などが全く違ったから仕方ないけれど、あくまでも必要最低限の情報だと認識していれば使えると思います
38	視覚的に分かりにくいです
39	項目が多すぎて、探し切れない。 色がシンプルすぎて、見つけたい項目が目に入らない。
40	知りたい情報が、一体何の項目に位置付けられるのかがわからないと、情報に辿り着けない
41	サイト内検索が使いづらい。また、トップページのデザインもどれが重要な情報なのかが分かりづらく、漫然と読み流してしまいがち。
42	そもそも何があるのか全体像が分かりづらい部分がある
43	ページをまたいだりPDFに誘導されたりして見にくい
44	なかなかたどり着けません。
45	以前コロナの時に色々調べようとしたが、なかなか検索もしにくく、わかりにくかった。
46	知り得るべき媒体が、少ない
47	イベント情報を探していたが、量が少なく写真載っていないものがあつたため。
48	複数のページを行き来する必要があつたり、プロポーザルの公募内容と結果がバラバラにまとめられていたり、見つけづらいため。
49	テーマ、目的、組織に分かれて探しやすいが、その後は文章ばかりで分かりにくい。 例えば、上水道の水質管理でPFASの検査がされているか確認したかったが、分からなかった。
50	文字が密集していて見にくいように感じます。また言葉が難しく理解しにくい文面もあり、若年層はもちろん、高齢層には理解しにくいし、文字がスツと頭に入りにくいように感じる。
51	良くも悪くもトップページに情報が多すぎる 自分の探したいものがあるのか、無いなかの判断がつきにくい
52	文字が小さく、文言も堅苦しいため、理解するのに時間を要す。
53	惹かれる部分がない。 ありふれたホームページすぎる

54	ごちゃごちゃしていてわかりにくい。カテゴリー別にわかりやすくしてもらいたい。
55	担当部署名から業務内容が推測しにくく、欲しい情報の窓口が分かりにくいから。
56	主にモバイル端末から見ているが、メインページの表示が多すぎる印象を受ける。折りたたみ機能なども用いて、もう少し整理されるべきではないか。
57	情報が多すぎて、目的までが遠い感じがする
58	検索機能が使いづらい
59	自分が知りたい事柄にたどりつくまでに結構時間がかかりました。自分が要領が悪い事もあります。歳を?取っている人でもわかりやすく検索出来るようにして欲しいと思います。
60	ほしい情報の入り口がわからない。
61	検索しても希望の内容が出てこない。おおよその候補で検索内容が上がってくると調べやすい。
62	ホームページを探し出すのに時間がかかる。 イベントや必要な情報までたどりついて、更新されていない
63	真面目といえば真面目だが、色彩が地味なせいで、辞書を読んでいるような、わかりにくさ、見つけにくさがある。
64	段組みがわかりにくい。
65	市のホームページは良く閲覧するが、県のホームページは閲覧することが少ない。文字数が多く、堅い感じがして見ている情報を探すのに諦めが生じる。故、閲覧しなくなる。
66	目的のページに行き着くまでにここかな?こっち?と、違うページにいつてしまった。
67	知りたい情報をどこから探して行けばいいのか迷うので、カテゴライズをもっと工夫したほうが良いと思います。
68	なかなかキーワードがヒットせず、目的のサイトまたはページにたどり着けない。ある程度、幅を持たせた検索情報を持たせて欲しい。
69	全体的に見にくい
70	ホームページは存在は知っているものの、「使いこなしている」とはいい難い。タグ<見出し>がすぐに見つけるコトが苦手。やはり紙が好きだからと言うことも一因。
71	いろんな情報量が多くわかりづらいから。

問5 その他、県ホームページで不便に感じることや改善してほしいことがあれば具体的に入力してください。

番号	内容
1	事業者目線だと使いにくい部分がありますので、事業者にとっての目的別検索もあると便利かと思います。
2	ホームページ自体は見やすいけど特別、県のホームページを見る理由がないので現状は見ないと思います
3	情報がどこにあるかわかりにくい。
4	不満ではないが、調べたいことはホームページのトップページ上部だけで完結してしまうので下部の方まできちんと見たことがあまりないような気がした。もっと県民に見てほしい部分を見たくなるような形式になると良いのかなと感じた。

5	キーワード検索の充実
6	上の設問を解答した後、初めてHPを見たが福岡市内に偏ったHPなので今後見る機会はないと思う。イベントも興味はあるが現住所から遠いため地域別の情報も欲しい。
7	全体的にかたい 本当に県民がこのようなページをみたいと思っているのか疑問
8	子供向けのページは、文字の大きさが選択できればいいなと思う
9	問い合わせに記入しても返信がないことがありました。
10	不便ではなく、花火大会やイベント等をホームページの上部に持ってくれば、もっと沢山の方が閲覧するようになります。飲食店等も載せて、観光に来られた方が福岡県のホームページをスマホで見るようにしたり、飲食店は各市町村に任せて、福岡県ホームページから各市町村のホームページのバナーで進む事ができれば、より親切に思います。また、各市町村のホームページも競い合って良いホームページにするのではないのでしょうか？
11	県のホームページを見たことがないです。
12	(アーカイブ)過去のもものが比較的早く消されていることがある
13	感染症コロナ関係の情報で、陰性証明の手続きで不明確な提供があって困惑したことがあった。
14	ハッカー対策は怠らず、注視継続してほしい。
15	今見てみたけれどすっきりしていきやすいと思った。このままでいいと思う。
16	「テーマから探す」の検索は自分の欲しい情報がどのように分類されているか分からないことが多い。「目的別検索」程度に具体化した項目にして欲しいが、そうすると項目が増え、かえって検索しにくくなるであろうから、バランスが難しいかもしれない。
17	様々な地域を身近に感じられるような情報を、魅力的に掲載して欲しい
18	ホームページからの電子申請・協議などもっと増やして便利にしてほしい。例えば、道路使用等に係る申請など警察と管理が重なる案件は一体化、電子化して受け付けるなどしていただくと助かります。
19	以前からHPを見ていますが、格段に見易くなっていますので、特に不便は感じません。 ただ、スマホが普及した世の中で、年代問わず色々な方がHPを見ると思いますので、誰が見ても分かるような画面構成が良いのではないかと思います。
20	県内で観光しようと思いイベント事を探して見ても、他のサイトのほうが見つけやすい。
21	子供が見ても分かりやすい、子供専用サイトがあれば面白いと思います。小学4年生の娘が、福岡県のことを調べる為に県公式HPを見ているので。(読み仮名や地名読み方クイズなど)
22	県のトピックスな情報はスクロール可能なバナーで目立つようにしてはどうでしょうか。
23	今の知りたい情報においては改善してほしいところはありません。
24	福岡県全般地域の情報が欲しい。 オススメの場所や食べ物
25	県ホームページを意識してみたことがない
26	今度ホームページを覗いてみます
27	テレビ等で県ホームページではどのような情報が見られるのかを知らせて欲しい
28	見たことない

29	わかりやすくまとめて欲しい。
30	県民が一番知りたいのは、県が何を行っているか？よりも県が何を行ってくれるのか？と言う県民視点が必要であると感じます。
31	高齢の方には伝わりにくいと思う
32	全体的に見易いのですが、イベント情報が上部にあると目に止まりやすく、興味を持つと思います。
33	目的がハッキリ分からないとどこからどのページを見ればよいのか分かりにくい
34	県と政令指定都市とは行政サポートが違うことがあるので、戸惑うことがあります
35	妊娠・出産の一般情報「妊娠の届出を行い妊娠健康診査を受けましょう」が、もう少し上の方でも(産後ケア事業についてなどより)良いと思います。
36	国の所管官庁を反映した県の中での担当所管に囚われず県民の視点で情報を統合的に示して欲しい 一例を挙げると県ホームページのトップ画面においては「テーマから探す」「目的から探す」「組織から探す」とあるが「組織から探す」に関しては県民は所管部署がどこにあるかから情報を拾いに行く方が難しい テーマも「疾病」「医療」「感染症」「健康」と一見重複するものが所管毎で分けられており分かりにくい。
37	何でも予算が見える化してほしい。
38	ホームページで閲覧者に、プレゼントの様なメリットがたくさん増えたらよい
39	もう少しイラストなどを入れてより理解しやすくしてほしい。
40	73 年県民ですが行ったことがありません。このモニター応募があって初めてホームページも検索してみました。問 4 は 3 の見てないが正しいかと思います。
41	県のトップページを見たことはないですが、例えば「福岡 耐震の助成金」などで検索して、誘導され見たことはあります。
42	見たことはあるが、全然利用しないので特に感じることはありません。
43	県のライン登録も利用してますので今の所、使いやすいと思います。
44	情報が詳しくすぎて、読むのをあきらめることがあります。 詳しい情報を簡単に書いてあることもあるので、助かります。
45	不便や改善以前に、どれだけの方が使っているのかなと思いました。私は福岡市在住なので、福岡市のホームページは見る事がありますが、県については正直見た事はありませんでした。もっとアピールの必要があるのでは?と思います。
46	福岡市のホームページを参考にしてほしい。 みやすいです。
47	長崎県のパパ検定のように、話題になる動画などが UP されると良いな。
48	特に今のところ不便は感じない
49	知りたい事が総合的に見れて便利だと思います。
50	過去の情報が見れない(〇〇白書、〇〇行政の概要等)。県政アーカイブの機能を持たせて欲しい。 ところで福岡県オープンデータサイトとの関係はどうなっているのか？こちらには近年の〇〇白書、〇〇行政の概要が掲載されていません。
51	不便さはないと思う
52	文化的行事の掲載の増加
53	もう少しイベント情報が載っていれば週末ごとにホームページを見る人も増えるのではないかと思います。

54	ホームページを今まで見たことがないので、ホームページ自体をNHKとかでもっとPRしたらいかがでしょう。
55	曖昧でもAI活用による類推検索により必要な情報に辿り着く様にしてもらいたい。
56	なかなか今まで見るきっかけがありませんでした。
57	防災対策の事いろいろ教えてほしいですね
58	選択肢と言葉が解りづらくて必要な情報にたどり着くのに考える事が偶にあるので、一般市民でもわかりやすい言葉を使う事をお願いしたいと思います。
59	絵や図を使用してほしい
60	正直、あまり見ていなかったもので、不便というよりは、有益な情報として何があるのか良く理解していない。
61	情報をきちんと整理して出してほしい
62	特別に不便は感じない。
63	あまり、見る事がないので、今後が見るようにします。
64	コロナ関連の情報は、より一層探しやすいように整理してほしい。
65	テーマ別、目的別など、詳細な検索があり便利だと思いますが、詳細すぎて全体像を把握しにくいかな、と思います。県庁として、何ができるか、といった「事例でわかる」といった全体像を大まかに把握できるページがあってもよいかと思います。
66	県ホームページの検索サイトで知りたい情報を入力しても、次に表現される項目から、さらに中身を見て探さないといけないから。最新情報ではなく、検索数が多い順や今のトピックが上にくるような表示が好ましい。
67	トップページから情報を探しやすくして欲しい
68	検索ページを充実して欲しい。
69	今のところ思い当たらず。
70	ホームページをみたことがない。必要性が感じられないからだ。ホームページをみたくなるつかみのあるイベントなどで、まず入り口をつけたらよいのでは。
71	位置情報などを利用して、福岡県内であれば現在地の市町村のホームページへ飛べるリンクやバーナーがあると便利だと感じる。
72	もっと写真を多用してもいいと思います。
73	今まではサラッと通して見ていたので具体的な物はありません。
74	見たことがないのでわかりません。
75	ホームページをみる必要がないため
76	県の広報誌等にもっとアクセスが増える様に県のホームページの情報提供をしてほしいです。
77	新着情報の検索がトップページの上部にあったら、より便利かなと思います
78	申込みが必要なイベントだけトピックスにしてほしい
79	PC・スマホとも分かりやすくできている
80	予算の都合もあるので、基本現状で良いと思う。
81	情報が多すぎて調べたいことが見つからない
82	分かりやすくメニューがあるため、すぐにたどり着く。 そんなに頻繁に見ているわけではないので、今のところ改善希望はありません。
83	色々情報と情報が羅列しているが、カテゴリー別に整理して表示して欲しい。
84	必要がないと見る事がないので、もう少し話題になるような事柄を載せたり、見たことにより色々な疑問がチャット方式で答えてくれたりすると助かります。
85	市政だよりのほうが情報が豊富で活用している

86	県のHPを拝見したことがなく、逆にどういう時に見るものなのかわからない。 住民票のある自治体のHPはよく見る
87	ホームページ内で、検索しても見つからないことがあるので、検索のところをもっと分かりやすく、見つけやすくしてほしい。
88	今のところ、困ったことがない
89	キッズホームページを作って欲しい
90	不便ではないですが、コロナの情報が欲しいです。
91	相談窓口のページをもっと見やすくしてほしい。PCだと、スマホ用なのか縦長に表示されていて見づらく感じる。また、それぞれの相談窓口について、「相談できる内容」の説明が短いため限定的に感じられ、相談のハードルが高いように感じる。
92	県のホームページは見たことがありませんでした。10代～20代の方は見たことない方がほとんどだと思います。ホームページの宣伝や、区役所などへの貼り紙をしていますか？私は一度も見たことがありません。まずはホームページを知ってもらい、認知度をあげる事が大事ですかね。
93	知りたいことをQ&Aである程度分かるように充実させて欲しい。
94	まだ見てません。
95	トップページがごちゃごちゃしている。欲しい情報が見つかりにくい。
96	夏休みの県庁主催イベントを毎年、楽しみにしています。 イベント内容が決まりましたら、いろいろな媒体で大々的にお知らせをしていただきたいです。 また、お忙しいとは思いますが、夏休みに限らず、子供参加型のイベントの実施を増やしていただくと有り難いです。
97	アンケートの番号は最初の方にしてほしい。アンケート番号を見らずすぐにアクセスしたのでまた最初にもどってしまったので
98	上述のようにハザードマップの情報のありかは判るが、私のように色覚に難がある人にとって色分けが分かりにくい感じがするので改善されれば嬉しい。
99	改善点は今のところないです。 使いやすいと思います。
100	個人向けの内容より、企業向けの内容が多く、自分が知りたい内容が載っているところに辿り着くまでの時間がかかる。
101	県から住んでいる地域へのリンクや遊びに行きたくなるイベントの紹介
102	月始めには、ホームページ全体にちらり目を通してみますが、新しく配信されてくる情報以外は段々見なくなってきました。 子育て世帯のために、更に興味深いイベントがあればよいと思います。
103	見易い構成で良いと思いますので、具体的な改善希望点はありません。
104	広報情報など上にあげたらどうでしょうか？ 問1の情報もほとんど知りませんでした。
105	県民が楽しめるイベント情報
106	県ホームページは、パソコン等インターネット利用される人は閲覧出来るでしょうが、インターネットとその他新聞等でも県の情報を提供しては如何でしょうか。 パソコン等に不慣れな高齢者はホームページの閲覧は、出来ない様に思う。
107	市のホームページはよく見るが、県ホームページは見たことがない。
108	不便に感じることはないが、(これは他の自治体のHPも同様で仕方がない面もあるのかもしれないが)もう少し遊び心や、もっと日常的に見に来たくなるようなページづくりがなされたら良いと思う。

109	もう少し見やすい色合いとフォントで、ポップにしてもらえるといいかなと思います。
110	スマホで見た際に画像やリンクのサムネイルが小さくなりがち。視認性がよく無い気がする
111	シニアのコーナーを増やしてほしい
112	今のところ不便さは感じない。
113	こちらから意見を伝えられる欄をつくってほしい。
114	県民の数など、数字としての福岡県を示す統計資料がパッと目に入るような仕組みを作ってほしいです。人数の増減などが知りたい時があります。
115	給付金やイベントなどの情報があれば読みます
116	若者にも向けてみてほしい気持ちがあるならイラストなど入れて漫画風にしたらいいと思う
117	福岡県ホームページは字ばかりで分かりにくい。携帯用？福岡県庁ホームページもあったが、字が明瞭でなく、スペースが広くあまり見やすくない。もう少し、web デザイン等考えるべきと思う。
118	県内を4つの地域に分けて、イベント情報など充実させてもらいたい。
119	まだ見たことがない。
120	出来るだけ簡潔に表示して欲しい。もってまわった表現や説明がわかりにくいことが時々あります。
121	ごちゃごちゃしている
122	スマホ表示にも対応していますが、ページによってはPCにしか対応していないものがあって見づらいです。全てのページをスマホ表示対応にしてほしいです。
123	市区町村のHP等々にリンクは貼れませんか？福岡県警とかも
124	たまに今年度の最新情報を知りたい時に前年度の内容が出てきて、数回検索することもありました。
125	特に、県の概要(歌や花など)をもっとわかりやすい場所に置くべきだと感じる。チャットボットの配置は多くの自治体でも行われており、評価しているが、精度に関しては今後に期待したい。
126	そもそもホームページを見ることがないので、どのようなことが載っているかをしりたい。
127	私は県のホームページの存在を知りませんでした。もっと皆んなに知られるようになればよいと思います。
128	ホームページ内の情報の検索機能
129	県庁内の情報は探し易くなっているが、県庁外の出先機関情報はあまりリンクされていないので、実際には出先機関が行っている業務については分からないことが多い。県庁HPから出先機関のHPをもっと探し易くした方がよい
130	様式が役所っぽくて硬いと思う。もう少し柔らかくしたらいいと思う。服部知事の笑顔が素敵だからもっと前面に押し出していいのでは？
131	県議会で審議されている内容で、特に県民の生活に直結するようなものはわかりやすく知らせてほしい。
132	情報量が多いので、検索機能を充実させてほしい
133	まだまだ文章が官僚で堅過ぎる。若者言葉でやれとは言わないが役所特有の文章形式はなるべく避けて欲しいと思います。
134	これから見ます
135	県のホームページがある事を広くお知らせして欲しい

136	全体的に水色で統一されているのは良いが、役所のホームページの雰囲気で見たいと思わない。もっとコントラストが明るく、画像など取り入れたページだと若者も見やすいと思います。
137	一般的に必要な情報と、国が提供したり専門的な規約条文とをわけてみやすく探しやすいようにしてほしい
138	文字をずらずらと並べていて同一感があり、見えづらいので、文字に色味や改行を加えるなど、見えやすい工夫をしてほしい。
139	よく分かりやすいので、満足しています。
140	不便に感じることは、ありません。現時点での改善点は、ありません。
141	これまで不便だと思ったことはありません
142	もっとゆとりや遊びのある、親しみやすい感じにして欲しい。色彩豊かに、県のユルキャラや、お楽しみ動画を入れてみたりして、幅広い年代に見てもらえるようにしたらより良くなるのではと。
143	県ホームページはこれまで見たことがなかったです。早速見てみようと思います。
144	少し不便に感じたが、改善してほしい！とまではならなかった。
145	トップページのトピックス一覧を、カテゴリごとに表示できるようにすると、新着情報を見つけやすいです。
146	部署ごとのページを関連を基に横断して閲覧できるような仕組みが欲しい。
147	県のホームページにアクセスする機会がないため、回答できません
148	ホームページをみたことないので何とも言えないがホームページへつながるようなつくみを作っていくとよいとおもう。
149	既に見やすいため、特になし。
150	トップページに服部知事の写真(画像)が必要でしょうか。県民にぜひとも閲覧してほしいニュースや特集のサマリーを画像付きで紹介したほうが発信力の向上につながると思います。
151	もっと福岡県の魅力や情報が分かるようなホームページにしてほしい。
152	もっとシンプルに！
153	地域をもう少しピンポイントで絞り込み検索できると更に便利になると思います。
154	見た事がない
155	検索機能をもっと強化してほしい。

問6 県の広報活動について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

番号	内容
1	費用対効果の面もあると思いますが、紙媒体による広報活動よりもWEB媒体による広報活動に更に注力すべきではないでしょうか。
2	上記にも書いたが福岡市内から離れた所の情報も載せて欲しい。 自分の地区のHPがあるのでそれを見れば済む事ですが。
3	若い人の自由で柔軟な意見を入れたらいいと思う
4	市の情報はLINEなどでも積極的に取り入れているが、県までとなるとあまり身近に感じられずメリットが薄く思える。SNS(特にInstagram)で観光や子供の遊び場情報をもっと発信して欲しい
5	県がどのような広報活動をしているのか、知らない方が多いと思います。福岡県のローカル番組、地方タレントで頑張られている方もいれば、全国区で活躍されているタレントが出演している番組も増えたように感じます。そのような番組を使

	って、福岡県ホームページの魅力をアピールしては如何でしょうか？また、福岡県内で活躍されているタレントのユーチューブ番組も福岡県ホームページで紹介しアクセスできるようにすれば、ユーチューブで活躍されているタレントにもプラスになると考えます。
6	ホームページはある年齢層にはわかりやすいか。特に高年齢層。
7	若い方にはスマホやパソコンで十分に伝わる媒体が完備されている。 一方、情報難民(80才以上くらい)の方々にはかなり伝えることが難しいと思う。 テレビの文字放送(データ放送→dポタン)で閲覧出来るようにしていけば、ずいぶん改善が図られるように思う。
8	魅力ある幅広い情報を発信していると思う。今後もより良い広報活動を目指し継続願う。
9	グラフ福岡とかで島特集だったりの観光地がなかなか風光明媚でよき。ただ、それ以外にももらえる補助金だったり、お得に利用できる施設だったり、そういった生活に役立つ情報があると嬉しい。
10	いい政策や取組があっても周知されなければ効果は少ない。だが余程の関心事でなければ自分から検索することは少ない。重要な情報はもちろん、県民の関心が高いと予想される情報は、県側からの発信が確実に県民に行き渡るようにして欲しいところだ。
11	CM等で県知事を見る機会が増え、とても親しみが湧きます。 公務で大変だとは思いますが、引続き積極的にメディア等に出て福岡県をアピールして頂ければと思います。
12	今まで、身近な情報で知りたい事は、市のホームページを見る事が多く、県のホームページを見る機会はありませんでした。 福岡県だよりなどは拝見しておりましたが、圧倒的にインターネット上で得る情報が多く大変助かります。ネットを使う習慣のない方などは、どのように情報を得ているのか、必要な情報が素早く届いているのか疑問に思いました。
13	広報について、幅広く周知をしていくため、特に若者に周知をしていただくためにバーチャル YouTuber とのコラボレーションや若者に人気のあるアーティストに福岡県の魅力を発信してもらうことが大事だと考えます。これからの福岡の未来を築くのは若者です、その若者が福岡に魅力を感じなければ、また感じるきっかけを持たなければ、若者が福岡を愛することも難しいのではないかと考えます。 近年、東京などの首都圏の移住をはじめ多くの若者が大都市圏に向かっていきます、それを断ち切るには、まず若者向けの広報を活発化させるべきです。
14	福祉コーナーを作って、事業所の紹介、作品の紹介なども載せてほしい
15	特に意見というわけではないが、紙媒体の福岡県だよりしか見たことがないので、他の情報媒体も今後は見たいと思う。
16	生活に密着した補助金や手当など、知らない申請出来ずもらえないという現状。知ってる人が得するのではなく該当者に適切に情報が入るような周知方法は無いでしょうか？
17	県のホームページがあるだろうとは思っていても、わざわざ入って見におく機会がない。 どんな情報があるのか、興味をもつような情報があるということをもっと知らせたい
18	子育て関連の他にも県民全体が対象になるようなものが増えると良いなあと思います。

19	<p>ホームページも便りなどの冊子関係も中高年がやってることが多く、子供や若い年代は興味がない、見ない</p> <p>もっとイベントや活動も若い人がやってること(若い人が、やってる活動が少ないならそれが問題)</p> <p>や、アニメや漫画など含めて子供が興味の湧くような内容を増やして欲しい</p> <p>高齢者の関わる特産物や行事などの記事が多過ぎます</p>
20	<p>月に2回の市政たよりとともに配布されるので、市政ばかりに目がいくので、もっと福岡県の他の地域を知りたくなります</p>
21	<p>妊娠の届け出をすると妊娠健康診査が概ね無料の事をもう少し発信、学校などでの教育をして頂きたいです。</p> <p>私事ですが、40代で出産。妊娠検査を病院にて7千円程。出産迄、保険が効かないから、ずっとそれ位を払うのかと恐れていましたが、届出をすると診察券があり概ね無料と安心しました。無知でした。</p>
22	<p>東京に旅行に行った際、ホテルのフロントで、八女茶のティーバッグと案内がセットになって置いてあり、嬉しくなって持ち帰りました。</p> <p>早速ホテルの部屋で、お茶を頂きましたが、香りがよく美味しく、案内も良かったです。</p> <p>他県に出た時に、こうした福岡県のモノを良い形で見かけると、嬉しく、誇りに思いました。</p> <p>これからも福岡県の良さをどんどんアピールして頂きたいです。</p>
23	<p>北九州市の竹内市長と連携してもっと北九州を活性化してほしい。自分が住んでいるところに、県の活動について、知っている人が誰もいないので、予備費を使ってもっと広めてほしい。</p>
24	<p>特にはないが、地域特集等をホームページ上でKBCのふるさとWishの様に1年間何度も持ち回したら良いかも</p>
25	<p>予算も限られると思うが、いろんな情報媒体を用いて県の取り組みを積極的に情報発信してほしい。</p> <p>特に福岡市から距離が遠い京築地域は情報に触れる機会が少なく感じる。</p>
26	<p>月1にポストに県民便りがはいつているので、それはちゃんとみています。ですが身近に感じないのが本音です</p>
27	<p>福岡県の福祉に関するSNSのアカウントがあると嬉しいです。私の場合、医療、障害者、不登校、発達障害といった情報をよく収集しております。</p>
28	<p>身近に参加しやすいイベントをもっと増やして欲しい。</p>
29	<p>今回、モニターをする際に届いた冊子を読みましたが、とても良くできていて、関心事が増えました。しかし、普段は目にしたことがないので、どの様な形で配布されているのでしょうか？</p>
30	<p>今の所はありませんが、追々感じた事をお伝え致します。</p> <p>ただ現在興味あるのは、公営住宅なので、県営住宅に関して詳しい情報が、あればと思います。</p>
31	<p>県HPについて、画面下部に「皆様のご意見をお聞かせください。」があるページとないページがある。ないページで意見を述べたいときには、県政提案メールに行かざるを得ない。行き着かない県民も多いのではないかと。県は県民の意見を吸い上げられないでいるのではないかと。</p>
32	<p>農業関連の記事が他の分野より少ないと思う</p>
33	<p>週末イベント情報を県主催可否に関わらず掲載して欲しい</p>

34	前述と同じです。
35	引き続き、色々なツール・方法により、県民に情報が届く様に工夫を行ってほしい。福岡市の市政だよりのように県政だよりを定期的に出していくことも必要ではないか。
36	県の広報活動もう少し地区に分けて教えてほしいですね。愛媛県松山市松山城の土砂崩れ思いも知れないことがありました。福岡でも起こることあると思うので勉強したいですね。
37	福岡市の方が目立っているように思える。 県もやってるよ、と情報を出して欲しい
38	登録した情報を定期的に通知するサービスを希望者にしてほしい。
39	特になし。これから勉強したい！
40	広報活動が貧弱
41	現在、PC・スマホによるネット媒体、TV・ラジオ等放送媒体が広報の主流となっているのですが、今後も紙媒体での広報も継続お願いしたい。
42	テレビで県政テレビ番組はたまに見ることがあります。それは前後に見たい番組があるので、偶然、見ることがあるのではと思います。だから、テレビの広報活動も視聴率が良い番組の前後に流す等が必要かなと思います。わざわざ、県政のテレビをみる人はいないと思われ、時間帯は重要なことかと思えます。また、紙の広報誌は福岡市の広報誌に比べると、見たかなと思うくらいであり、福岡市の広報誌のほうが記憶に残っているので、発行頻度を増やすとかを検討したほうが良いと思います。ただし、福岡市の広報誌は宅配されていますが、ページ数が多すぎて、全部は見ないので経費的には無駄が多いと感じます。
43	こども新聞みたいに、漫画やキャラクターを利用して、わかりやすい活動があってもよいかと思います。福岡県は他の件と比べてどのような特徴があるのか、世界的にみてどのような魅力があるのか、といった内容があると県民だけでなく、他県の人も興味をもつかなと思います。例えば、今回の「グラフふくおか夏」の表紙に関しても、とてもきれいな写真とは思いますが、福岡らしさはないのかな、と思います。夏といえば、山笠や、大島の七夕祭り、サンセットライブ、巨峰など、県の特徴的な写真があってもよいかと思います。
44	福岡市に住んでいるとあまり福岡県の広報活動としての情報が耳に入ってこない。福岡市と混同している場合もあるかもしれない。
45	広報紙「福岡県だより」をもっと充実させて欲しい。コンテンツが少ない。
46	福岡は魅力的な場所なので、それに安心して広報活動が弱いと感じる。平日日中働いている人間にとって、上記の県政広報番組などに触れる機会がない。YouTubeチャンネルにしてもそれほど話題でなく見る機会がない。私が見るのは全戸に配布される県政だよりだが、作りが正直よくない。いかにも田舎の自治体の広報誌である。それに比べてグラフ福岡は良かった。紙質は別にして、なぜこれを県政だよりでしないのか、理解に苦しむ。
47	自分が住んでいる自治体の広報情報は必要にかられ求める。他県や国や世界の情報は好奇と感心と憧れがあり求める。「県」は中途半端な立ち位置となっていて影が薄い。 なので、広報活動を再考して、ホームページや、冊子の出し方の工夫、改革などが必要。
48	福岡市、北九州市の市民の方々に比べると、福岡県の情報は入ってきづらいように感じます

49	お出かけ情報をたくさん発信していただきたいです
50	普段の生活のなかで県政のかかわりがどこにあるのか、具体的な例を数多く出して欲しい。 生活をしていて国とのかかわり、県とのかかわり、市とのかかわりでどのような形で実際生活に繋がっているのか、重複するところ、区分するところがわかりにくい。ただ税金だけははっきり分かる。
51	LINE やインスタグラム、YouTube は毎日使って見っていますが、福岡県の公式アカウントやチャンネルがあることを知らなかった。民間の見たくない広告ばかりなので、もっと積極的に目にとまるような広告や何かの方法をとったらいいと思います。 一度見ると自動的にまた上がってくるので、とにかく目につくようにしたら良いと思います。
52	わかりやすい内容を的を絞って、県の広報活動をして欲しい。
53	どうしても県の括りより、市の括り、または区の情報優先なので福岡県の全体を知る興味がわくように頑張ってもらいたい 実際、福岡市や、北九州市くらいしか情報を知らない。 もっと他の市の魅力をアピールしてほしいし、あとアクセスにしても車だよりのところが多く他市へのアクセス方法についても詳しく調べてほしい
54	県の活動と市民生活がどのように関係しているかよくわからない。
55	福岡市に住んでいるので福岡市の情報はよく入ってくるが、福岡市以外の情報はほとんど入ってこないの、テレビなり紙媒体で、福岡市以外のことも情報が入ってくるといいなと思う。子供がいるので、子供連れで遊べる場所などの情報があるとありがたい。
56	県内となると広いから難しいかもしれないが、エレベーターのない駅があることを住んで見て初めて知った。県外出身なので公共の場で子供連れ(ベビーカー)で行くのが大変なのかどうかの判断が難しく、ベビーカーを担いで階段を上り下りすることが多々ある。各駅を調べれば済むのかもしれないがマップにしてエレベーター有無やおむつ替えの場所の有無がわかると助かる。
57	休みの日に子供と遊べるイベントを増やして欲しい！
58	どういった施策や取組があり、どんな成果が上がったのかをもう少しアピールしたほうが良いと感じる。現状や昔からの伝統などの紹介はあるが、県政のアピールが弱いと感じる。
59	子育て交流会や離乳食教室の宣伝にもっと力を入れて欲しいです！私はそういった教室がある事すら知らず、訪問に来た保健師さんに教えてもらいました。孤独に子育てをしている人も沢山いるので寄り添って欲しい。
60	県の公式の広報を有名な YouTuber やインフルエンサーとコラボしてより周知できるようにしたらより一層周知できると思います。
61	高島市長のショート動画をよく見るが、もっと見やすくできると思う。切り取りのようになってしまうので、ショート動画用に別に撮影してもいいと思う。
62	ポストインされた広報誌を見るくらいなのでもっとテレビやラジオでこまめな情報をすれば良いと思います。
63	事業主や企業は仕事で検索する場合パソコンメインになるかもしれないが、個人では、今の時代スマホで何でも検索するため、スマホで読みやすい、検索しやすいホームページにして欲しい。

64	知らない人が多いと思う。 知りたい情報をポイント的に発信して欲しいです。 AIの活躍で個別的に知りたい情報の提供をして欲しい。
65	古代より日本の玄関口として発展してきた福岡の歴史や変遷、今もなお人口が増え続けている県の県史を子ども達がわかり易く楽しめるような子ども向けのコーナーがあると良いと感じています。
66	県の広報活動を、新聞や、TVでも定期的に発信される事は如何ででしょう
67	私見ですが、総じて若者が県政に対して関心が薄いように感じる。 発信する内容・コンテンツ以前に、まずは各広報の周知と、SNS登録の推進を図り、それを具体的に数値で管理・分析改善していったらどうか。
68	県発進のもので知らないものが多すぎた。 それだけ内容を分けないといけないものなのかが疑問に感じる。
69	県内のイベントを早めに教えてほしい
70	特記事項
71	日本国内外ではある程度のブランディングに成功しているようなので、これからは世界に fukuoka という都市がもっと認知されるように頑張ってもらいたい。
72	若い世代には届いていない
73	若者の選挙率を上げるためにも政治のことへの関心を持っていただくことが必要だと思えます。特に税金の問題や自民党のパーティ件の問題など単身の若者はあまり関心を持たないと思えます。なのでもう少し若者に対してのアピールが必要だと思うので県のホームページを見てもらえるような取り組みをよろしく願いします。
74	私の居住している香春町の広報、HPは目を通すことが多い。県の広報活動を県の市町村との連携の中で考えてはどうだろう。 例えば、福岡県HPと各市町村HPを互いにリンクすると見る機会も多くなるし、県全体の俯瞰、県民の連帯、一体感もでてくるように思う。
75	例えば県政モニターの募集の広告をスーパーで見かけました。人が集まる所に広告を貼るのはとてもいいことだと思えます。県が各自治体に依頼して、その職員がどれだけ動いてくれるのかということもあると思えます。
76	もう少し県民が興味が出る広報活動が必要
77	年齢や立場によって必要な情報が優先的にスマホなどで送られてきたら助かります。防災だけでなく行事や給付などの情報を登録していたら送られてきたら便利だと思います。
78	いつも同じような感じがする
79	福岡市の高島市長は所謂物申す市長として YouTube などにも出演されて、ご自身の考えを自分の言葉で視聴者に届くよう発言されております。その姿勢は県としても学ぶべきところがあると思えます。無論人には個性がありますから服部知事に同じことを求めはしません。しかし、人を動かすのは熱意のこもった言葉であるのは否定できないと思えます。福岡県が何を目指しているのか、またその情熱を様々な場で熱く語って頂きたいと思えます。特に YouTube は若者世代に親和性がありますので、若者の政治への関心を高める意味でも YouTube のさらなる活用をお勧めします。
80	今回はこういうことに対して、こういうアンケートとアナウンスしてもらえた方が事前に連絡があった方が助かります。アンケート対象を深掘りして研究してからアンケートに答えた方が県のお役に立てると思えます。県の活動となると住んでる自

	<p>治体の一つ上になるので、直接的な影響などが市区町村より見えにくい部分があると思うので。</p> <p>そういった広報活動もしていただけると助かります。</p>
81	<p>紙広報媒体の場合、右開きと左開きが未だに混在している</p> <p>現在社会で一番利用されている方法を選び、これに統一した方が良い</p> <p>出先機関や関係機関の広報関係紙も全く同様に、統一した方が利便性が高く、読み易くなる</p>
82	<p>グラフふくおかは、写真がたくさん載っていて、とても綺麗で見やすくてそこに行きたくなる気持ちになります。</p> <p>表紙が広報誌っぽくなくて、内容が観光や自治体の紹介などがあつた中で、最後に議会だよりが載っていたので、少し不思議に感じました。県議会だよりは、福岡県だよりの中で掲載するのがいいと思います。</p> <p>議会の報告よりも、小中学校紹介や子供達のいろんな活動など、子供達の事を少しでも考える時間を作るのに効果がありそうな企画を期待します。</p> <p>福岡県は農業も盛んなので、時期に合わせたフルーツ特集をとかあれば嬉しいですね。</p> <p>表紙がリニューアルしたとありましたが、モデルさんと撮影者の名前がどこにもなかったです。昨今の SNS 事情等を鑑みると、読者は検索する人がいるかもしれないし、それでチャンスが訪れる可能性もゼロじゃないと思うので、いろんな理由があるかもしれませんが、載せたほうがいいんじゃないかと思いました。</p> <p>福岡県だよりは、県民にいろんな生活に役立つ情報を発信する目的で作成されていると思いますが、一部情報がグラフふくおかと重なるところがあり、観光情報、プレゼントなどはグラフふくおかに移して、議会だよりはだよりに移し、目的を明確にわけて作成したほうが良いと思います。予算もかかっているでしょうから、似たような内容の冊子では説明もつきにくいでしょうし。</p>
83	紙媒体の配布は減らし費用を他に充ててほしい
84	<p>現在のホームページを見ると、県民への注意喚起やイベントなど、今、話題の情報がわかりやすく載っていると思います。</p> <p>市の広報誌と一緒に県の広報誌が入っていますので、定期的に情報が知れるのはありがたいです。ペーパーレスの動きが広がっていますが、ペーパーでの情報発信はゆっくり情報を見ることができず、少し時間が経った後、情報を探しやすいので、広報誌は今後もなくさないでほしいと思います。</p>
85	<p>色々な福岡県政テレビ番組がありますが中には非常に面白い興味を？引くものもありますがつまらないのも沢山あると思います。民放の面白い番組などを参考にして県政広報に役立てて欲しいと思います。</p>
86	<p>特にありません</p> <p>これからホームページを見るようにします</p>
87	<p>選挙が近くなると県議会議員、知事とやたら顔が拝めるようになるが、地道に活動していることを知りたい</p> <p>また、福岡県の偉人にもっと県民はふれるべき。郷土人を他県の人みたいに知らない</p>
88	<p>広報活動があまり地域限定にならないように配慮していただきたい。</p> <p>特に過疎化の地域では、人口が少ない上、情報も入らなければ若者離れが加速し過疎が進んでいくと思います。すべての人がスマホ・インターネットを使用して</p>

	いるとは限らないので情報発信拠点を整備して情報不足にならないようお願いしたい。
89	紙媒体での情報誌を、各市町村の公共施設のフリーペーパーラック等にもっと置いて欲しいと思う。高齢者の方々は、スマホも利用するが、やはり紙媒体が馴染みがあり、手に取りやすいと思うので。
90	私は今民生委員児童委員をしています。民生委員児童委員の活動を多く人に知ってもらえる報道をもっとして欲しいと思います。
91	若い人たちは紙媒体より SNS から情報を得る機会が多いと思うので、X、LINE、Instagram、YouTube からの情報発信を多くして、県の魅力を伝えて欲しい。
92	良いものを生み出している福岡であるが、イベントやさまざまな活動について後から知ることが多い。 広報活動に資金を使い、宣伝すると良いと思う。有名人やインフルエンサーなどを利用して広めると良いと思う。 興味がないことでも、有名人が宣伝するとつい興味してしまう。多少お金がかかっても、告知がうまくいけば充分回収できると思う。
93	もっと福岡の文化をアピールして貰いたい。 ラーメンや明太子、モツ鍋など飲食に注目が集まるのもあまり好きではありません。屋台推しも然り。 博多弁のゴリ押し的なアピール具合も如何なものでしょうか？ タレントさんが福岡の印象を聞かれ判で押した答えにソレが表れています。 「ラーメン食べたい」「モツ鍋好き」「明太子買います」 他にもあるのになあ等と何時も思いますし、言わされてるなあと穿った見方をしてしまいます。
94	個人的意見ですが、SNS で、福岡が当たり前前に飲酒運転による交通事故の代名詞みたいに書かれているのを目にします。このまま、飲酒運転事故、違反検挙者が大きな変化が来ない原因を解明して、イメージアップをする必要を感じます。
95	市との連携を密にして一般の人々に届くようにして欲しい
96	できるだけ、動画など広告は少なくして、シンプルな画面になったらよい。

MaaS について

【調査の目的】

福岡県では、一人一人の移動ニーズに合わせて出発地から目的地までの移動をシームレスなサービスとして提供する MaaS (Mobility as a Service : 複数の交通手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービス) を推進するため、令和 5 年度から実証実験を実施しています。

実証実験では、MaaS アプリ (MaaS を提供するスマートフォンアプリ) の認知度向上と利用促進を図るため、交通チケットと飲食店等で利用できる特典クーポンをセットにしたデジタル企画乗車券を発行し、県による MaaS の取り組みと企画乗車券を PR する広報事業を展開しています。

今後も MaaS を推進し、県民の移動の利便性向上を図るため、皆様からご意見をいただき、今後の事業の参考とさせていただきます。

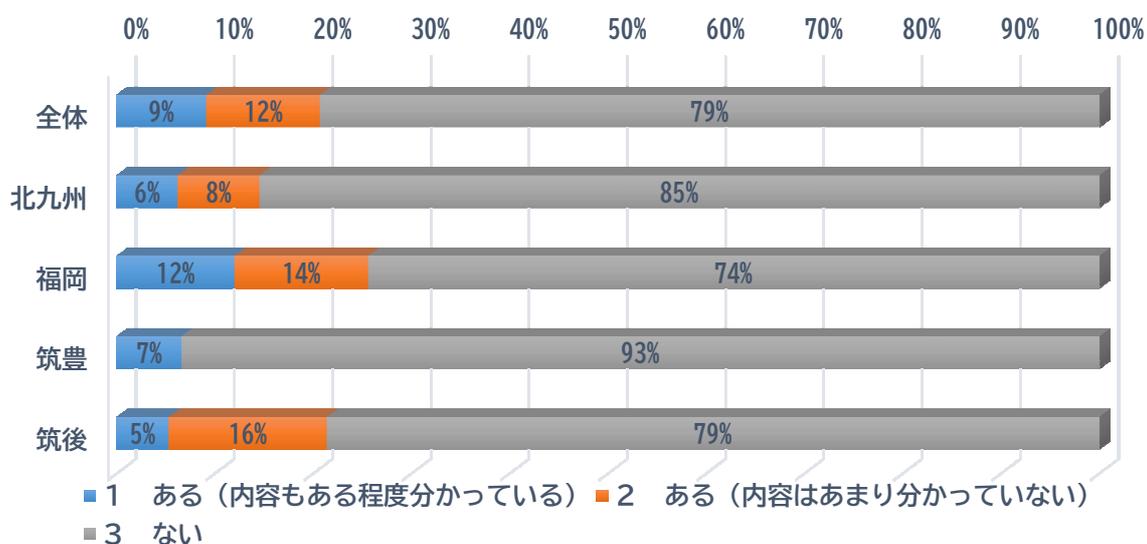
(企画・地域振興部交通政策課)

問1 MaaSという言葉を見聞きしたことはありますか。

【回答内容】

全体では、21%が「ある（内容もある程度分かっている）」または「ある（内容はあまり分かっていない）」と回答。令和5年度および令和6年度に福岡県が実証実験を実施した福岡地域および筑後地域では、見聞きしたことがあるという回答が比較的高くなった。

<地域別グラフ (n=381) >



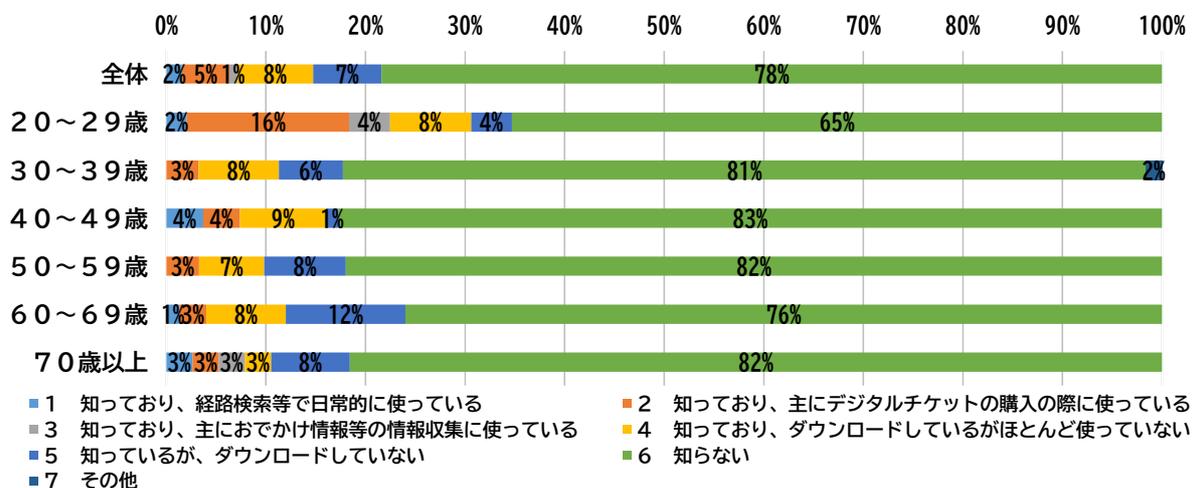
問2 MaaS アプリ「my route」を知っていますか。また、ダウンロードや利用をしていますか。

【回答内容】

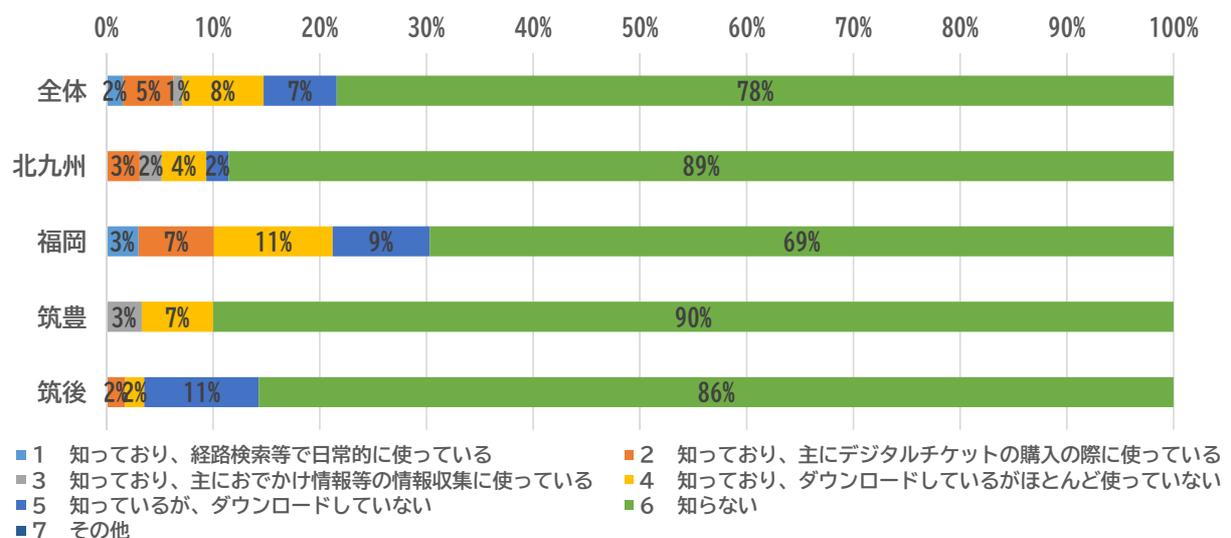
全体では、23%が知っているという回答。年代別では、20代において、比較的知名度が高くなっており、「主にデジタルチケットの購入の際に使っている」という割合が高い。

地域別では、福岡地域で20%が知っているという回答。次いで筑後地域で知名度が高くなっており、実証実験実施エリアにおいて比較的高い結果となった。一方、筑後地域においては、「知っているが、ダウンロードしていない」という回答の割合が多くなっており、一定の知名度はあるものの、利用にまであまり至っていないことが分かった。

<年代別グラフ (n=381) >



<地域別グラフ (n=381) >



問2-2 (問2で「4 知っており、ダウンロードしているがほとんど使っていない」、「5 知っているが、ダウンロードしていない」を選択された方にお尋ねします。)ダウンロード、利用しない理由は何ですか。

【回答内容】

MaaS アプリ「my route」をダウンロード、利用しない理由については、「他の経路検索アプリの方が便利だから」という回答が最も多く、次いで、「魅力的なチケットがないから」という回答が多かった。利用者の拡大のためには、経路検索機能の強化や魅力的なチケットの企画・販売が必要であることが示唆された。

1 他の経路検索アプリの方が便利だから	26
2 経路検索後、アプリ内で予約・決済が完結していないから	4
3 交通系 IC カードのようなタッチ決済ができないから	2
4 魅力的なチケットがないから	13
5 その他 (問2-2-2で具体的に入力してください)	10

問2-2-2 問2-2で「5 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

【回答内容】

- ・このアプリでなにを実現したいのかが、よくわからない
- ・どこの地域で通用するか、どの交通機関で通用するかどこを見ればいいのか分からない。
- ・自分は自家用車での移動が多く、乗り継ぎはほぼしないので、自分の公共交通機関の使い方に合っていないと思うため。
- ・今のところ、特に必要と感じていないから。
- ・自由に移動できないから
- ・アプリの情報まで確認していなかった。その他アプリ等で情報収集に依存していた。利便性の確認をまだしていない。
- ・内容や使い勝手が周知されていないから他の検索アプリを使用している
- ・よく内容を知らないから
- ・以前は使用していたが、ログインが必須であることや、アップデート後はアップデートしないと検索すらできない (交通機関をその場で調べたいため、立ち上げてすぐ使用したい) ことから、他のアプリへ移行した。
- ・利用するのを忘れる
- ・バスに乗る時に使用したが、それからバスに乗る機会がない為使っていない。

問3 「my route」の利用を促進するためには、どのような改善が必要だと思いますか。
【複数回答可】

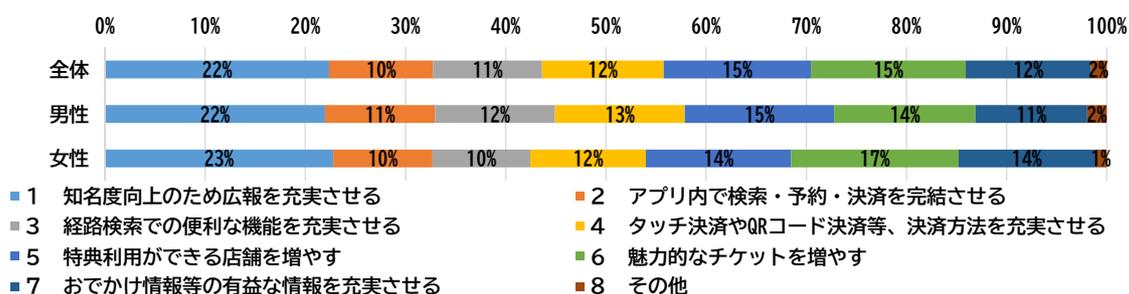
【回答内容】

全体的には、「知名度向上のため広報を充実させる」という回答が最も多くなっている。性別では、男性は「経路検索での便利な機能を充実させる」等経路検索、決済の利便性を高める意見が比較的多く、女性は「魅力的なチケットを増やす」等おでかけの際のお得さを重視する意見が比較的多かった。

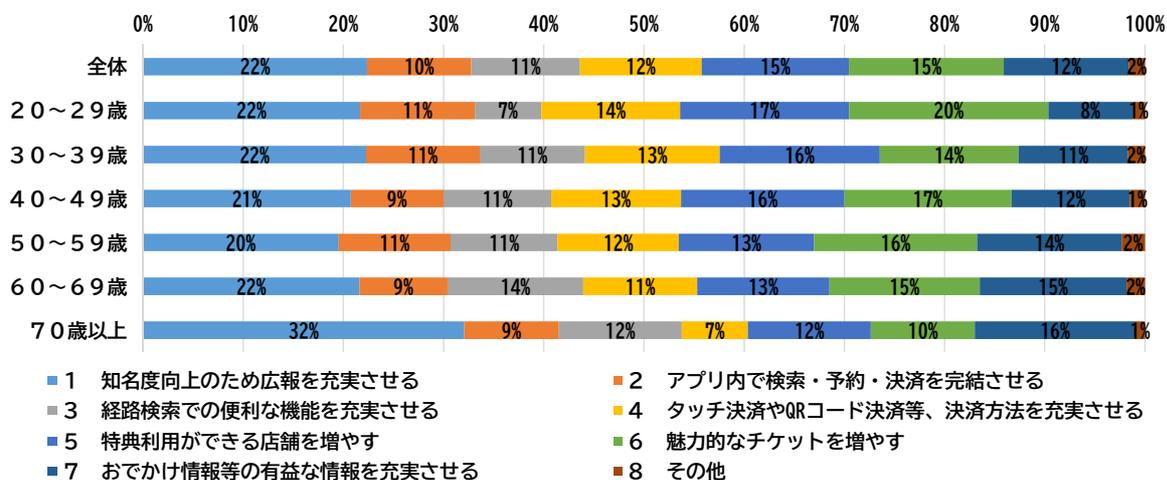
年代別では、若年層ほど「特典利用ができる店舗を増やす」や「魅力的なチケットを増やす」の割合が若干高くなっており、おでかけの際にお得感を感じられる点を重視していることが分かった。

地域別では、複数の交通モードにより公共交通が充実している福岡地域や北九州地域では「アプリ内で検索・予約・決済を完結させる」や「経路検索での便利な機能を充実させる」といったシームレスな移動に寄与する点が比較的多く挙げられた。一方、筑豊地域や筑後地域では、「魅力的なチケットを増やす」や「おでかけ情報等の有益な情報を充実させる」といった、移動需要の喚起に寄与する点が比較的多く挙げられた。

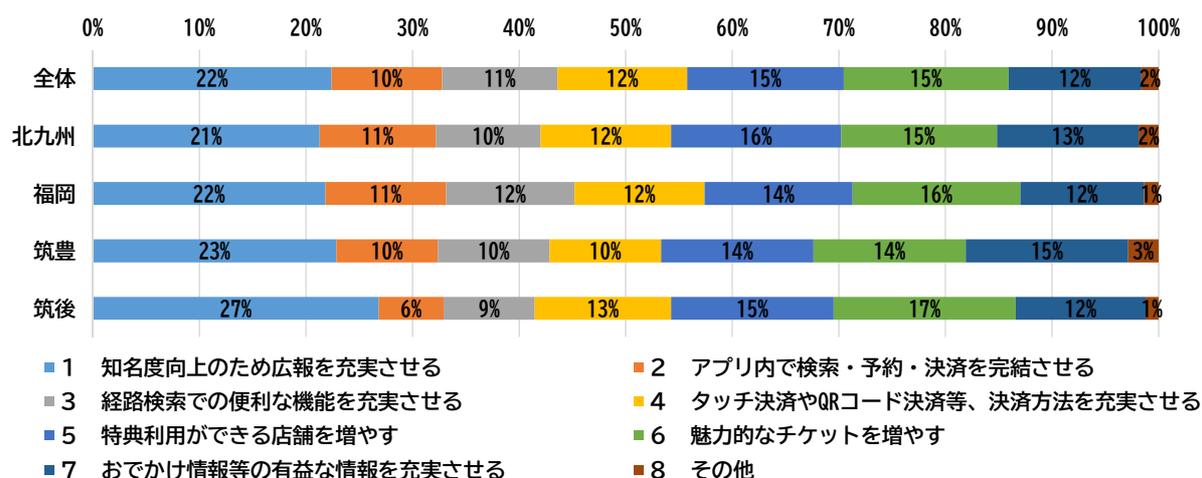
<性別グラフ (n=381) >



<年代別グラフ (n=381) >



<地域別グラフ (n=381) >



問3-2 問3で「8 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

【回答内容】

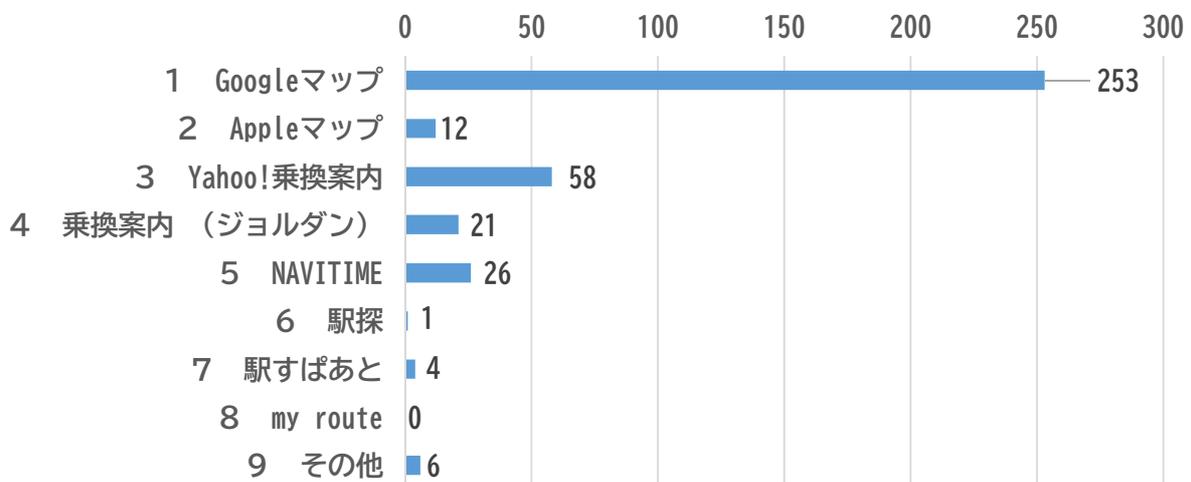
- ・おでかけ情報等のイベントなどとコラボ企画して、パックで売り出す。旅行会社のツアーのような感じで。バラバラで売っている限り探してくれる人にしか見つけてもらえない。
- ・テレビで取材してもらい、放送してもらう。
- ・MaaSを知らなかったのので、LINEから検索したらBRTひこぼしライン開業記念1DAYの件でした。私は公共交通機関利用に困難な障がいがあるので、企画の概要すら読んでいませんでした。しかし、今回よく読んでみると、福岡県内をちょっと遠出しておいしいものを満喫するルートなども紹介してくれていて「なんて便利な企画」と思いました。
- ・本当に必要かどうかの検証
- ・交通手段が選べるのは福岡市や北九州市など大都市や周辺地域の人だけなのでそれ以外の地域の交通手段の充実がなければルートを選ぶことすらできない
- ・特にバスが1日数本の地域には無人走行バスの運行により、本数とルートの増加を行うことで高齢者の免許返納にも繋がり、悲惨な事故の軽減に役立つと思います
- ・高齢者の使いやすい仕組み
- ・駅、空港、船港、観光名所、宿泊施設、役場、学校などでの案内があるといいと思います。旗、垂れ幕など。
- ・まずは何故必要か何のためのどんなシステムなのかの周知徹底。
- ・そもそも必要性・有用性が認知されていないうえ、日常生活の中での必要性が見出しにくい
- ・利用できる地域、利用できる交通機関を正確に知らせることが必要と思う。
- ・乗り継ぎ利用する層は年寄りと思ふ。若者は、警戒心無くインストールして、便利なら使うでしょう。年寄りは、スマホで使うというだけで難しいと思ってしまうので、まず使い方が簡単であること、見通しが良いこと。

- ・乗換案内のサイトやアプリとの連携や、これらの検索ページでの広告表示
- ・制約が多い
- ・ログインの不要化および、アップデートしなくても使用できるようにすること。
- ・バスの現在地などの情報は有用なので継続してほしい。
- ・使えるかも！と思ってダウンロードしたが、これと言ってこのアプリの方が良いと思えるポイントが掴めずほとんど使用していない。
- ・私も知らなかったが、職場や地域で話題になることがないので、認知されてないのではないかと感じています。
- ・情報が錯綜しているように感じるため、ユーザインタフェースをもう少し使いやすくする
- ・少しみてみたが、魅力的なバスチケット等（鉄道があればもっと良い）があり、観光利用等に有用である。もっと、観光客に周知させるとよい。ただ、地図情報は、大変物足りない。近辺で食べる場所を検索してもほとんど表示されない。
- ・いま、類似のアプリはたくさんある。いくつも入れることは敬遠する。より使いやすく、よりメリットがなければ使わない。
- ・ネーミングもっと分かりやすく
- ・Google Map を超えるような乗継などの検索機能が実現できれば、利用するような気がします
- ・「my route」の英語表示ではなく、日本語表示にする。
- ・都市部は活用しやすいが、中核都市や他の市町村は利用しにくい。若者や高齢者の周知をメインに登録特典の充実を検討してはどうか。

問4 経路検索でどのアプリやサイトをよく利用しますか。

【回答内容】

経路検索においては、Google マップが最もよく利用されていることが分かり、MaaS アプリ「my route」については、ほとんど利用されていないという結果になった。



問5 MaaS について、これまでの設問以外に意見がありますか。

【回答内容】

- ・既存の経路検索のしくみ以上の機能もしくは特典などの魅力がないと使用する頻度が増えないと思います
- ・そもそも住んでいる地域が自家用車がないと暮らせない。飲食店も少なく特典も得られないと感じる。
- ・私自身も私の周りでもこれまで一度も見聞きしたことがない。ポスターみたいなものも見たこともない。
- ・市政だより等でももっともっと広報すればいいと思う
- ・私も含め、また高齢の方には難しいというイメージがある。
- ・簡単なやり方など、説明をたくさんの方の目に入るようにしてほしい。
- ・現代社会において必要なサービスだとは思いますが、皆が皆スマホ等を持っているわけではなく、持っていない人（本当に必要としている高齢者）のことも考慮していただき、より一層の推進を願っています。
- ・普段自家用車で移動することが多いので、もっぱら Google maps しか利用していない。以前バスを利用した時に myroute を使ったが、便利が良かったので、Google maps と連携できればいいと思う。
- ・公共交通機関が比較的充実している都市部ではなく、それらが壊滅的になっている地方での MaaS の取組が知りたい。昨今、話題の「ライドシェア」や自動運転技術の現状、電動キックボードなどのモビリティを含め、過疎地域での展開にこそ意義があると思う。
- ・MaaS 何と読んで良いのでしょうか？ 恥ずかしいけど分からないので教えて下さい。
- ・メリット、デメリットは？
- ・存在を知りませんでした。もっと広報活動をして欲しい。簡単な利用方法が知りたい。
- ・デジタル社会が不可欠なのは理解出来るが、かろうじて高齢の私は仕事柄操作などには抵抗は無いが、何でもかんでも AI にして良いものなのであろうか？ スマホやパソコンの操作が苦手や持っていない人はどどん世の中から置いていかれる気がするし、何か聞こうにも手段がない人はどうしたらいいのかと思う。
- ・全く知らなかったのでもっと広報活動すると良いと思います。
- ・初めて MaaS を知ったが、高齢者、身体障害者であれば、結局のところタクシー利用の選択肢が増えるのではと懸念する。その点も含めて考えてほしい。
- ・このような取り組みがあったとは、全く知らなかった。利用することによるメリットが詳しく分かれば手に取りやすくなると思う。
- ・決済にしても経路検索にしても他に多くのサービスがあり、それぞれがかなり充実している。それなら機能を一体化すれば使いやすく、また効率的になるのではないか。ただし効果や便宜の面でマイナスになることがなければ普及に寄与するだろう。
- ・アプリ操作などを苦手とする人、高齢者などが使いやすく、安全性などを分かりやすく伝えることができないと、今後の高齢化社会では上手く浸透されないと思う

- ・初めて聞いた言葉でした。調べてみて使い勝手が良さそうでしたら活用します。
- ・すでに載せてるのかもしれないが初めて聞いたので市政だよりなどの無料媒体でもっと広めるべき
- ・わざわざ MaaS を使う理由がない
- ・全く知りませんでした。交通はアプリやじゃらんを使うことが多く機会が今までありませんでした。これを機会に知ることができ学びになりました。
- ・ターゲットとして、高齢者で交通手段の効率、金銭面の負担軽減に使われるといいなと思いました（若者は自分でアプリ等を活用し動く気がします）
- ・30代からすると、自身の好きな経路検索アプリで事足りている気がする。車の運転も問題ないため、公共交通機関を使うシーンも少ない。
- ・足が無いお年寄りに使ってもらうにはアプリでは中々難しいのかなと思う。特にアプリ内決済はステータスの確認も難しい面があると思う。あと 20 年ほどすれば、デジタル機器が扱える方々がお年寄りになるので、活用シーンが増えていくはず。
- ・今一番活用が可能なのは観光客だと考える。新幹線駅、空港で観光客向けにアピールすれば、日本人、外国人問わず活用するシーンは出てくると思う。クーポンとセットすることで、予定になかった観光地へも足を向けて、相乗効果が生まれると思う。
- ・経路検索は使い易いアプリがたくさんあります。MaaS とは名前も聞いたことないし、使いやすければ口コミでも広がって行くはずですがネット上でも見たことはありません
- ・はじめて聞く単語なので全く知らなかったです。福岡市では割と知られているのでしょうか。地域格差でしょうか。
- ・BRT のフリーチケットは使わなくて、車で特典がある店（クーポンみたいな）を巡っても特典を受けられるということはできるのか、できないのか、その辺りまでたどり着けばいいなと感じました。
- ・自分で好みのものをいろいろ探してルートを考え、満足できるものでお得に余暇を楽しむようにしたいけど、それを考えるのが好きな人もいれば面倒だと思う人もいる。自分でインスタ検索してプランを考えるのはだんだんしんどくなってきています。一番求めているのは、やはりある程度のお金を使って（安くし過ぎたら仕事している人に失礼だから）、楽しんでちょっとお得に楽しみたいという気持ちにマッチしたサイトに行くことができれば最高です。
- ・全く知りませんでした。もっと知名度をあげてください。広報をお願いします。
- ・昨年より実証実験が行われているそうで…知りませんでした。なんだか面白そうなアプリですね。
- ・すでに大手企業で使いやすいアプリが多々ある。それよりも使ってもらうには、かなりのコストがかかるのではないかな？
- ・購入したデジタルチケットがスムーズに使用できるようにトップ画面に表示が出来るかと提示しやすくなると思います。
- ・そもそも公共交通機関を使用する機会がほぼ無く、必要性を感じない。免許の無い子供、免許を返納した高齢者にとってメリットのあるものである必要なのかを詳しく知りたい。（既存のアプリとの差）
- ・恥ずかしながら、MaaS を知りませんでした。勉強したいと思います。

- ・一瞬でどの年代も分かりやすい方がいいと思います。なぜ日本語ではないのだろう？そしてまた大文字小文字と混ざっている。
- ・便利なものだと思いますが、私達の年代でも使いこなせるのかが心配です。
- ・特にないが、市町村の過疎地域に力を入れてほしい
- ・MaaS について知らなかったの、これから調べてどのようなものか使用してみたい。
- ・私は毎日ちゃんと新聞を読んでいるつもりですが、その言葉を聞いた記憶がありません。なぜ MaaS なのか、簡単移動案内(と理解していいのか?)アプリではいけないの?まずは言葉の説明が要るようなシステムが高齢者だけのこの時代に向いてない。
- ・私はもっぱら西鉄バス利用ですが、まあ待っていると来ない。いくらコースを教えてくれても時間どおりに来ない乗り物を利用できようか。JR 地下鉄の近くにお住まいの方たちは時間どおりにすすめるのだろうか。
- ・いわば私的な行動に税金使って県が考えてやるべきなのか?初めて知って、さっぱり理解できない。
- ・活用メリットを打ち出してほしい。
- ・MaaS というものについては、これまで生活してきた中で目にしたり、察したりすることはなく、今回初めて知りました。広報が足りないのではないのでしょうか?
- ・西鉄バスが 100 円利用できるときに、ダウンロードしたが、結局 my route がどんなアプリで、誰が運営し、何のためにあるのかなどを全く知らないなと感じた。
- ・MaaS について知りませんでしたが高齢者になり免許返納した時に使えるツールがあることを知りました。高齢者にもわかりやすいものにして頂きたいです。
- ・初めて知ることが多く、いかに自分が情報不足で過ごしていたのかと思いました。
- ・福岡県として促進している事を初めて知りましたので、もう少し広告など知名度を増やす事で利用者も増えていくのではないかと思います。
- ・外出が少ないので利用する機会が無い。一度、体験する機会を持てば活用すると思う。
- ・福岡市、北九州市以外の都市でも観光情報があればいいと思います。
- ・乗換検索ならレッドオーシャンで、すでにサービスは充実している
- ・個人的意見ですが、ラストワンマイルをアプリ内で予約、決済を実現するサービスこそ、これからのローカルモビリティに必要じゃないかとおもいます。そういう意味では、宇美町の「オンデマンドバスのるーと」は、LINE 上でのサービスながら、よくできていると感じています
- ・県の HP で”my route”で検索、「MaaS でまっすぐ」を見たが、なにができるのかよく分からない。「ルート検索から予約・決済までスマホ一つで完結！」と書いてあるが、具体的な画面遷移が分からない。企画乗車券が買えることは分かるが、日常の乗り継ぎに使えるのかどうか、想像がつかない。年寄りにはインストールもハードル、会員登録は心理的にも大きなハードル。その前に知りたい。
- ・具体的に内容を知らなかった
- ・検索の動きが遅いように感じます。
- ・初めて知りました。もっと広まると良いですね。
- ・「my route」は正直知らなかったの、もっと広報した方が良いのではないか。便利なものであれば、使ってみたいという県民も多いはず。

- ・自転車や歩きを取り入れたエコや健康増進につながる交通手段も盛り込めるサービスがあると良いと思う。例えばそれで駐輪場の割引等あれば違法駐輪の問題解決にもつながると思います。
- ・旅行者やお年寄りにもわかりやすいサービスを。それを実行するのが大変なんですけどね
- ・福岡市は西鉄バスがあらゆる地区において運行しています。このバスをうまく利用して、高齢化社会を活かす方法がもっとあるはずだと私は思います。
- ・高齢者の運転による事故がなくなるように、何かしらの工夫ができると思います。
- ・MaaS という言葉自体の認知度を県内から上げて行かないと、良さや便利さがわかっていかないと思います。
- ・様々な機能を盛り込んでいるためか、アプリの動作が重いと感じます。デジタルチケットと本来の my route の経路検索はアプリを分割していいのではないだろうか
- ・「MaaS」と言われて理解できるかどうかがこのアンケートの問いにもあるように、そもそもの取り組み自体の知名度が低いと感じます。もっと分かりやすい表現や言い換えなどがあった方が良いのではないのでしょうか。
- ・もっと使いやすくしてほしい
- ・広報活動をもっと増やして欲しい。
- ・そのような MaaS は知りません。広報活動（紙、テレビ、インターネット等）をもう少し、増やした方が良いと思います。これを機会に見てみたいと思いますが、一般的に認知度が低いと思います。便利さや特典等の内容を調べてみたいと思います。いずれにしても、県が推進しているのであれば、認知度を上げることが必要です。
- ・現時点では、「MaaS」という言葉自体が一般的にはそれほど浸透していないと思われます。また、「my route」というアプリ名は悪くないものの、「route」は、日本人（特にお年寄り）には読みにくいため、カタカナの「マイ ルート」を併記することを基本とした方がよいのではないかと思います。
- ・今回のアンケートで MaaS をはじめて知りました。簡単にネットで情報を集めましたが、
- ・グーグルで目的地検索することとの違いがいまいちよく理解できませんでした。飛行機の予約、到着してからの移動手段などは一括ではなく、分断して検索してしまうかな、と思います。MaaS といった言葉も認知しにくいワードかと思います。「らくらく移動」、「エコエコ移動」など、キャッチーな言葉があると、認知も広がるかな、と思います。
- ・全く情報がない。車での移動が主になっているので、必要性があるのか疑問。そのアピールをしてほしい。
- ・まだよく知らないので情報収集したいと思います
- ・MaaS が認知されていない気がする。聞いたことがなかった。TV CM 等でもっと宣伝すべきではないか。
- ・興味なし
- ・個人的には出張が多いので、県単位でなく全国規模での統一化されたアプリなら使いたい。県外へ出ない方にはいいアプリかと思う。
- ・電池消費量を抑えられるようになると、夏場などスマホの電池消費が多い時期にも抵抗なく使えるようになると思う。
- ・Yahoo の乗り換えアプリや Google がすでに充実している中で後発のアプリは中々入り込み

- にくいのでは…と思います。どのような点が優れているかわかれば使うかもしれません。
- ・是非利用したいので、もっと使いやすく特典があるよう頑張ってください。
 - ・まだ世間に幅広く周知されていないのでまずはどのようなものなのかを知らしめる事が先決だと思います。
 - ・横文字なので馴染がないので高齢者等には認知されづらいと思う。カタカナ表記などはどうか。
 - ・交通手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスがあるとはしなかったもので、これから利用してみたい。
 - ・西鉄のアプリはバス利用の、バス 6 時間利用券のとき利用していました。福岡県がそれに参画しているとは知りませんでした。マイルートは民間企業のアプリではないのですね。
 - ・自治体と民間企業のタイアップ、最近多いですが昔の人間にはどうも理解できない。一企業の営利を行政が応援するイメージがあって。チャリチャリもそうです。
 - ・「この時代の変化 これから民間企業とのタイアップがある」を理解させる工夫がないと理解できません。
 - ・今後内容について確認する。
 - ・すごく便利なアプリだと思ったけど自分も周りの友達とかも知らない人がほとんどだったので、地下鉄の駅とかにポスターとかを貼ってほしい。私の周りだけかもしれないが、SNSで発信されても自分におすすめされた投稿しか見ない人がほとんどだから駅とかのポスターの方が目につくと思う。アプリ自体はとてもしっかりしているので MaaS の知名度をあげれば使いたい人は多いと思う。
 - ・まったく知らなかったもので、もっと知名度を上げないとせっかく良いものがあったとしても宝の持ち腐れだと思う。広告は必要かと思います。
 - ・いまいち、内容についての利用価値がわかりにくい。また、認知度が低く感じる。
 - ・対象者は旅行者でしょうか？平日は電車通勤、休日は車なので、活用例を知りたいと思いました。自動運転が実用化されたら、普段でも利用してみたいです。
 - ・すみません、先ず呼び方がわかりません。
 - ・キャッシュレスはこれから必要ですが、あまり色々多機能あっても使わない。県のアプリならではの便利なアクセスに特化していることをアピールしたほうが良いのでは？
 - ・ただ、普段西鉄のグランドパスで十分なので決済までは必要ないしバスルートしか必要性がないのが現状です
 - ・MaaS という言葉を初めて聞きました。
 - ・MaaS アプリ「my route」はネット広告以外に、バス、鉄道、タクシー、カーシェアなどに車内広告は出していますでしょうか？
 - ・平日は通勤で地下鉄を利用していますが、MaaS アプリ「my route」の広告を見たことがありません。わたしの行動範囲や見る情報に偏りがあるのかもしれませんが、バス、鉄道、タクシー、カーシェアを利用する人にもわかるように、車内広告を出しても良いのではと思いました。
 - ・このようなサービスがあることを初めて知った。利便性があるのであれば、ぜひ使ってみたい。
 - ・QR コードでアプリのダウンロードへのアクセスをより身近にされてはいかがでしょうか

- ・まだ全容がよくわからないので使い方を調べてみたい。
- ・お得なクーポン類はかなりチェックしているほうだが、このアプリに関してはまったく知らなかった。特に子育て世帯に向けてもっとアピールしたほうがよいのではと感じた。
- ・最初はお得に安く使えると助かります。
- ・便利なシステムがあることを知りませんでした。
- ・my route は西鉄バスを利用する際に、6 時間または 24 時間乗り放題のチケットをよく利用しています。とてもよいサービスと思いますが、周囲に話しても知らない人の方が圧倒的に多いです。市政だよりや CM などの媒体を用いてもっと広めてもよいのではないかと感じます。
- ・分かりやすい説明と利用の特典を知らせてほしい。
- ・初めて知りました。まずは検索してみようと思います。
- ・高齢者にもわかりやすい言葉がいいけど my route は使ったことがあるので理解しました
- ・MaaS というもの自体をこのアンケートで初めて知った。なんらかの形で周知されたほうがよいと思う
- ・私は電車の車内でよく広告をみて、便利そうなアプリはダウンロードするが、存在を知らなかった。利用しそうなターゲット層のいるところにもう少し宣伝した方がよいと思います。
- ・MaaS をどこで知りましたか？認知度を具体的に知り広く普及させて欲しい。
- ・MaaS のことを十分理解できていませんので、調べて改めて考えたいとおもいます。
- ・実生活に根付かせることを意識し開発して貰えたらと思います。そのために利用者の声をとことん聞くことと、何のために作るのかぶれない開発が重要だと思います。(問いの中に象徴的な画像などがあると回答しやすいです。他の設問にも言えることですが) ”
- ・MaaS 自体知りませんでした。広報誌等で、具体的に説明し利用方法等を PR をお願いします。
- ・在職中は転勤で全国を回って福岡より東日本での勤務が多い状況でした。その為、福岡の良さは十分理解しているつもりです。移動では今までグーグルや駅すばあとを良く利用していましたが、MaaS の事は知りませんでした。今回初めてホームページを見た状況です。いろいろな連携もあるようなのでこれから利用してみます。
- ・日常的に、さほど積極的に情報を取りに行っているわけではないが、それにしても福岡県の MaaS に対する取り組みは全く知らなかった。あくまで個人的な意見だが、やはり周知がまずは最重要課題と考える。
- ・せっかくなのでいいアプリがあるのに、周囲に知られてないのは勿体無いため、公共施設や学校、各種イベントなどを利用して周知させてもいいのかな？と思う。
- ・myroute に県が関わっているのを知らなかった。もっと打ち出すべき。
- ・使い方を詳しく教えてほしい
- ・主婦でポイ活をしています。決済＝ポイントが貯まる、を意識しているので、どの決済方法を利用するか、どこで買い物するかなどはよく考えて選択しています。ですから、決済方法の充実、利用者を増やすためには大切ななと思いました。また、お得感(Vポイント 楽天ポイントが貯まるや、まとめて決済することで割引率が高い)がないと、新たに利用し始めるには腰が重いかと思いました。

- ・広報活動で、聞いたことある＝安心感につなげることも大切だと思いました。
- ・福岡に住んで長いので Google マップである程度こと足りてる感はある。観光客相手のサービス充実が一番の肝ではないだろうか。
- ・障害者割引適用での情報を提供して欲しい。障害者はネット予約できない場合もあるし、切符購入時も手帳の定時とか手続きに時間がかかり場合によっては乗り継ぎに一本やり過ごす必要も出てくる、スムーズな乗り継ぎとかできればありがたい。
- ・使用したことありませんが、とにかくアプリの使い方や決済までをシンプル、簡単をお願いします。毎回パスワードをもとめられたりすると、使うのがわずらわしくなります。初期登録も簡単をお願いします。
- ・MaaS 自体、まったく存じ上げませんでした。周知を上げるために広報に力を入れていただけたら幸いです。福岡は旅行者も多いので、周知をうまくすればかなりの需要はあるのではないのでしょうか。（英語版や韓国語版もうまく活用できるようにしてほしい）クーポンや飲食店の情報など盛り込めば、かなり活気ができるのでは。
- ・今回 MaaS というものを初めて知りました。しかし自分の友人や職場の人たちに知っているかどうか確認したところほとんど知りませんでした。なのでもう少し MaaS というものを広めるところから初めて行くべきかと思います。
- ・MaaS についてまったく知らず唖然としてしまいました。西日本新聞を購読していますが、まったく知りませんでした。自分はグーグルマップを多用しています。理由は、まず地図から行きたい場所やホテルが検索でき、地図上のこの辺に行きたい、この辺のホテルを探す、この辺のホテルの値段が表示され、選択する。という過程を取ります。その後、そのままこのホテルへの行き方（自動車、電車、飛行機等の交通手段）と時間が掲示されおおよその旅行行程が自分の頭の中に入ります。そのあと近隣のお店の情報を探します。グーグルマップのこのような使い方を超えるとするならば、行きたい場所の自分の条件にあったホテルをすぐに見つけて、最安値の交通手段が表示できる等になると思います。これを一から作るよりグーグルマップと提携する方が簡単な気がします。
- ・MaaS という言葉は初めて聞いた。周知が足りない。観光？地域の移動の利便性？何を目的にしているのか明確にすべきである。わざわざ、また、売り場でチケットを買わなければならないと面倒に感じる。アプリの中で完結していろんな移動手段に使えるとスマホ1つで、どこにでも行けて便利である。高齢者もスマホ1つで移動でき福祉にもつながる。高齢者のスマホ利用のハードルを下げ、拡大することがキーでもある。
- ・必要性がないから興味関心がありません。少し学習しないとイケません。
- ・今回初めて知ったので早速試してみます。
- ・年配の方でも分かりやすく
- ・個人的な要望で恐縮なのですが、“My Route”のクーポンに西鉄バスの天神～新飯塚ルートを入れてほしいです。今あるクーポンの路線はほぼ利用しないので最近アプリを全く使っていません。
- ・グーグルアプリのレビュー見ても低評価が多いので心配ですね。学生とかにモニターになってもらわないとなかなか広まらないのでは。もしくはテレビ番組でアプリを使って旅の対決をしてもらうとか。経路検索アプリはレッドオーシャンだと思いますが、my route は何年スパンぐらいでどのぐらいの利用が広まるのを想定されているのでしょうか。

- ・今まで MaaS を知りませんでしたので、広告や CM を利用して情報を広めていただければ良いかと思います。
- ・これからどのように発展していくのか、楽しみです。
- ・MaaS アプリ「my route」に交通 IC カード情報を同期させ、決済・チャージをアプリで完結できるようにしたら良いと思う。複数のカードをアプリ内で管理できたり、PayPay など電子決済のお金を利用してチャージができれば、より便利になるといえる。そのような機能のあるアプリなら利用したい。
- ・初めて知りました。もっと宣伝をした方がよいと思います。
- ・周辺観光情報などの紹介やリンクなど、課題はまだ非常に多いと感じます
- ・これを進めるための補助事業で、一時的な利用増加はあり得ますが、持続的な維持運営をどうやって実現するかを、最初の段階から十分に検討し計画して、実現することを行ってほしい
- ・各自治体の広報誌に紹介記事を載せてもらう。自治体のホームページに載せてもらい、SNS で通知してもらう。自治体が考えた観光ルートを毎月ホームページに載せる。単独市町村ではなく、エリア考えてもらう。
- ・シェアリングカーにアプリを入れて、観光客に利用してもらう。具体的にはテレビ番組の中で、タクシードライバーにアプリを使ってもらって目的地まで行ってもらう企画を放送してもらう。
- ・MaaS はこれから重要になっていくと思われるが、MaaS が県民に浸透していない。使い方をわかりやすく説明した広報も不十分だと思う。まだまだこれから改善点がある。
- ・高齢者にも使いやすい機能が必要と感じる
- ・以前のマップがわかりやすかった。変更したのか使いにくくわかりにくくなった。周りのお店や施設の位置関係がわかりにくく距離感もつかめない。使わない使いにくい要らない機能は邪魔にしかならない。
- ・なんでもアプリになっていき、時代に取り残されてきている自分がいます。弱者にやさしいものか、というのは重要な視点で、障がい者、外出に課題を抱える人、高齢者なども利用しやすいのかどうか。便利だからと使える人だけで満足していないのは大切だと思います。
- ・ヤフー乗り換え案内でも結構便利なのでそれプラス色々な特典、情報があればかなり魅力です。ただしそのやり方、アプリのとり方などもっと説明、PR して欲しいです。
- ・「my route」対応の公共交通機関を増やし、対応している公共交通機関であっても、もっと乗車券の種類を増やす。
- ・MaaS がある事など全く知りませんでした。特に高齢者など外出する機会が少ない私など、全く知りません。でも病院などどうしても外出しなければいけない時、今は主人の運転で車で行けますが、年齢的に難しくなってくる時があり、その時はどうするか？が一番の問題で、市のサービスなど調べてもうつ手がありませんでした。MaaS が全ての県民が利用できるのか？わかりませんが、私と同じ様に不安に思っている人も決して少なくは無いと思います。もっと積極的に広報して頂き、県民が利用できる様なシステムにして頂ければと思います。
- ・存知ませんでしたので、意見はありません。

- ・スマホ利用者限定のアプリは便利ですがスマホを使えないまたは、使わない人には恩恵がない。公費で運用するのならもっと情報弱者が恩恵を受けられるように配慮してほしい。(例えば図書館や役場で公営でその場所使用限定でスマホやPCを設置し情報弱者にも使えるアプリにしてほしい)
- ・若い方々は直ぐわかるでしょうけど、もう少し高齢者にもわかりやすくしてもらいたい。
- ・個人的な意見として、スマホアプリやAIに頼ってばかりなのも如何かなと思う。スマホを皆が皆持っているとも限らないし、エラーやバグが起きたら、回復までに時間や経費もかかるし、最終的には人だと思う。
- ・県南の山間地で生活しているので必要性をあまり感じないです。
- ・MaaSについては知らなかったなので、調べたい。知らない人が多いと思うので広報活動を充実してほしい。
- ・良いものも知らないと広がりにくく、もったいないので、告知の方法を変えて広めてほしい。
- ・MaaSというものを初めて聞いたので、もっと若い人達や田舎に住んでる人達にも知ってもらえるように広告やSNSでの発信をしたらいいと思います。
- ・周囲からも聞いた事はありませんでした。広報誌も見逃したおそれがあります。西鉄さんとコラボレーションされたら如何でしょうか？
- ・すみませんが、知らないため意見は、ありません。
- ・知名度向上のための広報をあらゆる媒体で行っていく。
- ・デジタル機器が苦手な人など誰でもが手軽に利用できるサービスになればよい。

ジェンダー平等・男女共同参画社会の推進について

【調査の目的】

経済のグローバル化や少子高齢化、人口減少など、私たちを取り巻く環境が急速に変化していく中、誰もが、社会のあらゆる分野で自分に合った生き方を選択し、個人として持つ能力を発揮することができるジェンダー平等・男女共同参画社会の実現は、大変重要です。

福岡県では、「第5次福岡県男女共同参画計画」（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定し、「男女がともに個性と能力を発揮できる豊かで活力ある社会」等を目指し、様々な施策・事業を推進しているところです。また、DV（ドメスティック・バイオレンス）をはじめとする女性に対する暴力は依然として深刻であり、社会的・経済的に厳しい状況にある女性への支援も、ジェンダー平等・男女共同参画社会を実現していく上で重視すべき課題です。

また、令和3年6月には「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が改正され、男女を問わず立候補や議員活動をしやすい環境整備等を行うため、啓発活動や性的な言動等に起因する問題への対応等さらなる取組が求められています。

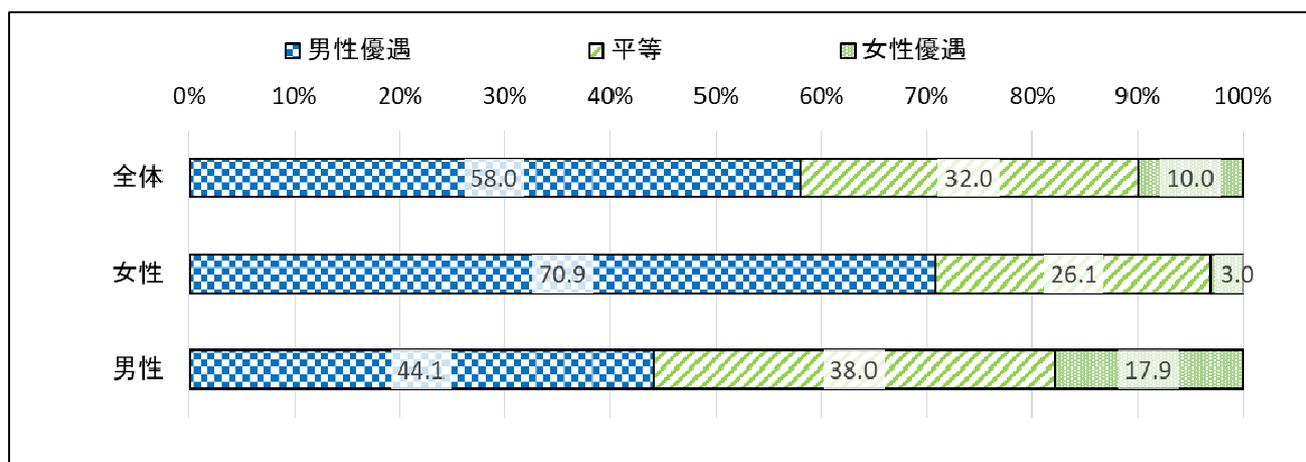
こうしたことから、今後のジェンダー平等・男女共同参画を推進する施策を検討・企画する上での基礎資料とするため、県民の皆さんのジェンダー平等・男女共同参画に関する意識や実態を把握し、また、DVの被害者支援は、被害にあわれた方が早期に相談されることが肝要であることから、その相談窓口の周知度等を把握するため、調査を実施するものです。

(人づくり・県民生活部男女共同参画推進課)

問1 あなたは、普段の生活で男女の地位が平等だと感じますか。

【回答内容】

全体では、「男性優遇」と感じる人が58.0%、「平等」と感じる人が32.0%、「女性優遇」と感じる人が10.0%となっている。一方で、男性において「男性優遇」と感じる人は約4割程だが、女性においては約7割を占めるなど、女性のほうがより強く「男性優遇」と感じていることがわかる。

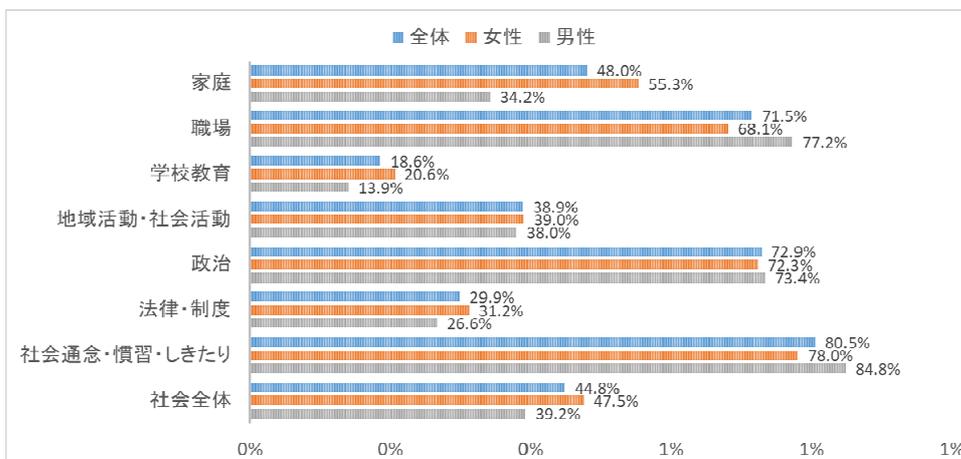


問1-2 (問1で「1. 男性優遇」または「3. 女性優遇」と答えた人にお尋ねします。)
あなたは普段どの場面で男性優遇または女性優遇と感じますか。

【回答】

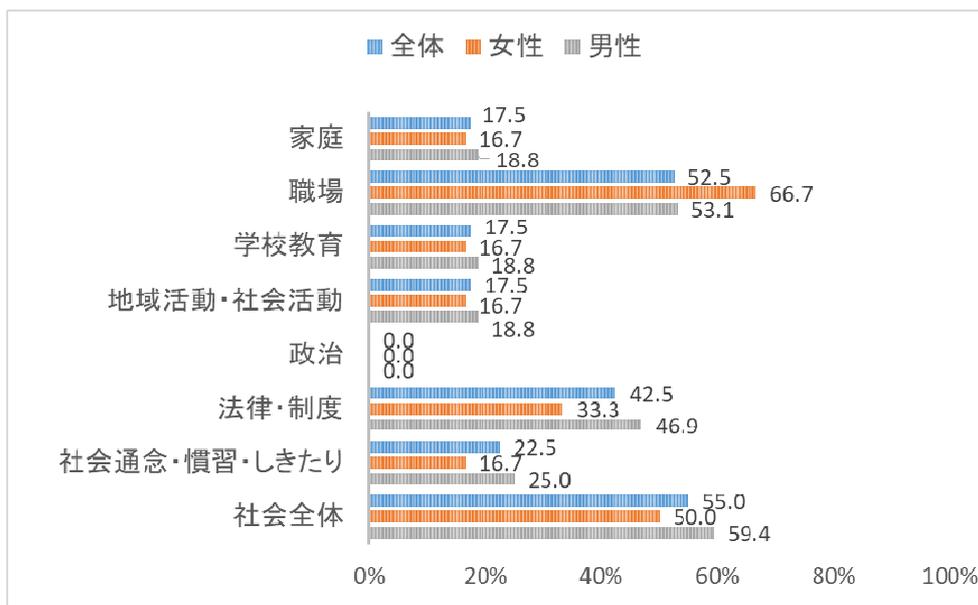
問1で「1. 男性優遇」と答えた人では順に、「社会通念・慣習・しきたり」、「政治」、「職場」を挙げた人の割合が多く、「3. 女性優遇」と答えた人では、「職場」を挙げた人の割合が最も多かった。また、「1. 男性優遇」と答えた人では回答における男女差が少なかつたのに対し、「3. 女性優遇」と答えた人では、「家庭」、「地域活動・社会活動」において男女の回答に大きな差がみられた。

「1. 男性優遇」と答えた人



(回答者数：全体 221 人、女性 141 人、男性 79 人、その他 1 人)

「3. 女性優遇」と答えた人

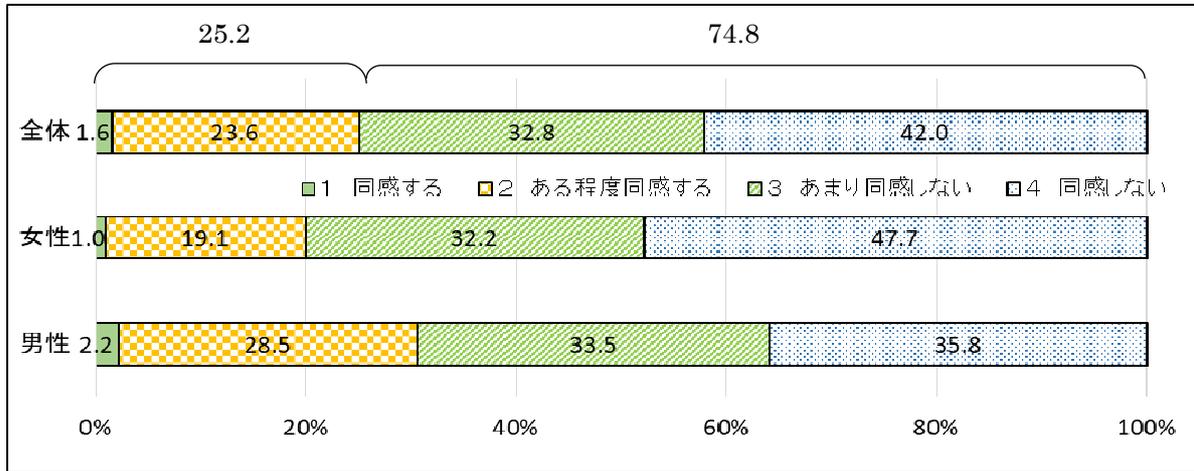


(回答者数：全体 38 人、女性 6 人、男性 32 人)

問2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

【回答内容】

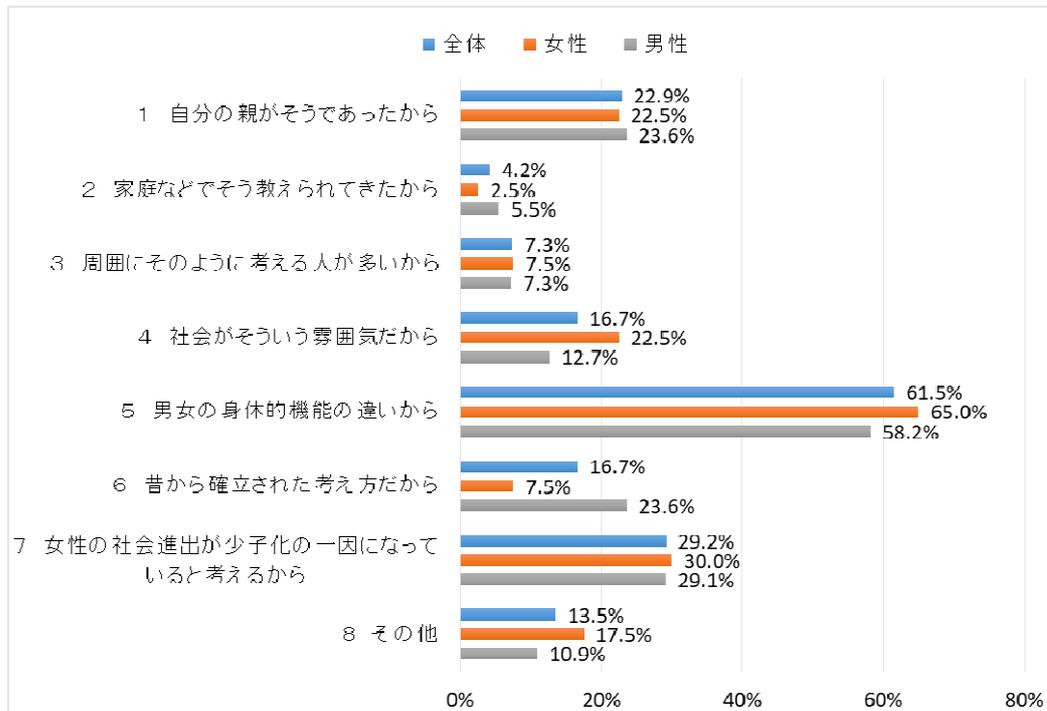
全体では、「同感する」「ある程度同感する」を合わせた「賛成派」が25.2%で、「同感しない」「あまり同感しない」を合わせた「反対派」が74.8%となっており、性別役割分担意識を容認しない人の割合が多くなっている。



問2-2 (問2で「1. 同感する」、「2. ある程度同感する」と答えた人にお尋ねします。) あなたが、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、そのように考える理由は何ですか。(回答は2つまで)

【回答】

全体では、「男女の身体的機能の違い」を挙げる人(58.2%)の割合が最も多く、次いで、「女性の社会進出が少子化の一因になっていると考えるから」(29.1%)となっている。



(回答者数：全体 96人、女性 40人、男性 55人、その他 1人)

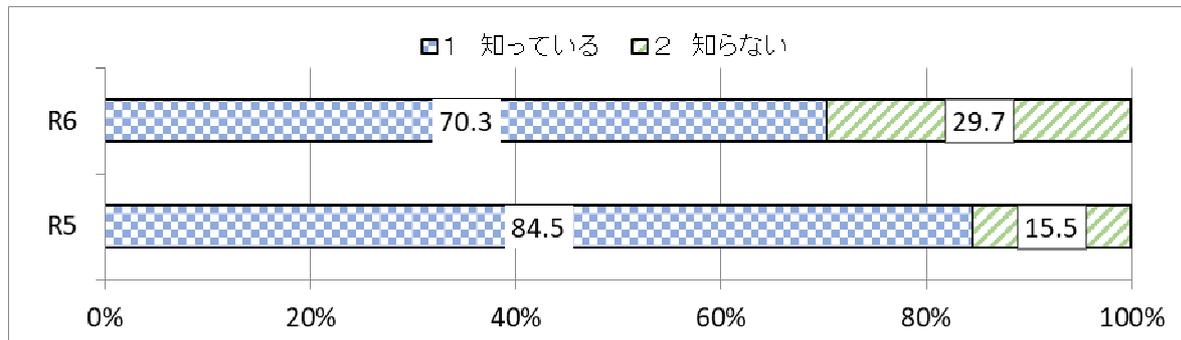
問3 あなたは、困難な問題を抱える女性が相談できる窓口があることを知っていますか。

※困難な問題を抱える女性とは

生活困窮、性暴力・性犯罪被害、予期せぬ妊娠、DVや虐待、孤立・孤独など、日常生活や社会生活を円滑に営む上で、困難な問題を抱えている方のこと。

【回答内容】

困難な問題を抱える女性が相談できる窓口があることを知っているという回答した人の割合は、70.3%と、昨年の84.5%から大きく減少したが、7割の認知度がある。



問4 あなたは、「交際相手からの暴力」（いわゆる「デートDV」）について、知っていますか。

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは

配偶者（事実婚を含む）や交際相手からの暴力をいいます。

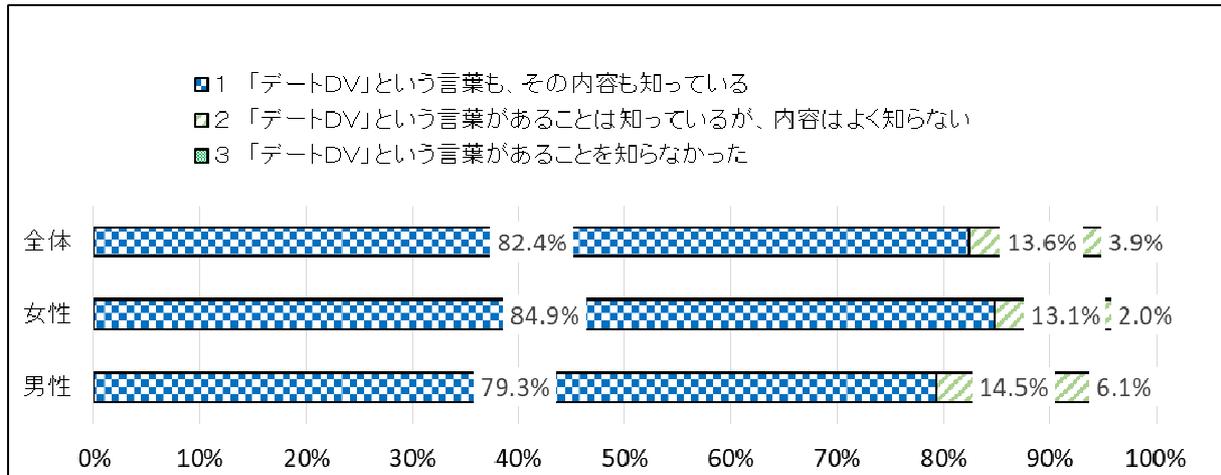
【DVの事例】

身体的暴力	殴る、蹴る、物を投げつける など
精神的暴力	大声でどなる、無視する、外出・電話を制限する など
性的暴力	性行為の強要、避妊に協力しない など
経済的暴力	借金をさせる、生活費を渡さない など
子どもを利用した暴力	子どもに悪口を吹き込む など

※県内12ヶ所の配偶者暴力相談支援センター、男性DV被害者のための相談ホットライン、LGBTの方のDV被害者相談ホットラインで、相談を受け付けています。

【回答内容】

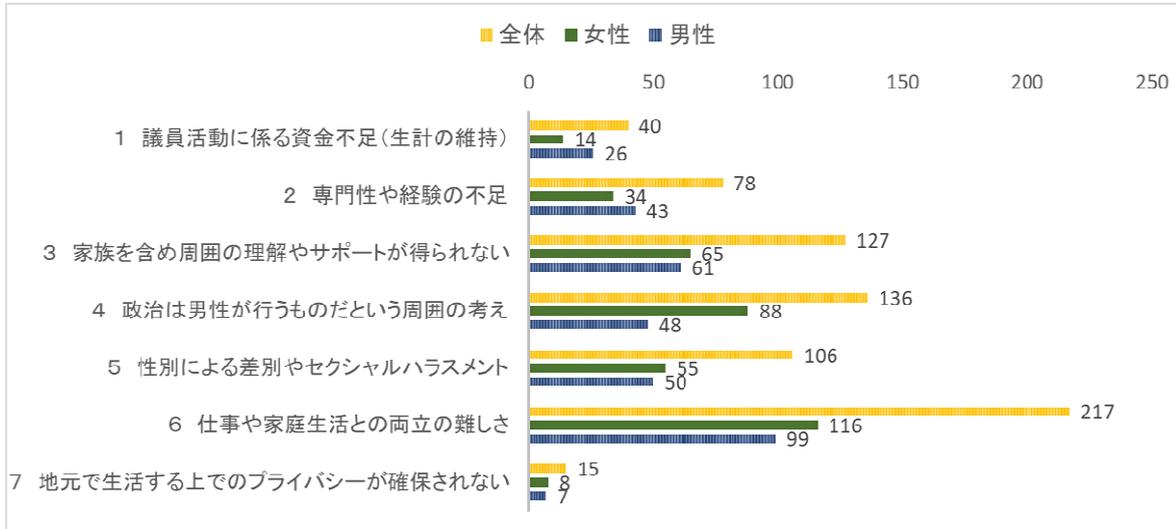
全体では、「言葉も、その内容も知っている」が82.4%、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」が13.6%、「言葉があることを知らなかった」が13.4%となっている。



問5 政治分野における男女共同参画の推進に向けて、女性が政治に参画する上で、何が課題となっていると思いますか。(回答は2つまで)

【回答内容】

男性、女性ともに「仕事や家庭生活との両立の難しさ」の回答が最も多く、次いで女性は「政治は男性が行うものだという周囲の考え」が、男性は「家族を含め周囲の理解やサポートが得られない」が多くなっている。

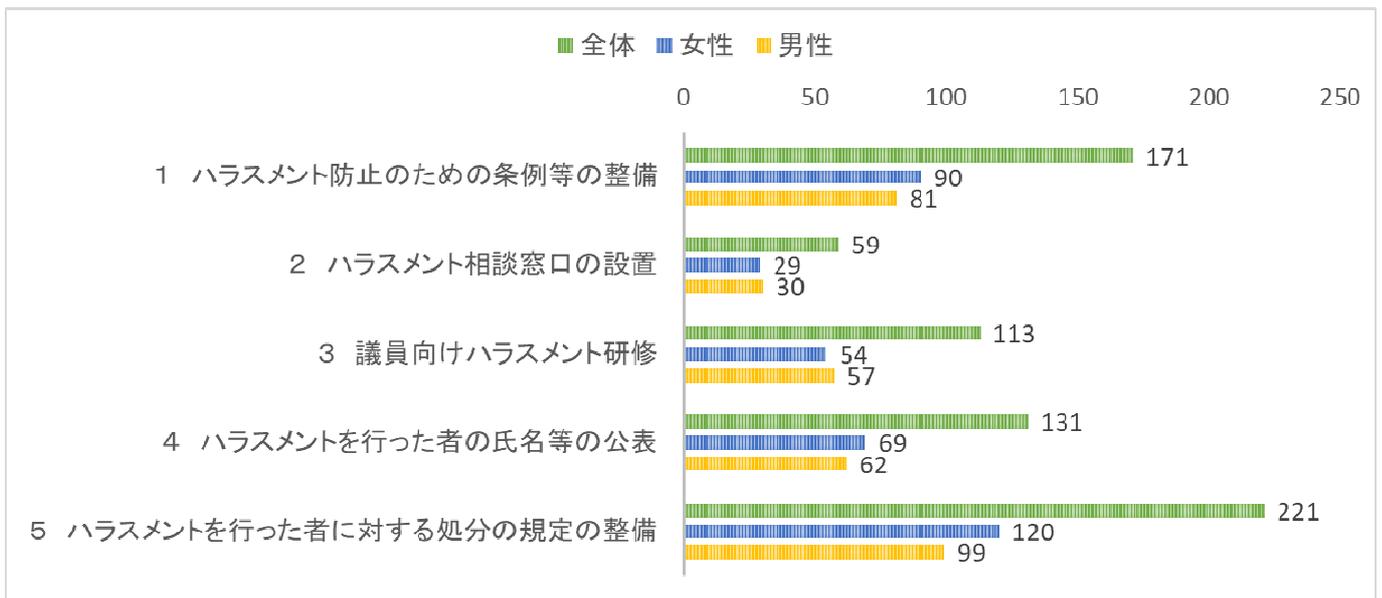


(回答者数：全体 381 人、女性 199 人、男性 179 人、その他 3 人)

問6 政治分野におけるハラスメントを根絶し、女性をはじめ誰もが政治に参画しやすい環境を整えるためには、どのような取り組みが有効だと思いますか。(回答は2つまで)

【回答内容】

男性、女性ともに「ハラスメントを行った者に対する処分の規定の整備」が最も多く、男性と比較してより多くの女性が「ハラスメントを行った者に対する処分の規定の整備」を望んでいる。その他の項目について回答内容に大きな男女差は見られない。



(回答者数：全体 381 人、女性 199 人、男性 179 人、その他 3 人)

問7 男女共同参画の推進について、これまでの設問以外に意見はありますか。

【回答内容】（意見抜粋）

- ・ 小さな頃からの学びは重要なので、小・中学校でもジェンダー平等を考える時間があると良い。
- ・ 社会人もジェンダーや多様性、男女共同参画推進について会社で学べるような機会が増えて欲しい。若い世代が学ぶのも大切だが、企業や組織の幹部も学ぶことで互いの理解ができる。
- ・ 法や環境を整備しても最終的には個々人の意識が変わらないことには問題の解決にはならない。県民一人一人への研修（講座等）が重要。
- ・ 街の女性トイレの個室で「DV」に悩んでいる人向けの相談案内を目にしたが、一人になる場所で目にできるのはとても良いと思う。
- ・ 政治やあらゆる分野で役職者が男性と女性同じ比率でいると幅広い考え方が出来る。
- ・ 政治分野でのジェンダー平等が進むことによって社会全体でのジェンダー平等が促進されるので、県政のポイントとして“男女の政治参画の平等の実現”が重点的に取り組むべき課題である。
- ・ 女性の意見を反映するために、選挙の際は女性枠を作るなどのアファーマティブアクションが必要。
- ・ ジェンダー平等・男女共同参画の推進は、昔と比べると少しずつ前進している。これからも歩みを止める事なく推進して行くべき。

令和6年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：資源の有効利用について

【調査の目的】

日本国内では、売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう「食品ロス（フードロス）」が年間472万トン発生しています。これは、国民一人当たりで換算すると、毎日お茶碗1杯分（103g）に近い量を捨てている計算になります。

本県では、この食品ロスの削減のため、平成28年度から事業者や県民の皆様と行政が一体となって県民運動として取り組んでいます。

また、海洋プラスチックごみ問題を背景に、本県では、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用削減やプラスチック代替品の利用促進などに取り組んでいます。

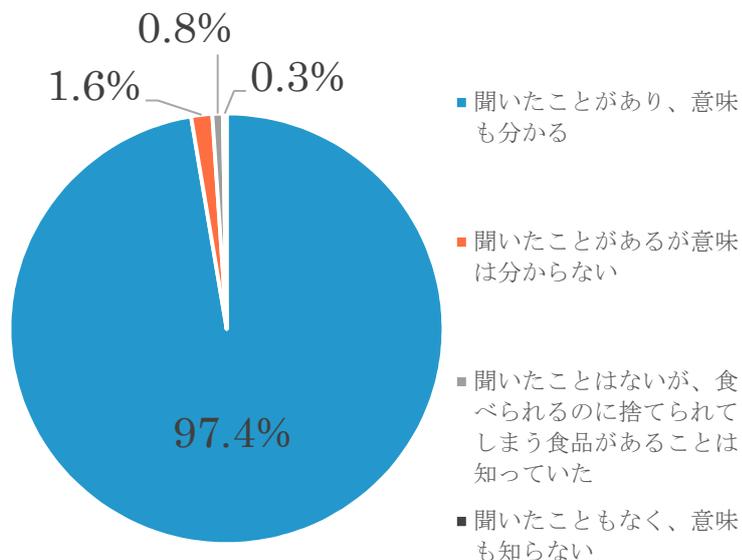
プラスチック代替品の利用促進にあたっては、まず、プラスチック代替品にはどのようなものがあるのか、なぜ環境に優しいのかを知ってもらうことが必要であり、次のステップとして、環境に配慮した商品を選ぶという意識の醸成を図っていく必要があると考えております。

つきましては、食品ロス削減やプラスチック代替品に関して、皆様の御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(環境部循環型社会推進課)

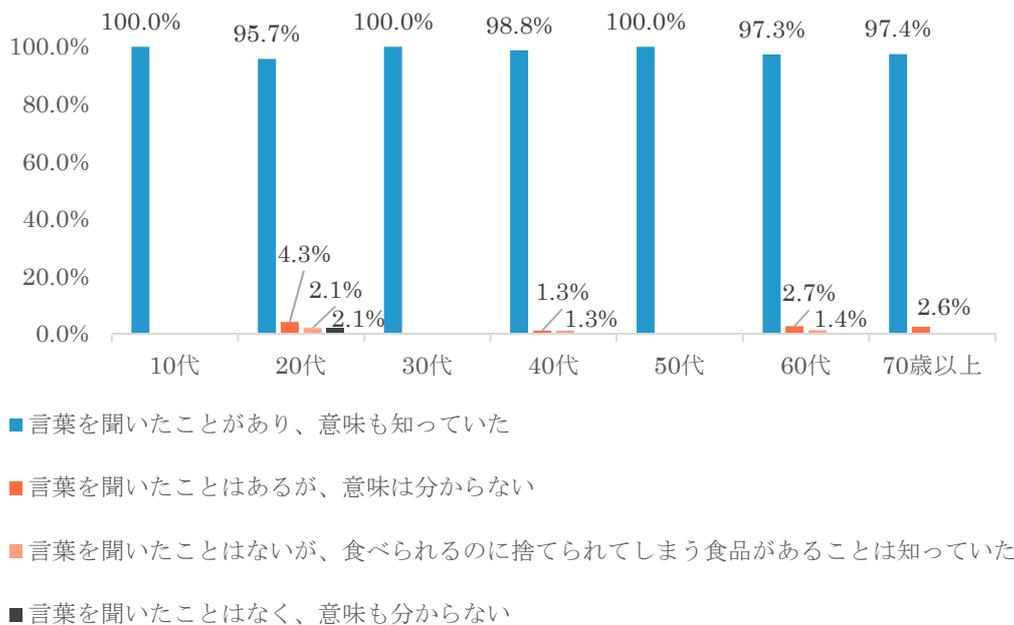
問1 「食品ロス（フードロス）」という言葉について聞いたことがありますか。

また、その意味を知っていましたか。当てはまるものを一つ選んでください。（回答者数：381）



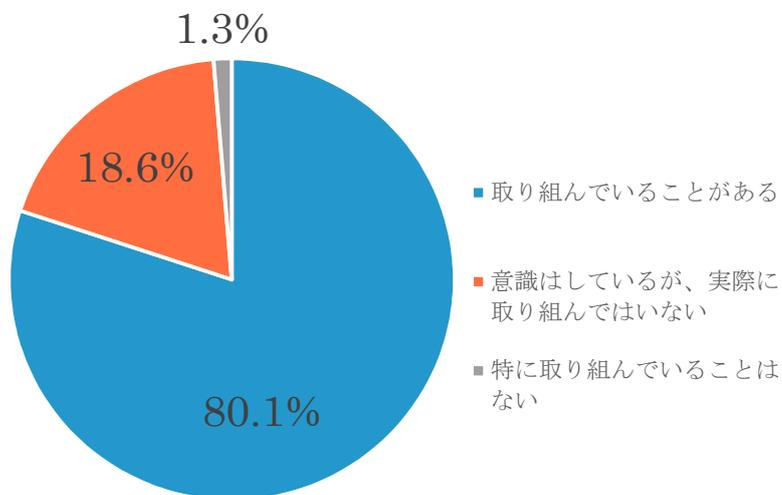
「言葉を聞いたことがあります、意味も知っていた」と回答した過去データ
 令和3年度：97.2%
 令和4年度：96.2%
 令和5年度：97.8%
 令和6年度：97.4%

年齢別回答



- 「意味も知っていた」と回答した割合は昨年度より若干減少し、97.4%となった。
- 言葉の意味を知らない割合はどの年代においても非常に小さいが、比較的20代で高い結果となった。

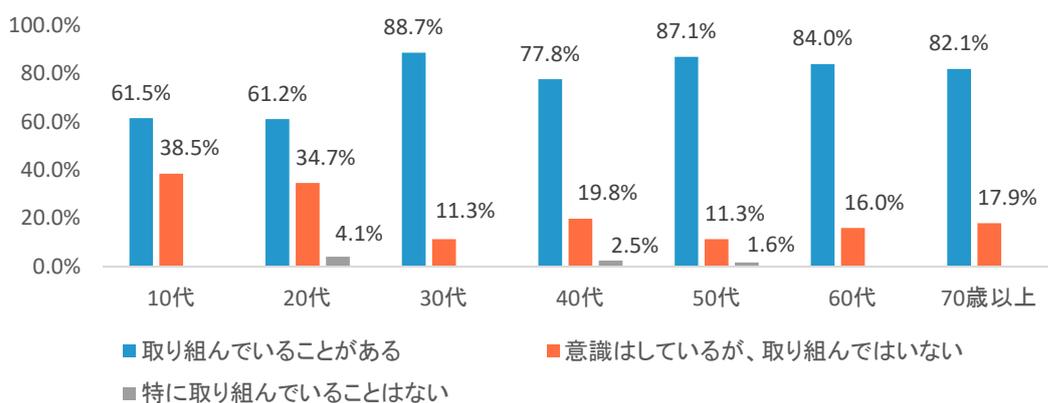
問2 実生活の中で、食品ロス削減に取り組まれていますか。
 当てはまるものを一つ選んでください。(回答者数：381)



「①取り組んでいることがある」
 「②意識はしているが実際に取り組んではない」 過去データ

令和3年度	①64.5%	②29.4%
令和4年度	①64.7%	②29%
令和5年度	①83.6%	②13.5%
令和6年度	①80.1%	②18.6%

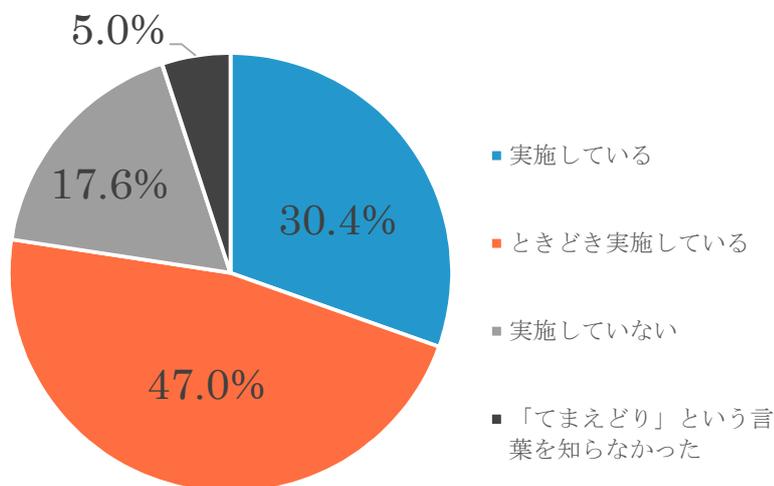
年齢別回答



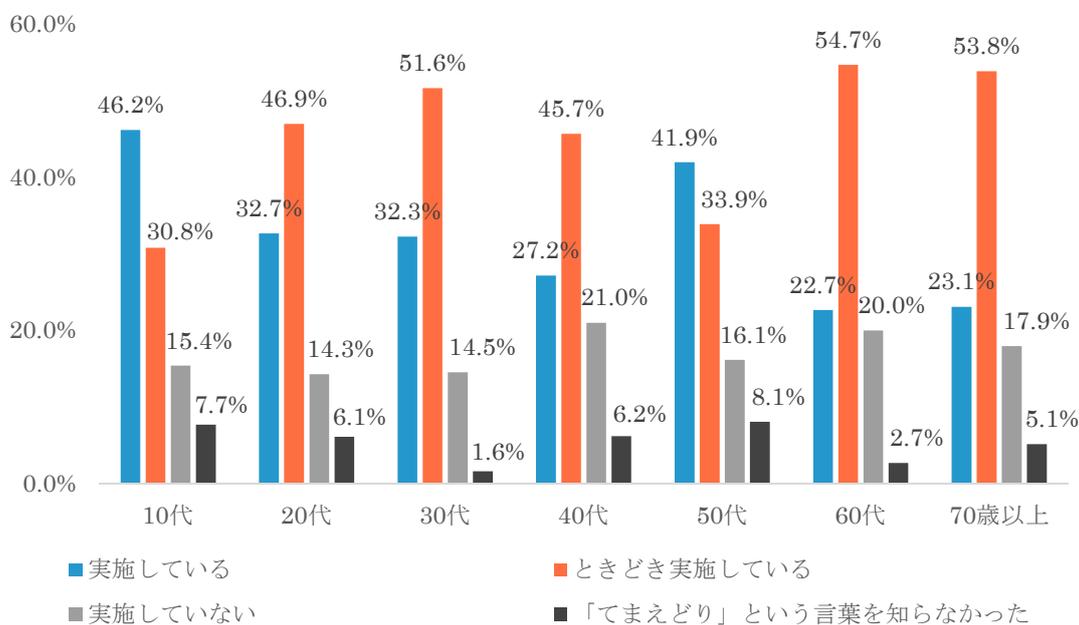
- 「取り組んでいる」と回答した割合は、昨年度から減少し、80.1%となった。
- どの年代においても「取り組んでいることがある」と回答した人の割合が1番高いが、10代および20代の「取り組んでいることがある」割合が61%代と低いことが分かる。

問3 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある消費・賞味期限の近い商品を積極的に選ぶ行動のことを「てまえどり」と言います。

購入してすぐに食べる場合に「てまえどり」を実施していますか。(回答者数：381)



年齢別回答

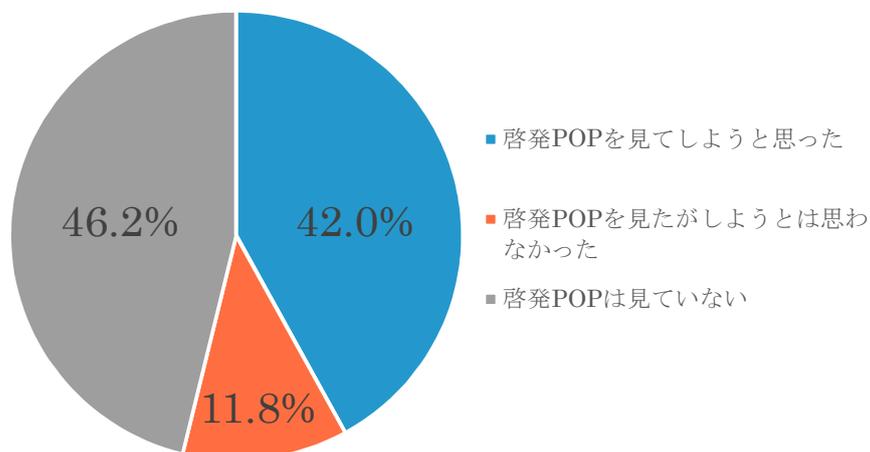


- 「てまえどり」を実施している、もしくはときどき実施している人の割合の合計は 77.4% となり、4 分の 3 以上の人意識して「てまえどり」を実施したことがあるという結果となった。
- 「てまえどり」という言葉を知らなかった人の割合は 5.0% であり、言葉の認知度は高いことが分かる。

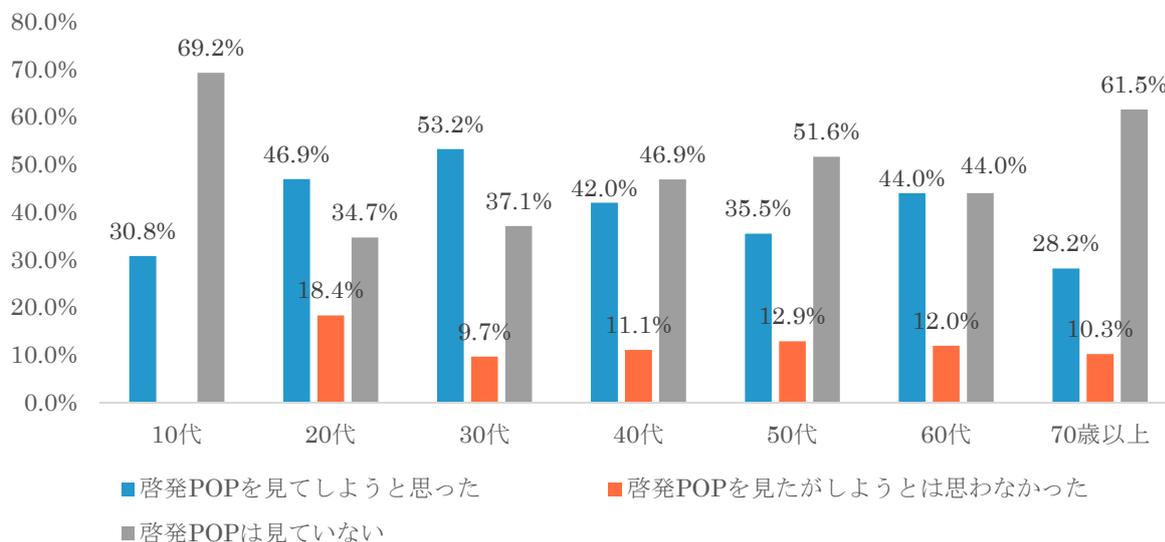
問4 令和5年度、県内のコンビニ・スーパーマーケット13社の店舗で10月の食品ロス削減月間に合わせて「てまえどり」の啓発POPを掲示しました。

店舗で「てまえどり」の啓発POPを見たことにより「てまえどり」をしようと思いましたが、

(回答者数：381)



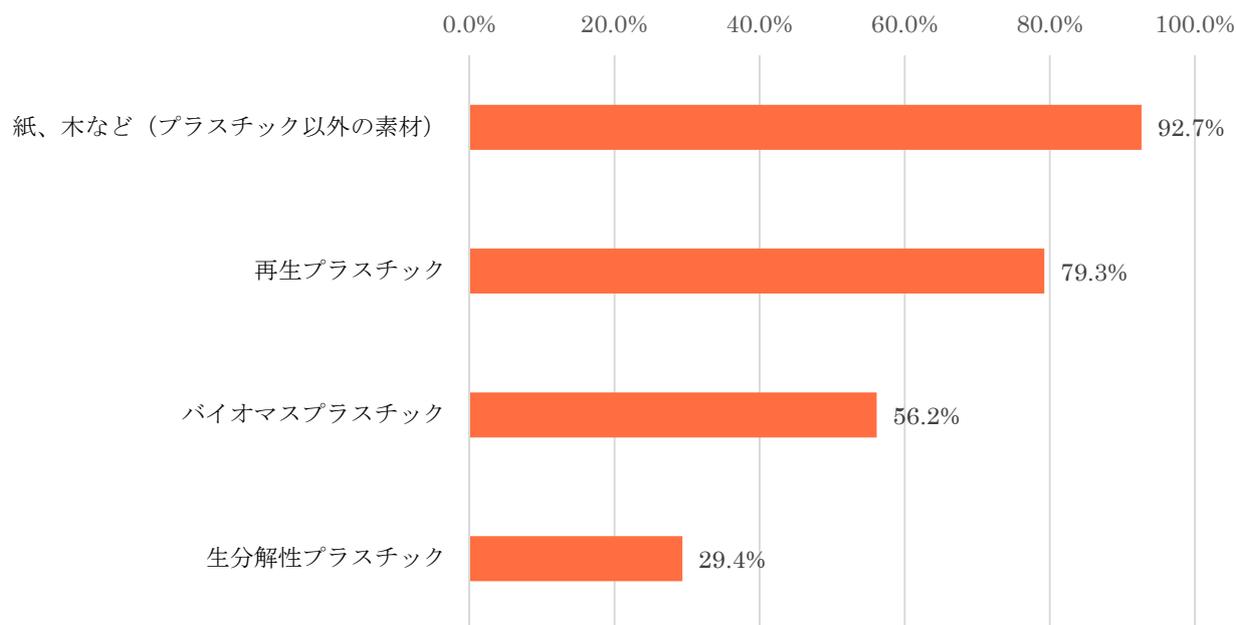
年齢別回答



- 啓発POPを見ていないと答えた人の割合が一番大きく46.2%であった。
- 次いで「てまえどり」啓発POPを見たことにより、「てまえどり」をしようと思った人の割合は42%であり、POP掲示による啓発効果が伺える。

問5 次に挙げたプラスチック代替品の中から、知っているものを全て選んでください。

(回答者数：381)

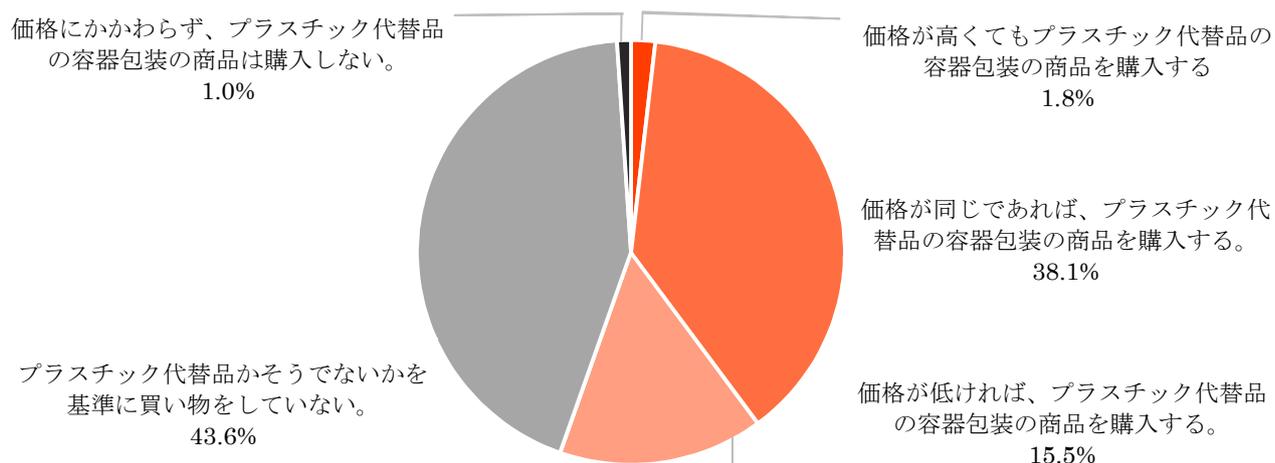


○紙や木など、身近にある素材については認知度が高い。

○バイオマスや生分解性など、素材の性質に由来した素材については、一定程度認知度されている。

問6 普段の買い物の際、商品自体は同じもので、商品の容器包装が石油から作ったプラスチックでできたものと問5で挙げたプラスチック代替品でできたものがあった場合、プラスチック代替品でできた容器包装の商品を購入する条件について、当てはまるものを一つだけ選んでください。

(回答者数：381)



○「プラスチック代替品かそうでないかを基準に買い物をしていない」という回答が多い。

○一方で、「価格が同じであれば、プラスチック代替品の容器包装の商品を購入する」とした回答も多いことから、環境に配慮するという意識が高まっているようにみられる。

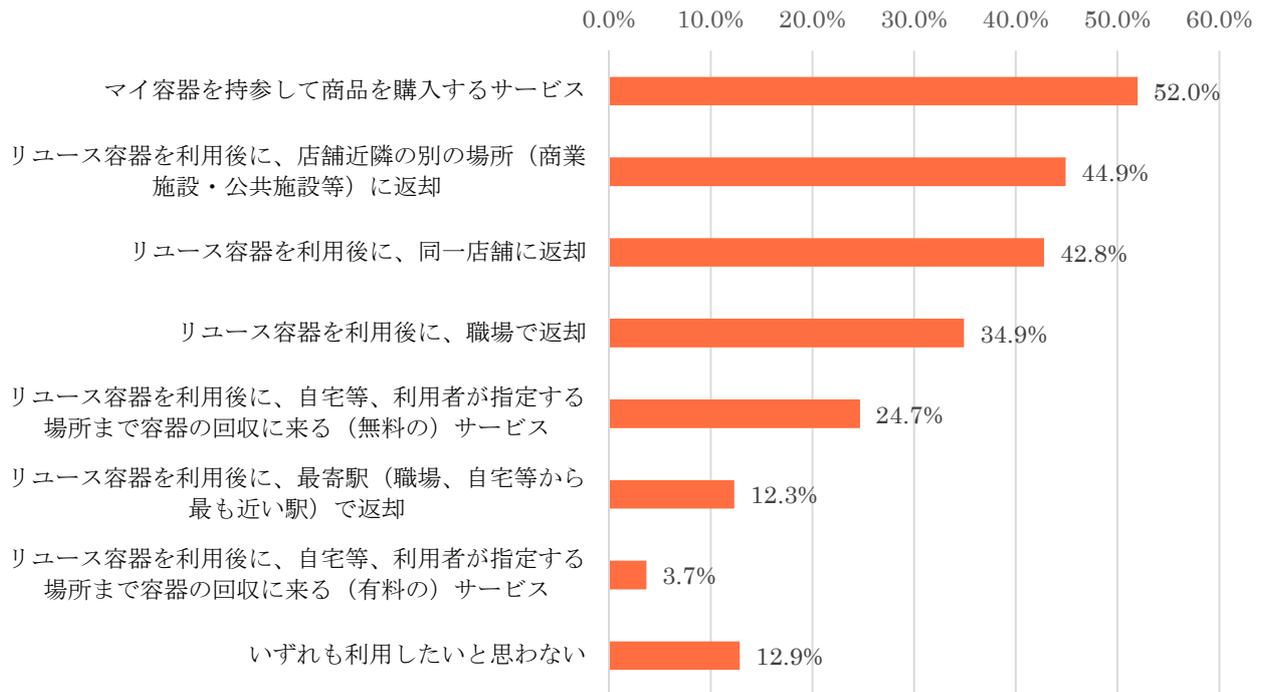
問7 プラスチックごみ削減に向け、使い捨ての容器に変えてリユース容器※を利用可能な店舗や、マイ容器を持参のうえ量り売りで購入する店舗が、近年改めて注目されています。

そこで、食品や飲料などの商品を購入する際、どのような容器や返却方法であれば利用したいと考えますか。以下のサービスについて、利用したいと思われるものを全て選んでください。

(回答者数：381)

※リユース容器

本設問においては、洗浄により繰り返し利用が可能で、返却が必要な容器を指します（マイ容器は除きます）。



○マイ容器を持参して商品を購入するサービスは、返却が必要なリユース容器で商品を購入するサービスに比べ、受け入れられやすい。

○リユース容器で商品を購入するサービスの中では、「店舗近隣の商業・公共施設等に返却」「同一店舗に返却する」といった方法は4割以上の方が利用したいと回答している。

令和6年度
県政モニターアンケート
＜調査結果＞

テーマ：理想とする住まいについて

福岡県建築都市部住宅計画課

理想とする住まいについて

■調査の目的

県民の暮らしを豊かなものにするためには、人生の大半を過ごす欠くことのできない住まいが、家族と暮らし、人を育て、憩い、安らぐことのできる空間であり続けるとともに、社会生活や地域のコミュニティ活動を支える拠点としての役割を果たすことが求められます。

そのためには、こどもから高齢者、単身世帯から家族世帯といった様々なライフステージやライフスタイルに応じた安心して生活できる住まいが確保されていることが重要です。

このため県では、福岡県住生活基本計画（※）に基づき、「共に支えあい 安心して暮らせる魅力豊かな住生活」を目指すべき住生活のすがたと位置づけ、住まいに関する施策を推進しています。

この調査では、理想とする住まいについて皆さんの御意見をお聴かせいただき、課題を整理したうえで、今後の施策の参考とさせていただきたいと思えます。

※ 福岡県住生活基本計画とは

- ・福岡県の住生活の安定の確保及び向上の促進に関して基本となる計画です。
- ・社会経済情勢の変化などに対応するため、おおむね5年程度で見直しを行います。
- ・計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。

■実施期間

令和6年7月12日～令和6年7月31日

■回答者の構成

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊	
	人数(人)	構成比					
総数	人数	381	96	199	56	30	
	構成比		25.2%	52.2%	14.7%	7.9%	
性別	女性	199	51	103	29	16	
	男性	179	43	95	27	14	
	その他	3	2	1	0	0	
年代別	20代以下	62	13	35	9	5	
	30代	62	17	31	10	4	
	40代	81	21	41	12	7	
	50代	62	16	33	10	2	
	60代	75	19.7%	22	38	5	10
	70代以上	39	10.2%	7	21	10	1

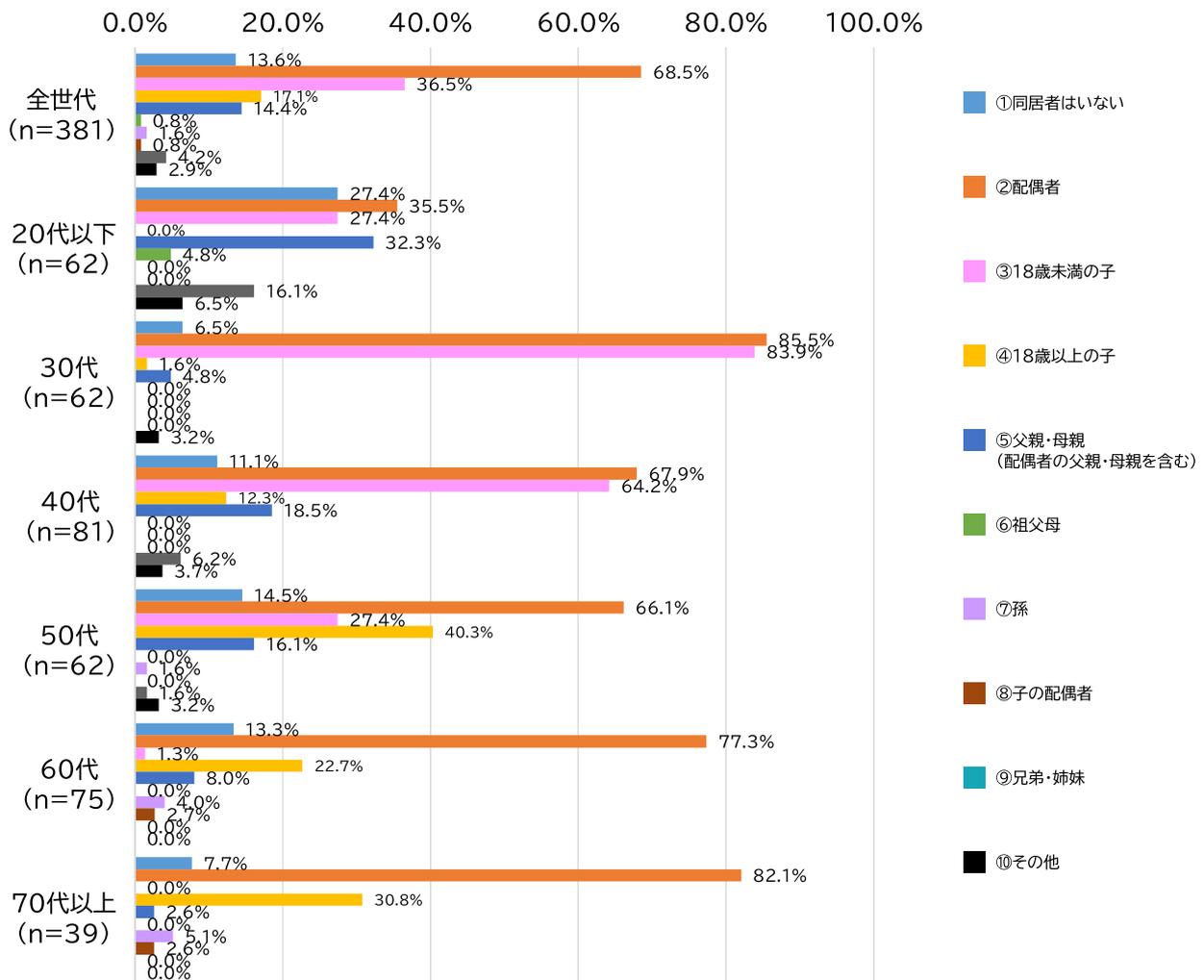
○モニター数 400人
○回答数 381人
○回収率 95.25%

■調査結果

問1 あなたが現在お住まいの住宅において、同居されている方をお教えてください。
次の中から当てはまるものを【全て】選んでください。

現在の住まいにおける同居者

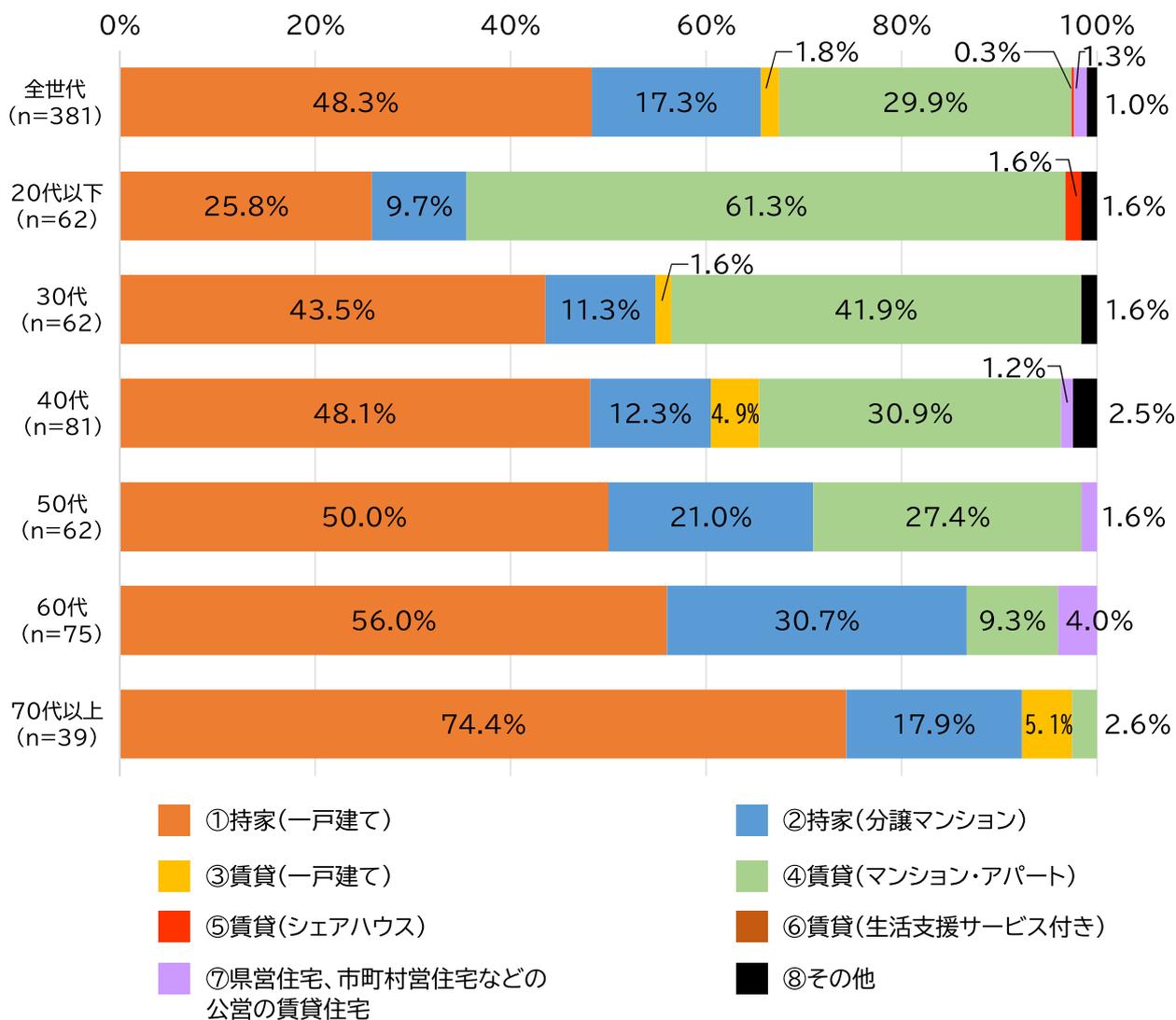
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①同居者はいない	52	17	4	9	9	10	3
②配偶者	261	22	53	55	41	58	32
③18歳未満の子	139	17	52	52	17	1	0
④18歳以上の子	65	0	1	10	25	17	12
⑤父親・母親(配偶者の 父親・母親を含む)	55	20	3	15	10	6	1
⑥祖父母	3	3	0	0	0	0	0
⑦孫	6	0	0	0	1	3	2
⑧子の配偶者	3	0	0	0	0	2	1
⑨兄弟・姉妹	16	10	0	5	1	0	0
⑩その他	11	4	2	3	2	0	0



問2 あなたが現在お住まいの住宅は、どの住宅ですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

現在の住まい

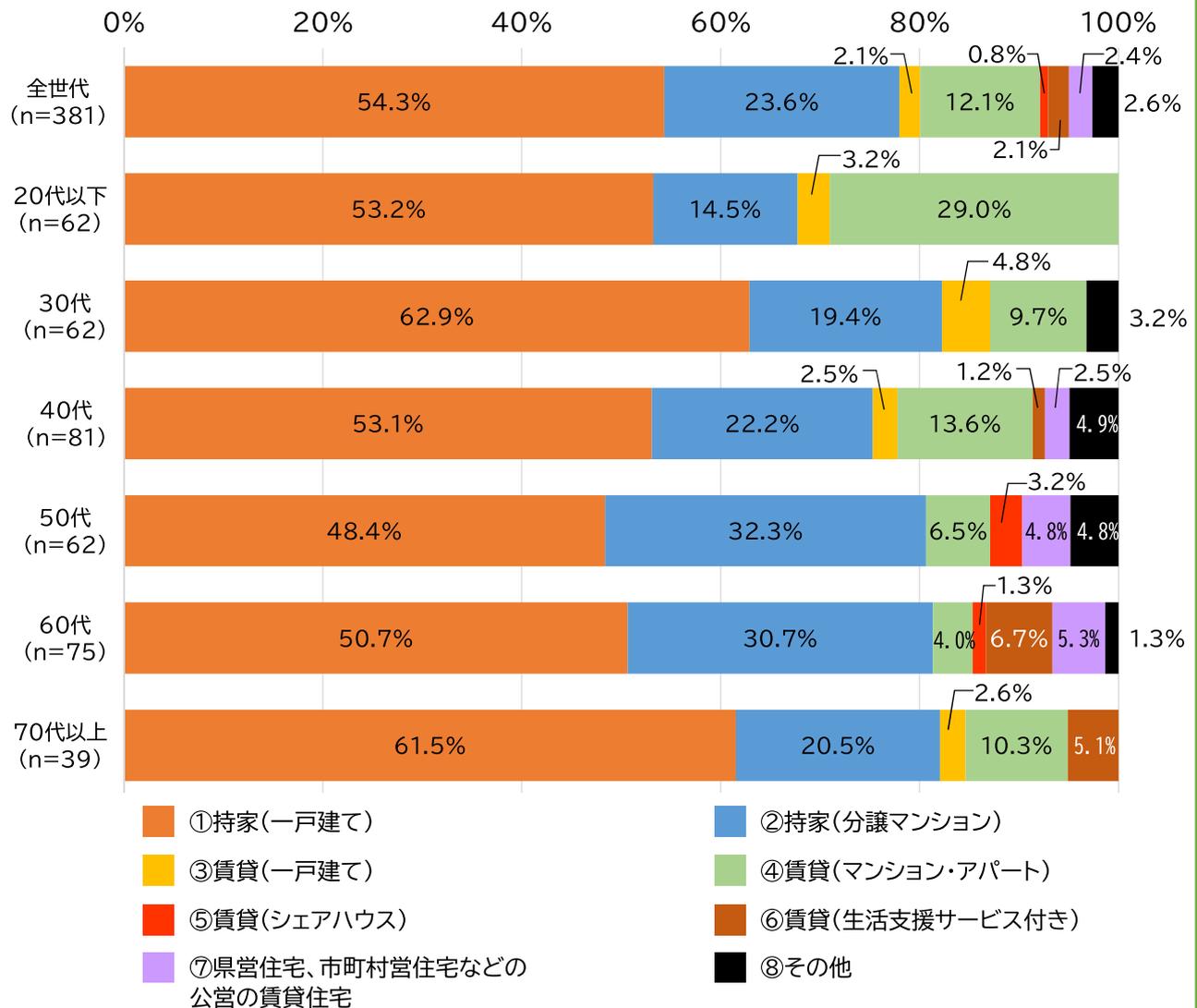
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①持家(一戸建て)	184	16	27	39	31	42	29
②持家(分譲マンション)	66	6	7	10	13	23	7
③賃貸(一戸建て)	7	0	1	4	0	0	2
④賃貸(マンション・ アパート)	114	38	26	25	17	7	1
⑤賃貸(シェアハウス)	1	1	0	0	0	0	0
⑥賃貸(生活支援サービ ス付き)	0	0	0	0	0	0	0
⑦県営住宅、市町村営住 宅などの公営の賃貸 住宅	5	0	0	1	1	3	0
⑧その他	4	1	1	2	0	0	0



問3 あなたは10年後、どの住宅に住みたいですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

10年後に希望する住まい

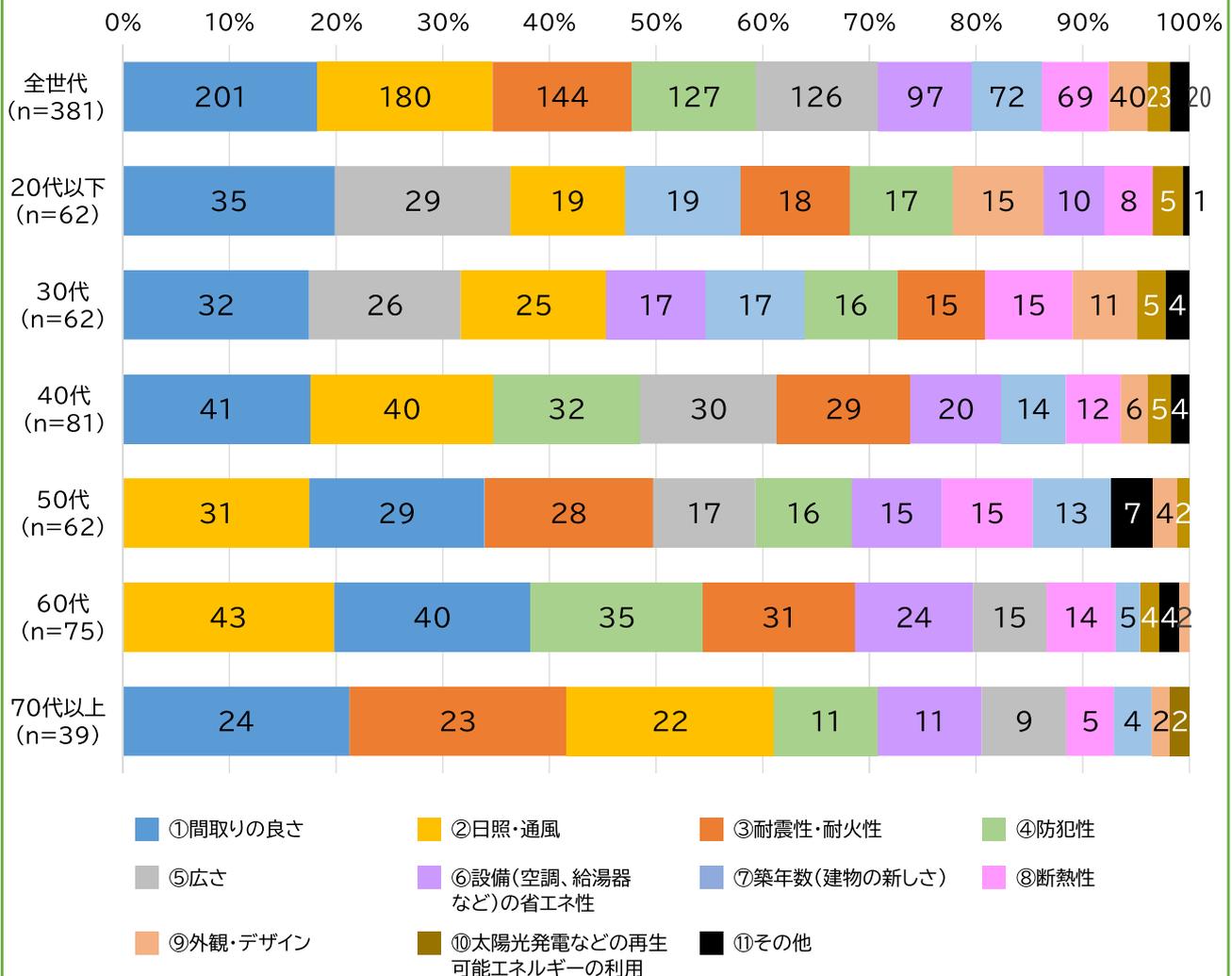
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①持家(一戸建て)	207	33	39	43	30	38	24
②持家(分譲マンション)	90	9	12	18	20	23	8
③賃貸(一戸建て)	8	2	3	2	0	0	1
④賃貸(マンション・アパート)	46	18	6	11	4	3	4
⑤賃貸(シェアハウス)	3	0	0	0	2	1	0
⑥賃貸(生活支援サービス付き)	8	0	0	1	0	5	2
⑦県営住宅、市町村営住宅などの公営の賃貸住宅	9	0	0	2	3	4	0
⑧その他	10	0	2	4	3	1	0



問4 あなたが住宅の要素として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅の要素（年代別集計）

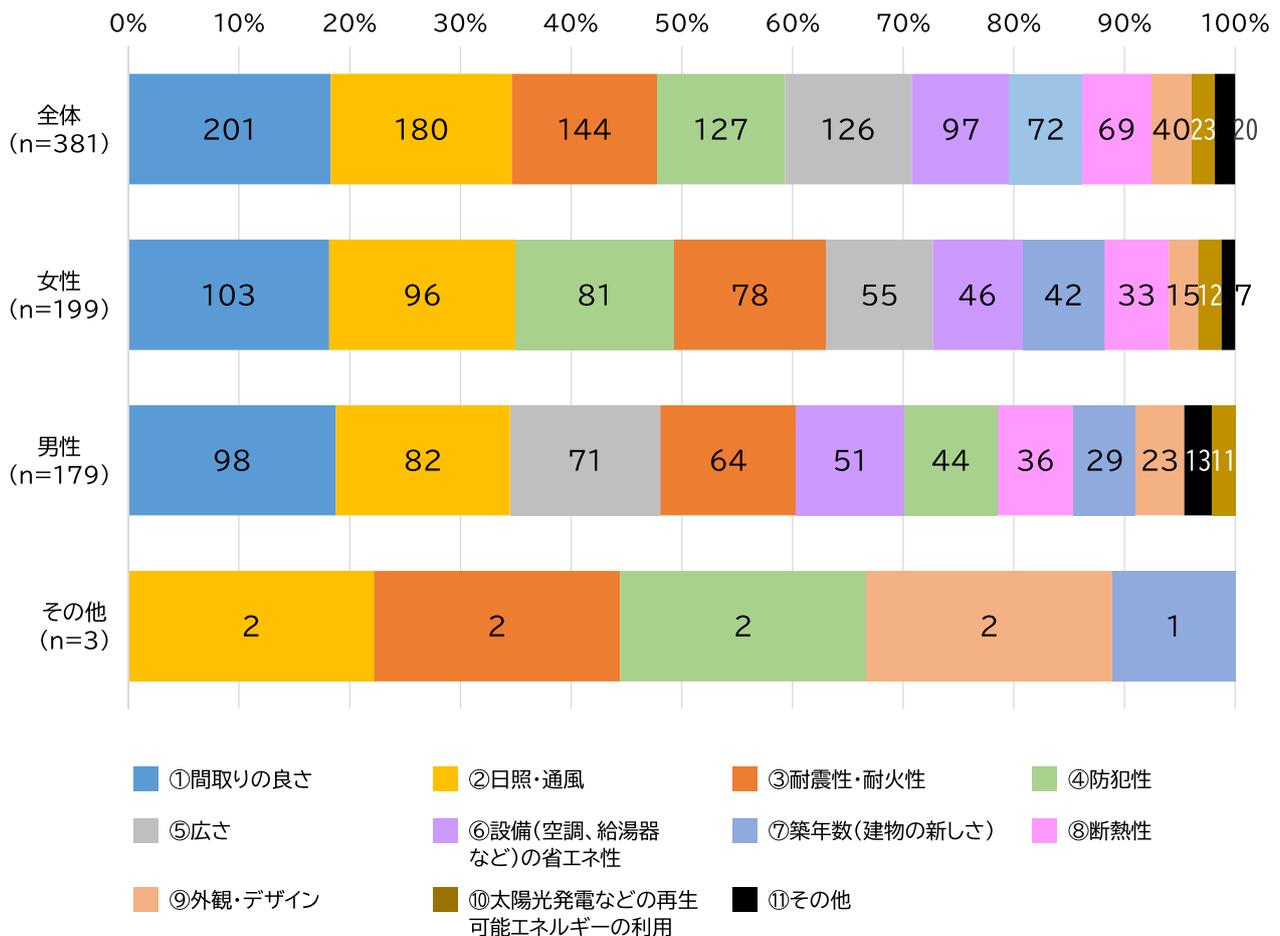
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①間取りの良さ	201	35	32	41	29	40	24
②日照・通風	180	19	25	40	31	43	22
③耐震性・耐火性	144	18	15	29	28	31	23
④防犯性	127	17	16	32	16	35	11
⑤広さ	126	29	26	30	17	15	9
⑥設備(空調、給湯器 など)の省エネ性	97	10	17	20	15	24	11
⑦築年数(建物の新しさ)	72	19	17	14	13	5	4
⑧断熱性	69	8	15	12	15	14	5
⑨外観・デザイン	40	15	11	6	4	2	2
⑩太陽光発電などの再生 可能エネルギーの利用	23	5	5	5	2	4	2
⑪その他	20	1	4	4	7	4	0



問4 あなたが住宅の要素として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅の要素（性別集計）

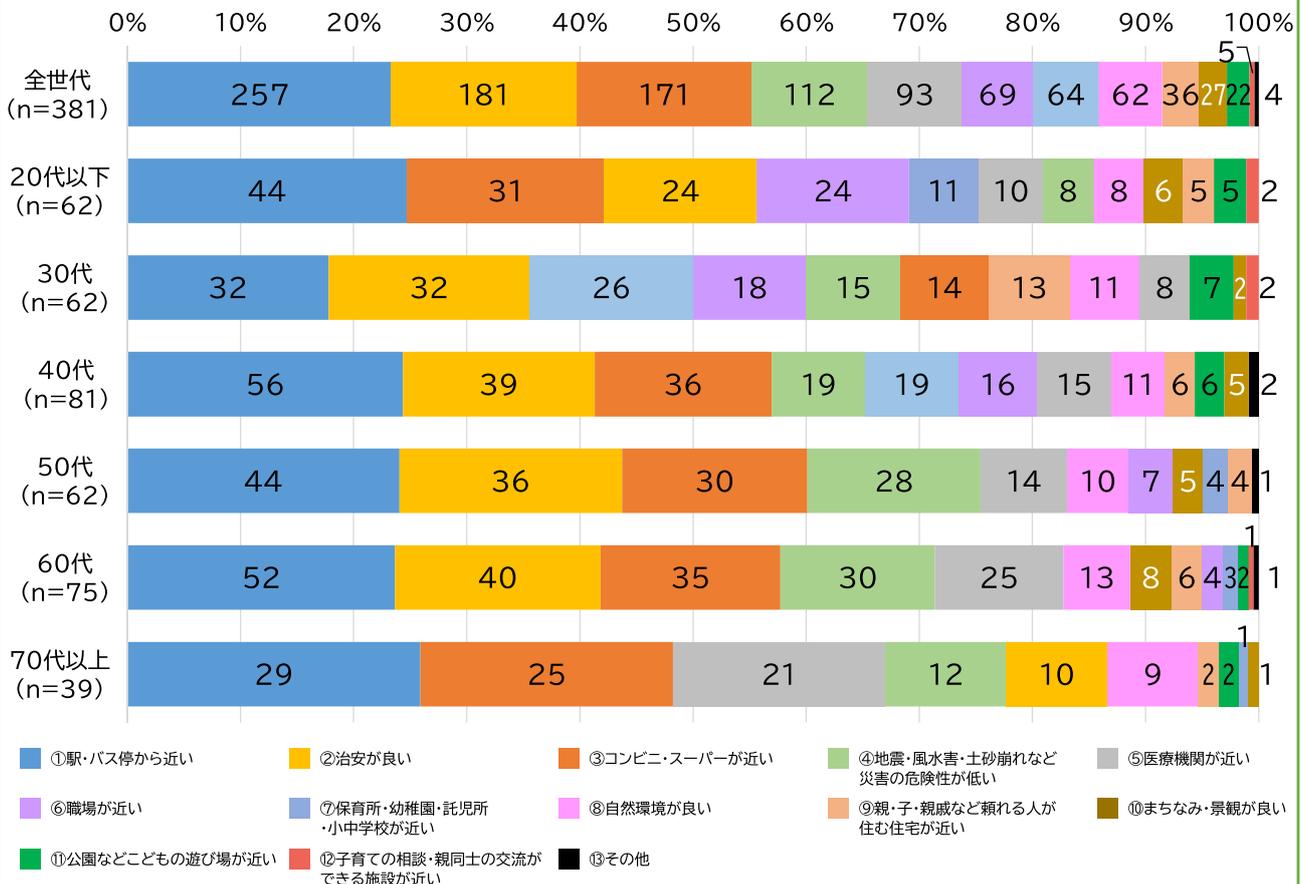
	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①間取りの良さ	201	103	98	0
②日照・通風	180	96	82	2
③耐震性・耐火性	144	78	64	2
④防犯性	127	81	44	2
⑤広さ	126	55	71	0
⑥設備(空調、給湯器など)の省エネ性	97	46	51	0
⑦築年数(建物の新しさ)	72	42	29	1
⑧断熱性	69	33	36	0
⑨外観・デザイン	40	15	23	2
⑩太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用	23	12	11	0
⑪その他	20	7	13	0



問5 あなたが住宅のまわりの環境として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅のまわりの要素（年代別集計）

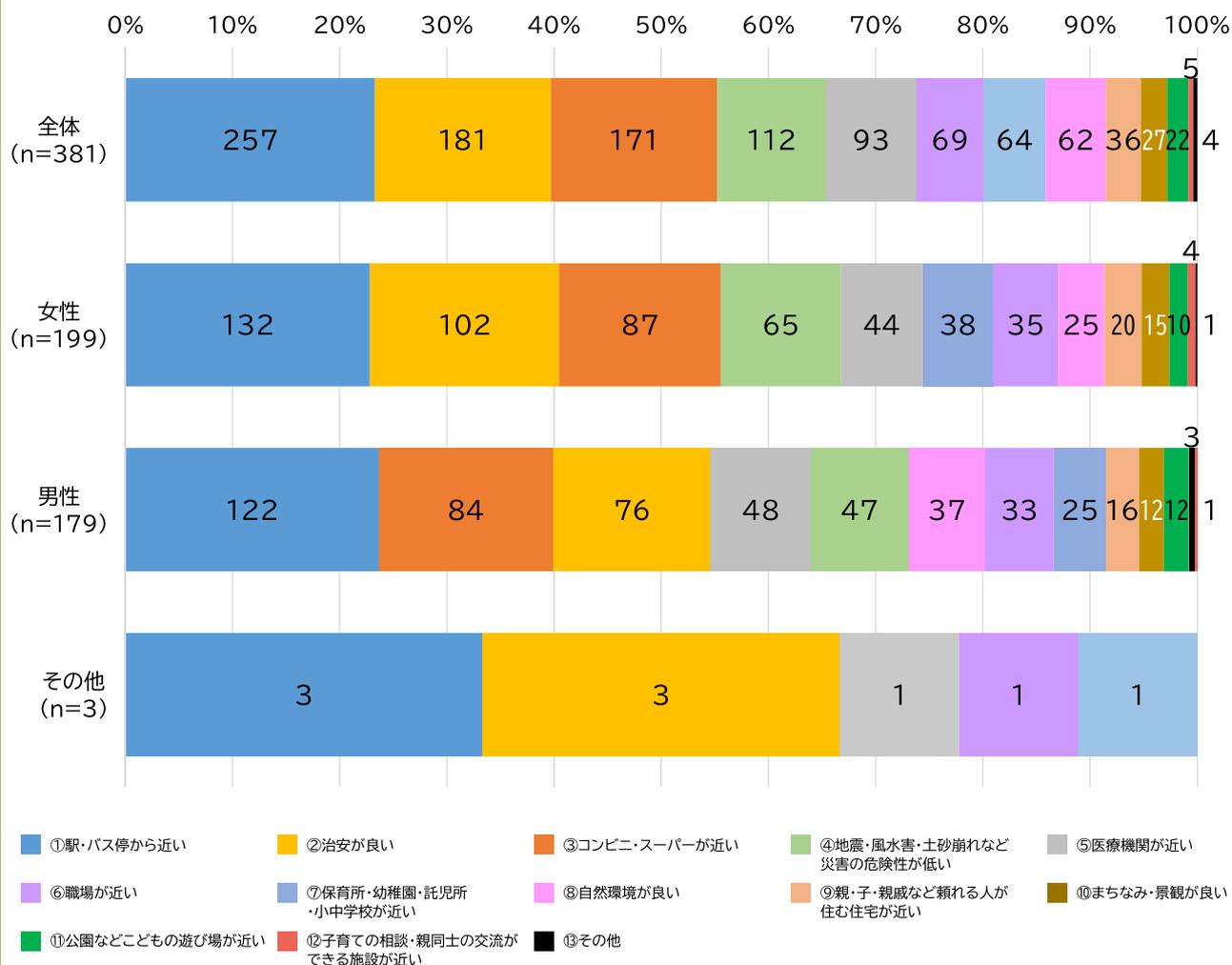
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①駅・バス停から近い	257	44	32	56	44	52	29
②治安が良い	181	24	32	39	36	40	10
③コンビニ・スーパーが近い	171	31	14	36	30	35	25
④地震・風水害・土砂崩れ など災害の危険性が低い	112	8	15	19	28	30	12
⑤医療機関が近い	93	10	8	15	14	25	21
⑥職場が近い	69	24	18	16	7	4	0
⑦保育所・幼稚園・託児所・ 小中学校が近い	64	11	26	19	4	3	1
⑧自然環境が良い	62	8	11	11	10	13	9
⑨親・子・親戚など頼れる人が 住む住宅が近い	36	5	13	6	4	6	2
⑩まちなみ・景観が良い	27	6	2	5	5	8	1
⑪公園などこどもの遊び場 が近い	22	5	7	6	0	2	2
⑫子育ての相談・親同士の 交流ができる施設が近い	5	2	2	0	0	1	0
⑬その他	4	0	0	2	1	1	0



問5 あなたが住宅のまわりの環境として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅のまわりの要素（性別集計）

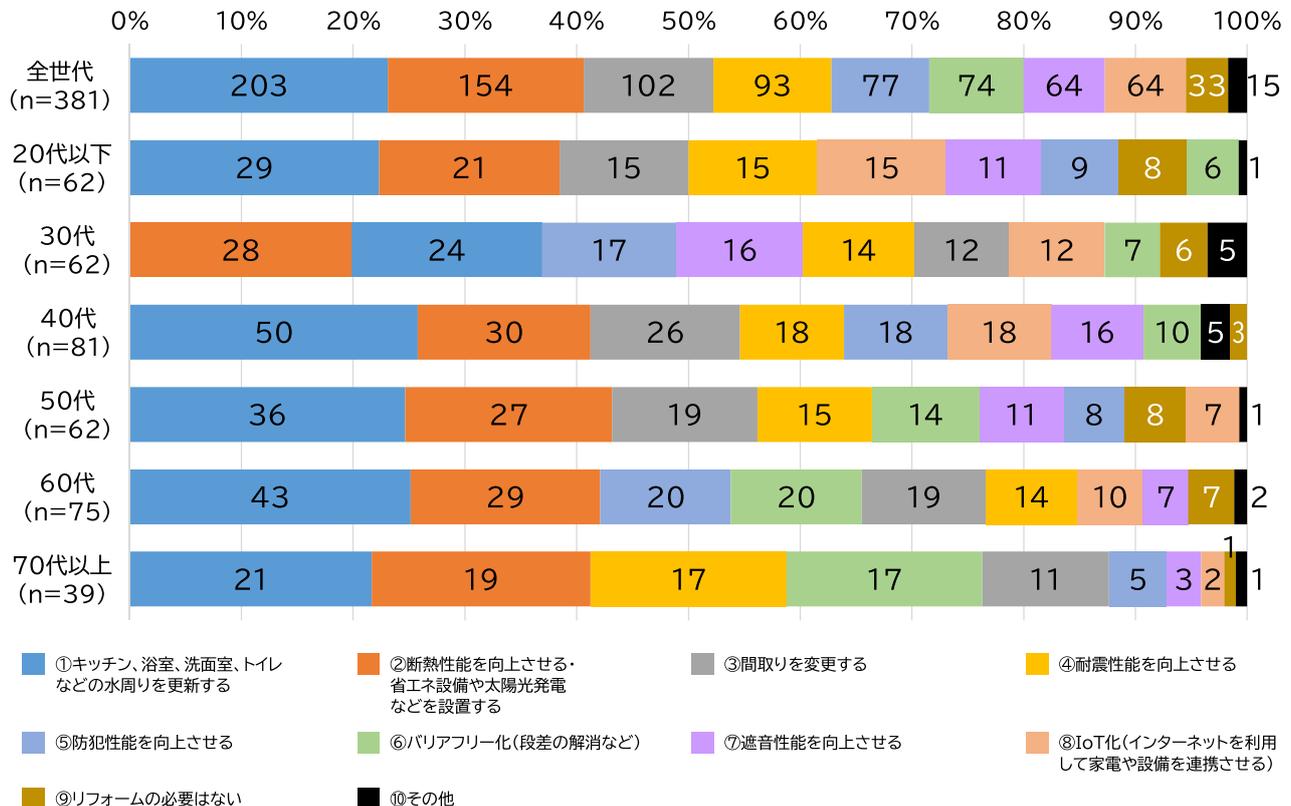
	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①駅・バス停から近い	257	132	122	3
②治安が良い	181	102	76	3
③コンビニ・スーパーが近い	171	87	84	0
④地震・風水害・土砂崩れなど災害の危険性が低い	112	65	47	0
⑤医療機関が近い	93	44	48	1
⑥職場が近い	69	35	33	1
⑦保育所・幼稚園・託児所・小中学校が近い	64	38	25	1
⑧自然環境が良い	62	25	37	0
⑨親・子・親戚など頼れる人が住む住宅が近い	36	20	16	0
⑩まちなみ・景観が良い	27	15	12	0
⑪公園などこどもの遊び場が近い	22	10	12	0
⑫子育ての相談・親同士の交流ができる施設が近い	5	4	1	0
⑬その他	4	1	3	0



問6 あなたが現在お住まいの住宅の性能を向上させるリフォームをするとしたら、どのようなリフォームを行いたいですか。
 (賃貸住宅にお住まいの方は、どのようなリフォームを行って欲しいですか。)
 次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

現在の住まいで行いたいリフォーム (年代別集計)

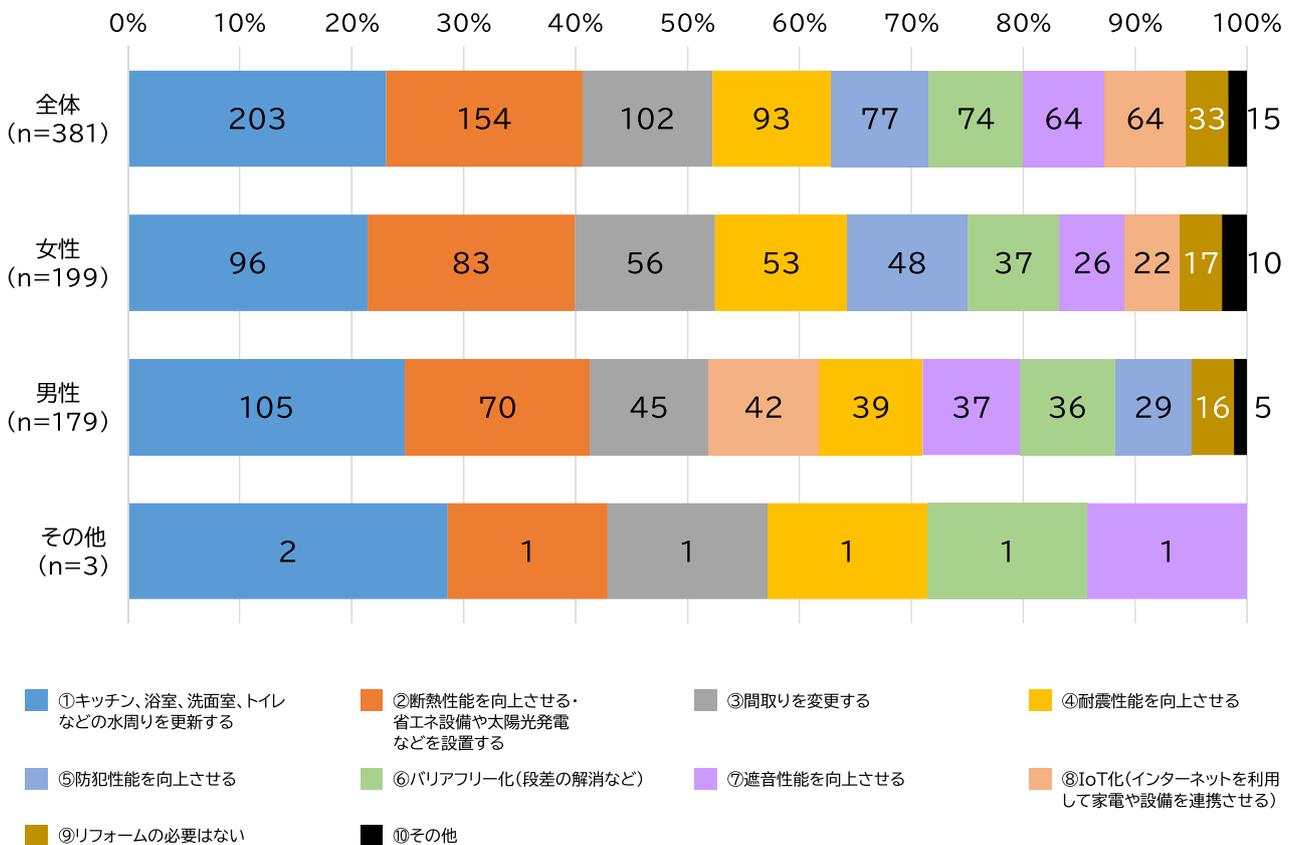
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①キッチン、浴室、洗面室、トイレなどの水周りを更新する	203	29	24	50	36	43	21
②断熱性能を向上させる・省エネ設備や太陽光発電などを設置する	154	21	28	30	27	29	19
③間取りを変更する	102	15	12	26	19	19	11
④耐震性能を向上させる	93	15	14	18	15	14	17
⑤防犯性能を向上させる	77	9	17	18	8	20	5
⑥バリアフリー化(段差の解消など)	74	6	7	10	14	20	17
⑦遮音性能を向上させる	64	11	16	16	11	7	3
⑧IoT化(インターネットを利用して家電や設備を連携させる)	64	15	12	18	7	10	2
⑨リフォームの必要はない	33	8	6	3	8	7	1
⑩その他	15	1	5	5	1	2	1



問6 あなたが現在お住まいの住宅の性能を向上させるリフォームをするとしたら、どのようなリフォームを行いたいですか。
 (賃貸住宅にお住まいの方は、どのようなリフォームを行って欲しいですか。)
 次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

現在の住まいで行いたいリフォーム (性別集計)

	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①キッチン、浴室、洗面室、トイレなどの水周りを更新する	203	96	105	2
②断熱性能を向上させる・省エネ設備や太陽光発電などを設置する	154	83	70	1
③間取りを変更する	102	56	45	1
④耐震性能を向上させる	93	53	39	1
⑤防犯性能を向上させる	77	48	29	0
⑥バリアフリー化(段差の解消など)	74	37	36	1
⑦遮音性能を向上させる	64	26	37	1
⑧IoT化(インターネットを利用して家電や設備を連携させる)	64	22	42	0
⑨リフォームの必要はない	33	17	16	0
⑩その他	15	10	5	0



問7 理想とする住まいについて、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。（自由記述）

〔意見（抜粋）〕

- ・賃貸でも地域の自治会参加必須など、近所に知り合いが多く作れる環境作りが必要だと思う。
- ・電気代高騰のため、断熱性を重視すべき。
- ・高齢者に魅力のある、かつ子育てしやすい住環境が望ましい。
- ・住居も単体で理想的な住居を実現しようとするより、さまざまなニーズに対応した多様な供給ができることが望ましいと考える。
- ・地球温暖化が進んでいる。高齢化も進む。生活する上で、最低限の命を守るための備えは、基本装備として建築基準を定めるなどの法を整備して欲しい。
- ・利便性、住機能、安全性、外観など住まいに対する理想や要求は個別多様であると思うが、人口減少化社会においてまず大事なことはコンパクトシティを実現し、維持可能な社会をつくることだと思う。
- ・暮らしやすい住まいにするため、リフォームに対しての補助金制度や自分で出来る工夫など有用な情報について広報して欲しい。
- ・人口が減少することを考えると、コンパクトな街づくり、生活しやすく便利なまちづくりをすすめることが重要。
- ・人口減少、高齢化に伴い空き家がかなり多く出ると思う。そのため、空き家を上手く活用するための広報を行う。
- ・水回り設備の補助により更新が進めば、生活が快適かつ豊かになっていくと思う。
- ・豊かな自然や日照、十分なスペースの部屋、防災等の不安に対応できる住まいがあれば良い。経済的に苦しい方々が如何なる時も安心して利用できる賃貸の住まいがあれば良いと思う。
- ・空き家の売却や相続の仕方、リノベーションして若い世代に使ってもらうことや民泊の方法などレクチャーしてくれる機会があったら良いと思う。
- ・どの家にも防音設備があると良い。自分が住んでいる環境だけでも快適で、騒音トラブルがなければ、その他の騒音に寛容になれるのではないかな。
- ・多子世帯のための増築などの支援金があると、マイホームを持つ夫婦の出生率向上に繋がるのではないかな。
- ・家族構成によって求める居住空間は変わる。
- ・今後高齢になることを考えると、歩道が狭くなく、坂道や段差がない地域が第一と考える。
- ・立地も大事だが、子育てがしやすい所に住みたい。
- ・物価高騰で新築戸建ての購入が年々難しくなっているため、施策や補助等を行って欲しい。
- ・高齢化社会に対応するために、新しく計画するマンションやアパートにも、バリアフリー機能がある程度装備した基準を設けるようにしてほしい。
- ・今後は、古い家をリサイクルして次の人が継続して使っていくような形に変えていくべき。
- ・年間通じてエアコンを使う必要がなく、水は井戸水、野菜も作れる庭がある家が良い。
- ・家庭菜園ができる庭がある家が良い。
- ・リフォームに興味はあるが詐欺もよく耳にする。介護も始まっていないので、どこにどんなことを頼んでよいか分からない。そういう情報を発信してもらえると心強い。
- ・そのときのライフスタイルにあった部屋がすぐ見つければ、住みやすくなると思う。
- ・今後も建築基準法に則った建物を建築していくことが必要と思う。
- ・水害、山崩れ、地盤軟弱地域からの安全な場所への移住対策が必要と思う。
- ・ライフステージに追従して住まいを簡単に換えられる仕組みがあればよいと思う。
- ・料理を作る家庭はそれなりにキッチンの水回りの利便性や快適な動線がとれるかで、毎日のストレスが変わってくると思う。
- ・地価、建設費が高騰していて、一軒家を持ちたくてもハードルが高くなっている。少子化対策として住宅助成が手厚いと助かる。
- ・マンションの建て替え・空き家対策に柔軟な対応ができる法整備を早急に進めるべき。

- ・マンション等の集合住宅には、福祉車両が利用しやすい駐車スペースの確保を義務化してもらいたい。
- ・永く住み続けるため、最初からトイレや浴室の出入口は幅広にする。また、ドアやクローゼットの扉はスライド式にする。
- ・安全、安心で生活に便利な住まいが理想だと思う。
- ・年を重ねても住める住まいが理想です。
- ・環境と地域の方達とのコミュニケーションが重要だと思う。
- ・何を優先するのかというのはその人の仕事だったり家族構成にもよる。単身者と大家族では全く違うだろう。
- ・必要経費である光熱費や固定資産税、税金が比較して高額でない場所での暮らしが理想。
- ・県内で建物の老朽化が目立つところある。古い建物の整備、また一極集中型の住環境から、空き家などを再利用することも考えていかなければならないと思う。
- ・家を建てる年齢によって条件が異なる。
- ・電気代が高くなっている今、全ての家に太陽光設置を義務化させ、その設置費用の補助金を出したら良いと思う。
- ・環境、コミュニティーを含めて安全、安心に明るく、心豊かに生活できれば良い。
- ・一昔前までは、三世同居が普通の暮らしで、今でもそれが理想の暮らしだと思う。
- ・自治体活動や子供会など近所の人たちと触れ合える環境が良い。家そのものは必ず古くなるのでそれを補う心の充足感が大事だと思う。
- ・騒音問題は行政や社会全体がもっと力を入れて取り組むべき問題と考える。地方に広がる広大な土地を有効活用して人口を分散をすることが望ましいと思う。
- ・ライフステージによって理想とする住まいは変化していく。住まいの失敗談や、その対処法などを共有できる環境があると助かると思う。
- ・一戸建ての賃貸物件が増えればよいと思う。
- ・若者が家を建築するのも難しい世の中になっているので、なかなか難しいとは思いますが、将来のことを考えると、Uターン世帯に対して二世帯住宅化の補助等を自治体と合同でしたらどうかと思う。脱炭素社会に資する住まいづくりの実現は、新しい住宅の省エネではなく、あくまで既存住宅の利用を一番に進めるべきだと思う。今まで過ごしてきたコミュニティの中で生活するのが一番だと思うので、民間が運営する福祉施設ではなく、地域のみんなで助け合いながら共同で過ごすシェアハウスの設置が望ましいと思う。
- ・コンパクトな都市計画の見直しが将来的に必要で、マンションの建築の認可もこの点を考慮していく必要がある。
- ・空き家が多く存在するので、田畑を住宅地に変えて新築を立て続けるのは止めるべき。
- ・空き家が増えてきているが、その空き家を少し安い価格で地域のボランティア団体などが利用するために借りることできると良いと思う。行政が間に入ってもらえると安心して利用できると思う。
- ・太陽光と蓄電池の容量を大きくし自給自足の生活が出来るような設備を整える。
- ・人工知能（AI）が老後の私たちをサポートできる実用的な機器を取り付け・購入できれば、より理想の住まいとなる。
- ・近年は地震や豪雨災害が頻発している。まずは安心に暮らせるための災害に強い住宅を建築する必要があると思う。
- ・地域コミュニティの充実（地域住民の連携）。

令和6年度第2回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	382		95	198	58	31
	構成比		100.0%	24.9%	51.8%	15.2%	8.1%
性別	女性	200	52.4%	51	102	31	16
	男性	179	46.9%	42	95	27	15
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	56	14.7%	12	30	9	5
	30代	65	17.0%	17	33	11	4
	40代	80	20.9%	21	40	12	7
	50代	65	17.0%	16	35	11	3
	60代	76	19.9%	22	39	5	10
	70代以上	40	10.5%	7	21	10	2

モニター数 399人

回答数 382人

回収率 95.74%

実施期間 R6.8.7～R6.9.5

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

＜自転車の安全利用について＞

【調査の目的】

自転車は通学、通勤、買い物などの身近な交通手段として、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に利用されています。

しかしながら、不幸にして自転車乗車中に事故に遭い、亡くなられた方の多くが頭部に致命傷を負っていたというデータがあります。

このような中、令和5年4月1日に改正道路交通法が施行され、すべての自転車利用者について、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

ヘルメットをかぶることで致死率が大きく下がるというデータもあり、事故の被害を軽減するためには、ヘルメットを着用し頭部を守ることが非常に重要となります。

また、本県においても「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例」に基づき、自転車の安全利用の促進等を行っているところです(※)。

つきましては、道路交通法や自転車条例の認知度、自転車乗車用ヘルメットの着用などについて、御意見をお聞かせください。今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

・自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するための参考資料として活用。

・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(人づくり・県民生活部生活安全課)

※福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例では県民が安心して暮らし、活力ある地域社会の実現に寄与するため、

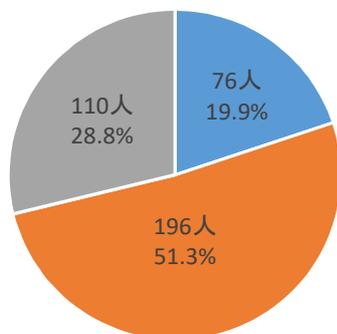
- (1) 自転車の安全利用の促進、
 - (2) 交通安全教育の充実、
 - (3) 自転車保険への加入義務化、
 - (4) 事故の際の負傷者の救護・警察への報告義務、
 - (5) 自転車の活用推進
- 等を規定しています。

問1 あなたは「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例(福岡県自転車条例)」を知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=382 選択は1つのみ)

1 条例があることも、その内容も知っている	19.9%	(76人)
2 条例があることは知っているが、内容はよく知らない	51.3%	(196人)
3 条例があることも、その内容も知らなかった	28.8%	(110人)



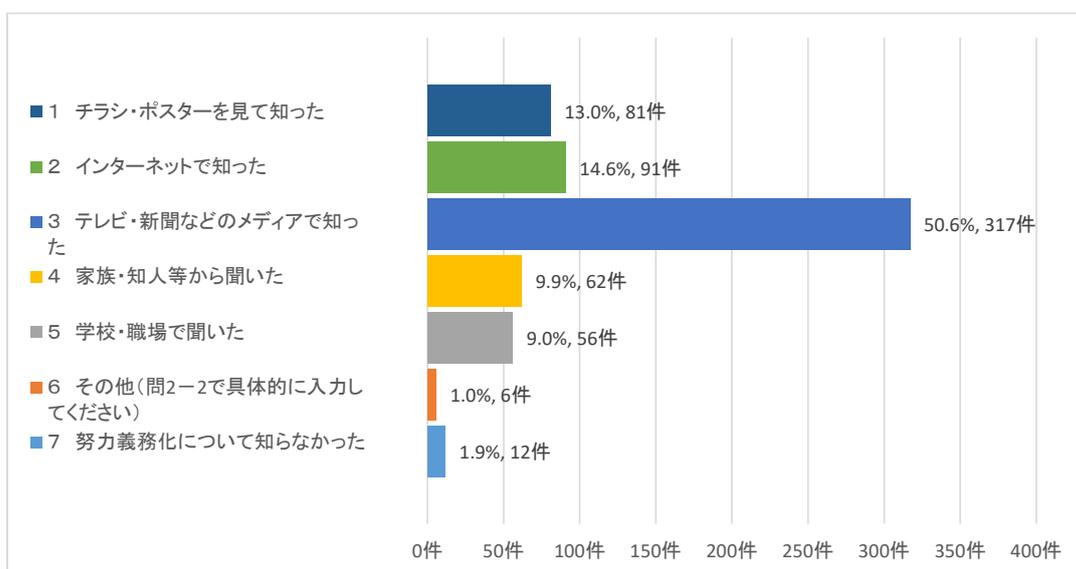
- 1 条例があることも、その内容も知っている
- 2 条例があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 条例があることも、その内容も知らなかった

問2 道路交通法の改正(令和5年4月1日施行)により、すべての自転車利用者に対し、乗車用ヘルメット着用の努力義務が課されています。

あなたは乗車用ヘルメット着用の努力義務化について、どのように知りましたか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答件数625件 複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見て知った	13.0%	(81件)
2 インターネットで知った	14.6%	(91件)
3 テレビ・新聞などのメディアで知った	50.6%	(317件)
4 家族・知人等から聞いた	9.9%	(62件)
5 学校・職場で聞いた	9.0%	(56件)
6 その他(問2-2で具体的に入力してください)	1.0%	(6件)
7 努力義務化について知らなかった	1.9%	(12件)



問2-2 問2で「6」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(回答件数6件)

○運転免許更新時に知った	(2件)
○県HP、県公報で読んだ	(1件)
○自転車店で知った	(1件)
○地域で回される回覧板に入っている交番だより等により知った	(1件)
○警察官から指導を受けている学生たちを目撃し、知った	(1件)

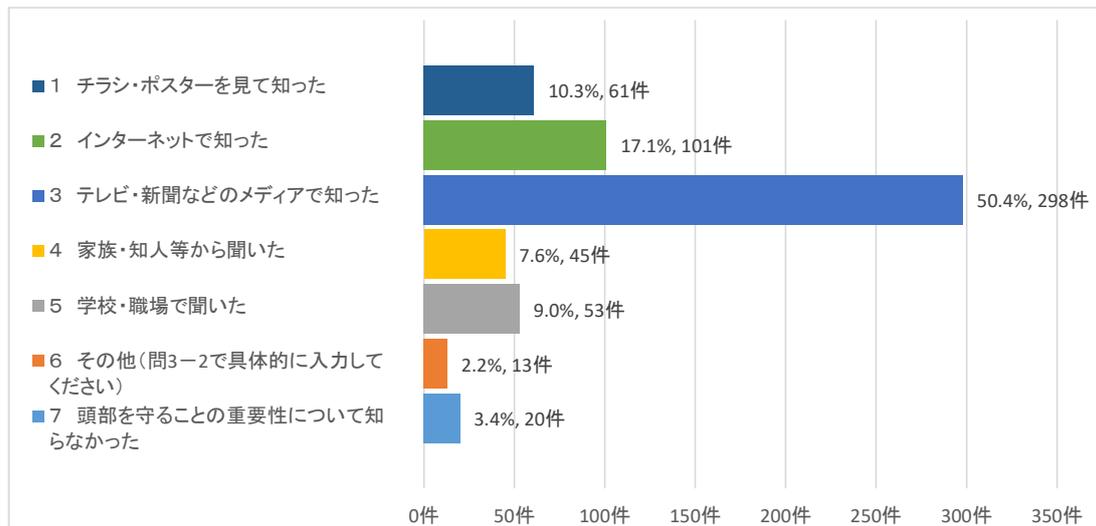
問3 自転車乗車中に事故に遭い、亡くなられた方の多くが頭部に致命傷を負っていた、また、ヘルメットの着用により致死率が大きく下がるというデータがあります。

あなたは、自転車乗車中の事故について、頭部を守ることの重要性をどのように知りましたか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答件数591件 複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見て知った	10.3%	(61件)
2 インターネットで知った	17.1%	(101件)
3 テレビ・新聞などのメディアで知った	50.4%	(298件)
4 家族・知人等から聞いた	7.6%	(45件)
5 学校・職場で聞いた	9.0%	(53件)
6 その他(問3-2で具体的に入力してください)	2.2%	(13件)
7 頭部を守ることの重要性について知らなかった	3.4%	(20件)



問3-2 問3で「6」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

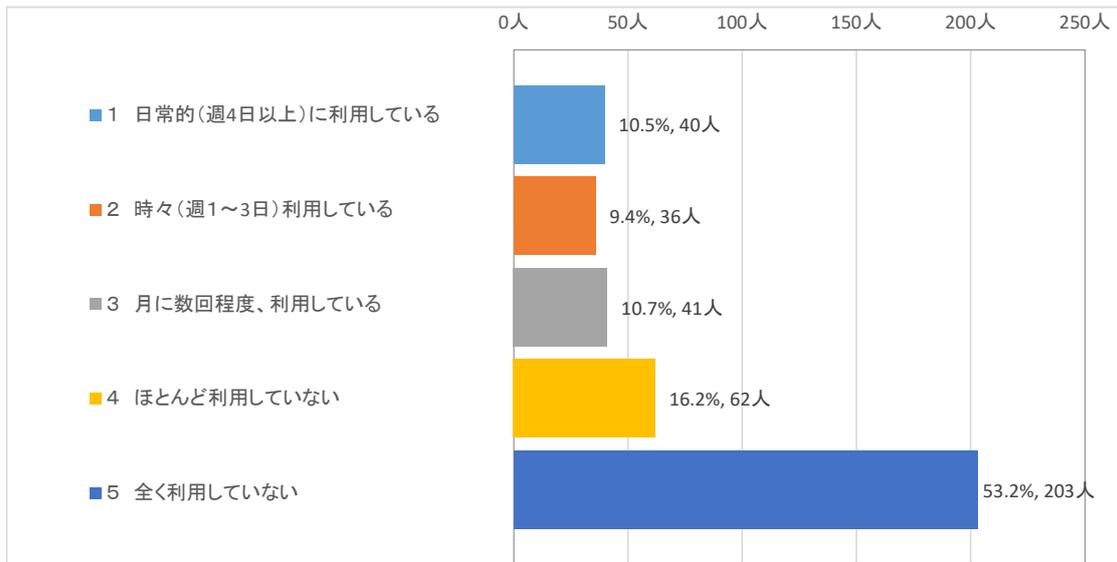
(回答件数13件)

<input type="radio"/> 運転免許更新時に知った	(4件)
<input type="radio"/> 自分が事故にあったことにより知った	(3件)
<input type="radio"/> 自分の周りの人(子ども、友人など)が事故にあったことにより知った	(2件)
<input type="radio"/> 頭部を守ることの重要性をもともと認識していた	(2件)
<input type="radio"/> 仕事柄知っていた	(1件)
<input type="radio"/> 自転車ショップの店員の説明を受け知った	(1件)

問4 あなたは、自転車を利用しますか。
次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=382 選択は1つのみ)

1 日常的(週4日以上)に利用している	10.5%	(40人)
2 時々(週1~3日)利用している	9.4%	(36人)
3 月に数回程度、利用している	10.7%	(41人)
4 ほとんど利用していない	16.2%	(62人)
5 全く利用していない	53.2%	(203人)

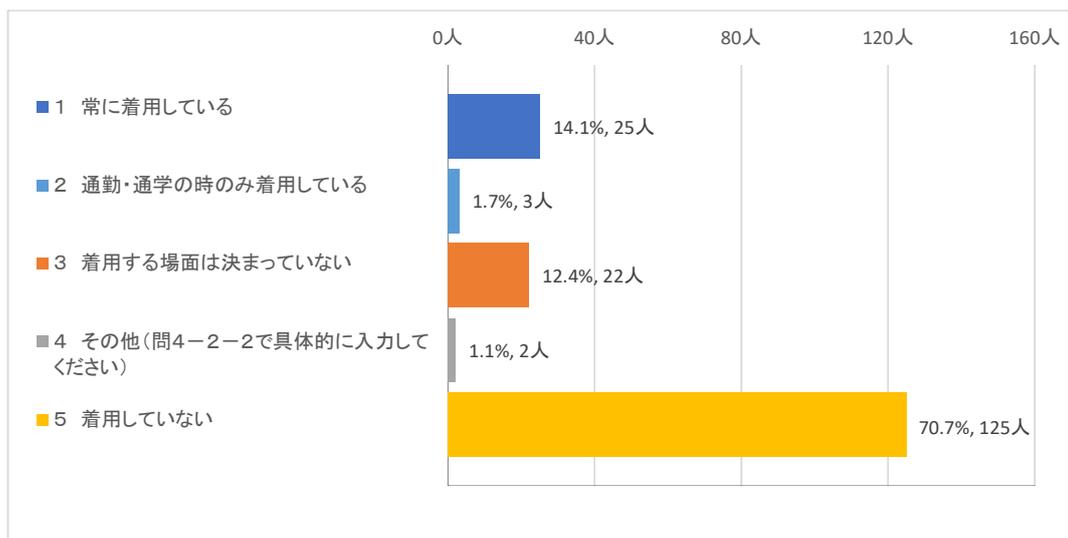


問4-2 (問4で「1~4」を選択された方にお尋ねします。)

あなたは、自転車に乗車する際、どのような場面で乗車用ヘルメットを着用していますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=177※2名未回答 選択は1つのみ)

1 常に着用している	14.1%	(25人)
2 通勤・通学の時のみ着用している	1.7%	(3人)
3 着用する場面は決まっていない	12.4%	(22人)
4 その他(問4-2-2で具体的に記入してください)	1.1%	(2人)
5 着用していない	70.7%	(125人)



問4-2-2 問4-2で「4」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=2)

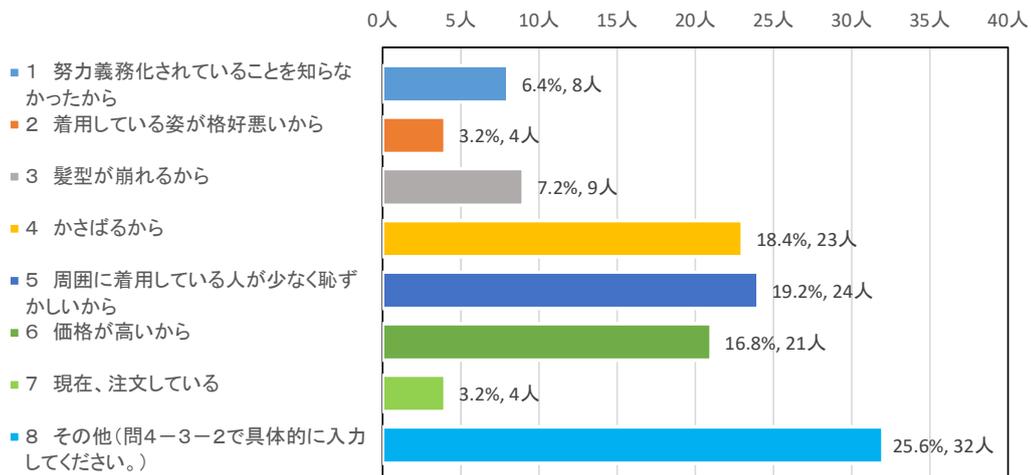
○ある程度の距離の移動に自転車を利用する場合、必ず着用している	(1人)
○3月に1回ほどレンタサイクルを利用する際に着用している	(1人)

問4-3 (問4-2で「5」を選択された方にお尋ねします。)

自転車乗車中に乗車用ヘルメットを着用していない理由について、次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=125 選択は1つのみ)

1 努力義務化されていることを知らなかったから	6.4%	(8人)
2 着用している姿が格好悪いから	3.2%	(4人)
3 髪型が崩れるから	7.2%	(9人)
4 かさばるから	18.4%	(23人)
5 周囲に着用している人が少なく恥ずかしいから	19.2%	(24人)
6 価格が高いから	16.8%	(21人)
7 現在、注文している	3.2%	(4人)
8 その他(問4-3-2で具体的に入力してください。)	25.6%	(32人)



問4-3-2 問4-3で「8」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=32)

○ヘルメットを持っていないから	(9人)
○レンタサイクルを利用する際ヘルメットを持ち歩いていないから	(7人)
○減多に乗らないため	(3人)
○減多に乗らず、着用義務のことを忘れていたから	(2人)
○暑いから	(2人)
○罰金では無いし、周りに着用している雰囲気が無いから	(1人)
○自転車運転者よりも歩行者が装着したほうが良いと思うから	(1人)
○危機感を感じておらず、また、窮屈だから	(1人)
○ヘルメットの準備に手間がかかるから	(1人)
○道路ではなく、歩道でばかり乗るから	(1人)
○努力義務だから	(1人)
○駐輪場に自転車と一緒に置きたいが、盗難の恐れがあるから	(1人)
○ヘルメットの持ち歩きが面倒だから	(1人)
○ほぼ車の通行がないところ、少ないところしか乗車しないから	(1人)

問5 自転車の安全利用について、これまでの設問以外に意見はありますか(自転車利用者に対して、自らの命を守るためにヘルメットの着用が必要との意識を持ってもらうための取組についてなど)。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

※主な意見(抜粋)

オシャレなヘルメットや夏用のヘルメットの開発をして欲しい。
まだまだ十分にヘルメットの重要性が認識されていないような気がする。数年後に努力目標から義務へと移行する措置が重要だと思う。
かぶらなければいけないことはわかっているが、途中で店に寄る際、自転車に置きっぱなしにして盗まれるのが不安である。かといって持ち歩くのもまた面倒である。
中学生時代の自転車通学ではヘルメット着用が義務だったが、大人になった今努力義務だけではヘルメット着用は難しいと思う。
小学生の娘がヘルメットを装着して自転車に乗っている。でも娘の周りのお友達は着用していない子ばかりである。学校などで交通安全教室を通して、呼びかけ等をした方がいいと思う。
通勤で自転車を使用する場合、車道を通ることが多いが車と接触する危険がある。自転車専用道路の拡充をお願いしたい。
自転車はエコだし、体力増進などもありとても良い乗り物だが、非常にリスクが高い乗り物でもある。気軽に乗ることができると事故などに対しても軽く考えがちで、重要性を感じにくいのではないかと思うので、学校や幼稚園でも自転車事故の怖さや悲惨さを伝えて、上手に安全に使う方法を教えてもらいたい。県内の交通公園の整備を行って、多くの方に利用してもらえる設備にしてもらいたい。
私は3年前までは自転車に乗っていたが、股関節の手術をしてから転倒の危険を感じて自転車を破棄した。 近くに住む娘が孫の幼稚園の送り迎えを自転車で行っている。孫にはヘルメットをかぶせているが、娘はヘルメットを着用しない。努力義務だからと言って、危ないからと言っても大丈夫と言って購入しようとする。努力義務は甘過ぎる。車ではシートベルトは着用が絶対である。義務ではなく、絶対に法律を変えて欲しい。事故が起きてからでは遅い。強く希望する。
身を守るために必要なので、販売時にヘルメットをセットで売るとかヘルメットの保管を自転車内に設置するデザインや機能を備えるべきだと思う。
ヘルメットを着用して自転車に乗る人は、自分自身だけでなく歩行者や自動車にも安全な利用をされているように感じる。反対に街中(特に天神地区)で、すごいスピードで危険運転している自転車は、ヘルメットを着用されていない人が多い気がする。 自分自身の安全を考えられる人は、周りの安全も考えられる人だと思う。安全より速さを優先する利用者には、残念だが、強制力がないとヘルメット着用、安全利用は広まらないのでは、と思う。
金銭的な負担を強いるだけになかなか強制的にヘルメットの着用を進めるのは限界がある。 たとえば自転車を使用する方に県が購入代金の補助を行うなどすると、普及を後押しすることができると思う。あとは地道に啓蒙活動を行うしかないだろう。
道路の右側走行や夜間の無灯火など危険に思えるので、その危険性を周知徹底すべきと思う。
自転車販売店や学校で広報や教育を地道に続けて行かないといけない気がする。また、格好良いヘルメットの開発や販売も必要だと思う。 まだ聞かないが、ヘルメットの盗難もそのうちに増えてくるのではないだろうか? 盗難対策の有効なやり方等も今後広がって行くようにして欲しいと思う。
我が家はみんなヘルメットを着けることを約束している。でも中1の娘はやはり恥ずかしさもあるようだ。 恥ずかしさを感じないぐらい普及してくれるといいのにと感じている。
難しいかもしれないが、子どもも大人も関係なく、自転車を利用する人には、免許証の更新のように講習があればいいと思う。また、自転車購入時にヘルメットの同時購入を勧めるお店の取り組みをお願いできたらより着用が進むのではと思う。

<p>自転車も「車両」という認識をもって安全運転に努める必要があることを自転車利用者に理解してもらい取り組みが必要。特に自動車運転の未経験者である学生や子供は道路の交通ルールについて理解が浅い場合があり、危険に巻き込まれやすいと感じる。</p>
<p>自転車の安全利用も大事だが、許可していない歩道を自転車が通行していて歩行者が危険な場面が多い。自転車の通行ルールが守られていないケースが多々あり、それが事故につながっている。自動車の運転者も、自転車・歩行者に対してもっと優しい面で運転していくことが大事である。福岡県として、交通安全に対する啓蒙をどんどん積極的に進めてもらいたい。</p>
<p>自転車の人が飛び出してきたり膨らんで走行してきたり手に何か持ってながら運転をしていたり、危険な場面に遭遇する。車側だと事故に巻き込んだ場合加害者になりかねないためとても神経を使っている。自転車のマナーアップのためにももう少し自転車側のルールを厳しくして欲しい。</p>
<p>コンパクトな簡易版ヘルメットのようなものがあれば、利用者も増えるのではないかと思う。</p>
<p>ヘルメットは買っているが、すぐちかくだからと使用していなかった。このモニターをきっかけに被らなければと思った。</p>
<p>ヘルメット着用とそうでない時との、実際事故に直面した時の安全性などを具体例などをあげてもっとメディアなどで訴求していった方が良いと思う。</p>
<p>自動車免許を持っている人、バイク・自転車に乗る人すべてに道交法の知識取得を義務付け、皆が一定の認識の下で道路を利用すると事故が減るのではないかと感じる。それぞれが自分の常識で道路を利用して、無秩序さに驚くことがある。</p>
<p>町中の人通りが多いところは、降りて、自転車を押してほしい。歩道を凄い勢いで、走っていくので、危ない。</p>
<p>大人の世代は、ヘルメットを被らないで自転車に乗ることが当たり前なので、努力義務の場合普及は難しいかもしれないと思った。ファッションの面からも、他の人が被ってないのに自分だけ被るのもなんだか恥ずかしい、という気持ちもあるかなと思う。 なので、義務教育段階からの学校教育が重要だと思う。小さい頃からヘルメットを被ることが当たり前になれば、普及していくと思う。</p>
<p>街中で見かける自転車の人たちも、なかなかヘルメットをしている方は見かけない気がする。学生さんなどは学校で着用が義務付けられていたりするのかもしれないが、一般の社会人などは意識がないが大半だと思う。 自転車に登録ナンバーをつけて講習などを取り入れたり、ヘルメット購入の補助金などがあると利用しやすいのかもしれない。</p>
<p>高齢者の危険運転が多い。特にヘルメットなどを被ってないので、もっと高齢者への講習をしたほうが良いと思う。</p>
<p>自転車の安全利用や自身の命を守る為の取り組みを保育園および幼稚園、小学校、中学校、高等学校まで教育現場での安全教育の徹底を今一度図るというのはどうだろうか。</p>
<p>ヘルメット着用による事故時の致死率低下の数字など様々なところでよく聞くようになった。ヘルメットの値段が高いという声を聞くが、そのことよりも、安かろう悪かろう商品(どこの認定も受けていない)が出回ることのほうが心配。</p>
<p>傘差し運転やスマホを見ながら、イヤホンをしながらの運転など、運転が不安定な自転車がたまに見られて歩いている時や自動車を運転している時に危険を感じた。そのような運転への罰則を強めた方が良いと思う。</p>
<p>今でもスマホながら運転や歩道をすり抜ける危険な走行が見受けられる。自転車が運転免許が必要ないことから、交通規則の遵守意識が薄い。自転車も交通規則の遵守が必要であることを高める必要がある。 繁華街での交通指導を地道に続けたり、テレビ等を利用した啓発を続けるしかないと思う。</p>
<p>ヘルメットの着用で、事故での致死率が大幅に減ることをもっと広く知ってもらう必要があると思う。ヘルメットといっても、自転車にのることがほとんどない場合など、購入をためらう。自分自身は週に4度は自転車には乗るが、自転車で2~3分の距離のため、わざわざかぶらなくてもという意識が働いている。あつかましいが、購入補助などで購入を促してもらえたらきっかけにはなる。 自分の自宅周辺ではヘルメット着用はあまりいないが、自分がかぶることでもしかぶろうと思う人がいるのかなと思うと、かぶるほうが社会のためなのかなという気持ちになった。</p>
<p>自転車運転のマナーについては、学校ではやられていると思うが、大人にも教育したほうが良いと思う。テレビでやったり、広報ポスターなど。</p>

義務化(罰則規定を設けるなど)しないと、必要性や装着の徹底は難しいのではないかと個人的には感じる。
努力義務では、万一違反や事故を起こしても、被害者が救われれないと思う。

ヘルメット購入に必要な費用の問題のほか、着用に向けた社会的な納得が十分に得られている段階に達しているとは言えず、当面は「努力義務」の継続が妥当と考えている。

自転車の安全利用について、自転車の運転者だけの問題だけではなく、自転車レーンをきちんと整備してほしい。歩道を通らず、自動車と同じ場所を通るので、今のままの道では狭すぎて自転車も危険だし、車を運転する側も危険である。自転車のルールもよく理解されていないと思うので、自転車ルールを再認識、周知する事が必要だと思う。
またさらに言うと自転車だけではなく、歩行者も両耳イヤホンや歩きスマホ禁止にした方がよりよい安全に繋がると思う。

自転車に乗る前の安全点検の実施の促進を図る。

自転車の通りやすい道路の整備。
自転車に乗る人のマナーについての教育を充実する。例えば高齢者や身体障害者に対する配慮等(地域の事業の中に組み入れることを考える)

「TRY!スマソる？」プロジェクトの認知度等に係る県政モニターアンケート結果
(令和6年度第2回県政モニターアンケート結果)

【調査目的】

本県では県民の約2人に1人が高血圧であること、県民一人あたりの食塩摂取量が全国平均を上回っていることなどの状況を踏まえ、R5年度からタレントの平野レミ氏、パラシュート部隊を起用して、スマートにソルトを使う減塩プロジェクト「TRY!スマソる？」を実施しています。

そこで、本事業の認知度や食塩の適正摂取に対する意識、中食、外食での減塩の需要等、皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後の事業の参考とさせていただくため調査を行いました。

【調査時期】

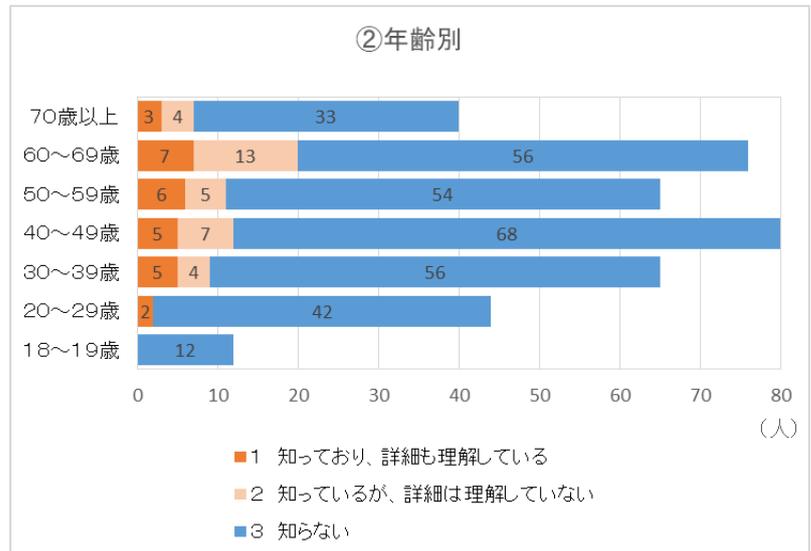
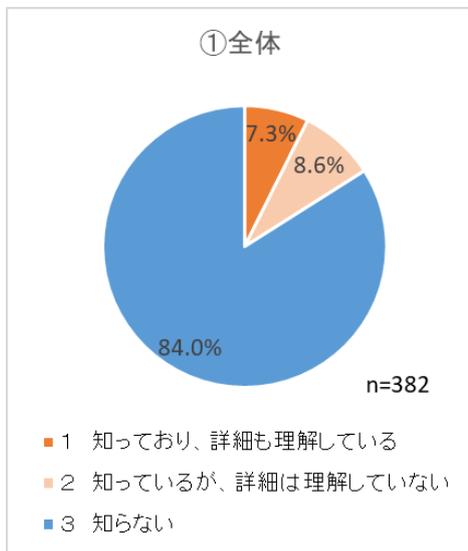
令和6年8月7日～9月5日

【回答者数】

382人

「TRY!スマソる？」プロジェクトの認知度

問1 スマートにソルトを使う減塩プロジェクト「TRY!スマソる？」プロジェクトを知っていますか。



【回答内容】

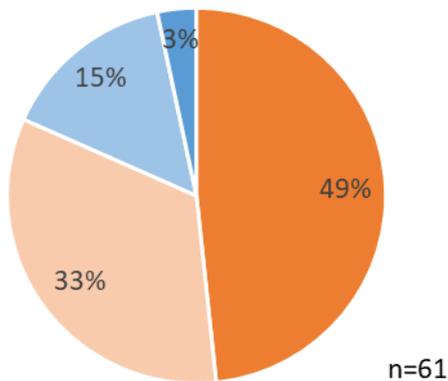
- ・全体では、「知っており、詳細も理解している」と「知っているが、詳細は理解していない」の割合は**15.9% (61人)**となっている。
- ・年齢別でみると、最も認知度が高かったのは60～69歳であり、年齢が上がるにつれて認知度が高い傾向にある。

「食塩の適正摂取」への意識

問2、3 普段の食生活において「食塩の適正摂取」(※)をどれくらい意識して食事や食品を選択していますか。

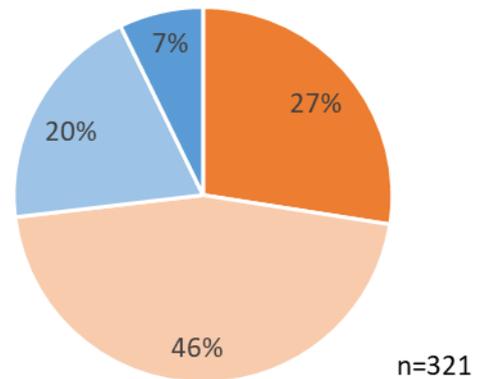
(※) 調味料をかけ過ぎない、麺類の汁を残す、減塩商品を選ぶ など

問1で「1」「2」を選択
(スマソルプロジェクトを知っている)



■ 1 いつも意識している ■ 2 ときどき意識している
■ 3 あまり意識していない ■ 4 全く意識していない

問1で「3」を選択
(スマソルプロジェクトを知らない)



■ 1 いつも意識している ■ 2 ときどき意識している
■ 3 あまり意識していない ■ 4 全く意識していない

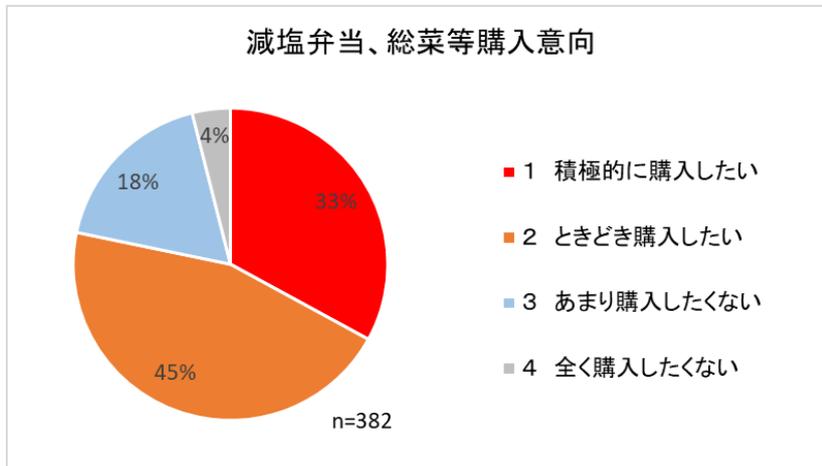
【回答内容】

- ・問1で「1」、「2」を選択した者（スマソルプロジェクトを知っている）のうち、普段の食生活において「食塩の適正摂取」を意識している者は、「いつも意識している」、「ときどき意識している」を合わせると**8割程度**であった。一方で、問1で「3」を選択した者（スマソルプロジェクトを知らない）のうち、普段の食生活において「食塩の適正摂取」を意識している者は、**7割程度**であった。
- ・食塩の適正摂取を意識している者の割合は意識していない者の割合より高い結果となった。

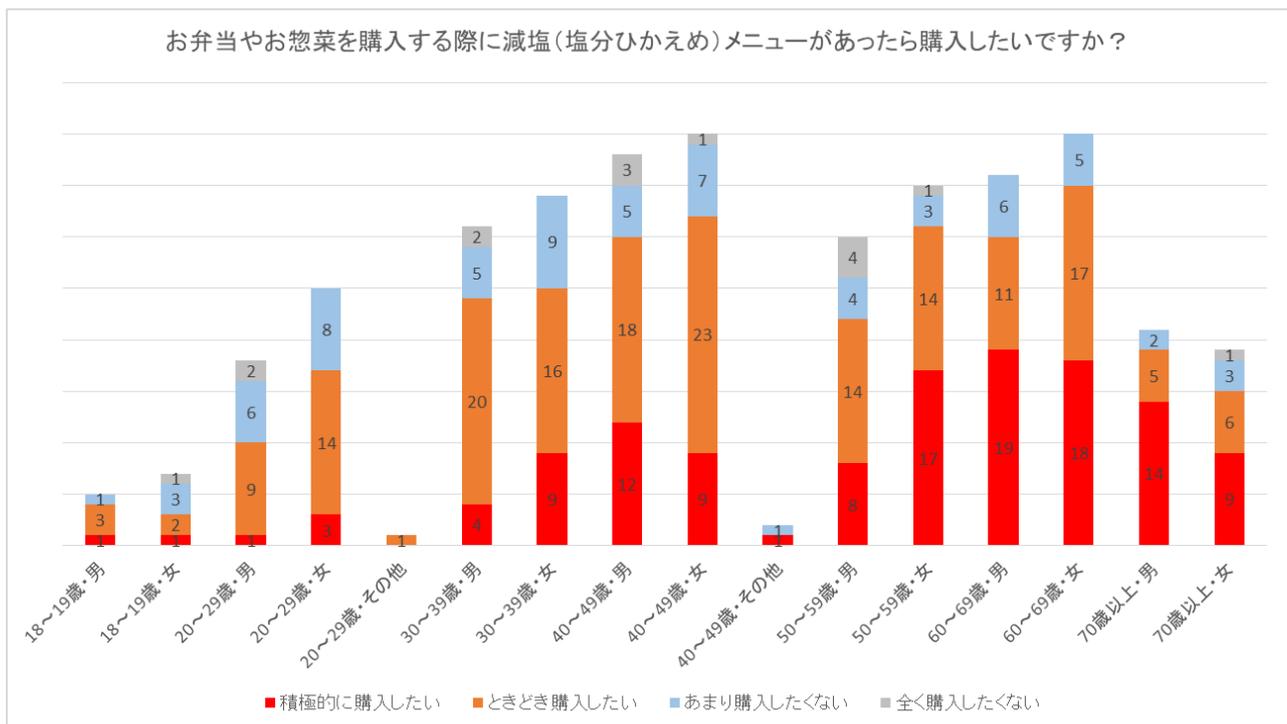
弁当・惣菜の“塩分控え目”ニーズ

問4 お弁当やお惣菜を購入する際に減塩（塩分ひかえめ）メニューがあったら購入したいですか。

【①全体】



【②年齢別】



【回答内容】

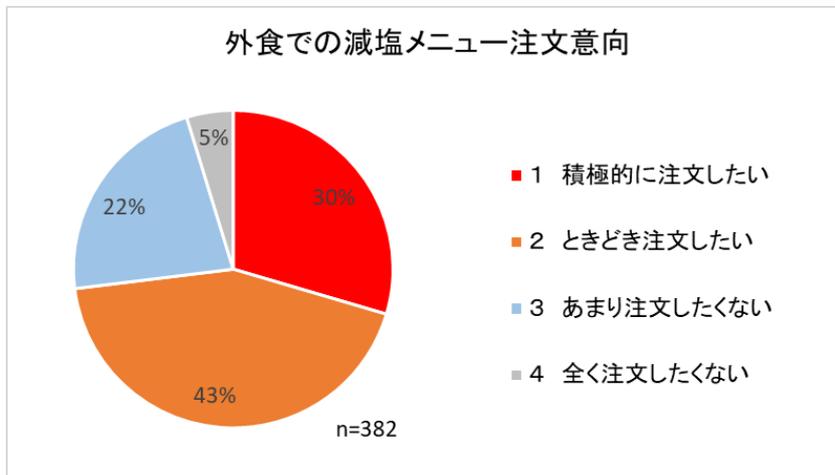
・弁当や惣菜を購入する際に、減塩メニューがあったら「積極的に購入したい」、「ときどき購入したい」と回答した割合は約8割、「あまり購入したくない」「全く購入したくない」と回答した割合は約2割となっており、弁当・惣菜の“塩分控え目”ニーズは高い傾向にある。

・年齢別にみても、全世代で「購入したい」と回答した割合が「購入したくない」と回答した割合と比較すると高くなっている。

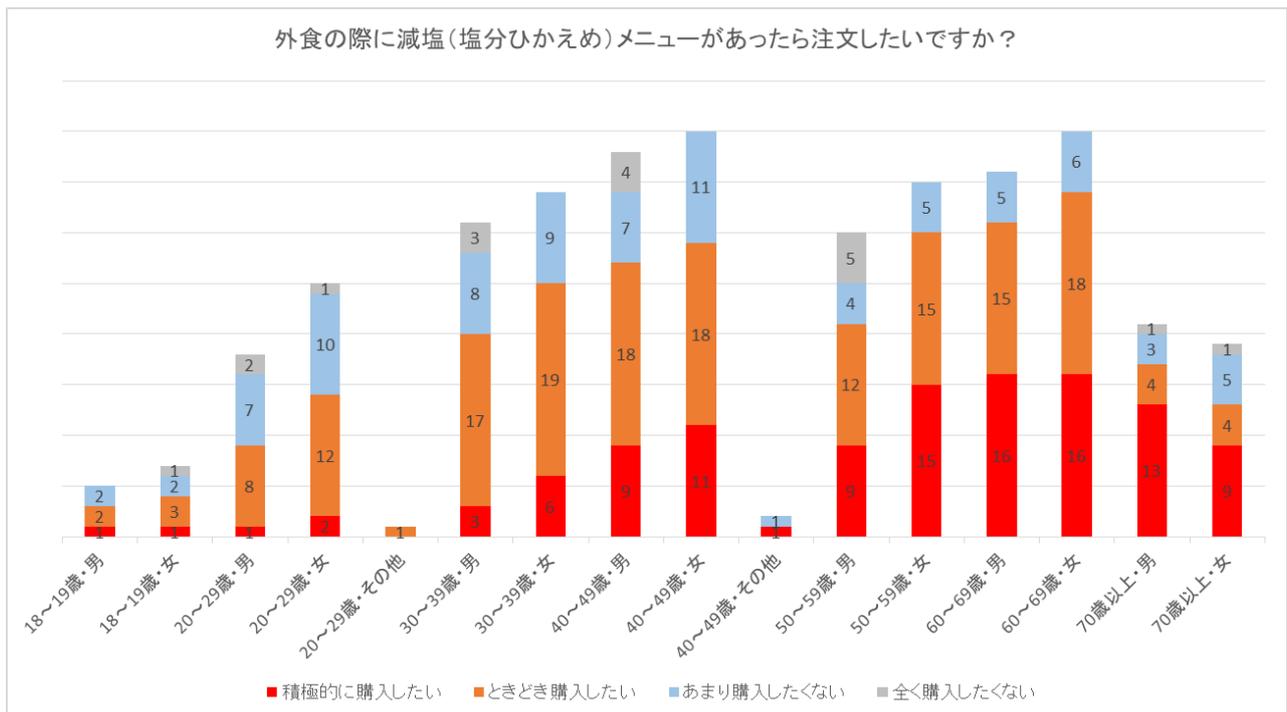
飲食店での“塩分控え目”ニーズ

問5 外食の際に減塩（塩分ひかえめ）メニューがあったら注文したいですか。

【①全体】



【②年齢別】



【回答内容】

・外食の際に、減塩（塩分控えめ）メニューがあったら「積極的に購入したい」、「ときどき購入したい」と回答した割合は約7割、「あまり購入したくない」「全く購入したくない」と回答した割合は約3割となっており、飲食店での“塩分控え目”ニーズは高い傾向にある。

・年齢別にみると、「購入したい」と回答している割合は30代以下ではやや低いが、40代以降では「購入したくない」と回答した割合と比較すると高くなっている。

問6 「TRY!スマソる？」プロジェクトの認知度と食塩の適正摂取の意識について、これまでの設問以外に意見はありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【主な意見（抜粋）】

- ・講習会などを開いて、もっと意識を高めるようにすればいいと思う。
- ・減塩は健康にとってとても良いことですので、もっと若者にも知ってもらえるような効果的な広報が必要と思いました。(学校でのポスター掲示、SNS など)
- ・実際に減塩食を作ると割高になり手間がかかるので、そういうものを克服できたら、もっと広がると思う。
- ・私は高血圧では無いので、適切な味で美味しく食事は、楽しみたいです。
- ・塩分摂取量はできるだけ少ない方がいいとはわかっているが、塩分控えめはあまり美味しくないという認識があるので、頻繁に口にするもの以外はあまり積極的に手に取らない。
- ・子供向けに売られた食べ物で塩分控えめのものがもっと増えればいいと思う。
- ・とても良い施策だと思うので、もっと積極的にPRして普及させるべき。
- ・塩分を控えても美味しい調理法があれば 積極的に広報してほしい。安価で美味しいと感じるものは塩分が多いと思うので、そこに誤魔化されないようなおいしい調理法を広めてほしい。
- ・必要な人にとって、有益な情報かと思いますので、良いと思います。
- ・食事での塩分補給は熱中症対策にもつながるので健康面等正しい方向で減塩について教えて欲しい。
- ・「TRY!スマソる？」プロジェクトについては初めて聞いたが、食事における減塩については、日頃から気をつけているので、大いに関心がある。ただし、現状では外食時や食品を購入する際に、減塩食品を選択できるほど、種類が多くない。減塩食品の種類を増やし、健康指向を食品面からも後押ししてほしい。
- ・自分がどれくらい摂っているのかどのくらい減塩したらよいか知るきっかけがあれば意識づけになると思います。
- ・高血圧の為減塩は意識している。減塩を進める為の具体的な参考資料を紹介してほしい。
- ・外食やお弁当の塩分表示をもっと積極的に実施してほしい。
- ・病院やクリニックで目に入るよう、チラシやポスターを用意すべき。期間限定でも良いので、県内の飲食店で減塩食を提供する催しをしてはどうか。福岡ローカルのテレビ番組でも定期的に減塩食を取り上げるよう働きかけてはどうか。
- ・減塩は大事だが味や価格とのバランスが重要だと思います。
- ・家系的に血圧が高いので、普段から血圧を計り、減塩の調味料を使用していますが、「TRY!スマソる？」プロジェクトを知ったのをきっかけに、出汁やお酢や香辛料で工夫して料理するようになりました。ありがとうございます。

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン(第五次福岡県環境総合基本計画)」(※1)では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴かせください。

【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

(環境部 環境政策課)

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、全ての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは、下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

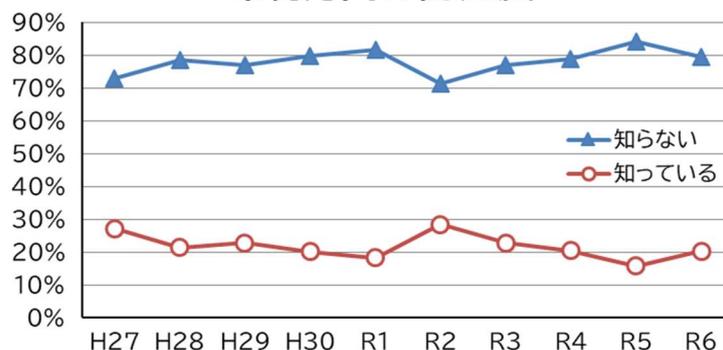
<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=382 選択は1つのみ)

知らない	304名	79.6%
知っている	78名	20.4%

無回答 0% (0名)

環境月間の認知度



<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=382 複数回答可 回答件数=1,707)

ごみが正しく管理・処理されていること	209	54.7%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	173	45.3%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	156	40.8%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	144	37.7%
水が汚染されていないこと	140	36.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	115	30.1%
住まいの周りの静かさ	114	29.8%
空気や空が汚染されていないこと	109	28.5%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	82	21.5%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	81	21.2%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	76	19.9%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	66	17.3%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	65	17.0%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	57	14.9%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	53	13.9%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	40	10.5%
環境について満足しているところはない	25	6.5%
その他	2	0.5%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ 人口の割に自然と触れ合える機会が多いように感じる。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=382 複数回答可 回答件数=1,518)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	174	45.5%
ごみが正しく管理・処理されていること	157	41.1%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	151	39.5%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	132	34.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	129	33.8%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	91	23.8%
環境関連の技術や産業(※2)が向上・発展していること	90	23.6%
水が汚染されていないこと	84	22.0%
様々な産業において、環境に配慮した取組(※3)が行われていること	80	20.9%
家庭や会社で、環境配慮型製品(※4)が選べること	72	18.8%
空気や空が汚染されていないこと	69	18.1%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	54	14.1%
住まいの周りの静かさ	48	12.6%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	45	11.8%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	45	11.8%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	43	11.3%
環境についてよくなったと感じるところはない	29	7.6%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	25	6.5%
その他	0	0.0%
	無回答	0名 0.0%

※2 環境関連産業とは

リサイクル関連産業だけではなく、太陽光発電等の自然エネルギー関連産業などの環境負荷の低減や環境保全につながる様々な産業のこと。

※3 様々な産業における環境に配慮した取組とは

様々な産業が行う事業活動の中で、環境負荷を低減するための取組。

例えば、減農薬・減化学肥料栽培などの環境に配慮した農業や生態系に配慮した資源管理型漁業など。

※4 環境配慮型製品とは

環境負荷の低減を考慮した物品等。以下のような環境ラベルが目印。



エコマーク



グリーンマーク



福岡県産リサイクル製品認定制度



統一省エネルギーラベル



再生紙使用マーク



低排出ガス車認定

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満足と感じるのはどのようなところですか。

(n=382 選択は4つまで 回答件数=862)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	133	34.8%
空気や空が汚染されていること	105	27.5%
水が汚染されていること	71	18.6%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	70	18.3%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	56	14.7%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	53	13.9%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	51	13.4%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	49	12.8%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	43	11.3%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	38	9.9%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	37	9.7%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	33	8.6%
環境について、不安や不満足と感じるところはない	32	8.4%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	27	7.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	25	6.5%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	19	5.0%
家庭や会社で、環境配慮型製品を選べないこと	11	2.9%
その他	9	2.4%

無回答 0.0% (0名)

〔その他〕

- ・ 大規模太陽光発電所のように森を伐採し、天候に左右されやすいだけでなく土壌汚染にも繋がるような自称エコな環境破壊型の発電施設を作る場所が増えたことは不満の塊です。
- ・ 二酸化炭素の削減の為に多くの二酸化炭素を出して、そういうことには触れないというニュースを見たことがある。太陽発電が家の屋根にはあるのになぜ車などにはないのかしら？電気自動車の電気は本当に環境に良いのかしら？核ではないの？工場廃棄物は安全なの？
- ・ 環境対策は10年前に比べるとすすんではいるが、ゲリラ豪雨、夏の気温上昇、自然破壊の進みが早いと思うので、環境対策も少し早めにすすめたほうが、対応出来るのではないだろうか。
- ・ 環境保全、自然との共生などと謳われていますが、いまだに山を切り崩すような開発が県内各地で行われていること。山の樹木が伐採されたと思ったら、ソーラーパネルになって

いくこと。

- ・ 企業や行政がアピールしているものの、実際の生活に根付いているのかと言われるとそうではない。また、環境対策をやっているという単なる善良のアピールにしかならず、不十分さを感じる
- ・ 方向性が定まっているがそれが正解かどうかもわからないこと
- ・ 農業者が少ないため、耕作されない田園が宅地造成されて、結局は大雨時に浸水してしまうこと。元の田んぼだった場所は、昔から大雨時に浸水するから宅地になっていなかったのに、前人の知恵が生かされていない。異常気象が原因で片付けられている。
- ・ 近頃水の汚染が取り沙汰されていますが、国の方から 9 月迄に各市町村で検査して国に報告義務がされた様ですが、検査結果を各市町村に任せる事無く福岡県として県全体として市民にも発表してもらいたいです。

<5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見(抜粋)

<①経済・社会のグリーン化>

- ・ 太陽光や省エネに関しては、福岡市のみ補助金が優遇されている感じがするため、県として省エネ、太陽光・蓄電池の推進をしてほしいです。
- ・ 環境に配慮しようと思うと、価格帯が上がることが多い。誰もが参加できるようにするためには、身近なことから参加できるような働きかけが必要だと思う
- ・ 環境に配慮していますと謳いつつその配慮する為の活動で環境を汚染しているものがあるというのを耳にしたことがあります。そうなってしまっただけでは本末転倒ですので完全クリーンな活動が広まることを願います。

<②持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 福岡はゴミの収集も夜ですしカラスや猫などによるゴミの散乱も他県より少ないとは感じますがそれでも時々マンション等のゴミ置き場でゴミの散乱を見受けられます。あとはこれは個人宅のマナーなのですがペットボトル等の捨て方等がきちんとされていない事。完全に空にせずそのまま廃棄。中身も洗わずラベルもはがさず捨てる。こういう手間ははっきり言って面倒なのですがこれをまた分別する仕事の人が大変になります。こういう事は学校や幼稚園等で教えるべきだと思います。大人が本来率先してやるべき事なのですがそうでないケースも多く、少ないとも子供がやれば親はやらざるを得ないでしょう。そういう小さな事からの環境改善だと思います。
- ・ 暮らしの中で環境を守る 大切にすることを子供の時から学ぶ。具体的には小学校低学年から、校区内の公園、通学路、公共施設の周りなど、また水回りのある小川、河川、海岸など清掃キャンペーンを行う。自分の暮らす校区がゴミで汚れていることを知り、それを清掃して住みよい街をつくることを子供の時から学ぶようにしたい。環境問題の第一はゴミ拾いから！大きくなるにつれ自然環境保全へ繋がることを期待したい。
- ・ 子どもたちが環境について学ぶ機会は多くある気がするが、大人や中高生は自ら出向かないと学べる機会が少ない気がします。環境活動家の方の講演会等を積極的に地域や学校で行って欲しい。
- ・ 環境問題は熱心に考えている人と何も考えてない人の差が大きい。子どもの時からの意識付けが大切だと思う。
- ・ 子どものころから環境問題を考えるのは大切だと思います。地域のコミュニティが機能していない今、家庭と教育現場ではそういう話題であったり、考える時間があればいいですが、まわりを見てみると親も忙しく、教師も忙しく後回しになっている感があります。身の回りの環境で思うのは、環境を損ねているのは大人が多いということ。川にごみを投げ入れたり、ごみの出し方が適当でかえってごみを増やしていたり。大人

になる前の子どもに伝えていくことも必要だと感じます。

- ・ 海に近い場所に住んでいます。風が強い日の次の日など海にたくさんのゴミが流れてきます。地区でボランティアでゴミ拾いなどしてますがボランティアではさすがに限界があります。なので県で多少でも予算を出していただけたら助かります。もう少し海のゴミが減ると思いますしみんなの意識も高まると思います。

<③脱炭素社会>

- ・ 太陽光発電所の建設で自然が破壊される事が心配である。
- ・ 太陽光発電などメリットばかりが強調されてきたが、パネル設置のために森林が伐採されたり、保守のためにかなりのコストがかかるなどの問題点が指摘されているようである。また太陽光パネルに深刻な有害物質が使用されているとも聞く。このような問題点も含めて正確な情報の公開と周知が必要ではないか。自分自身かつては太陽光発電に賛成であったが、最近は必ずしもそう思えなくなっている。
- ・ 太陽光発電は再生可能エネルギーの一つかと思いますが、山を削ってまで作るものではないと思います。都市の中での太陽光発電を推進するとともに、これ以上山林がなくなることはない福岡県であってほしいと思います。
- ・ 大規模な太陽光発電設備が増えて、環境が破壊されていること。そのための森林伐採はゆくゆくは自分たちの首を絞めることになり得ないか。火事の時に消火活動がスムーズに行えないのも恐ろしい。
- ・ 再生エネルギーのために、無駄なエネルギーを使っていないかが心配
- ・ 太陽光や風力などの再生可能エネルギーについては、自然を破壊して設置していたり、その製造過程での環境への負担などもあることから、環境についてむしろ悪影響を及ぼしていると考えられます。さらに、電力系統面へ負担をかけていることから、再生可能エネルギー由来の設備増強なども行われており、その分に対しても環境に悪影響を及ぼしております。
- ・ 環境エネルギーと言われている、太陽光パネルの土壌への影響や、風力発電でのバードストライク問題などがあまり知られていないのは問題だと思う。
- ・ 地球温暖化への取組が実施されているが、温暖化が加速度的に進行していること
- ・ 身の回りの環境で一番問題と感ずるのは、「温暖化」です。この夏も気温 40°近くになる日が連続していて、生命の危険を感じるほどです。しかし、こればかりは県民が努力してもその地域を良くすることができない大きな課題です。しかしそうはいつても、地球温暖化をストップさせる県民の声を集め、行動を続けることは大事です。環境部局の方々は大変でしょうが、他県や他国の人々との連携も深め、この課題解決に向けてなお一層のご努力をお願いします。
- ・ 福岡県の環境向上はとても大事だと思います。今年は特に猛暑が続きます。暑さから身を守る取り組みについても考えてもらうと有り難い。

<④循環型社会>

- ・ あまりにも不法投棄を目にする機会が多い。事業者による大型不法投棄はあらゆる法令を駆使して徹底的に処分するのはもちろん、個人のポイ捨てレベルにおいても厳格に対応すべき。
- ・ 山、海、川、どれもゴミが目立ちます。人としてのモラルの問題だと思いますが、ごみ投棄の厳罰化を進めてほしいです。
- ・ ゴミが散乱している場所はまだ見受けられます。今より取り組みを強化していくことが重要だと思います
- ・ 住んでいる地区は月 1 回町内をパトロールしながらゴミ拾いをする活動があります。

平日夜間の開催ということもあり参加者は65歳以上の方が多いです。幅広い世代に関心を持って参加して貰えるように改善の余地はありますが、防犯とゴミに対する意識が高まる大変有意義な活動だと感じます。県内でこのような活動が増えれば良いと思います。個数別にみるとタバコの吸い殻が多い事が分かりました。可燃ゴミ収集の日にカラスにゴミをつつかれ散乱する事があったのですが、カラス避けネットから箱型のゴミ箱になり散乱が無くなりました。ネットだけの地区への被害がまだあるので、自治体からゴミ箱の支給や補助があると良いと思います。ゴミ削減の意識を持つためにも、県内全ての市町村でゴミ袋有料化、プラスチックの分別回収を行う地域を増やすことも有効だと考えます。

- ・ 6月が環境月間であることは知らなかった。省エネに関しては技術的に進んでいることが大きく寄与していると思われる。一方、資源の有効活用については進んでいない。リサイクル、リユースの徹底を更に図ることと、モノを残さない取り組みがなかなか進んでいないため、この取り組みを積極的に推進させることが必要と感じる。
- ・ スーパーだけでなくコンビニ、ドラッグストアなどでもペットボトル、アルミ缶など売るだけでなく回収をする様にしたら良いと思います。
- ・ リサイクルは良いが、手間、コスト(エネルギーなどとして環境悪化につながる)がかかっている。トータルとして評価することが大事。
- ・ 県の環境としてというか、日本の課題として車社会を減らす方法・食品ロスや規格外商品の破棄を減らす方法をしっかり取り組んでいかなくてはいけないと思っています。是非、福岡県を筆頭に将来の子供達の未来を守っていく取り組みをしたいです。
- ・ プラごみの早期分別
- ・ プラスチックゴミの回収をもっと多くの市町村でやってほしい。
- ・ ゴミ捨てが楽なのは良いことですが、再生可能なゴミに関しては積極的に回収を進めた方が良いと思います。例えば他県であるようなペットボトルを回収する場所に持っていくとポイント還元する等。メリットが無いと取り組まない人が多いので活用すると良いと思います。
- ・ ごみの分別は必要でしょうか。分別をしても、多くは燃えるゴミとして焼却され、ほとんど効果がないように思えます。他県のように一括で全て捨てられると便利だと感じます。

<⑤自然共生社会>

- ・ 猪や鹿などの共存共栄をどうすればいいか？ 近所で出没するので
- ・ 樋井川で毎年川遊びをします。するとポイ捨てされた色々なものが川から出てきます。色々な価値観のひとがいるので、難しいのはわかりますが、自然を大切にしていこう行動を気づかせる看板なり、を増やして欲しいです。
- ・ 子どもと一緒に水遊びの出来る川の整備をもっとしてほしい。自然と子供の触れ合える場所が少ないと感じる。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 水の汚染度が気になります。詳細に調査していただきたい。それと、山林で埋めて？管理しているダイオキシンというか枯葉剤、今後どうなるのでしょうか。
- ・ 下水道が整備されている地域内でも下水に接続していない家庭があり、生活排水が側溝に流れているので一日も早く普及率100パーセントにしてほしい
- ・ 湧水問題や治水問題は県をあげて取り組むべきだと思います
- ・ 水田の農薬が心配。草がほとんど生えていない。
- ・ 安易に除草薬や農薬等を使い過ぎる方が多いようです。次世代への影響が心配です。

- ・ 私は田舎に住んでいるので環境には満足していますが、たまに都市部に出かけると緑の無さや空気の悪さを感じます。公共交通の改善等で車通勤を減らすして行くべきだと思います。
- ・ 家の前が大きな道路で、車の排気ガスが風に乗ってくるため、エコな車が普及して排気ガスがなくなればいいと思っています。

<⑦国際環境協力>

- ・ 黄砂や PM_{2.5} など、空気が汚染されている日が昔より多い印象です。環境問題は、ひとつの県、ひとつの国だけでなく、周りの国と足並みをそろえる必要があるかと思います。姉妹都市や特に中国との連携ができるとよりよい環境対策が可能かと思います。
- ・ 海外の影響に対する対策を実施しないと将来不安
- ・ 大気も海も全て、他の国にも繋がっているため世界規模での取り組みが必須なのに特に中国の大気汚染問題は、私達日本人の健康被害への影響が大問題です。自国の利益のみを主張する国々への考えを改善する指導をしなければいつまでも健康被害問題が悪化します。県単位の取り組みは、大事ですが、日本だけの問題ではないと思われれます。

<⑧その他>

- ・ 環境(地球)については、福岡県だけの問題ではなく、世界的な問題だと思う。過去の先人達が築き上げてきて、良いところも悪いところも含めて今の生活があると思うので、悪いところについてはそのツケをこれからの子供達の将来に残さないよう、福岡県が世界に先駆けて色々な環境問題に取り組んでもらいたい！
- ・ 環境保全について、人類はまだ発展途上だと思える。情報が錯綜している。たとえば、太陽光発電がもてはやされる反面、メリット、デメリットのバランスに疑問がある。ゴミの処理も、まだ原始的だ。ゴミ分別は、取り組みにばらつきがあり文化として確立していない。環境教育は、義務教育の学校では一ミリしか進んでいない。
- ・ ゴミ袋による分別やリサイクルできるものの選別など一人一人が意識的にできているところはあると思う。無料のボランティア活動に頼るばかりでなく、子供から老人までが休みの日や、やりたい時に清掃活動などを有料で行える登録制度をつくり、働けるようにすると良いと思う。
- ・ 福岡県は環境問題に対してどのように取り組んでいるか、テレビや新聞等でもっと報じて欲しい。
- ・ 各地域の連携が必要な分野だと思います。各市町村がそれぞれの特徴を活かしてイベントを企画し、多くの県民がそれを利用したり、考えたり、参加したりできるような機会を、もっと作れたら良いのではないかと思います。
- ・ 環境問題の取り組みをもっとアピールする場所があってもいいと思います。
- ・ 福岡県の環境については、地域ごとで意識の違いや取り組みの差がある。県全体としての目指す目標をどのように各地域へ啓蒙していこうとしているのか県の取り組みを知りたい。
- ・ 通販で買い物した時に、過剰な包装がされていて、ゴミが増え処理に困るし、資源がもったいないといつも思います。以前は遅い時間のスーパーでは、割引シールが貼られた惣菜が沢山並んでいましたが、最近はそういったものが少なくなりました。SDGSの取り組みができているなど感じています。
- ・ 観光施設と子供の安全な遊び場が他県に比べて充実していないと思います。河川敷などをもっと整備して活用して欲しいです。

<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

<①経済・社会のグリーン化>

- ・「産業での環境に配慮した取組」「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<②持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

- ・「環境配慮行動」「地域づくり」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<③脱炭素社会への移行>

- ・「再生可能エネルギーの活用」に対する満足度は昨年度から増加しました。「省エネルギーの取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<④循環型社会の推進>

- ・「ごみの管理・処理」に対する満足度は比較的高く推移しています。「資源の有効利用」「リサイクル」に対する満足度は昨年度から増加しました。

<⑤自然共生社会の推進>

- ・「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」に対する満足度は昨年度から増加しました。「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

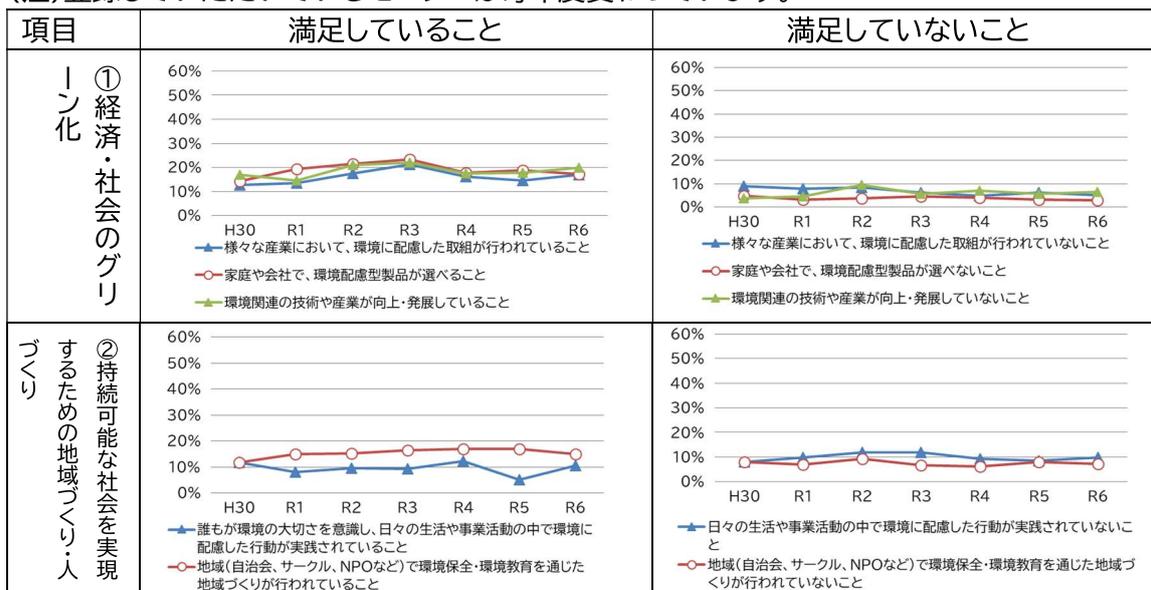
- ・「水の汚染」「空気の汚れ」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」が他の項目に比べ比較的高い傾向にあります。

また、<健康で快適に暮らせる生活環境の形成>「空気や空気が汚染されていること」では他の項目に比べ比較的高いですが、近年改善傾向にあります。

これらの結果については、今後の環境に関する取組の進め方や情報発信に活用していきます。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



<p>行</p> <p>③ 脱炭素社会への移行</p>	<p>省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること 太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること</p>	<p>省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること 太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと</p>
<p>④ 循環型社会の推進</p>	<p>モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること ごみが正しく管理・処理されていること</p>	<p>モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと ごみが正しく管理・処理されていないこと</p>
<p>⑤ 自然共生社会の推進</p>	<p>豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること</p>	<p>豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと</p>
<p>せる生活環境の形成</p> <p>⑥ 健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p>空気や空が汚染されていないこと 水が汚染されていないこと 住まいの周りの静かさ</p>	<p>空気や空が汚染されていること 水が汚染されていること 住まいの周りの静かさが保たれていないこと</p>

県政モニターアンケート：福岡県育成品種のかき「秋王」、
みかん「早味かん」について

(農林水産部園芸振興課)

【調査の目的】

- ・かき「秋王」とみかん「早味かん」は、いずれも福岡県が開発した品種で、他の品種より糖度が高く、優れた食味が特徴です。県では、こうした県育成品種のブランド化を進めています。今回のアンケート結果をもとに、更なる認知度の向上と魅力発信の取り組みの参考とします。

【県政モニターの内訳】

○性別

	人数	(%)
男性	179	46.4
女性	200	52.9
その他	3	0.8
合計	382	

○世代別

	人数	(%)
18～19歳	12	3.1
20代	44	11.5
30代	65	17.0
40代	80	20.9
50代	65	17.0
60代	76	19.9
70代以上	40	10.5
合計	382	

○地域別

	人数	(%)
北九州	95	24.9
福岡	198	51.8
筑豊	31	8.1
筑後	58	15.2
合計	382	

① かき「秋王」を知っていますか。次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

- 1 知っており、購入したことがある
- 2 知っているが、購入したことはない
- 3 知らない

(回答)

表1 「秋王」の認知度について

選択肢	18~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均	
知っており、購入したことがある	0%	5%	3%	8%	6%	18%	28%	10%	
知っているが購入したことはない	0%	9%	20%	13%	23%	22%	15%	17%	
知らない	100%	86%	77%	80%	71%	59%	58%	73%	
		14%		21%		40%		27%	
		23%		29%		43%			

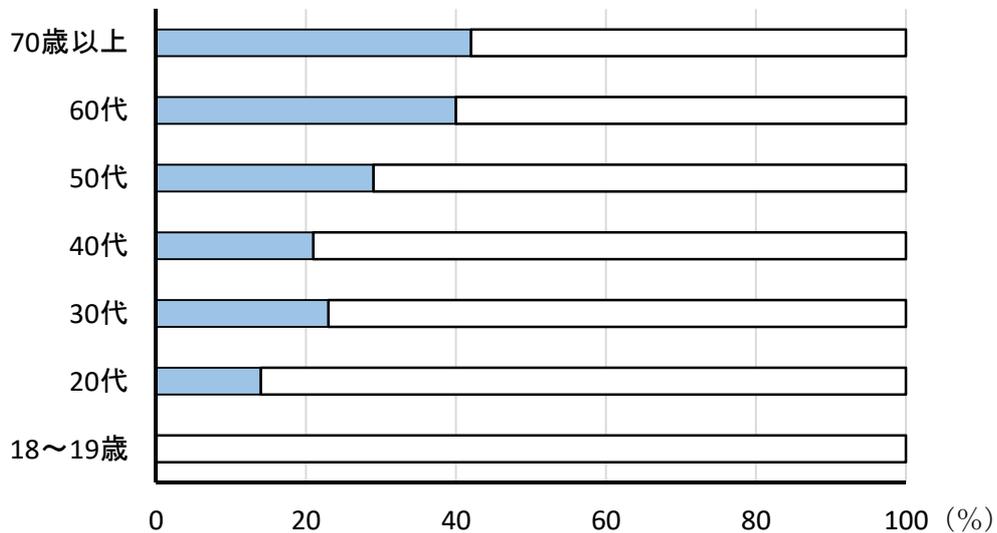


図1 「秋王」の認知度について

■ 知っている（選択肢1と2の合計） □ 知らない（選択肢3）

・「秋王」の認知度は60代以上で40%以上と高かったが、50代以下の世代では「知らない」との回答が70%以上であった。

② (①で「知っており、購入したことがある」を選択された方にお尋ねします。)

食べた時の感想について、次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

- 1 甘くて美味しい
- 2 種がほとんどなくて食べやすい
- 3 サクサクした食感が美味しい
- 4 美味しくない

5 その他

(回答)

表2 「秋王」の食味について

選択肢	回答数	割合
1 甘くて美味しい	30	77%
2 種がほとんどなくて食べやすい	25	64%
3 サクサクした食感が美味しい	22	56%
4 美味しくない	1	3%
5 その他	3	8%

・ 昨年のアンケート結果と同様に、食味への評価は高かった。

(令和5年度結果 甘くて美味しい 88%、種がほとんどなく食べやすい 54%、サクサクした食感が美味しい 54%)

③ (①で「1」又は「2」を選択された方にお尋ねします。)

「秋王」をどこで知りましたか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

- 1 福岡県の広報誌
- 2 スーパーなどの小売店の店頭
- 3 XなどのSNS
- 4 博多駅などでの街頭広告
- 5 知人などからの贈答品
- 6 その他

(回答)

表3 「秋王」に関する情報の入手先について

選択肢	回答数	割合
1 福岡県の広報誌	59	57%
2 スーパーなどの小売店の店頭	51	49%
3 XなどのSNS	3	3%
4 博多駅などでの街頭広告	5	5%
5 知人などからの贈答品	8	8%
6 その他	10	10%

- ・ 多くの消費者が、福岡県の広報誌と小売店の店頭で「秋王」の情報を入手していた。
- ・ その他の意見として、地元のテレビ番組との回答が多かった。

④ うんしゅうみかん「早味かん」を知っていますか。次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

- 1 知っており、購入したことがある
- 2 知っているが、購入したことはない
- 3 知らない

(回答)

表4 「早味かん」の認知度について

選択肢	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均								
知っており、購入したことがある	0%	7%	6%	11%	11%	20%	13%	11%								
知っているが購入したことはない	25%	7%	9%	6%	17%	17%	25%	13%								
知らない	75%	86%	85%	83%	72%	63%	63%	75%								
	} 25%		} 14%		} 15%		} 17%		} 28%		} 37%		} 38%		} 24%	

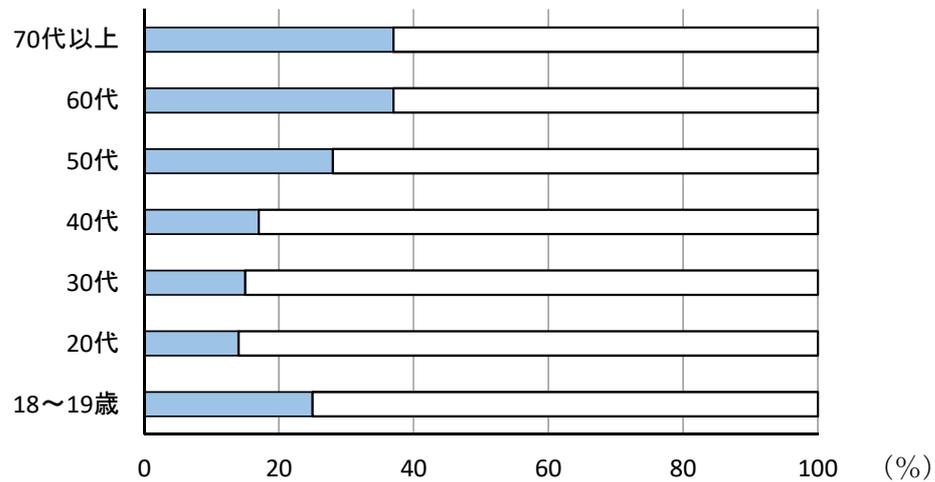


図2 「早味かん」の認知度について

■ 知っている (選択肢1と2の合計) □ 知らない (選択肢3)

- ・「早味かん」の認知度は60代以上で37～38%と高く、次いで50代が28%であった。
- ・20代から40代の認知度は、10%代で低かった。

⑤ (④で「1」を選択された方にお尋ねします。)

食べた時の感想について、次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

- 1 甘くて美味しい
- 2 酸味が少ない
- 3 じょうのう（薄皮）が薄い
- 4 酸っぱい
- 5 おいしくない
- 6 その他

(回答)

表5 「早味かん」の食味について

選択肢	回答数	割合
1 甘くて美味しい	33	77%
2 酸味が少ない	10	23%
3 じょうのう（薄皮）が薄い	22	51%
4 酸っぱい	4	9%
5 美味しくない	0	0%
6 その他	1	2%

・「甘くて美味しい」の回答が77%で最も多く、食味の評価は高かった。

⑥ 9月下旬～10月下旬におけるみかんの購入頻度について、次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

※「早味かん」に限らず、みかん全般についての質問です。

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回以上
- 4 買わない

(回答)

表6 みかんの購入頻度について

選択肢	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均
1 1回	17%	16%	18%	23%	12%	20%	15%	18%
2 2回	17%	9%	9%	19%	11%	12%	15%	13%
3 3回以上	17%	27%	28%	25%	37%	37%	40%	31%
4 買わない	50%	48%	45%	34%	40%	32%	30%	38%

・70代以上の購入頻度が最も高く、若い世代で低かった。

・すべての世代で、半数以上の消費者は少なくとも1回はみかんを購入している。

⑦ 「早味かん」は、極早生みかんの中では着色の良い品種ですが、果皮の一部が緑色です。果皮が緑色のみかんに対するイメージについて、次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

- 1 新鮮で美味しそう
- 2 甘そう
- 3 健康に良さそう
- 4 未熟で美味しくなさそう
- 5 酸っぱそう
- 6 その他

(回答)

表7 「早味かん」のイメージについて

選択肢	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均
新鮮で美味しそう	25%	20%	20%	26%	40%	34%	40%	30%
甘そう	25%	14%	12%	13%	12%	7%	13%	12%
健康に良さそう	25%	16%	12%	16%	15%	18%	30%	18%
未熟で美味しくなさそう	25%	39%	31%	35%	20%	34%	35%	32%
酸っぱそう	25%	66%	71%	76%	62%	66%	58%	66%
その他	17%	2%	2%	0%	5%	1%	3%	2%

- ・果皮が緑色であることについて、「酸っぱそう」との回答が66%であった。
- ・「新鮮で美味しそう」との回答は30%、「未熟で美味しくなさそう」との回答が32%と、ほぼ同じ割合であった。

⑧ 「秋王」と「早味かん」について自由記述

- ・主な回答として、「いずれの品種も知らなかった」、「もっとPRをしたらよいのではないか」、「購入してみたい」、「あまりスーパーで見かけない」等があった。

令和6年度

県政モニターアンケート調査結果

テーマ:「ふくおか教育月間」について

1.調査の目的

本県では、県民の皆さんに教育に対する関心と理解を一層深めていただくとともに、家庭、学校及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月を「ふくおか教育月間」と定め、著名人による記念講演や児童生徒の発表などを行う記念イベントの開催や「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」※を活用した啓発チラシの配布をしています。

皆さんの「ふくおか教育月間」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

2.調査時期

令和6年8月7日～令和6年9月5日

※ イメージキャラクター「ミライル」とは

これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です。

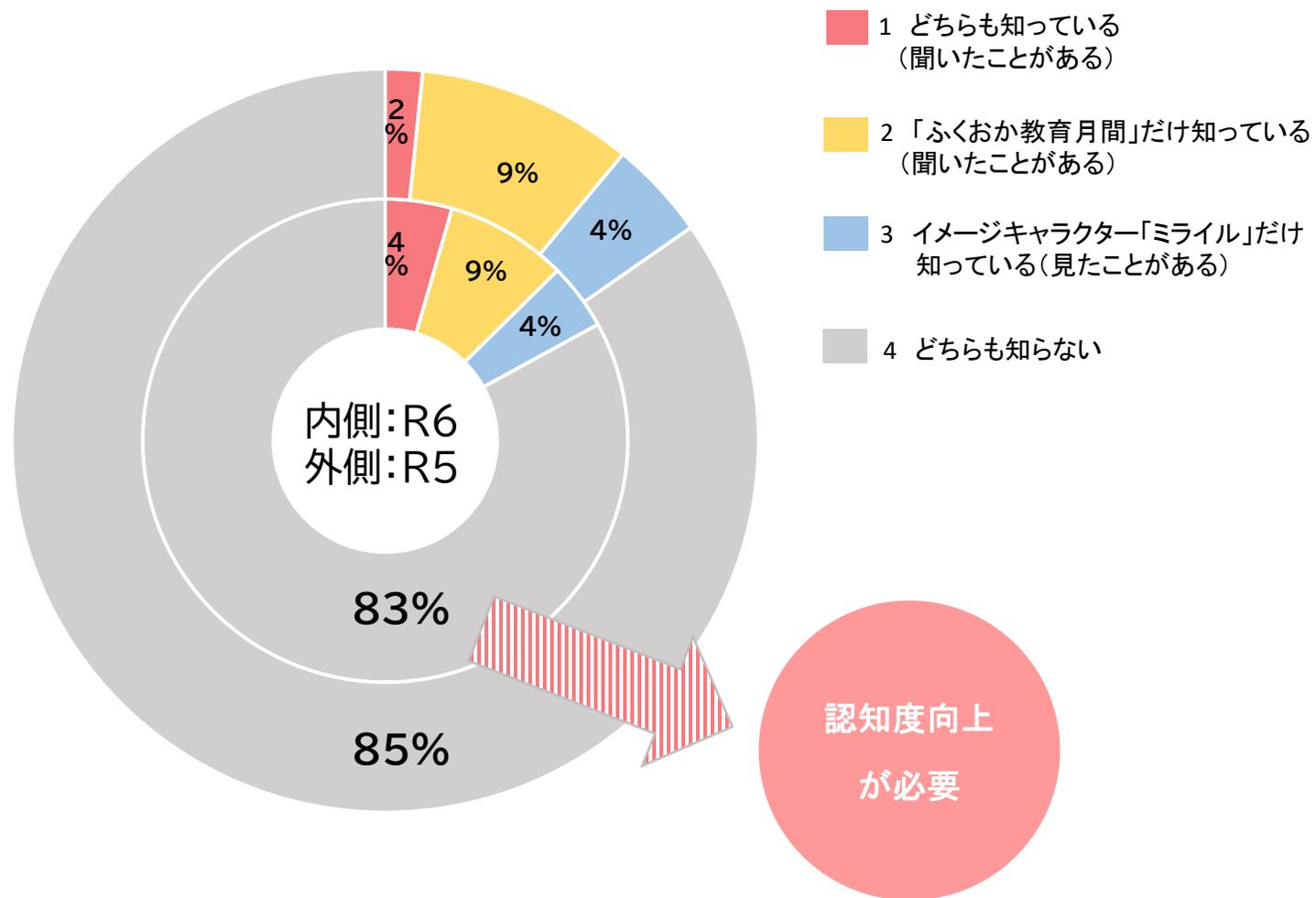
「ミライル」という名前には、笑顔(スマイル)が溢れる未来(ミライ)

に羽ばたいてほしいという願いが込められています。



問1 「ふくおか教育月間」やイメージキャラクター「ミライル」を知っていますか。

(n=382、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 どちらも知っている (聞いたことがある)	17人	4%
2 「ふくおか教育月間」だけ知っている (聞いたことがある)	31人	9%
3 イメージキャラクター「ミライル」だけ知っている (見たことがある)	17人	4%
4 どちらも知らない	317人	83%

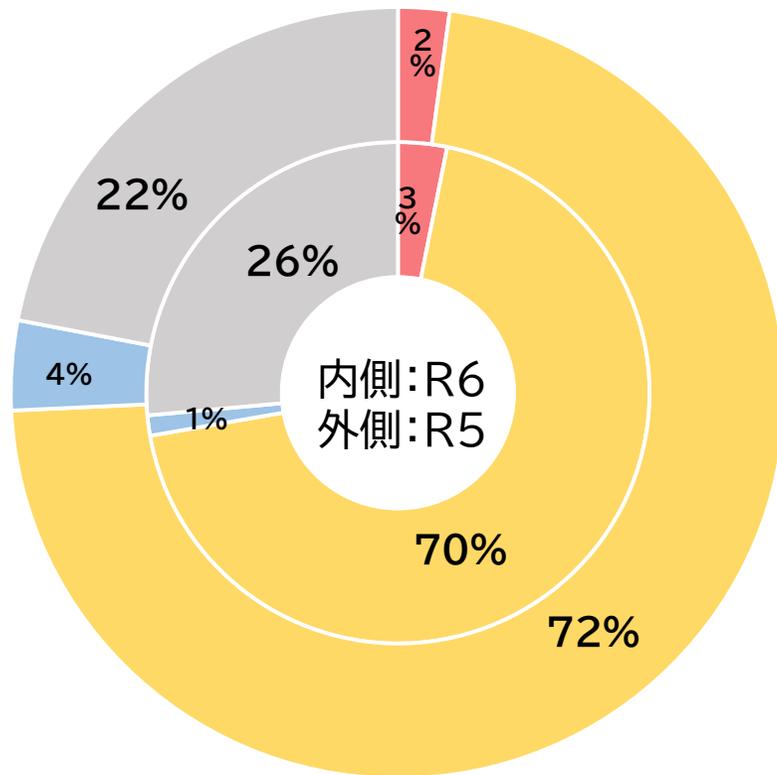
問2 どこで知りましたか。

(問1で[1][2][3]を選んだ場合、n=65、複数選択可)

福岡県のホームページ	30人
新聞広告	11人
WEB広告	9人
「ふくおか教育月間」記念行事のポスター・チラシ	19人
フリーペーパー	8人
学校からの案内	19人
家族・知人からの紹介	0人
その他	7人

問3 「ふくおか教育月間」記念イベントや、学校や地域における教育に関する行事等に参加したいと 思いますか。

(n=382、選択は1つのみ)



- 1 参加したことがあるが、今後は参加したい
- 2 参加したことがないが、今後は参加してみたい
- 3 参加したことがあるが、今後は参加したくない
- 4 参加したことがなく、今後も参加したくない

選択肢	人数	割合
1 参加したことがあるが、今後は参加したい	12人	3%
2 参加したことがないが、今後は参加してみたい	264人	70%
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない	5人	1%
4 参加したことがなく、今後も参加したくない	101人	26%

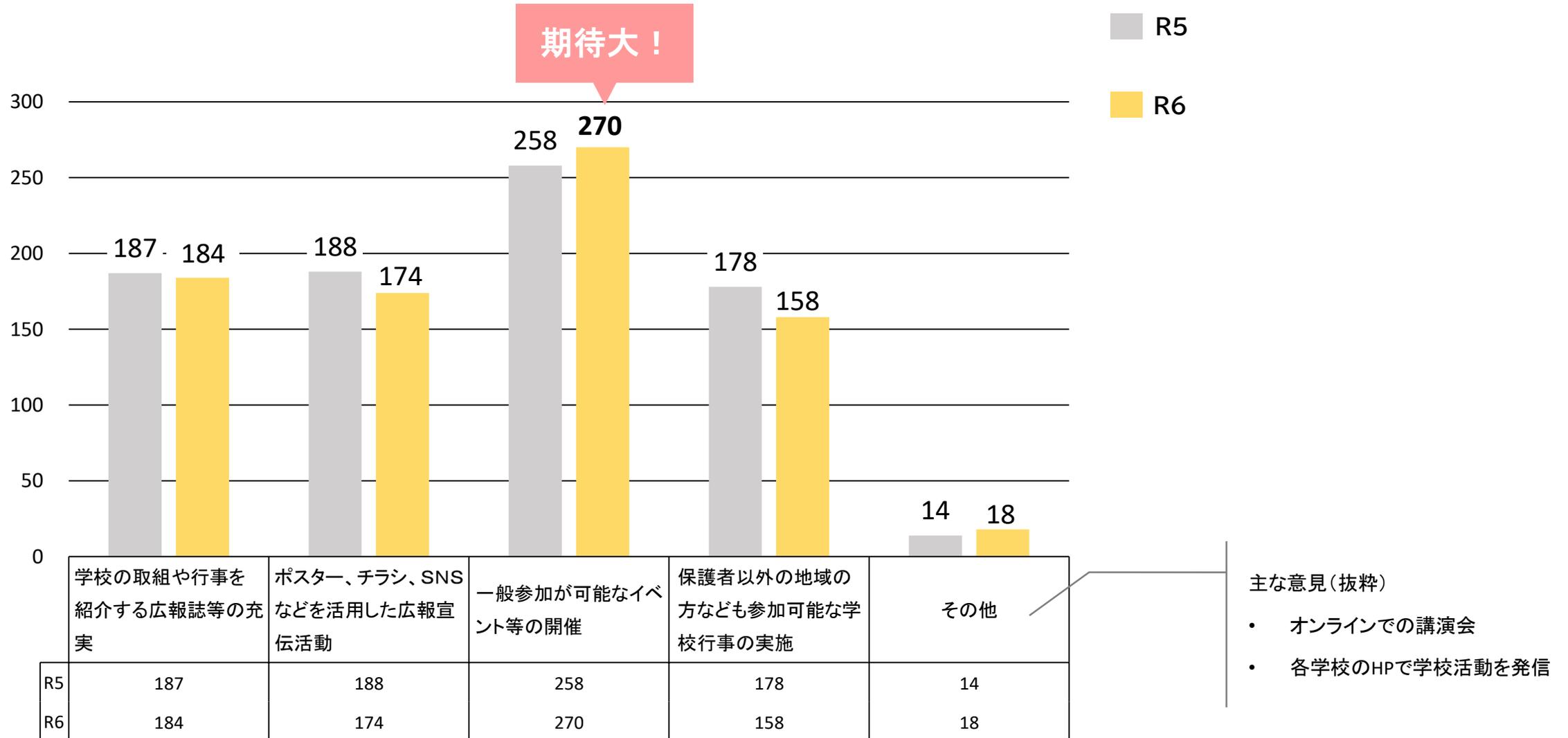
「ふくおか教育月間」記念イベント等に

約7割の方が

参加したい(してみたい)と回答しています

問4 教育に対する関心と理解を深めるために、県に対してどのような施策を期待しますか。 (または有効だと思いますか。)

(n=382、複数選択可)



問6 「ふくおか教育月間」について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(n=111)

「ふくおか教育月間」やイベントについて

- 幼稚園でも啓発活動をしてもらいたい。
- 「ふくおか教育月間」の取組はとても良いと思うが、教育をする先生の働き方改革や、教諭の性犯罪や児童のいじめ問題など、問題は山積している。その部分にも切り込む必要があると思う。
- ありきたりの講演会などではもともと関心のある人でなければ参加しにくいだろう。一般の参加者を増やすにはイベントの内容や広報を工夫する必要があるであろう。生徒の発表も同様で、教育関係者や同じ年齢層の子供がいる親御さんでもなければなかなか関心は高まらないだろう。
- 子供たちの教育は本当に大事。各種の行事やイベントを通して、保護者以外の方々にも強い関心をもってもらい、子供の立場にたった教育改革を進めてほしいと願う。
- 福岡教育月間の福岡県ホームページを拝見した。教育に対して自分がどのように関わりどんなことに貢献できるのか想像がつかないため、具体例を示していただくと有難い。
- 子どもが社会人になってから、教育に対して鈍感になっていたの、今回を機に、色々理解したいと思う。ミライル、初めて知ったが、可愛いキャラクターである。
- 是非、子供たちが興味をもち未来につながるような取組を行ってほしい。
- 11月が教育月間であることを知らなかった。一般県民も気軽に参加できる取組があるとありがたい。
- 教育関連は幅が広すぎるので、大タイトルを達成するために3回、5回と分けてアプローチする。つまり1年ごとにテーマや目的を決めて実施するのではなく、3年、5年と複数回にわたって完結するようなテーマを見つけて展開したい。

等

情報発信について

- 宣伝をもっとしてほしい。
- キャラクターに関しては全く存じ上げない。教育月間の取組は把握していた。参加はしたくないが参加していきいたいなと思っている。SNS等の媒体で広告やバナーがもっとあれば認知度は高まるのかな？と感じた。
- この取組も、全く知らない。市町村の回覧板などでも回ってきていないし、ポスターも目にしたことはない。参加するか否かということの前に、まずは多くの県民に知ってもらう方法を、工夫する必要があるのでは？
- 教育と聞くと難しいという印象があるので気楽に取りかかれる内容で広報してほしい。
- 教育月間の概念がなく、まずはその月間があることを広めることが必要。(SNS、広報誌、ポスター、テレビでの告知等が必要かと。)

等

その他

- 基礎学力の定着。
- 地域のまちづくり記念館の講座に今年度初めて参加している。参加者も多く、盛況だったのでびっくりした。わが子が幼いときは、学校主催の講演会などに参加していたが、その機会もなくなった。地域住民も参加しやすい講演会やイベントがもっとあるといいなあ、若しくはその情報をたくさん発信してほしいと思う。
- 教育はいま、大きく変わる時期に来ていると思う。変化を受け入れることはとても大変なことだと思うが、独自に変換をされている県もある。子供の将来を考えるなら、大幅な変革が必要だと思う。神奈川県横浜市は、子供に関しての整備がとても進んでいるところだと思う。ぜひ、参考にされて教育の変換を福岡県から進めてほしいと思う。
- 私にも子供が居るが、どうしても私達の学生時代と比較してしまう。特に、先生達とお会いして感じるのだが、生徒に対して熱い気持ちを持って接している先生が少なくなってきている気がする。もちろん、先生方の大変さも重々分かっているつもり。熱心に接して頂ける先生が一人でも多く増えることを期待している。
- 教育を通じて社会的な常識や当たり前のことを当たり前で教えられる教育をしてほしい。
- 家庭、学校、地域社会の円滑なコミュニケーションが教育に対する理解に繋がると思う。いろんな世代の意見をすり合わせる事も必要さを感じる。
- 不登校児童の教育についても抜本的な改革を期待する。(フリースクールやオンラインスクールに対する補助金や、オンライン学習の取組など)
- 地域と共にある学校作りをしてもらいたい。

等

警察活動について

(令和6年度)

【調査の目的】

福岡県警では、「県民の安全・安心の確保」を運営の指針とし、県民の皆さんからの御理解と御協力を得ながら、地域との協働による犯罪・事故の起きにくい社会づくりに向けた警察活動を展開しています。

そこで、警察活動について皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後の参考にさせていただきます。

【活動状況】

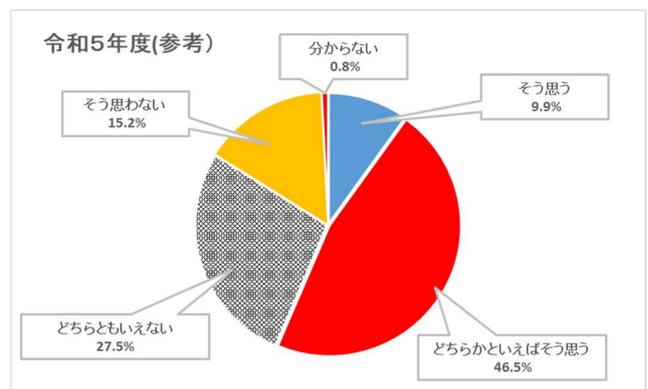
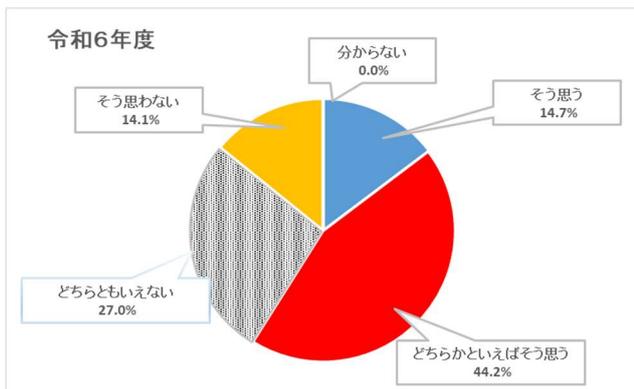
治安に関する県民の意識及びその変化を把握し、今後の各種警察活動に反映します。

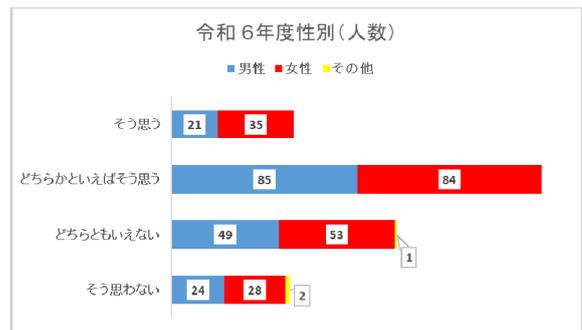
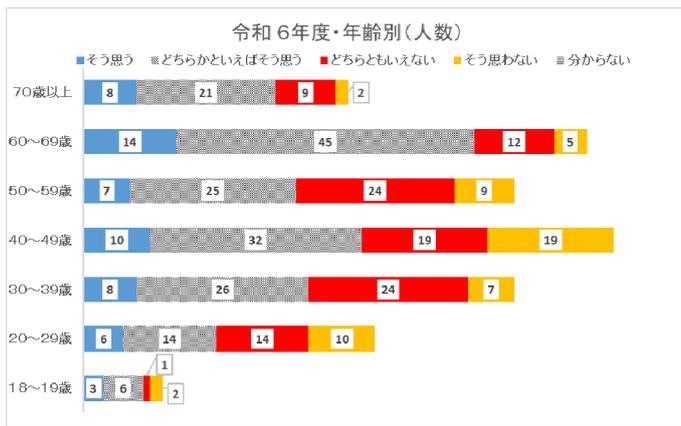
(警察本部 総務部 被害者支援・相談課)

〈1〉 あなたは、現在の福岡県が、治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。

(n = 382 選択は1つのみ)

そう思う	14.7%	(56名)
どちらかといえばそう思う	44.2%	(169名)
どちらともいえない	27.0%	(103名)
そう思わない	14.1%	(54名)
分からない	0.0%	(0名)
無回答	0.0%	(0名)





〈2〉 〈1〉で「そう思わない」と選択された方にお尋ねします。

あなたが、福岡県の治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思わない理由は何ですか。

(「そう思わない」と選択された方 n=54 選択は3つまで 回答件数=134)

悪質・危険な交通違反や、爆音走行などの暴走行為を見かけるから	22.4%	(30名)
暴力団等による凶悪事件などが発生しているから	16.4%	(22名)
自分や身近な人が犯罪被害や交通事故に遭ったり、身近な場所でそれらが発生しているから	14.9%	(20名)
パトカーが集まっているのを見かけたり、パトカーのサイレン音が聞こえるから	13.4%	(18名)
深夜、公共の場所(公園やコンビニエンスストアを含む)で騒いでいる人たちを見かけるから	12.7%	(17名)
自転車の運転マナーが悪い人を見かけるから	9.7%	(13名)
不審な人や乱暴な言動をする人を見かけるから	7.5%	(10名)
その他	3.0%	(4名)

無回答 0.0% (0名)

[その他(抜粋)]

- ・ 性犯罪の発生件数が多いから
- ・ 頻繁に不審なメールがくるから
- ・ 全国ニュースになる犯罪の発生地や犯人の出身地等が福岡県だと報道されることが多いから
- ・ 警察の不祥事が多くなったから

〈3〉 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。

(n=382 選択は4つまで 回答件数=1390)

飲酒運転	14.5%	(202名)
電話やSNS等を通じてお金をだまし取る「ニセ電話詐欺」や「SNS型投資・ロマンス詐欺」	10.7%	(149名)
殺人、強盗、放火、誘拐などの凶悪犯罪	8.9%	(124名)
爆音走行などの暴走行為	8.1%	(113名)
ストーカー、DV、児童・高齢者虐待・障がい者虐待に関する犯罪	8.1%	(113名)
暴力団による犯罪	7.8%	(108名)
空き巣、ひったくり、車上ねらい、自転車盗などの窃盗犯罪	7.6%	(105名)
サイバー犯罪（フィッシング、不正アクセス、コンピュータウイルス等インターネットを利用した犯罪）	6.3%	(87名)
不同意性交等（強制性交等）、不同意わいせつ（強制わいせつ）、痴漢、盗撮などの性犯罪	6.1%	(85名)
自転車や小型の電動モビリティの違法行為	5.5%	(76名)
ごみの不法投棄など、人の健康または生活環境に関する犯罪	4.0%	(56名)
汚職など公務員による犯罪	3.2%	(45名)
少年の非行	2.6%	(36名)
拳銃発砲などの銃器犯罪や、覚醒剤・大麻の密売などの薬物犯罪	2.3%	(32名)
悪質な訪問販売などの商取引に関する犯罪	1.9%	(26名)
違法な性風俗営業等による、青少年の健全育成などを害する犯罪	0.9%	(13名)
高金利貸付けや脅迫的な取立てをするヤミ金融犯罪	0.6%	(9名)
その他	0.8%	(11名)
無回答	0.0%	(0名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 喫煙や拡声器による騒音等の迷惑行為（類似意見2件）
- ・ 高齢化社会に即した交通取締り
- ・ 不法滞在等の犯罪
- ・ 警察内部の犯罪（類似意見1件）

〈4〉 あなたは、犯罪の取締り以外に、警察が今後、特に力を入れるべき活動として、どのようなものを望みますか。

(n = 382 選択は4つまで 回答件数 = 1298)

パトカーや制服警察官によるパトロール	14.8%	(192名)
飲酒運転を許さない社会環境づくりの推進	12.7%	(165名)
高齢者や子ども等の交通事故の抑止	9.4%	(122名)
相談、苦情、要望・意見を受ける窓口の充実	8.2%	(107名)
地域で発生する身近な犯罪などの情報提供	7.8%	(101名)
自転車や電動モビリティの交通ルール遵守	7.2%	(94名)
暴力団排除運動の支援や暴力団犯罪の被害に遭うおそれのある企業・県民等の保護	5.7%	(74名)
少年非行・被害防止	4.9%	(64名)
サイバー空間におけるパトロール	4.3%	(56名)
学校や地域などの社会教育の場での防犯指導	4.0%	(52名)
住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	3.9%	(51名)
災害発生時の被災者の救出救助や行方不明者の捜索、避難誘導、警戒活動	3.3%	(43名)
サイバー犯罪に関する情報提供	3.0%	(39名)
交通に関する反則(違反)金のキャッシュレス決済の導入	3.0%	(39名)
自治体・地域住民等と連携した繁華街・歓楽街の環境浄化	2.8%	(36名)
犯罪被害者に対する支援の充実	2.5%	(33名)
テロの未然防止と的確な対処	1.2%	(16名)
その他	1.1%	(14名)

無回答 0.0% (0名)

[その他(抜粋)]

- ・ 犯罪捜査等に専念するため一部の業務は民間企業に委託(類似意見1件)
- ・ 交通事故未然防止や渋滞緩和に向けた環境整備の充実
- ・ 国際化社会に即した事案への強化
- ・ 各種申請・手続きのオンライン化の導入
- ・ 警察官の人材確保
- ・ 警察組織の職業倫理の徹底(類似意見2件)

〈5〉 警察の相談電話の利用についてお尋ねします。

あなたはこれまでに事件・事故、その他の困りごとについて警察に電話で相談した際、どこに相談をしましたか。

(n = 382 選択は1つのみ)

1 警察署に電話で相談をした	25.4%	(97 名)
2 警察本部の代表電話番号、警察相談専用電話 (# 9 1 1 0 警察本部相談コーナー) に電話で相談をした	1.3%	(5 名)
3 上記1と2の両方に電話で相談をした	1.6%	(6 名)
4 警察に電話で相談をしたことはあるが、どこに相談をしたか覚えていない	5.8%	(22 名)
5 電話で相談をしたことはない	64.7%	(247 名)
6 その他	1.3%	(5 名)
無回答	0.0%	(0 名)

[その他(抜粋)]

- ・ 直接、交番等に相談した 3件
- ・ 110番に相談をした 2件

〈6〉 今後、警察に電話で相談をする場合は、どこに電話をしますか。

(n = 382 複数選択回答可 回答件数 = 439)

警察署に電話で相談をする	62.9%	(276 名)
警察本部の代表電話番号、警察相談専用電話 (# 9 1 1 0 警察本部相談コーナー) に電話で相談をする	32.8%	(144 名)
その他	4.3%	(19 名)
無回答	0.0%	(0 名)

[その他(抜粋)]

- ・ 交番に電話をする 6件
- ・ 警察署や交番に出向いて相談する 5件
- ・ 110番にする 3件
- ・ 相談内容によって使い分けて警察本部や交番に電話する

〈7〉 警察活動について、これまでの設問以外に意見がありますか。

[回答内容(抜粋)]

- ・ 犯罪の未然防止に向けた環境整備の推進(類似意見10件)
- ・ 交通違反や交通事故の未然防止に向けた環境整備の推進(類似意見10件)
- ・ 市民応接の教養の徹底(類似意見9件)
- ・ 警察組織内の自浄機能の強化(類似意見9件)
- ・ 防犯情報や相談窓口に関する情報発信の強化(類似意見6件)
- ・ 外国人との共生社会の現実に向けた課題への対応(類似意見4件)

令和6年度第3回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	362		90	189	55	28
	構成比		100.0%	24.9%	52.2%	15.2%	7.7%
性別	女性	188	51.9%	47	96	29	16
	男性	171	47.2%	41	92	26	12
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	49	13.5%	10	28	7	4
	30代	61	16.9%	17	30	11	3
	40代	76	21.0%	20	38	12	6
	50代	62	17.1%	15	34	10	3
	60代	74	20.4%	21	38	5	10
	70代以上	40	11.0%	7	21	10	2

モニター数 399人

回答数 362人

回収率 90.73%

実施期間 R6.9.11～R6.9.30

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和6年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：ふくおか防災ナビ・まもるくんについて

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課

1 調査の目的

近年、災害等の激甚化・頻発化により、災害への備えといざというときの適切な行動がますます重要になっている。

このような現状から、県では気象や避難情報等が容易に入手できるスマートフォンアプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」を配信している。

今回の調査では、このアプリに対する皆様の満足度や機能ニーズを把握し、今後の施策の参考とするものである。

2 調査時期

令和6年9月11日～令和6年9月30日（第3回）

3 回答者の構成

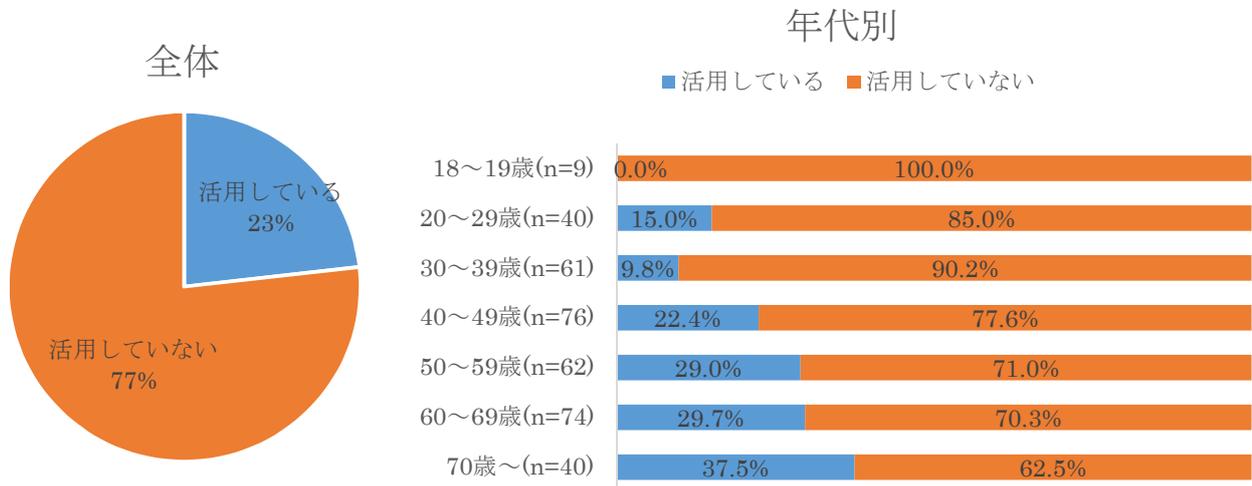
		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	362 (100%)	90 (24.9%)	189 (52.2%)	55 (15.2%)	28 (7.7%)
性別	女性	188 (51.9%)	47	96	29	16
	男性	171 (47.2%)	41	92	26	12
	その他	3 (0.8%)	2	1	0	0
年代別	20代以下	49 (13.5%)	10	28	7	4
	30代	61 (16.9%)	17	30	11	3
	40代	76 (21.0%)	20	38	12	6
	50代	62 (17.1%)	15	34	10	3
	60代	74 (20.4%)	21	38	5	10
	70代以上	40 (11.0%)	7	21	10	2

4 回答結果

問1 あなたは、県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」を活用していますか。

【概要（回答数：362）】

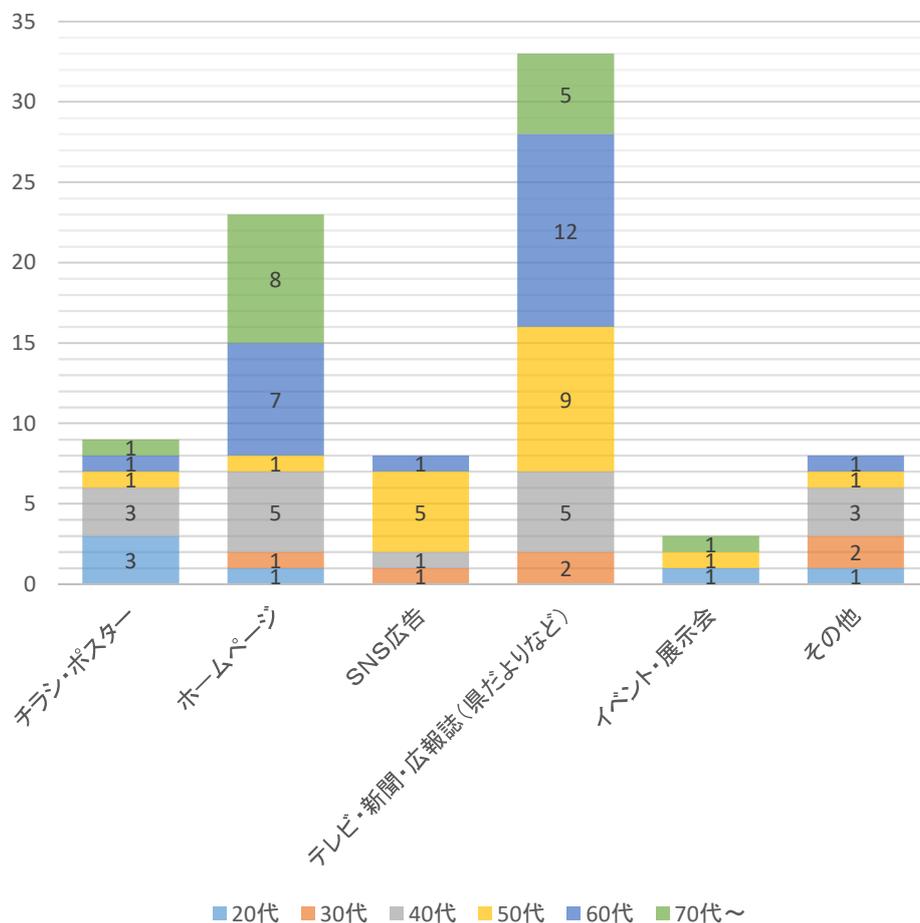
- ・活用しているのは全体の約23パーセント。
- ・年代別にみると、70歳以上の世代の活用割合が最も高く、年齢層が高くなるほど活用割合が高くなる傾向が見られる。



問1-2 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」ダウンロードのきっかけを教えてください。

【概要（回答数：84）】

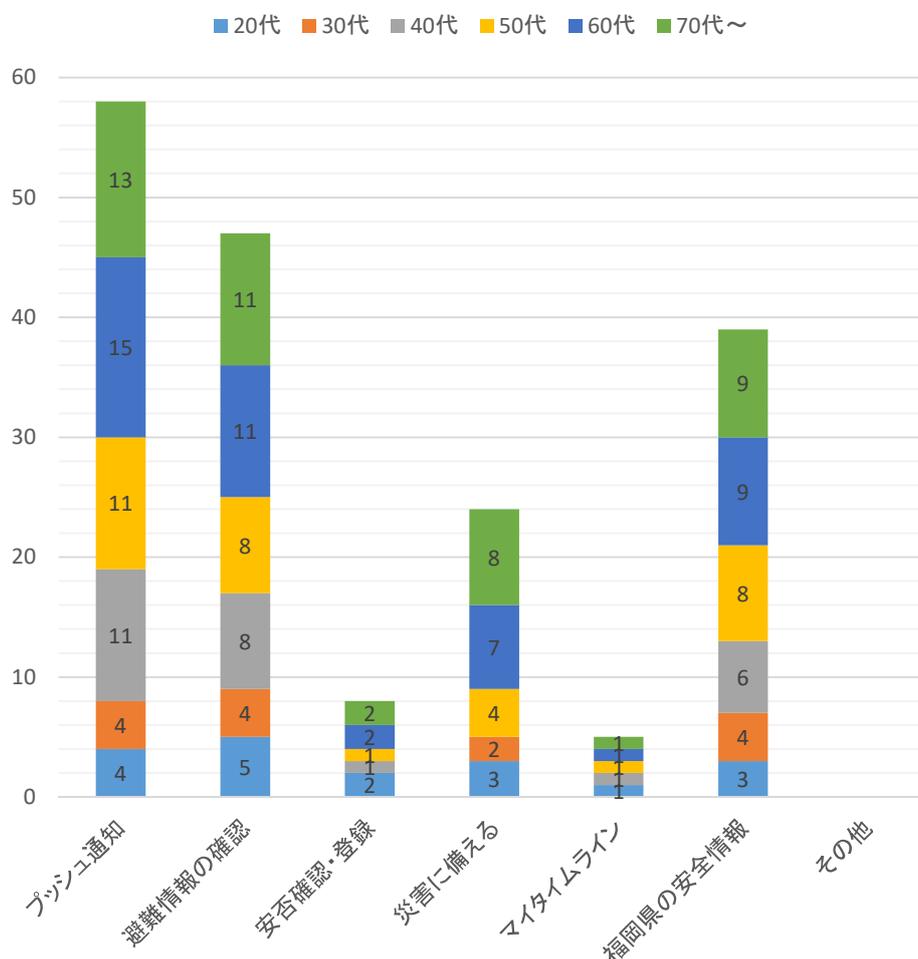
- ・50代以上の比較的高い世代層を中心に、「テレビ・新聞・広報誌」等の紙面での広報媒体や「ホームページ」を通じてダウンロードされている。



問1-3 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」で活用したことがある機能をお答えください。(複数選択可)

【概要(回答数: 69)】

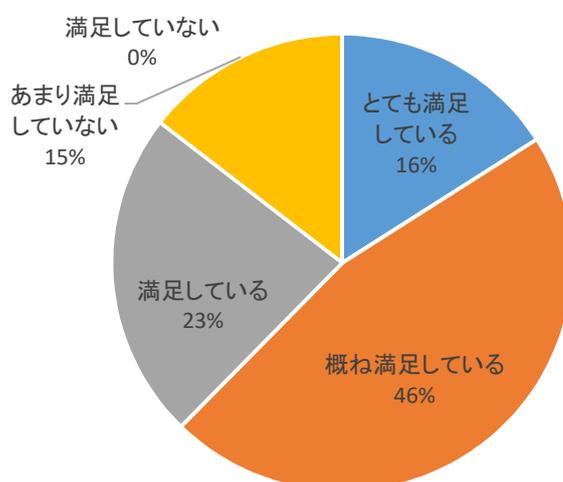
- ・「災害情報のプッシュ通知」「避難情報の確認」「福岡県の安全情報」の3つの機能を中心に活用されている。
- ・「安否確認・登録」「マイタイムライン」の活用度合いは低い。



問1-4 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の利用満足度をお答えください。

【概要(回答数: 69)】

- ・利用者の内、約85パーセントの方が「利用に満足している」と回答。



問2 今後、県内の主要な活断層で想定される地震の「震度予測マップ」「液状化予測マップ」を表示する機能や、河川カメラの映像をリアルタイムで表示する機能を「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に追加する予定です。

その他、アプリに追加して欲しい機能があれば、その内容を具体的に記入してください。

【概要（主なものを抜粋）】

- ・ 近くの避難所にどのくらいの人が避難しているのかなどわかればうれしい。
- ・ ダム貯水量や放流情報
- ・ 大雨など災害が起きている最中、立ち入らない方がよいエリア、立ち入ることが困難なエリアをマップで示してほしい。大雨で道路が浸水して通行困難な道路とかあると思うので、事前にリアルタイムに分かれれば通らずに済むため。その際、浸水深さも教えてほしい。
- ・ 安否確認で、登録者が音声を録音して確認者が再生できる機能。
- ・ 避難後の情報(安否情報共有や食料などの必需品配給情報など)の方を充実させるのがよいのではないか
- ・ 避難先までの安全な経路、避難先の利用状況がわかると有難いです。
- ・ 各地点での雨の状況の映像
- ・ 例にあった、避難先までの経路や要した時間等を記録できる避難トレーニング機能はよいと思う。その他、地域ぐるみの防災訓練ができる環境強化を目指す取り組み。
- ・ 近隣で浸水被害、土砂崩壊などが発生している場合、その発生状況等を可能な限りアプリで確認できるようにしていただけないか。
- ・ 子ども向けの分かりやすい文章での防災情報
- ・ 津波を想定した対応として、海拔情報がマップでビジュアル的に確認できる機能。避難所のみではなく、緊急時にどちらの方向に逃げれば良いのか感覚的にわかるように。
- ・ 防災マップを見なくても警報などの対象地域となったことを通知し、避難を促す機能。大雨などにより河川の氾濫や津波などの恐れのある地域に侵入すると警告する機能
- ・ 避難所の受け入れ人数に対する、実際の避難者の人数を知りたい。避難場所に行っても受け入れてもらえない等の負担は、できるだけ避ける事が必要だと思う。
- ・ ペットも一緒に避難できる避難先情報
- ・ 緊急時の自分の必要な動き
- ・ アプリ利用者が現在の場所からコメントや写真添付できる機能があればな、と思います。それにより、視覚的に危険な場所が把握でき、直感的に避難場所が把握できるかと思います。
- ・ 災害時、全国的又は地域的なマスでの情報が発せられますが、福岡県のサービスなので、少なからず市町村地域ではなくその中の町単位での情報を細かく知らせてほしい。それか、言葉ではなく図やマップにしてほしい。例えば津波の到達地域など。リアルタイムで。
- ・ 家族間の安否を伝えるための掲示板機能、医療機関や警察に自身の状況や居場所を伝える機能
- ・ もう実装されてるかもしれませんが、浸水予想地域と浸水予想を導入してほしいです。
- ・ 河川水位が一定値を超えたら通知する機能
- ・ 自宅近くの河川に河川カメラが設置してあるため、大雨の際には頻繁に確認します。もう少し鮮明に確認できると有り難いです。また、設置場所も増やしてほしいです。
- ・ 道路の冠水状況が分かるライブカメラ。支援物資の到着情報。
- ・ 津波とかの状況を知るために、福岡県の海に向けたライブカメラ映像を表示する機能
- ・ 災害(積雪も含む)が起きた際に二次被害を防ぐため、崖崩れの個所や通行止めの個所がわかる様にして欲しい。
- ・ 原発に事故等が起きた時の被害予報(放射能の広がり予報など)
- ・ 過去の災害(被災)データや福岡県内で起きた災害の歴史に関するコンテンツをさらに充実してはどうでしょうか。

問3 ふくおか防災ナビ・まもるくんについて、これまでの設問以外に意見はありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【概要（主なものを抜粋）】

- ・アプリでの情報提供良いことだと思いますが、一人暮らしでスマホを持ってなく情報を入手できない高齢者に対するの対応方法をまず、検討願います。
- ・県民には浸透していないと思うので、あらゆるところで利用できることを公表した方が良いと思う。
- ・いまいち使い方が分からず、欲しい情報になかなかとどろつかないことがあります。プッシュ通知で届いた情報を知りたくてタップしても、ホーム画面のようなところが表示され、情報に辿り着けなかったこともありました。
- ・どうしても民間の気象予報アプリを使ってしまう。福岡県に特化した詳細情報を、民間アプリより詳しく、タイムリーに提供出来るのならば、民間アプリ内にリンクを貼ってもらうなど、誘導できる形態をとって、色んな人に活用しやすいように出来ればと思う。認知度も上がるため、利用者も増えると思う。
- ・住所を登録出来る様にして各種ハザードマップに該当するか否かの判定を行ってパーソナライズされた避難情報を得られる様にしてほしい。現在の一斉メール配信方式の緊急メールは当該エリアに居住していないにも関わらず市町村単位で配信されるので狼少年となっていると感じる。
- ・現在住んでいる地域が比較的天災がない地域なので、防災や避難に疎くなっていたが、このアプリによって、備える意識を持つようになった。
- ・現在の情報発信に加えて、事故や事件などの警察の情報、交通・公共交通機関の情報、保健所の情報、経済の情報、などの複合的な情報をまとめて知りたい。そうする事でユーザーも増えるのでは？
- ・他の県のアプリと複合的（総合的）になったアプリがあると便利です（単独のアプリをいくつも入れていくのはなかなか面倒です。そして、実際に必要になったときにアプリを入れていることすら忘れていきます。例えば、市町村の粗大ごみ受付のような日常で活用されているアプリとの合体）。
- ・他の防災アプリのようにシンプルに必要な情報がトップに来るようにしてほしい
- ・防災系アプリは民間のものを含め多数あるが、県民に特化した情報が提供できると利用者が増えると思います。
- ・なんでも個別でアプリをダウンロードしなければならず、スマホの容量を食ったり引継ぎ時に面倒だったりするので、アプリと同じ機能・画面をHPでも使えると便利です。
- ・「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の果たす情報がますます重要になってきますので、情報の最新情報更新や内容の充実を期待しています。
- ・今回のアンケートのためDLしました。すでに自治体のLINEやYahoo天気アプリなどで災害情報や地域の安全など配信されるので、これと言って目新しいものはありませんでした。UIは大変見やすくよかったです。このアプリから県政の情報配信などを確認できるようリンクされるとよいのではないかと思います。
- ・このアンケートで初めてアプリの存在を知ったが、家族の安否確認機能が非常に良いと思った。が、事前に何をどのページで登録しておけばよいのか、緊急時の使いかたなどがよく分からなかったのもう少し使いかたが分かりやすいと良いと思う。また、避難場所や落ち合うための場所など、あらかじめ決めておきたい覚書を家族間で共有しておけるような機能もあるといいと思った。
- ・しばらくまもるくんのアプリを入れていましたが、あまり利用することがなくて消してしまいました。もっとこんな良いことがある、もっと進化していることを広報してほしい。
- ・防災アプリはめったに使わないので、アプリインストールするのがちょっとめんどくさい気持ちはあります。サイトになるとアクセスが集中して重たくなって見られないのが予測できるからでしょうか？他になんでもいいので日常でも使うような機能もあれば…

- ・アプリの機能ではないが、防災についてのサイトやアプリを開くとポイントが貯まり、貯まると何か割引になるなど、サイトやアプリを見て防災について興味をもつことやサイトやアプリを開く習慣をつけると良いと思う。見ることで知識や準備が高まると考える。

令和6年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：災害時の備蓄について

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課

1 調査の目的

災害時は、断水、停電、ガス停止などライフラインへの影響に加え、流通機能の麻痺に伴い食料などの生活物資の入手が困難になる事態が想定される。

そのため福岡県では、日常の食料を多めに購入し、消費の都度買い足すことにより常に一定量の食材を保有する方法（ローリングストック法）を含め、飲料水、食料などの生活物資を3日以上備蓄に努めるようふくおか県政出前講座等で呼びかけている。

そこで現在の県民の備蓄意識、各家庭における食料などの備蓄の状況を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査時期

令和6年9月11日～令和6年9月30日（第3回）

3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	362 (100%)	90 (24.9%)	189 (52.2%)	55 (15.2%)	28 (7.7%)
性別	女性	188 (51.9%)	47	96	29	16
	男性	171 (47.2%)	41	92	26	12
	その他	3 (0.8%)	2	1	0	0
年代別	20代以下	49 (13.5%)	10	28	7	4
	30代	61 (16.9%)	17	30	11	3
	40代	76 (21.0%)	20	38	12	6
	50代	62 (17.1%)	15	34	10	3
	60代	74 (20.4%)	21	38	5	10
	70代以上	40 (11.0%)	7	21	10	2

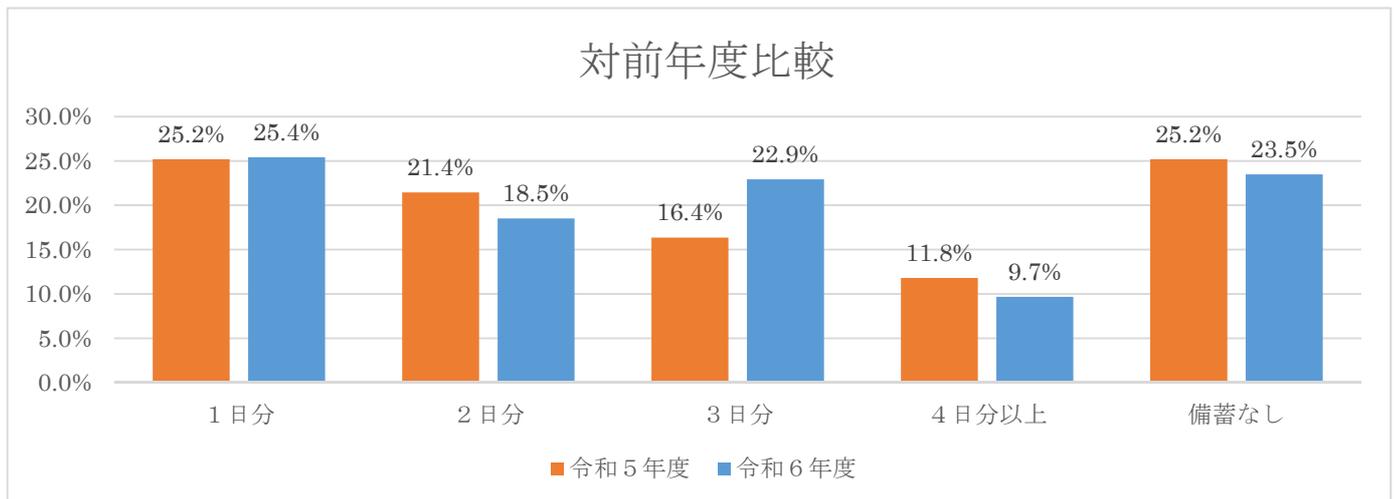
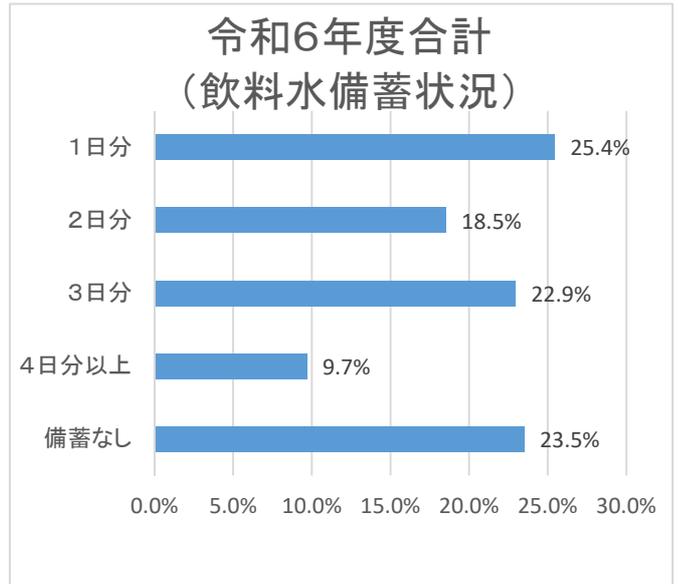
4 回答結果

問1 あなたは、飲料水を何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日以上（何日分か具体的に）
- 5 飲料水は備蓄（買い置き）していない

回答

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	362	373	-11
1日分	92	94	-2
	25.4%	25.2%	0.2%pt
2日分	67	80	-13
	18.5%	21.4%	-2.9%pt
3日分	83	61	22
	22.9%	16.4%	6.6%pt
4日分以上	35	44	-9
	9.7%	11.8%	-2.1%pt
備蓄なし	85	94	-9
	23.5%	25.2%	-1.7%pt



問1-2 問1で「4 4日以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

回答 (抜粋) ※2人未回答

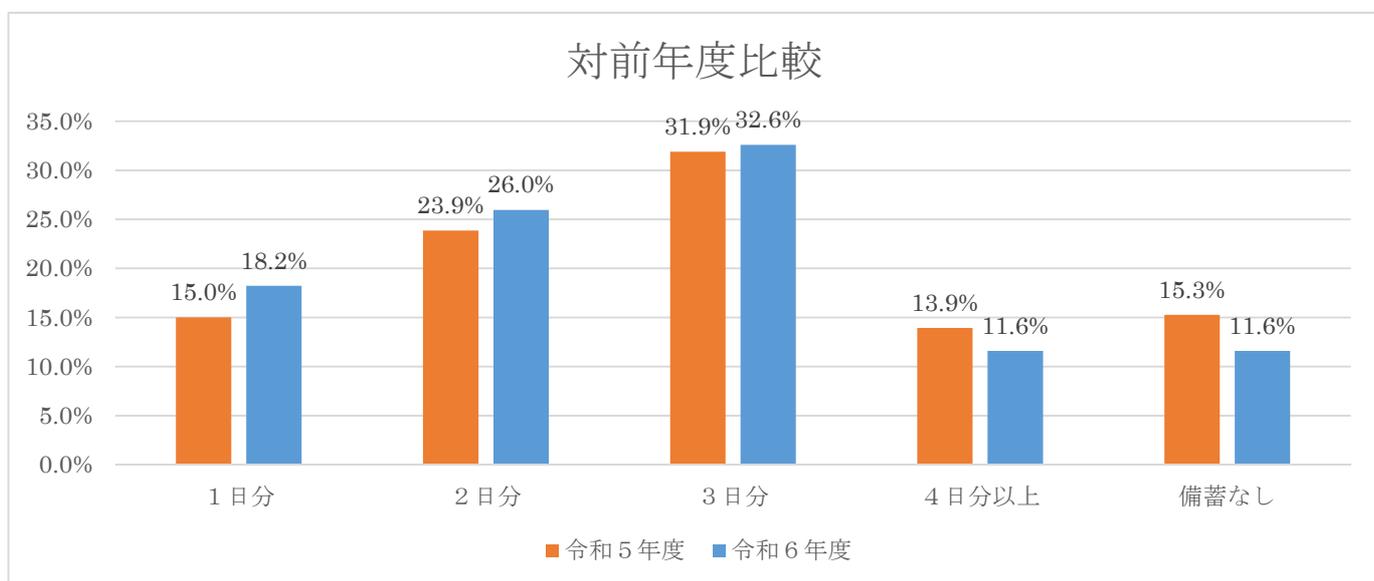
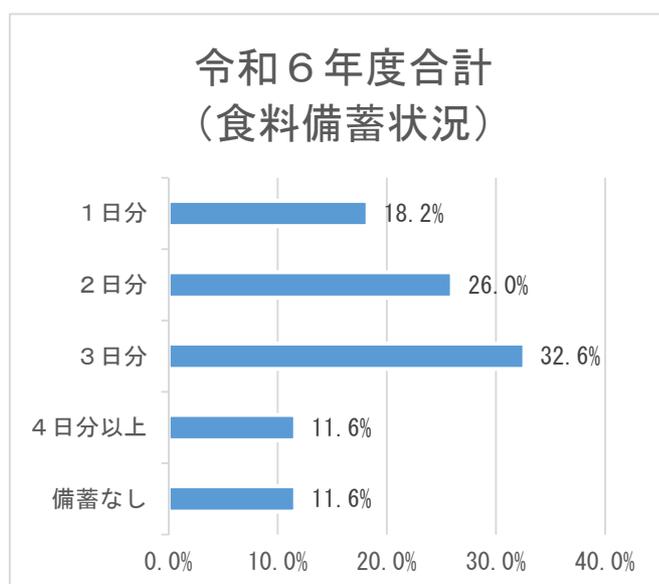
- ・ 4日分 4人
- ・ 5日分 3人
- ・ 6日分 2人
- ・ 7日分 10人
- ・ 8日分~14日分 9人
- ・ 15日以上 5人

問2 あなたは、食料を何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（何日分か具体的に）
- 5 食料は備蓄（買い置き）していない

回答

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	362	373	-11
1日分	66	56	10
	18.2%	15.0%	3.2%pt
2日分	94	89	5
	26.0%	23.9%	2.1%pt
3日分	118	119	-1
	32.6%	31.9%	0.7%pt
4日分 以上	42	52	-10
	11.6%	13.9%	-2.3%pt
備蓄なし	42	57	-15
	11.6%	15.3%	-3.7%pt



問2-2 問2で「4 4日分以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

回答 (抜粋) ※5人未回答

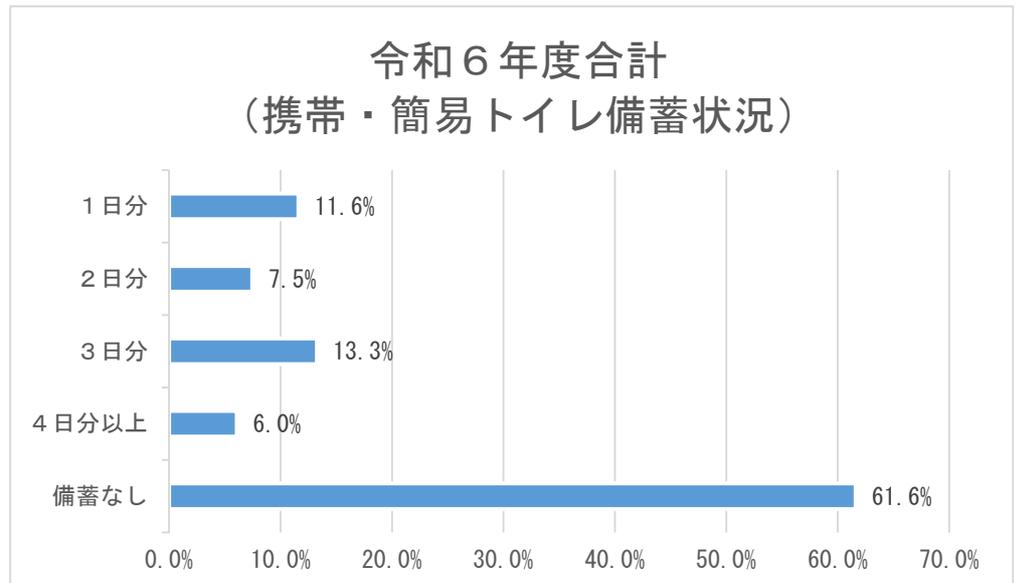
- ・ 4日分 2人
- ・ 5日分 3人
- ・ 6日分 1人
- ・ 7日分 24人
- ・ 8日分~14日分 7人
- ・ 15日分以上 0人

問3 あなたは、携帯・簡易トイレを何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（何日分か具体的に）
- 5 携帯・簡易トイレは備蓄（買い置き）していない

回答

	令和6年度 合計
回答者数	362
1日分	42 11.6%
2日分	27 7.5%
3日分	48 13.3%
4日分 以上	22 6.0%
備蓄なし	223 61.6%



問3-2 問3で「4 4日分以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

回答（抜粋）※1人未回答

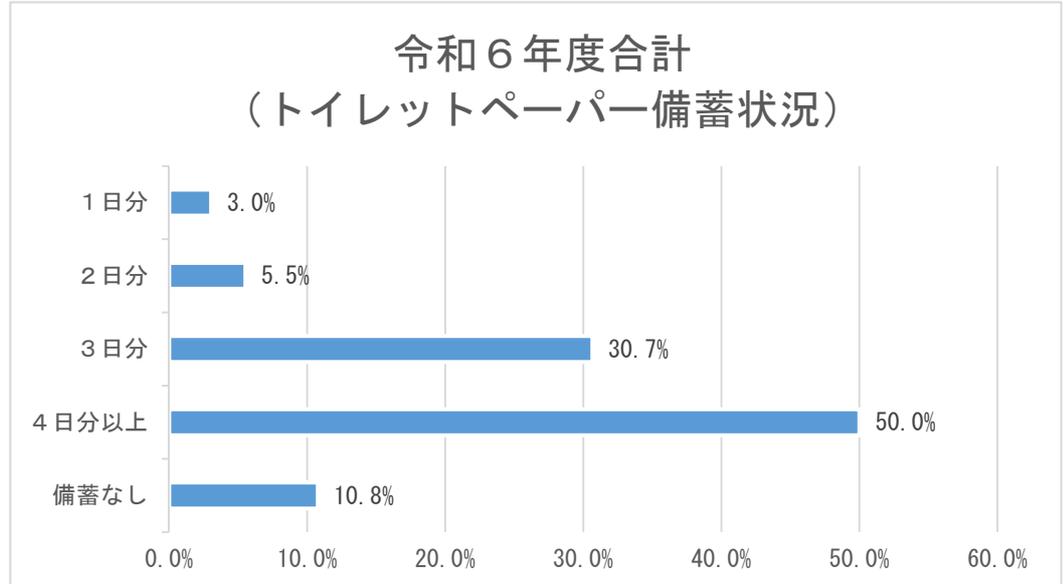
- ・ 4日分 3人
- ・ 5日分 1人
- ・ 6日分 0人
- ・ 7日分 10人
- ・ 8日分～14日分 5人
- ・ 15日分以上 2人

問4 あなたは、トイレトペーパーを何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日以上（何日分か具体的に）
- 5 トイレトペーパーは備蓄（買い置き）していない

回答

	令和6年度 合計
回答者数	362
1日分	11 3.0%
2日分	20 5.5%
3日分	111 30.7%
4日分 以上	181 50.0%
備蓄なし	39 10.8%



問4-2 問4で「4 4日以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

回答（抜粋）※25人未回答

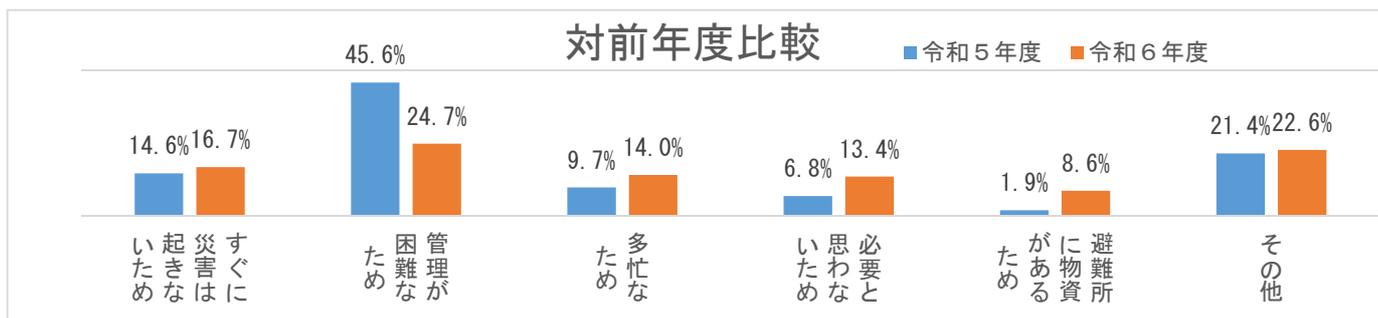
- ・ 4日分 0人 ・ 5日分 1人 ・ 6日分 1人 ・ 7日分 30人
- ・ 8日分～14日分 34人 ・ 15日以上 90人

問5 問1～4のいずれかで「5（備蓄していない）」を選択された方にお尋ねします。
あなたが備蓄（買い置き）していないのはなぜですか。（1つだけ選択）

- 1 災害がすぐには起きないと思うから
- 2 消費期限等の管理が難しく、面倒だから
- 3 忙しく時間がないから
- 4 必要ないと思っているから
- 5 避難所に避難すれば必要な物資を供給してくれると思っているから
- 6 その他

回答

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	186	103	83
1 すぐに災害は起きないため	31 16.7%	15 14.6%	16 2.1%pt
2 管理が困難なため	46 24.7%	47 45.6%	-1 -20.9%pt
3 多忙なため	26 14.0%	10 9.7%	16 4.3%pt
4 必要と思わないため	25 13.4%	7 6.8%	18 6.6%pt
5 避難所に物資があるため	16 8.6%	2 1.9%	14 6.7%pt
6 その他	42 22.6%	22 21.4%	20 1.2%pt



問5-2 問5で「6 その他」を選択された場合は、その内容を具体的に回答してください。

回答（抜粋）

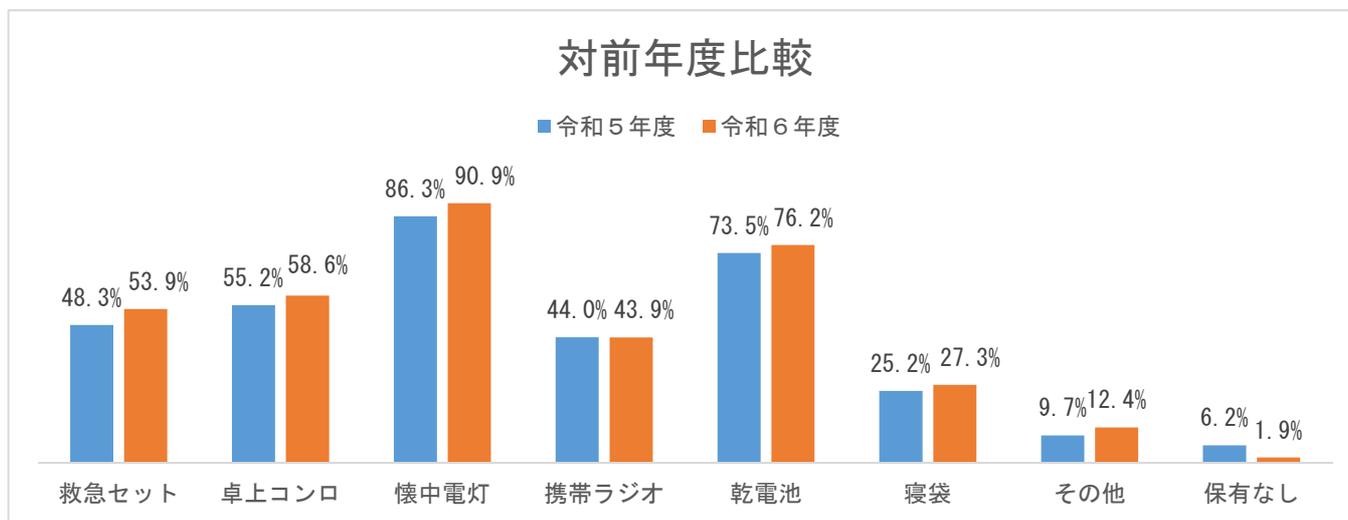
- ・ 備蓄を置いておくスペースを確保できないため。
- ・ 備蓄の必要量を知らないため。
- ・ 簡易トイレの備蓄に気が回らなかったため。

問6 災害時に役立つ生活物資として、どのようなものを保有していますか。
該当するものをすべて選んでください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 救急セット | 5 乾電池（買い置き分） |
| 2 卓上コンロ・ガスボンベ | 6 寝袋 |
| 3 懐中電灯 | 7 その他（具体的にいくつでも） |
| 4 携帯ラジオ | 8 特に保有していない |

回答

	令和6年度	令和5年度	対前年度		令和6年度	令和5年度	対前年度
回答者数	362	373	-11	乾電池	276	274	2
					76.2%	73.5%	2.8%pt
救急セット	195	180	15	寝袋	99	94	5
	53.9%	48.3%	5.6%pt		27.3%	25.2%	2.1%pt
卓上コンロ・ガスボンベ	212	206	6	その他	45	36	9
	58.6%	55.2%	3.3%pt		12.4%	9.7%	2.8%pt
懐中電灯	329	322	7	保有なし	7	23	-16
	90.9%	86.3%	4.6%pt		1.9%	6.2%	-4.2%pt
携帯ラジオ	159	164	-5				
	43.9%	44.0%	0.0%pt				



問6-2 問6で「7 その他」を選択された場合は、その内容を具体的に回答してください。

回答（抜粋）

・生理用品 ・モバイルバッテリー ・除菌シート ・ティッシュ ・マッチ ・スリッパ ・使いす
て歯ブラシ ・タオル ・大人用おむつ ・軍手 ・マスク ・カイロ ・ビニールシート ・ビニール
袋 ・ライター ・ろうそく ・汗拭きマット ・防災用毛布 ・給水バッグ 等

問7 災害時の備蓄について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(抜粋)

- ・長年にわたり大きな災害がなく、備蓄や避難の必要性を感じない。他地区が被害を受けたら、自分の地区にも影響があることは分かっているが。(北九州市在住)
- ・備蓄するのはいいが常に水や食料品の賞味期限を把握しておき定期的に入れ替える必要があると考えます。
- ・単に備蓄の必要性だけが求められると、今回のような米の不足・高騰が起きてしまいます。買い占めやその後に予想される備蓄品の大量廃棄が生じないように、行政や企業、自治会が連携した「備蓄リテラシー」向上への取り組みが求められています。
- ・色んなところで売っているものが防災グッズや備蓄セットがあるけど、何を買っていいかわからないので県で売ってくれたらわかりやすいかも
- ・具体的に何を何日分備蓄が、必要か具体的不明。
- ・各自は備蓄をするのは難しいと思います。
- ・備蓄品を持つ人を増やすため、備蓄品限定の割引チケットを定期的にアプリで配信しては
- ・保存期間や保管場所に困るので、どのくらいが適度な量が難しいと思う。
- ・どういう備蓄品が必要か、各家庭にひと目で分かるパネルのようなものを配布してほしい。
- ・どのくらいの量がどこにストックしてあるかもっとアピールしてほしい。災害時はその場所に備蓄品をもらいに行くと思います。
- ・町内会の公民館に備蓄して、いざという時に住民が使えるようにしたらどうでしょうか。
- ・災害時に即、県民に行政が役立てるのか疑問です。必要なものの一覧表を県の広報誌などで知らせたら、県民が今以上のものをそろえることになると思います。
- ・災害専用も持っていたが、賞味期限切れになることが多く、日頃食べるものを長持ちするものを用意する、といった感じになっている。
- ・避難所に行ったらどうにかなるんでしょ？と、備蓄について自分とは関係ないこととして考えている人がまだ一定数いると思います。
- ・質問に答えることが今後の備蓄をもう少し増やそうと思うきっかけになりました。
- ・県民が1人、1人自助を考えないと、自分にあった生理用品、アレルギー対策の食糧、常備薬が手に入らないなど共助に頼らない部分もあるため、常日頃より蓄えて置く必要がある。
- ・例えば二人の世帯だと備蓄はどのくらい必要になりますか？分からないのであまり備蓄品を保有していません。
- ・3.11を埼玉で体験した時水は飲料水用も必要だしとマンションのトイレが計画停電で流せなくてお風呂に貯めた水で流していました。飲料水は一箱単位で買い置きしていたので助かった。開いてるスーパーも自販機も売り切れ、乾電池も凄まじく無くて備蓄必須。後、備蓄とは外れませんが現金も手元に必要。冷食は停電すると困りました。
- ・災害に必要なものや対策は季節や災害の種類、家庭の人数や構成によって大きく変わると思います。
- ・各自の環境の中で最小限でも備蓄を準備しておくという意識と行動が実際に何か起こった場合に自分と周りの人を助ける事に繋がると思います。
- ・災害のあまり起きない九州エリアなので、災害への意識が高まっていないと反省いたしました。(携帯トイレなど、必要なものが思いつかなかった)これを機に意識を高く持たなければと改めさせられました。
- ・実際に災害にあったことがないので実感しにくく備蓄もなんとなくなくな感じになってしまうので、実際施設で電気なし水道なしみたいな状況での宿泊訓練みたいなことをして備蓄の種類や数を考えてみたい。

令和6年度(第3回)県政モニターアンケート集計結果

〈生涯学習について〉

【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働力人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

(人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 青少年政策課)

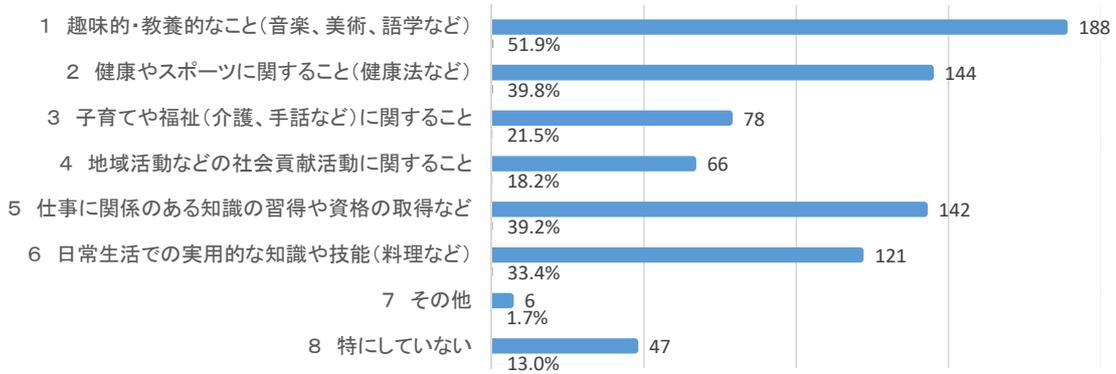
※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

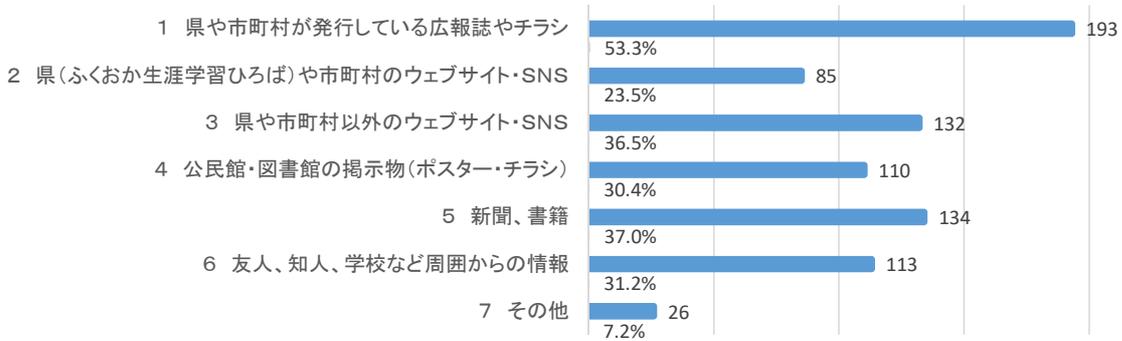
※1 回答者数: 362人

※2 問1～問6まで複数回答可

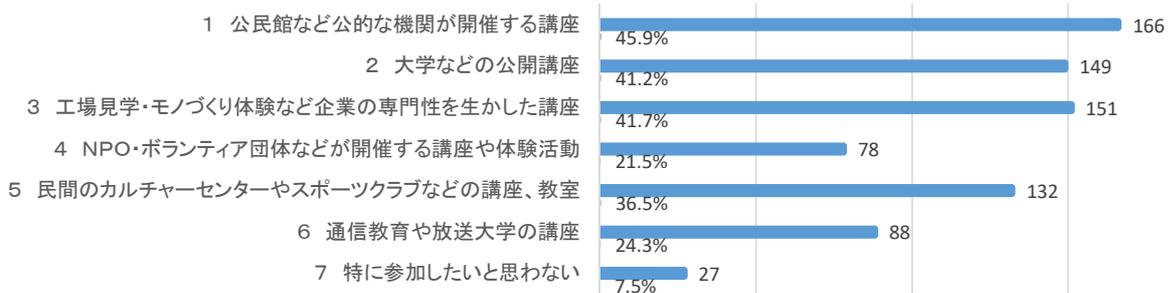
問1 この1年間に次のような学習をしたことがありますか。 回答件数 792



問2 生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。 回答件数 793



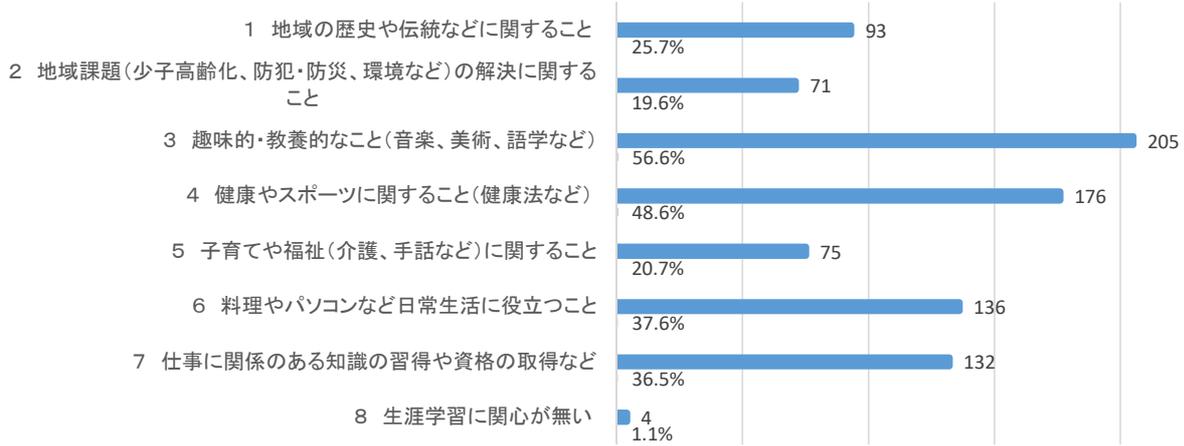
問3 今後学習を行う場合、どのような講座(オンライン講座含む)に参加したいと思いますか。 回答件数 791



問4 今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。

回答件数

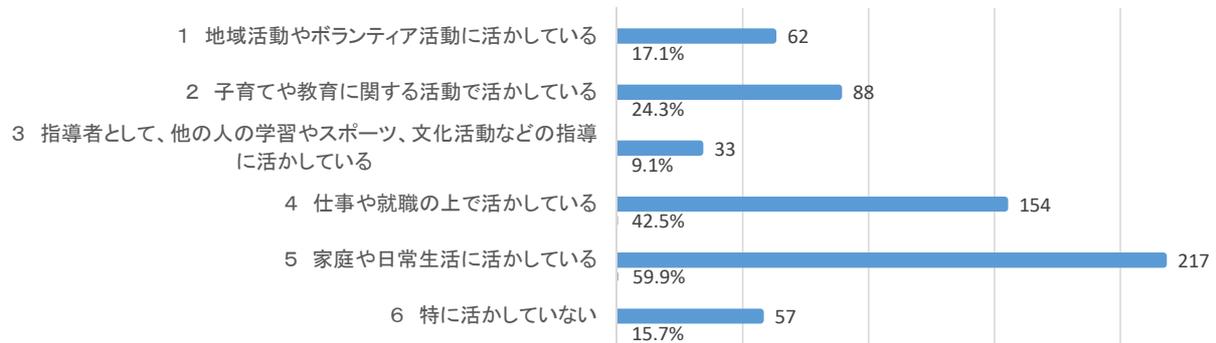
892



問5 学習によって身につけた知識・技能や資格をどのように活かしていますか。

回答件数

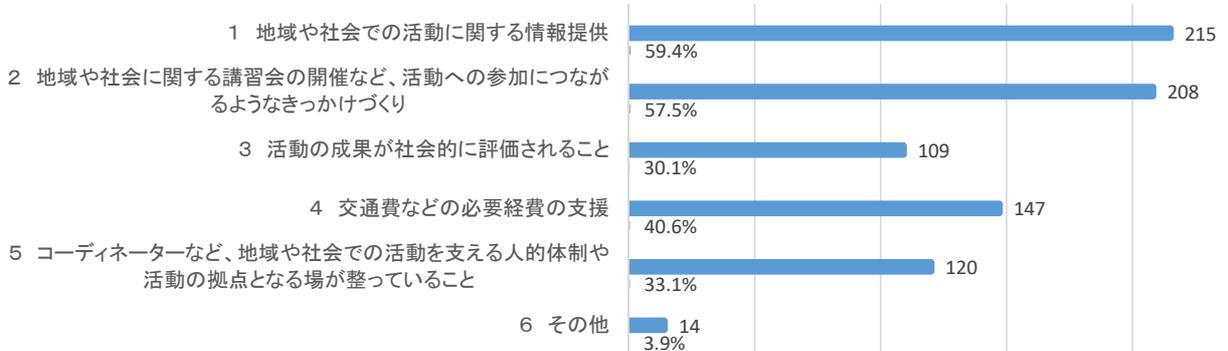
611



問6 多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だ
と思いますか。

回答件数

813



【その他】※抜粋

- ・参加者の数や年齢層を広げるようなコンテンツの工夫
- ・初めてでも参加しやすいコミュニティの雰囲気づくり
- ・幼少期からの教育
- ・時間、精神的な余裕

問7 生涯学習について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。※抜粋

回答件数 135
回答率 37.3%

○地域貢献・社会貢献活動

・生涯学習で自分の知識を増やしていきたいと思う。とくに地域貢献ができればと思う。(20代/男性)

○地域社会との関わり方

・生涯学習のメリットは多くあるだろうが、個人レベルの自己肯定感や満足感、さらにはキャリア向上といった点だけでなく、これからは社会的つながりの強化に結び付くことが期待されるであろう。今この地域社会でもさまざまな機能を通じて社会的な孤立を減少させることが必要であると思われる。(50歳以上/男性)

・地域の人とのつながりを深め、皆が学びやすい環境作りをする。(70歳以上/女性)

・退職し時間に余裕がある人の中には、自分の能力、技術などを地域社会に生かしたい人もかなりいると思う。地域で募集などをするとよいと思う。(60代/男性)

○生涯学習に取り組める環境づくり

・気になる生涯学習があったとしても、大抵が住まいから遠方のためまずはそこまで行こうという気になりません。オンライン学習が増えれば良いなと思います。(30代/女性)

・生涯学習を行っている市民センターが山の頂上にあるので、私の勤務先の近所の高齢者達はみんな口々に「あんな所まで歩いては行けない」と言っています。避難所にせよ、生涯学習の場にせよ、市民のために考えて建てたとは思えません。
市民が行きやすい場所を作ってほしいです。(60代/女性)

・特に現役世代では、仕事・家庭・介護・趣味その他に追われ、時間や気力に余裕が無い方も多いのかなと感じました。毎回は参加できなくても、興味のあるものに関しては出来るだけ参加したいという方もいると思うので、やはり開催場所や時間、情報発信は重要だと思います。
開催場所に関して、徒歩や自転車で行ける範囲、または公共交通機関を使って通いやすい所が有難いです。仕方のないことですが、講座の数や内容に関して、地域差が大きいと感じます。(30代/女性)

・生涯学習にとっても興味があります。歩いていける場所、市民センターなどを会場にいただけると、是非参加したいです。(70代以上/女性)

・遠隔地に暮らしているので、もう少しリモートで受講できる講座が増えるとありがたいです。(40代/男性)

・高齢者は行政区が違っていても、徒歩圏内に学びの場があると良いです。
また、受講料がワンコイン(無料だとかえって不安)で参加できるのが理想です。(60代/女性)

・インターネットを活用した学習講座があれば、手軽に参加できる。(60代/男性)

・生涯学習をしたくても若い世代の方は、時間的な余裕がない方も多いように思います。なので、実際にやって良かったという具体的な体験を発信していただくとイメージが湧いて、やってみようかと思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ピンとこない方も多いかもです。
また、高齢者は参加したくても、年金生活者は経済的に厳しい面がありますので、ご配慮いただくと参加者が増えるかもしれないと思います。(60代/女性)

・参加してみたい公民館のイベントも託児がなくて諦めたりしている。子連れでも参加できる勉強会などがあれば子供が就学後にも活かされていると思う。(30代/女性)

・年齢と共に持久力に自信がなくなっているので浅く広く参加出来れば有難く思います。(70代/女性)

・子がいなときは仕事に追われ、子が生まれてからは時間に追われて学習する機会が無いです。
学習センターが近所にあるものの、そこには託児所がついていないので難しいなど問題があります。学習センターにはどの場所にも有償でもいいので託児所を儲けて欲しいです。(30代/女性)

・高齢化社会に人との交流という点も含め、安い費用で学習できると魅力的である(40代/女性)

・子連れでも参加出来る体制があると良いと思います。(40代/女性)

・ワークショップなどがどこでどのような形でやっているのか簡単に知る方法があれば嬉しい。(30代/男性)

- ・身近すぎると参加しづらいので、県内のどこでどのようなことが行われているか知りたい。(40代/男性)
- ・週末の活動やイベントに参加したいと思っても、何歳以上と制限があるものが多く夫婦でシフト制の仕事であると、子供が多いと下の子は連れて行けないから行けないな、となる事がある。託児ありのイベントを増やして欲しい。(30代/女性)
- ・参加してみたいけれど、きっかけもなく、勇気が出ないという人も多いと思うので、「気軽に参加しても大丈夫だと思わせる体制作り、きっかけ作り」が大切だと思います。(20代/男性)
- ・決まった場所へ出掛ける事など、交通手段が無い事が多いので、オンラインなどでの講習会や講演会など開催して頂けたらと思います。(70歳以上/女性)
- ・それぞれの趣味や特技を公民館や集会所など近くで公開する場を提供し、自分にあったものを選択して社会性を高め町や市、県をいきいきした場にする。生きてる間はずっと学びの精神があるのだから生涯学習の場をひろげること、選択肢が多くなるようにすることが必要だと思う。場合によっては子供から大人へ大人から子供へと学びのスタイルを変えていけるような仕組みがあると良い。(40代/男性)

○生涯学習機会に関する要望

- ・生涯学習に参加したくても、開催回数や種類が少なく、参加できていない。(50代/女性)
- ・自分が好きな事を学習をすることで色々な方と接する機会が増え、豊かな人生を送れる可能性が広がるので、今後も積極的に色々な事を学びたいし、学ぶキッカケ作りをこれからも提供してもらいたい。(40代/男性)
- ・カルチャーセンター等の案内を見ても、女性向けのものが多く、男性向けはあまりないと思う。全般的にそういった傾向があるので、とつきにくいという事はある。(70歳以上/男性)
- ・在住エリアでは、高齢者向けや子供むけの生涯学習イベントなどはよく開催されていますが、若い世代に向けての取り組みがかなり少ないと思います。働きざかり世代は仕事や家庭のことに追われて時間がいないため、参加率が低くフォーカスされていない現状があるとは思いますが、生涯学習に興味のある方たちも大勢いると感じます。土日やアフター5などの時間を使ったり、キーになるゲストを呼ぶなど、もっとミドルエイジに働きかけるような仕組みを増やしていけば、推進率も上がっていくと感じます。(40代/女性)
- ・特にありませんが、若者も参加出来る様な講座を増やすべき。(50代/男性)
- ・高齢社会のため生涯学習は重要な課題と思います。私は生涯学習の場に注目しました。高齢者が増加している現状に比べ学習、運動、交流の場所が少ないと感じます。各小学校区にある公民館だけでは足りないと思われるので、今後は多世代で集える開放的で広い施設を増やして参加者が増えることで生涯学習としての成果を期待出来るのではないかと考えます。(60代/男性)
- ・興味があることなら人は動くので、たくさんのチャンスを公民館や放課後の学校やイベントスペースにバラ撒いていけばOKだとおもいます。無料でなく必ずながしかの料金をはらわせて。タダですることは覚えませんが、続きませんし熱がわかきません。手の届く金額でないとこまりますが(笑)お役所のすることは人の集まっている所でどんな事がしたいですか?とたくさんいろんなところで投げかけてその提案の中でおもしろいなと感じた方たちがリーダーとなって実現していける事だとおもいます。お役所仕事で手を出す人はいません。(70歳以上/女性)
- ・私の場合、2年前から地域活動や講習会等に参加するようになりました。きっかけは仕事を退職して時間に余裕が出来た事です。仕事や家庭の事で手いっぱいになり、なかなか参加しようとは思えませんでした。優先順位の使い方を間違ってたかもですが…私のような方もたくさんいらっしゃる気がします。気軽に参加できる仕組み、ネット学習等を取り入れるのも良いのではと思います。(60代/女性)
- ・公民館の語学講座などの教養ものは、学習を深めるというよりも友好第一のような印象を受ける。それはそれで存在意義があると思いますが、もう少し深めようという人のために、区単位で少しレベルアップしたものがあればと思います。(60代/男性)
- ・どしどし色々な活動の情報提供をしていただきたいです。(60代/女性)
- ・福岡県内の人で具体的事例をたくさん知りたい。シニアライフの過ごし方の指針になる。(60代/男性)
- ・公的な講座はよく参加しています。もっと掘り下げたり、視野を拓げるため大学の生涯学習講座にチャレンジしたいがあまり無いのと講座料が高いので考えてしまう。(60代/女性)
- ・公民館の公開講座に参加してみたいが、参加者の年齢層が高めのような気がしてあまり気が進まない。若者向けなど年齢を区切って募集してもらえれば参加しやすい。(20代/女性)

・受講料のいらない講座をもっと増やして公民館など近くでも受けれる様にして欲しいです。
市内にある老人福祉センターは交通費だけで色々な、学びが出来て友達も出来て楽しめますが受講生が多くて抽選。

もっと簡単に習えたら良いのに。(70歳以上/女性)

・無料の講座を増やしてほしい。(60代/女性)

・学習できる講座等が、実施されているという情報が不足していると思う。(50代/女性)

・職を持つ人のために、夜間や土日に行われる講座を増やして欲しい。(50代/女性)

・費用を極力抑えてほしい。やりたくてもお金が無くてできず諦めることがよくあるから。(10代/女性)

・地域では高齢化が進んでいます。

高齢者が健康を維持するために運動や講座に参加するには、遠くまで行くのではなく、自分が住む地域(近く)で開催される必要があると思います。

ですので、もっと小さい単位で身近でいろんなことを学べたり、参加できるようになって欲しいと思います。(50代/女性)

・生涯学習が大切なことはよくわかるが、知識だけで、理想論になって実戦に使われていない気がする。
即戦力になる講座を増やして、地域活動に永続的にエネルギーを向けて欲しい(40代/女性)

・これから高齢化が進む中で、スマホ、マイナンバーなどネット系が進化しています。

世の中が便利になっていきますが、ついて行けない人が増えていくのを自分も含めて感じています。

なので、生涯学習とは違っているかと思いますが、「やり方が分からない」「忘れてしまった」という場合に、もっと身近に教えてもらえる機会が増えるといいな、と思います。(50代/女性)

・生涯学習…小さな子供がいて参加するのが難しいのでweb開催をやって欲しい！(40代/女性)

・仕事をしていた時は、地域や社会への参加はほとんどできませんでした。働く方への参加について、もっと有効的な取り組みが必要だと思う。(60代/女性)

○参加したい講座や希望する講座のあり方

・YouTubeライブで当日映像を流し、後日も見れるように生涯学習に特化したYouTubeチャンネルも立ち上げる。人を集めることが目的ではなく、学習してもらうことが目的なのであれば、今までのやり方は捨てた方が良いと思う。(50代/男性)

・自己啓発系の生涯学習団体は、宗教団体と間違われるイメージがある。

善良な生涯学習は、公もいっしょに紹介する機会を作り、より良い生き方をする人間が増えるようにしてほしい。(40代/男性)

・中年男性向け講座が沢山あればと思う。例えば「野球ソフトボールで久しぶりの運動」「父親が作る子供のための工作講座」「単身者向け簡単ヘルシー料理講座」「離婚後男性向け将来の不安解消講座」。平日実施があればなお良い。(40代/男性)

・たくさん公開講座等あっているが、日々の生活が精一杯でなかなかそこにたどり着く気持ちの余裕が無いのが現状です。

もっとカジュアルで若い方が参加しやすいテーマの公開講座等で気を引いていくと良い気がします。(60代/男性)

・もっと種類があってもいいのでは？(50代/女性)

・税制や補助、NISAなどの資産運用などの、金銭に関わる内容を開催して行くべきだと思う。

国からは自立を求められており、老後資金は個人で用意していくこと的前提が色濃くなっている。税制について細かく学習する機会が義務教育では無い。給与をもらい始めた上で自活していくには、公共の補助を活用するにはということ学ぶことで、生活に余裕ができ、社会貢献について考える余裕が出てくると思う。今はその余裕がない人が多い社会になっている。生涯計画を立てる上でも必要な知識を得ることで、政治に興味を持ち、自分たちの日本をどうしていきたいかを考えるきっかけとなると。(30代/男性)

○関係機関との連携

・民間との提携の拡充。(60代/男性)

・民間企業と連携して各種の講演等を開催したらいいと思います。会場は小規模や大規模の会場で毎月、1回でいいから開催したらその後も学習意欲が増すのではないかと思います。(70歳以上/男性)

・前提を覆すようで申し訳ないのですが、私は必ずしも全ての人が地域社会に積極的に参加する必要はないと考えています。例えば私の祖母は敬老会などの催し物が嫌いで、生涯家庭や親しい方の狭い交友関係で満足していました。私も似た考えです。

ですので、集まって行う講座だけでなく、個人のペースで進められる通信教育のような学習機会を充実させていくのはどうでしょうか。今はネットが普及していますので、オンライン学習ならば自治体の壁を越えて学ぶことも容易です。県独自で行うことも大切ですが、自治体同士が連携して大きな生涯学習のプラットフォームを作っていくべきと考えます。(40代/男性)

・生涯学習には、無形文化財に触れるものも実施されていると思いますが、後継者不足等が問題になっているのも、直接肌で触れる時間が少ないからだと思います。子供たちに無形文化財を知ってもらうために、文化財と触れあえる機会が無料招待で行われていることは素晴らしいと思います。けれど、都市圏が多いので、自治体と組んで、ブロックごとにもっと地方での機会を増やしてほしいです。(40代/男性)

○学んだ成果の活用

- ・正直に言って、県が開講している講座等の魅力が低い。有名人が必ずしも良いわけではないが、色々なレベルを設けてまずは参加させる仕組みを作るべき。
また習いばなしにせず、それを地域や自身の仕事につなげるように促すことも必要。例えば、学習の後にインターネットなど実地でそれを生かすような講座を設けるなど。(60代/男性)
- ・学んだことをアピール&評価される場があればモチベーション上がりそう。(40歳以上/男性)
- ・学習だけでなく、学んだことを披露、もしくは活かせる場を提供することのほうが重要だと考えます。
学ぶことはインターネットが普及し、情報にはいつでも誰でも平等にアクセスできる一方で、得た知識や技術を伝えたり、知ってもらえる場は限られている、もしくは一部の人にしか情報が伝わっていない。
学習はアウトプットしてこそ価値があるもので、そのような機会を増やせば、結果的に学習に取り組む人を増やすことにもつながると考えます。(30代/男性)

○行政に望む施策・支援

- ・「多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるため」の意見を記載します。
活動に参加した場合、住民税などの県や市に納める税金を軽減する制度を設ければ参加者が増えると思います。(60代/男性)
- ・年齢を重ねるにつれ情報収集能力に欠けます。
これらの方の参加を増やすには市町村の活動情報も大事だと思います。(70歳以上/男性)
- ・きっかけが中々無いので行政の方で講習会等を開催してほしい。(70歳以上/男性)
- ・以前「男の料理教室」の講座を受講したことがあります。たまたま別の機会でその建物に入館したことがきっかけでした。楽しく身になる講座でした。それだけにやはり、情報提供が少なく、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと感じました。(50代/男性)
- ・自宅から出ないで過ごす方もいますので、町から体操などの健康イベントをたくさん発信してほしいです。(40代/女性)
- ・私のような65歳以上の高齢者の場合、生涯学習として民間の教育機関を利用する際に、学習費用の援助などが受けられると大変ありがたいです。(60代/男性)
- ・生涯学習を経験することにより、実社会の様々な問題や社会参加への意欲増加に繋がる事例の提示。(60代/男性)
- ・コンテンツが若者に響く内容になるよう高校生大学生等の意見を参考にすべきでは。(30代/男性)
- ・私の知るところでは、生涯学習はコストもかかるので、場所・施設の提供は行政が行い、その他のコストは受益者である受講者負担にしたいと思っています。内容も負担金に応じた内容でいいと思います。勿論無料の講師の方がおられれば、次の機会に負担金を使えれば幸いです。(60代/男性)
- ・学習に使用した書籍を処分することが多いです。図書館での買取制度などあれば、図書館の書籍の充実にも寄与するし、学習者にとっても新たな書籍代を得ることができるので、好循環になるかと思っています。(40代/男性)
- ・地元、地域、地元の学校出身で、何かを成し遂げた人の紹介、講演依頼などをして、身近な人、親しみの持てる人の体験談などをきき、刺激を受けるプロデュースを自治体、行政でも取り組んでもらいたい。
例えば、最近アメリカのテレビ界のアカデミー賞といわれるエミー賞を、福岡県出身で筑女出身の在米国の山内あや子さんが受賞されました。そういう人の紹介やインタビューをして、これから未来を担う若い人に刺激を与えたいと思います。(70歳以上/女性)
- ・私が住む新宮町では、公共講座についてですが、高齢者や子育て中の親、親子、子供にたいしての講座などは多いが、独身者または高齢でない子なし夫婦にたいしての講座がほとんどなくて、講座の対象者がかなり片寄っているように思います。そびあ新宮のような立派な施設はありますが、あまり活用されていないように思うので、もっと役場主催で性別・年齢・未婚既婚問わず、安価な講座を増やして欲しいと思います、実現のために可能ならば福岡県から新宮町への補助費があったらと思います。(40代/女性)
- ・人生100歳時代に向けて、生涯学習がますます重要になってきますので、さらなる情報発信を期待しています。(60代/男性)
- ・現役だけでなく、リタイア後も高齢者向けに講座受講や資格試験受験での金銭的負担軽減のための補助&支援金支給制度の確立(70歳以上/男性)
- ・自分に合ってるのかな?と思いながら働かれてる人が多く、メンタルヘルスもよろしくない。
しかし他のスキルを勉強する時間も気力もないのが多くの方が抱えている悩み。
もし可能であれば、雇用保険受給者のみではなく、就業している人に対しても「学べる環境」を国が提供してもらえると助かる。
若い世代もミドル世代、定年後の世代それぞれ「働きたい気持ち」の中には「働くことへの不安」があるため、その気持ちに寄り添いつつ、スキルアップや新たな職業への一步をサポートできる部門があればと思う。
働くものが増えることで経済も回ると効率的な気がする。(40代/女性)

高齢者の生涯学習ももちろん大事ですが、若者(20代30代)の今の現状に満足してない無職もしくは仕事に生きがいを感じていない若者に、適材適所の一生涯の仕事があっせんしてあげたいです。学びたい人には学びたいことを県が学費を出してでも学ばせてあげて、安定した収入を確保してあげてほしい。そうする事が県民を生涯学習へと向かわせる一歩だと思う。(70歳以上/女性)

・週に3日、一日6時間働いています。生涯学習によって専門性向上のためずっと勉強をしています。いつまでも働けるように、高齢者への社会的な援助をお願いしたい。身体的な疲労や能力低下を考えた援助がほしい。(60代/男性)

・これまでの生涯学習の概念は、上記のような質問内容だと思うが、「対面形式や費用負担が必要なものは、時代に合わなくなっている」ので、もっとこれからの時代を見据えた質問設定も追加が必要と思う。

例えば、

- ・YouTubeの利活用
- ・SNSの利活用(悪用も多いが、有用も多い)
- ・スマホの利活用
- ・AIの具体的な利活用

などを積極的に利活用できるようにする教育や活動が進めば、生涯学習の概念そのものが変わり、個人個人がもっと豊かな日常生活を送ることができるようになる。

そのような取り組み概念は、需要に対して非常に遅れている。

これが無料で広くできるのは、行政などの公的機関だと思う。(60代/男性)

・学びを得る事は好きです。自分に自信を持ちながら、いきいきと前を向いて生きて行けると思います。地域貢献やボランティア活動にも興味がありますが、現地までの交通費や食事代等を考えると、参加したくても難しい場合があります。ボランティア活動にも県独自の交通費・食事代その他費用の支援やボランティア活動参加ポイントがあれば、楽しく参加出来るのではと考えます。県民が互いに支え合い、助けあって、楽しく、幸せに生きて行ければ素敵だと考えます。(40代/女性)

・生涯学習という言葉は硬くありませんか? 「死ぬまで勉強しろということか! 」とらえてしまう高齢者も少なくないでしょう。学ぶ人たちの目線に立った福岡県独自の短いキャッチフレーズ(メッセージ)を添えるのもいいかもしれません。たとえば「生きる、学ぶ、楽しむ」といったような……(50代/男性)

○その他

・年をとっても積極的に人と触れ合い、頭を使って生活する機運を盛り上げて欲しい。活躍する場面とかボランティアへの参加のお知らせとか。(60代/男性)

・本格的に知識などを身につけたいと思うのですが、講座などを受けようと思うと費用がかかったり、近場では利用できないことも多いです。また、身につけた知識などを活用する場も少ないため、受講料などの費用がかさむばかりとなります。子供たちにお金を使いたいのでもちがが優先的となり、結果自分の生涯学習のための時間や費用は後回しになり、あまり学習できていないのが現状です。(30代/女性)

・生涯学習は「本人が必要に迫られて受講するか」または「本人が受講後に抱く輝ける自分の姿を描くことができるようなもの」であるのが自然です。1990年代・2000年代に流行していた集団で何かを学ぶ「英会話スクール、趣味・ダンス・旅行・教養に関する講座」が現在は非常に衰退しているように思われます。現在はインターネットの普及によって各行動が個人化したというのがありますが、経済的にも余裕がなく、生涯学習に費やす費用・時間の優先度が相対的に低いままのようにも感じます。また、受講後に何か劇的な変化が見られるものというのが少ないため、単発的な受講はあっても継続的な受講は相当難しいように感じています。周囲の人(家族・職場・友達等)が受講していることを知ると感化されて受講する可能性も上がるため、受講が一般化して普及するか、または特定のボランティア活動のように活動前の研修が必須になっているような事前必須講座の形が増加・普及するかが現実的のように思っています。(50代/男性)

・学びたいという気持ちは人それぞれ。幼い頃から学びは楽しいと思うような教育が必要だと感じる。(40代/女性)

これからの時代は多種多様な考え方を持つ者同士が、お互いを尊重しながら話し合える場所が必要かもしれません。こんなに、年代によって考え方や受け取り方に差がある時代は今までになく、難しいと思います。そんな時代だから、あらゆる人達の立場に立って話し合いをまとめる様なコーディネーターが地域や社会にもっと必要だと感じています。考え方が違うからと切り捨てるのではなく、如何にお互いが歩み寄れるのか。また、外国人が入ってくると益々複雑になります。多言語の勉強も必要だと感じています。(60代/女性)

・学習を通して、人とのつながりができるかどうか、長続きの秘訣。(50代/女性)

・学習会に出て学習したい気持ちはあるが、恥ずかしいので中々難しい。(40代/男性)

・今は子育て中で食事や子育てなどしか手が回らないが、落ち着いたら色々学びたいと思っています。たくさんの種類があるといいなと思います。楽しみです。(40代/女性)

・具体的にどのようなものを生涯学習と呼ぶかわからない

また、現状、県や市町村が開催している生涯学習に興味がない。(20代/男性)

- ・仕事が多忙だとなかなか興味があること又は必要なこと以外には手を出しにくい傾向がある。(50代/男性)
- ・職場で福岡県のアドバイザー派遣による研修を計画しています。このような学びの機会があるのはありがたいです。(40代/男性)
- ・自治体の住民のニーズにあったやり方で行うのがベストだと考えていますので、さまざまな意見を取り入れるのがよいと考えます。(30代/男性)
- ・いくら仕掛けがあっても結局は個々が学びたいと思うか、ということに尽きると思います。学ぶ意欲の根本は、興味関心だと思いますが、興味関心を持つためには幼少期に様々な経験を積んでいることが重要かと思います。歳を取った人に学びを押し付けるような施策にならないことを願います。(30代/男性)
- ・会社を退職したら何か始めようと思ってます。(70歳以上/男性)
- ・なかなか子育て中の身には難しいです。興味がある分野の生涯学習が地域のコミュニティセンターなどで実施されていることは把握しているがなにぶん日々忙しすぎて参加できない。子育てが終われば参加したい。(30代/女性)
- ・現役世代は仕事と育児とで精いっぱい、プラスアルファの社会活動に参加する余裕がない。働き方を見直してワークライフバランスを改善しない限り、社会活動や生涯学習に時間をさくことはできないと切実に感じる。(30代/女性)
- ・60歳になり、生涯学習の重要性を再認識しています。(50代/女性)
- ・公民館講座など、長年駆使してきたことはいつも集まる方々、面々が同じ方になっていること。なかなか幅広く伝え参加して貰えるように声をかけていくが難しい。講座後にお弁当を配布するなどの工夫をしてより沢山の方に集まって頂くなどしているが…(60代/女性)
- ・生涯学習について、特に考えてません。健康に対して、日常の運動について考え、実施している。(70歳以上/男性)
- ・生涯学習で自発的意思に基づいて自己の充実や生活の向上に取組む意識を持つ事はこれからの社会生活を進める中で大変重要な事だと思います。(60代/男性)
- ・私自身、地域学校協同事業の一環で学校に関わっているが、子どもたちからパワーをもらい元気の源だと思っている。生涯学習は赤ちゃんから高齢者まで。自治体の教育委員会は色々な事業をしているが参加者が少ないのは残念である。(60代/女性)
- ・ボランティアとは言っても交通費程度の支給は考えてないと、全く無報酬ではボランティアは増えない。(70歳以上/男性)
- ・今行われている講座以外にもっと興味を引く面白い分野を開拓していく。(60代/男性)
- ・健康で文化的な生活を行うためには、大切である。(50代/男性)
- ・地域では公民館を中心に高齢者向けの講座が盛んに行われています。趣味の講座も数多く開催されています。これまで一度も参加したことは有りません。何かのきっかけが有ればと思いますが一歩が踏み出せずにいます。(70歳以上/男性)
- ・時間や経済的に余裕がないとできないので、できる範囲で学習できればよいと思う。(70歳以上/女性)

「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

- 県内の大学や県の施設等が実施している学習情報
- 様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育（学び直し）やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報を発信

ふくおか生涯学習ひろば

ふくおか 生涯学習

URL <https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/>



お知らせ NEWS

- 2025年1月8日
【文部科学省】共に学び、まきまる共生社会コンファレンスについて
- 2025年1月8日
【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座「学童編」(ふくおか子育てパーク)
- 2024年12月20日
【西日本短期大学】2025年度(4月入学生)社会人選抜「申込」受付中!
- 2024年12月17日
福岡県内市町村の生涯学習推進体制等に関する情報を掲載しました。



<https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/news/detail/fcc0c690-846e-4cca-8a86-90d49aaab074>

<運動習慣について>

【調査の目的】

県では、県民の皆様の健康寿命を延ばすため、「ふくおか健康づくり県民運動」(※)を推進しており、健(検)診受診率の向上、食生活の改善、運動習慣の定着の3つを取組の柱として活動を行っています。

今回、柱の一つである「運動習慣の定着」について、事業成果の確認を行うため、県民の皆様の運動習慣に関する状況をお聞かせいただき、今後の事業実施の参考とさせていただきたいと思います。

(保健医療介護部健康増進課)

※ ふくおか健康づくり県民運動とは

県民の健康寿命の更なる延伸を目指し、保健、医療関係団体、経済団体、企業、大学、マスコミ、地域団体、行政など、様々な分野の関係団体が一体となって、県民の自主的な健康づくりを県民運動として展開しているものです。

【調査時期】

令和6年9月11日～9月30日(第3回)

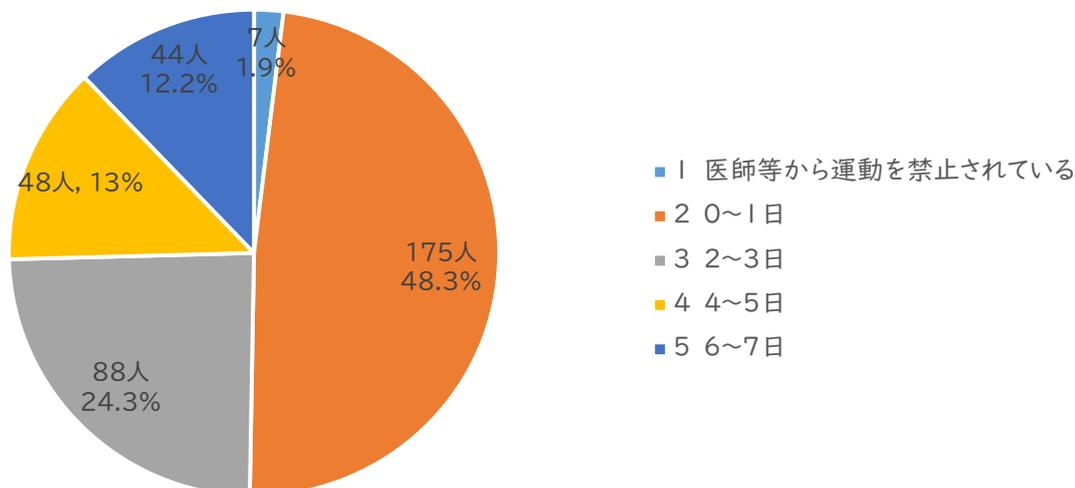
【回答者構成】

総数 362人

問1 | 1週間の運動日数についてお伺いします。1回30分以上の運動を1週間に何日行っていますか。【1つだけ選択】

(n=362)

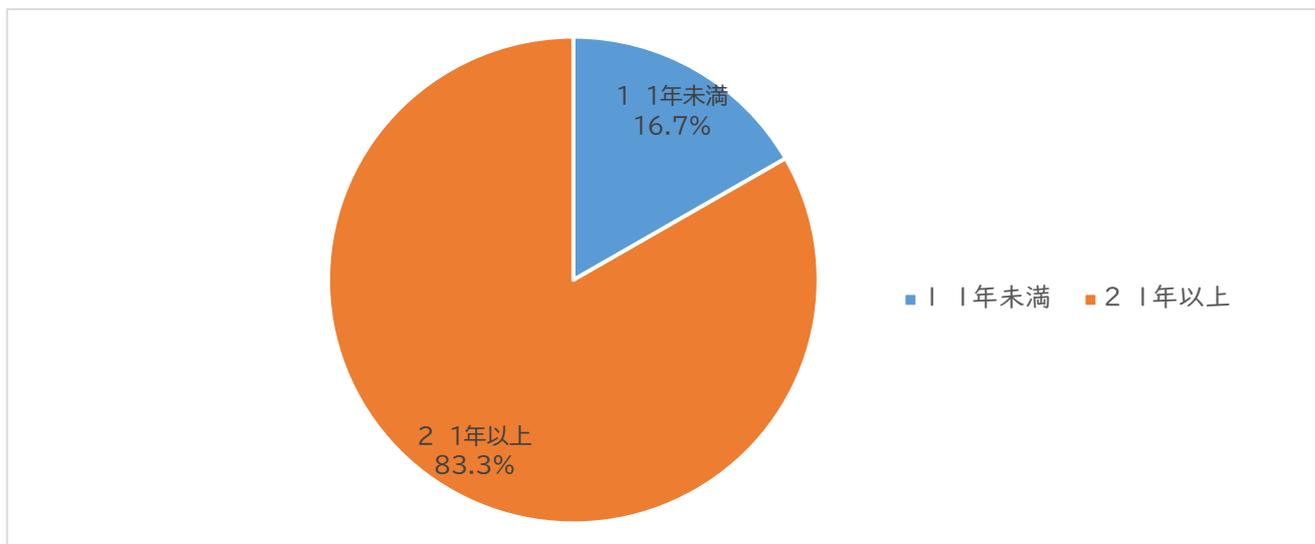
1 医師等から運動を禁止されている	1.9%	(7人)
2 0~1日	48.3%	(175人)
3 2~3日	24.3%	(88人)
4 4~5日	13.3%	(48人)
5 6~7日	12.2%	(44人)



問2（問1で「3」～「5」のいずれかを選択された方）運動の継続年数についてお伺いします。1回30分以上の運動を週2日以上行うという状況はどの程度継続していますか。【1つだけ選択】

(n=180)

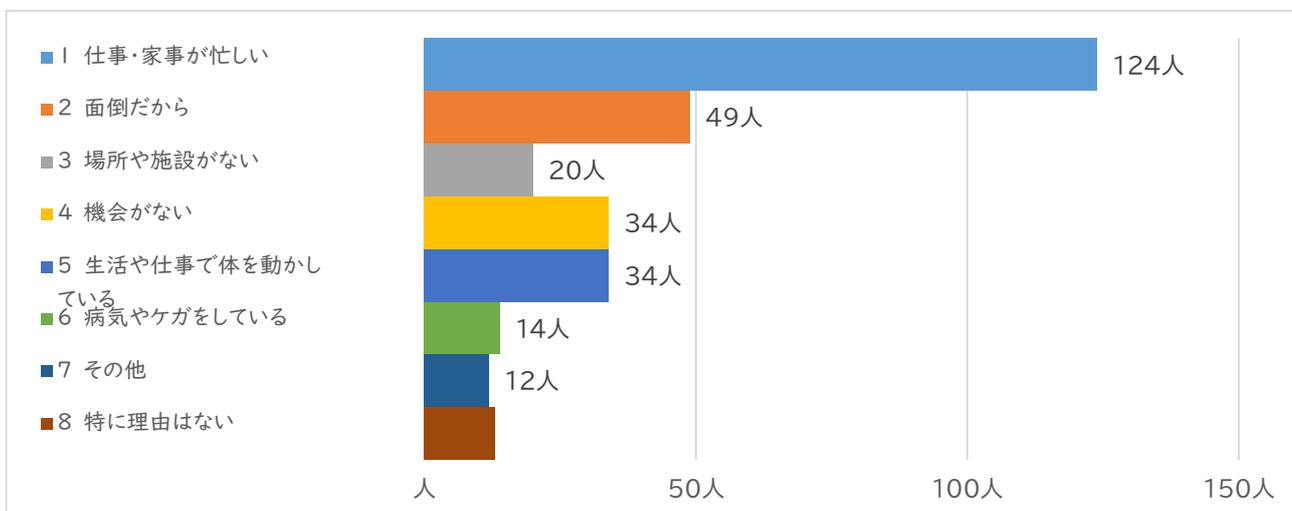
1 1年未満	16.7%	(30人)
2 1年以上	83.3%	(150人)



問3（問1で「2」を選択された方）運動を定期的に行わない理由について、当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数=300件、複数選択可)

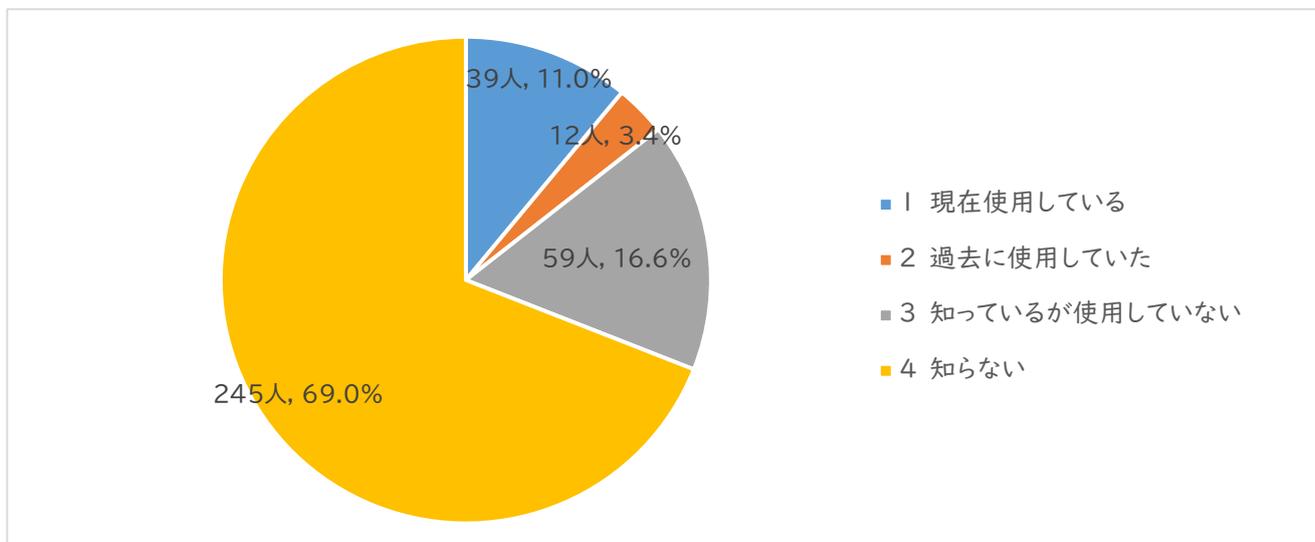
1 仕事・家事が忙しい	41.3%	(124人)
2 面倒だから	16.3%	(49人)
3 場所や施設がない	6.7%	(20人)
4 機会がない	11.3%	(34人)
5 生活や仕事で体を動かしている	11.3%	(34人)
6 病気やケガをしている	4.7%	(14人)
7 その他	4.0%	(12人)
8 特に理由はない	4.3%	(13人)



問4（問1で「2」～「5」のいずれかを選択された方）福岡県が運用している健康アプリ「ふくおか健康ポイントアプリ」について知っていますか。【1つだけ選択】

(n=355)

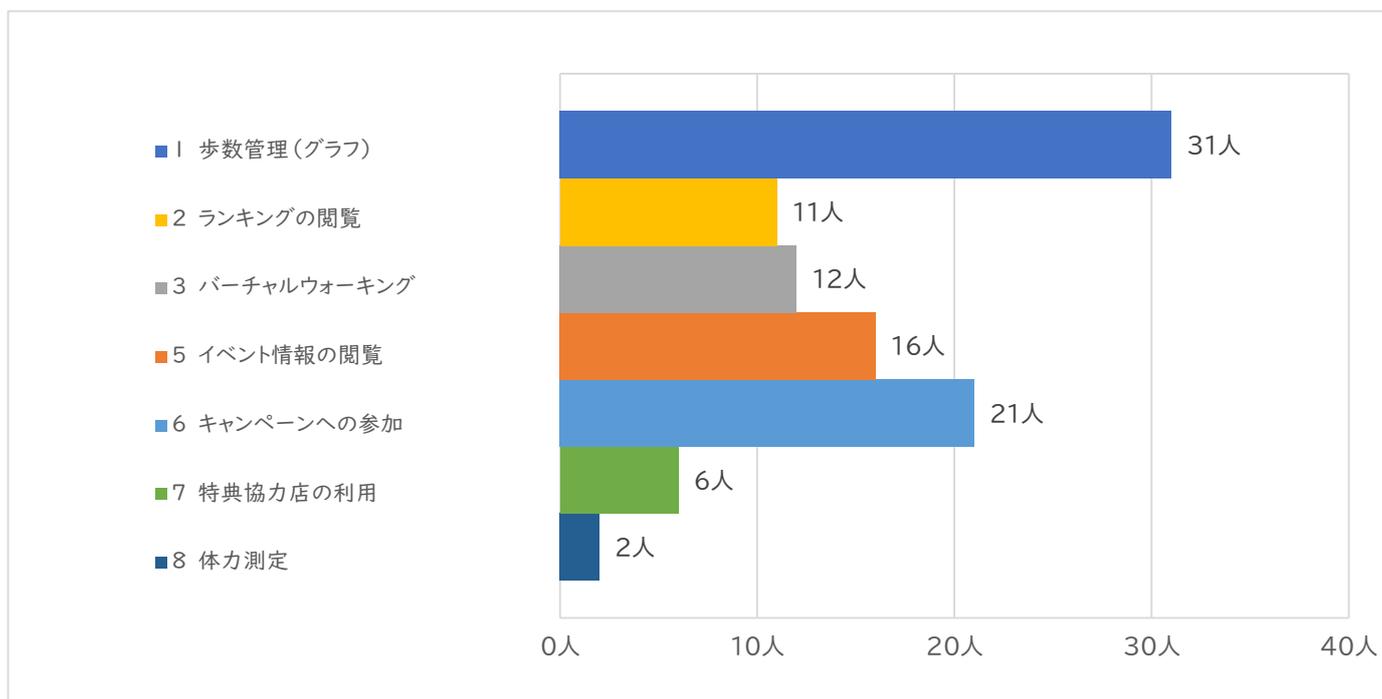
1 現在使用している	11.0%	(39人)
2 過去に使用していた	3.4%	(12人)
3 知っているが使用していない	16.6%	(59人)
4 知らない	69.0%	(245人)



問5（問4で「1」を選択された方）利用している機能について当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数=114 複数選択可)

1 歩数管理(グラフ)	27.2%	(31人)
2 ランキングの閲覧	9.6%	(11人)
3 バーチャルウォーキング	10.5%	(12人)
4 健康管理(健康記録)	13.2%	(15人)
5 イベント情報の閲覧	14.0%	(16人)
6 キャンペーンへの参加	18.4%	(21人)
7 特典協力店の利用	5.3%	(6人)
8 体力測定	1.8%	(2人)



問6（問1で「2」～「5」のいずれかを選択された方）自身の運動習慣の定着のため、「ふくおか健康ポイントアプリ」にあったらいいと思う機能はありますか。具体的に入力してください。

【主な意見（抜粋）】

（アプリの機能に関すること）

- ・現在地からのウォーキングルートを提案してくれる機能がほしい。
- ・バーチャルウォーキングのルートを増やしてほしい。
- ・同世代との運動に関する比較をしたい。
- ・ゲーム要素を追加してほしい。
- ・運動記録の機能が使いづらい。
- ・福岡県防災アプリまもるくんや地図アプリと連携して情報表示してほしい。

（特典等に関すること）

- ・特典協力店が地域によってはとても少ない。
- ・ポイントを他社のポイントに変換できるようにしてほしい。
- ・ポイントをギフト券や健康食品、県産品などと交換できるようにしてほしい。
- ・キャンペーンを増やしてほしい。
- ・キャンペーン応募のポイント数を減らしてほしい。
- ・キャンペーンやイベントを増やしてほしい。
- ・目標歩数達成による特典があればうれしい。
- ・長期継続利用者へのポイント等の特典がほしい。

問7 運動習慣について、これまでの設問以外に意見はありますか。具体的に入力してください。

【主な意見（抜粋）】

（イベントに関すること）

- ・小さな子どもと一緒に参加できるイベントを開催してほしい。
- ・ウォーキングイベントを増やしてほしい。
- ・公園等でラジオ体操を実施してほしい。

（環境整備に関すること）

- ・年々夏の気温も高くなっているため、室内の運動環境整備が必要。
- ・各地域に緑に囲まれたウォーキングコースを整備してほしい。
- ・公営の運動施設に休日だけでいいので一時託児所を設置してほしい。
- ・ウォーキングコースにカロリー表示等の標識を設置してはどうか。
- ・公園に筋トレ器具を設置してほしい。
- ・公共の運動施設をもっと増やしてほしい。

（特典等に関すること）

- ・適したスポーツを見つけるために広く浅くスポーツに触れ合える機会が必要。
- ・年代別の運動方法や実践結果が分かる機会があると取り組みやすい。
- ・科学的に検証された運動習慣の情報がほしい。
- ・具体的な運動や食事メニューに関する動画を配信してはどうか。
- ・勉強の合間に行う運動など場面別に運動の種類を知りたい。
- ・運動習慣改善に係る取り組みを行っている企業への表彰や補助金交付を行ってはどうか。
- ・健診結果を提出した場合、税金が控除されるなどインセンティブがほしい。
- ・高齢者に対してフィットネス利用の補助金があれば利用しやすい。

自然との共生について（回答者 362 人）

【調査の目的】

県では、**人と自然が共生する社会（※1）**づくりを進めています。そこで、行政だけではなく、県民の皆さんや、企業、NPO・ボランティア等の多様な主体によって**生物多様性（※2）**の保全と持続可能な利用に関する施策を推進するため、令和4年3月に「福岡県生物多様性戦略 2022-2026」を策定しました。つきましては、県民の皆さんに、県の生物多様性保全の取組がどこまで浸透しているか、また、生物多様性保全についての考え方等をお聴きし、戦略推進の参考資料とさせていただきます。

※1 人と自然が共生する社会（自然共生社会）とは

人と自然（生きもの）が共に生き、自然からの恵みを持続的に受け続けることができる社会

※2 生物多様性とは

私たちの住む世界には、森林、草原、川、海など多様な自然があり、その中で、哺乳類、鳥、昆虫、魚など多種多様な生きものが、「食べる－食べられる」の関係をはじめ、様々な「つながり」を持って生きている状態

（環境部自然環境課）

問 1

「生物多様性」の認知度

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計	割合
①内容をよく知っている	5	6	4	6	8	4	4	37	10.2%
②内容をある程度知っている	0	11	12	15	12	17	8	75	20.7%
③言葉を聞いたことがあり、内容をイメージできる	2	10	23	18	18	23	13	107	29.6%
④言葉を聞いたことはあるが、内容をイメージできない	2	10	8	16	12	14	7	69	19.1%
⑤全く知らない	—	3	14	21	12	16	8	74	20.4%

※R3年度までは「③言葉を聞いたことがある」「④全く知らない」としていたが、R4年度から設問を上記のとおり変更し、認知度は①～②の合計から①～③の合計と整理した。

<直近5年間の福岡県における生物多様性の認知度の推移>

項目	2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①内容をよく知っている	37	10.1%	29	8.1%	43	11.8%	22	5.9%
②内容をある程度知っている	106	28.9%	104	28.9%	86	23.6%	93	24.9%
③言葉を聞いたことがある(R3年度まで)	129	35.1%	141	39.1%				
③言葉を聞いたことがあり、内容をイメージできる					106	29.0%	122	32.7%
④言葉を聞いたことはあるが、内容をイメージできない					65	17.8%	73	19.6%
⑤全く知らない	95	25.9%	86	23.9%	65	17.8%	63	16.9%
合計	367	100%	360	100%	365	100%	373	100%

<参考>

県政モニターアンケートによる生物多様性認知度の推移

(H23は生物多様性戦略策定時の数値、R4年度から認知度の設定を見直し)

調査年度	認知度 合計	(内訳)		
		①	②	③
平成23年	33.0%	7.5%	25.5%	
平成26年	39.3%	6.2%	33.1%	
平成27年	43.4%	11.5%	31.9%	
平成28年	39.5%	11.8%	27.7%	
平成29年	38.1%	11.2%	26.9%	
平成30年	32.0%	9.9%	22.1%	
令和元年	37.5%	9.7%	27.8%	
令和2年	39.0%	10.1%	28.9%	
令和3年	37.0%	8.1%	28.9%	
令和4年	64.4%	11.8%	23.6%	29.0%
令和5年	63.5%	5.9%	24.9%	32.7%
令和6年	60.5%	10.2%	20.7%	29.60%

問2

生物多様性に配慮した行動として行っていること（2つまで回答可）

項目	件数	割合
旬のもの、地元のものを選んで購入する	214	34.0%
節電やアイドリングストップなど地球温暖化対策に取り組む	130	20.6%
生きものを最後まで責任を持って育てる	95	15.1%
身近な生きものを観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう	80	12.7%
生物多様性や環境に配慮している企業の商品やサービスを優先的に選ぶ	32	5.1%
自然や生きものについて、家族や友人と話し合う	28	4.4%
生物多様性に関わる観察・調査・保全・再生などの活動に参加する	20	3.2%
エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する	18	2.9%
特に行いたいとは思わない	11	1.7%
その他	2	0.3%

<特に行いたいと思わないを選んだ理由（抜粋）>

- ・自らに生物多様性の為に何かを行う理由が存在しないから
- ・正確な科学的根拠に基づいていない利権によるものがあるため、こちらがなにかを負担してまで行おうとは思わない。
- ・興味、関心がない
- ・自然に配慮するというのは、人類の考えであって、自然に生きる生き物は環境が変わればそれに対応して生き残ってきたし、それが進化なんだろうと思う。だから何も行いたいとは思わないし、自然に任せたほうが一番いいと思う。地球が生き物だと考えれば、地球に決めてもらったほうがいい。環境が変われば人類も進化するしかない。人類が自然保護等に手を入れれば入れるほど、欲が絡んでくるし、余計にこじれているような気がする。
- ・虫などが苦手だから
- ・節電等は考えるが、自然に対して無駄な抵抗と思える部分もあるため、進んで何かをしようとは思わない。
- ・興味がない
- ・生物多様性を具体的不明の為、特に理由はありません

<その他の回答>

- ・言葉自体を知らないので意識したことはありません。ただ、自然は大事に、逆らえない物だと思っています。
- ・太陽光発電などをおこなって動植物が得るはずだったエネルギーを奪うようなことをしない。

問3

自然共生社会の実現を目指していく上で、県が重点的に取り組むべきこと
(3つまで回答可)

項目	件数	割合
身近な野生生物(ホタル、ツバメなど)や里地里山といった身近な自然の保全	204	22.3%
野生鳥獣(シカ、イノシシなど)や外来生物による被害の防止	144	15.7%
希少な野生動植物やその生息地の保全・保護	143	15.6%
環境に配慮した公共工事の推進	139	15.2%
環境教育の充実	118	12.9%
生物多様性に関する各種情報の発信・提供(希少種・外来種を含む生きもの全般の情報、県内で活動する保全団体の情報、環境啓発資料、県の施策等)	73	8.0%
生物多様性の保全に取り組む民間団体への支援	52	5.7%
生物多様性保全の取組を進めるための科学的なデータの集積や調査・研究	39	4.3%
その他	4	0.4%

<その他の回答>

- ・必要性を感じていないから特段ない
- ・日本も高齢化が進み、消滅自治体がニュースになる中で、限界集落は里山に戻す時期が来たのではないかと思います。昔は野生生物の生きる場所と人間が生きる場所の住み分けができていたはずですが、今は宅地化等が進み区分けが失われている状況だと思います。県が進めるべきは、パンフレットみたいな自然と共生するスタイルではなくて、野山の宅地開発等を制限したり、野生生物との住み分けを進めていくことだと思います。
- ・自然保護と言いつつ太陽光パネルのはげ山を作るなど矛盾するようなことをしないように、県は知事を筆頭に積極的に勉強してください。
- ・家庭菜園をカラスに荒らされて、大変困っています。

問4

生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援すればよいか。

項目	件数	割合
地域の活動に対して資金等を助成する	106	29.3%
誰でも取り組めるような生物多様性保全活動のためのリーフレットを作成し、周知・配布する	98	27.1%
生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催する	67	18.5%
市町村やNPO・事業者等に対して生物多様性保全活動への助言や技術指導を行う	49	13.5%
地域の活動に対して生物多様性に精通した人材を紹介・派遣する	35	9.7%
その他	7	1.9%

<その他の回答(抜粋)>

- ・必要性の周知
- ・県営住宅で保護犬や保護猫を飼えるようにすべき。
- ・開発の規制(特に太陽光発電)。
- ・専門家をお呼びして勉強会を開く。
- ・誰でも取り組めるような生物多様性保全活動を小刻みに開催していく。

問5

条件付特定外来生物の規制の内容等の把握。

項目	件数	割合
全く知らない	167	44.8%
規制の内容をある程度知っている	83	22.3%
条件付特定外来生物に指定されたことは知っている	83	22.3%
規制の内容をよく知っている	29	7.8%

問6

地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのある侵略的外来種の中で、優先的に対策が必要な種(2つまで選択可)

項目	件数	割合
セアカゴケグモ	164	45.3%
オオクチバス(通称:ブラックバス)	124	34.3%
アライグマ	97	26.8%
アカミミガメ(通称:ミドリガメ)	71	19.6%
アメリカザリガニ	63	17.4%
その他	36	9.9%
水生植物(ブラジルチドメグサ、ナガエツルノゲイトウ等)	30	8.3%
オオキンケイギク	16	4.4%

<その他の回答>

名称	件数
ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)	12
カラス	3
イノシシ	2
ツマアカスズメバチ	1
セイタカアワダチソウ	1
ヒアリ	1
イタチ	1
ハクビシン	1
タヌキ	1
野犬	1
シカ	1
マダニ	1
スズメ	1
ハト	1
未回答	8

- ・生物多様性をおびやかす侵略的外来種とも共生が必要なのでは…
- ・子供の頃、アメリカザリガニは、田んぼにも河川にも堀にも生息していましたし、ザリガニがいるところには他の生き物も「共生」していました。持ち込んだのは人類であるのに環境に適応してそこに生きている特定外来生物は、もはや自然環境の一部と呼べるんじゃないでしょうか。都合が悪くなると切り捨てるのは、人間に対しても生物に対しても同じで悲しいですね。

問7

これまでの設問以外での御意見(計88人)

普及啓発・教育	25
外来生物(特定外来生物含む)関係	16
有害鳥獣・ワンヘルス関係	13
環境問題	11
ペット・犬猫関係	2
その他(上記に区分できないもの)	21

<普及啓発・教育>

・「自然との共生」というテーマ・取り扱い範囲が漠然としすぎていて、県民レベルではなかなか認識しにくいです。子供の頃からの生活習慣・学校や家庭内の教育が重要で、30代以降の県民の意識・行動を変革することはなかなか困難です。小学校から高校までの教育、大学生のインターンシップ等の活動や各諸団体・機関の取組に触れる機会等を重点的に取り組んでいただければ長期的に成果が出るものだと思います。付加的に、各諸団体・機関の取組にボランティア活動・イベント参加等に関わる県民を増やしていくことができれば、全世代への網羅的な普及の一步となりそうです。

・0→1をさせないためにも広告活動が重要になってくる。

・こういう関係の教育は小学校までが主であり、その後も引き続きこれまで以上の教育が必要と考える。

・やはり教育が必要。小学校の遠足や見学を自然に近いところで行うようにし、小さい頃から触れ合うようにすることが重要。

・県民が興味を持って見かけたら通報するようにすれば広域に広がることを未然に防げるのではないのでしょうか？

・今以上にニュース等に取り上げてもらい、周知徹底してほしい。

・子どもが自然に触れ合える場所が少なくなりすぎて、自然の大切さや豊かさを知らない世代が多いように感じています。川が危険であることや、生きものに命があることなど、自分たちの時代に当たり前だったことすら知らない子どもたちが増えていて、寂しい気持ちになります。

・子供には自然に触れ合う機会を増やしてあげたい。施設の充実を

・子供達をもっと自然と触れ合うように教育環境を考えて欲しい。最近やたらと虫などを嫌う傾向にあると思われる。もちろん毒を持つ生物は危険ですが基本的に触れ合って学ぶことの方が多いいと思います。

・子供達が興味を持つ様な学習機会を増やすべき。

・私が小さかった頃はよく川で遊んでいましたが、今ではそういう光景を見る機会が減りました。

近所に景色が良く雰囲気の良い川がありますが、もう少し手を加えて水遊び出来るような環境を整えて頂ければ、子供達も自然に触れ合う機会が増えるのではないかと思います。

・飼えなくなると、川に逃がし、大量に発生し、生命体が、崩れてしまう。

カメやザリガニを売る側の人に「最後まで責任を持って買ひましょう、川に逃がすのはどうしてダメか」などが書いてあるリーフレットを絶対に購入者に渡して読んで知ってもらいたいと思います。

・自然との共生については、市街地では身近ではなくなかなかわかりにくい。県として、機会があるごとに情報発信をお願いしたい。

・自然と共生していない具体例を福岡県がテレビで知らせる等も効果的だと思います。

・自然環境を整えたいと思っています。福津市や宗像の海岸にゴミがたくさんあり、環境破壊をしています。県民で綺麗にする運動を広めてほしいです。以前、宗像フェスで海岸のゴミ拾いすると安いチケットを購入できました。いろいろな機会に海外清掃をアピールしてほしいです。

・住宅地近くで出没するさる、イタチ、いのししなどの小動物との共生と対策。

出没の情報、対応、などの情報発信。出没の実態調査。

・生物多様性に関して、もっと県民に、わかりやすく、知らせた方がよい。

・多くの人に参加して成果が出る取り組みなので、学校での教育や周知活動をして広めていく必要があると思う。

・知らない人も多いかと思うので、広報誌等で積極的に発信をして欲しいと感じました

・町中に住んでいると自然との共生について考えることがありません。

県民の多くが自然と触れ合える機会を設けてほしいと思います。

町中に居ても自然を感じられるような緑地などを増やしてほしい。

・日本固有種を保全する取り組みを、小学校のときから啓蒙したい

・必要な時又は被害が出た時に情報が流れるが、常時スマホのアプリなどに情報が出てくる対策が必要。テレビや新聞やラジオはその瞬間情報をゲットできるもので、知らない場合が多い。

・保育園や学校で小さい頃から教育していくことが重要だと思う

・豊かな自然と、多種多様な生物の共存は、私達が生きてゆく上で大事な事だと考えます。自然の中で育まれた野菜や、魚、肉を人間が食し、生命を繋いでいる事を、学校や地域全体で学び、環境を守っていく事が大事で、どんな取り組みを行えば良いかを考え学ぶ機会を増やす必要があるのではと考えます。自然豊かで、魚もお肉も、野菜やお水も美味しい、福岡県が大好きです。

・専門知識を持ち、地域と良好なコミュニケーションがとれる人材の育成。

<外来生物(特定外来生物を含む)関係>

・アメリカザリガニ、ジャンボタニシは元々食用なので、捕獲法や美味しい料理法などを紹介して、食べてもらい、個体を減らす様に啓蒙する。

・アライグマは最近自分のまわりでよく見かける様になり他人事ではなくなりました。かなり凶暴性があり自分達ではどうしようもありません。捕獲罟の貸出などの対策をする必要があります。

・外来種などの輸入に関して厳しく取り締まるべきかと思います。持ち込ませないが一番効果的かと思っています。

・外来種についての正しい認識を持てる場を提供すべき

・外来種についてはもっと、アピールをすべきだと感じる。輸入規制は厳しく、簡単に手に入る環境に違和感がある。

・外来種のペット(例えばヘビ、トカゲ、魚など)の飼育放棄に関して、もっと厳しい条例を制定してはいかがでしょうか？

・外来種を簡単に購入できなくさせる必要があると思います。購入するときに税金のように外来種駆除の費用を払う義務をおわせるなどして、そこまでしてでも飼いたい人しか飼えないようにすることも大事。

・外来種を見つけたらどうすれば良いのか？詳しく情報をお知らせしてほしいです。

・近所の畑で作られている農作物が、猪やアライグマにより荒らされ食べられる被害がとても多く聞かれます！！どう対策したらいいのでしょうか。

・雑草として生えてきたオオキンケイギクを知らずにそのまま育てている人を見かけます。特定外来生物であることを知らない人が結構いるんだなと思いました。どのようなものが特定外来生物なのかを周知してほしいです。

・雑木林の保全

海外からの持ち込みを厳しくしてほしい。輸入ペットの制限等

・侵略的外来種といえども、一番悪いのは生き物ではなく、持ち込んだ人間、野に放った人間であることは、同時に発信すべきだと思います。

また、オオクチバスやアメリカザリガニなど、もはや手が付けられないほど広がっている生物もいます。

今の世間の報道は、侵略的外来種＝駆除のためなら残虐な殺し方をしても良いと、極端に捉える人が一部いることも事実です。

なので、私は、駆除は必要という情報と共に、一番悪いのは人間であったことを伝えることが、大切だと思っています。

・選択は2つでしたが全ての外来生物への対策が必要だと思います。

・特定外来生物は最近でこそ理解が広まり、規制も強化されているが、過去にペットとして飼われていたものが捨てられたり、意図せずに持ち込まれたりした結果、野生化して問題を引き起こしている場合が多いようだ。要するに過去の無責任な行動が原因である。生態系や農林水産業だけでなく、セアカゴケグモやヒアリのように人間に直接の危険をもたらす生物も増えている。しかも特定外来生物への対策はしばしば後手に回り、被害が拡大してからようやく

対策が講じられることが多い。被害を未然に防ぐことが難しくなっていることが最大の問題であらう。影響の深刻さを強く認識し、早急かつ効果的な対策を求めたいところだ。

・難しい問題だと感じました。

野生鳥獣による被害や駆除のニュースを見聞きするたび胸が痛みます。皆同じく生きていくのに必死なのだと感じます。しかし対策をとらなければ問題が大きくなる可能性があり、実際に対応にあたられている方々には頭の下がる思いです。駆除の対象となった生物がせめて亡くなる時に恐怖や苦痛が少ないように願うばかりです。肉や皮を利用させてもらうのは、命を無駄にしない、意味のある取り組みだと思います。自分は何ができるか勉強して考え行動したいです。人の活動によって持ち込まれた外来種の問題やペットの多頭飼育崩壊、飼い主や業者による遺棄の問題は特に、継続的な教育や啓発による人の意識の変化、取り締まりが重要だと考えます。大きな問題になる前に情報提供を受けたり、相談できる場があれば良いなと思います。

・問6(侵略的外来種での対策優先種に関する問い)はすべての項目が当てはまると感じている(優先順位なし)。侵略的外来種の徹底的駆除を強く望む。大胆な施策の実施が必要であって、中途半端な取り組みはかえって財政の無駄使いだと思う。

<有害鳥獣・ワンヘルス関係>

・ゴミを荒らすカラスや野良ネコへの対応に力を入れて欲しい。生物多様性を言う前に、まずはそこから始めて欲しい。

・害獣や害虫の駆除に、「ああしたら可哀そうとか、こうしたら可哀そうとか」人があまりにも神経質になりすぎていると思います。害獣や害虫の駆除に許可や特別の方法を必要とするのではなく、だれもが害になるものは駆除してもよい世の中が必要ではないですか。

・熊の出没が取り沙汰されていますが、人間か野生の動植物に対する配慮の無さが、現時点で表れたのだと、とっても危惧しています。

・香春町は、自然にあふれている。サル、アライグマ、アナグマ、イノシシ、ハクビシンなどが出没し、農作物への被害もあり、野生動物を嫌悪する人も多い。また、河岸には草が繁茂しており、美しいとはいいがたい。自然と共存するためには、あるがままでなく、ある程度、自然を整備し、心地よい環境にすることも大事だと考える。

・最近当地域で、猿が歩いています。

私も近くで偶然あいました。びっくりしてしまってどのようにしたらよいか判断がつきませんでした。幸い事故には会いませんでした。良い対策をぜひ教えて下さい。

・昨今の熊、イノシシ、猿などの被害を聞き、里山の育成維持の重要性を痛感する。このための施策、対策をさらに行ってほしい。

・山林の植生維持などの取り組みで里山に棲む動物の保護を促し、人里で人畜被害が出ないようにして欲しい

・自然との共生は大切です、その上で大規模太陽光発電所や山の木の大規模な伐採は自然を破壊する危険な行為です。また土砂災害や土壌汚染といった二次被害・三次被害を招きま

す。現在、こういった計画がある場合は中止を強く求めますし、今後このような計画が練られることがないようにお願いしたいです。

また、ジャンボタニシのような稲作農家にとって天敵とも言えるような生物に対して早急に対策を行う必要があるとも考えます。さらに言えば、猪や鹿といった生き物についても対応を行うべきであり、自然のバランスを崩さない程度に狩りをして、狩った肉は業者に卸したりするのも提案いたします。

- ・自然環境に大きな影響を与える生物、植物除去にたいして補助金の提供。

人に害を与えている、サル、イノシシの駆除の実施。

- ・猪などの対策に苦慮する生産者に補助金を

- ・鳥害を防ぐ為に生息範囲や固有数の管理をして欲しい

- ・野生の猿の被害を防止する対策にも取り組んでほしいです。

- ・野生動物が畑を荒らしたというニュースを目にしますが、自然を壊し彼らの住みかや餌を奪っているのは人間側ではないかと思えます。

そもそも世界的に人口は減少しているのに、自然を壊し人間の住みかをつくることは本当に必要なのでしょうか？

住みかや餌をなくした野生動物が畑を荒らす。これは自然なことのように思えます。

<環境問題>

- ・「自然との共生」について、環境問題との線引きがよくわからない。また、なかなか学習できないカテゴリであるので、人々が学ぶ接点を見つけるところがスタートであると感じます。

- ・これだけ生物多様性、環境保全が叫ばれていても、県内の各地で山が一つ消えるような大型開発が多くみられます。また、山を切り開いてソーラーパネルになっている場所も多くあります。どうせ人口は減る日本社会で、この期に及んで大規模開発をやっている市町村の姿勢は不快ですし、県もどういう方針を持っているのかよくわかりません。

農業、林業など自然とは切り離せない産業の在り方についても、自然との共生を語るならばよくよく検討して施策に反映させてもらいたいと思えます。

- ・やはり圧倒的に宅地開発などで里山や自然地域が少なくなっていると思えます。過密なマンション乱立で息苦しい街になっていて緑が少ない。制限をして人と緑と生き物が共存出来る程良さが必要だと思えます。

- ・開発や森林伐採する時には、将来的なことを熟考した上で行う。

- ・共生と直接的な関係はないかもしれませんが、福岡県は山林や河川、海浜、道路に至るまで、ポイ捨てや不法投棄が目に残ります。

環境保護意識の醸成と不法投棄の取り締まり、啓蒙、教育を同時進行で進めるべきではないでしょうか。一度失われた自然を元通りにするのは至難の業です。

- ・人類も地球から生まれた自然の一部だろうし、パンフレットにも書かれていましたが、「生きものを支え、生き物に支えられる」という言葉が入っているのに、生態系管理という言葉が入っている。自然共生というのは、人類が野生生物の生きている命を管理することですか。生き

物は自然の一部であり、自然は人類が管理できないことがわかっているのに、エコです。自然との共生というのは、野生生物を人類が管理することではなく、人間と野生生物の生きる場所をそれぞれ確保し、干渉しあわないことだと思います。野生生物にとっては、人間のかまっていあげるとは有難迷惑だと思います。

・世の中の流れとしては人間が1番だと思込んだことが多く、むやみに生き物を殺しすぎる気がする。元々山に住んでる生き物。山を崩して勝手に住んでる人間。

戦争をするのではなく、「そっと見守れる余裕がある人間」で、そんな環境であってほしい。福岡が。共存できる都市であればと思う

・地球が沸騰しすぎて、生き物が絶滅するのではないかとこの日々の暑さに胸を痛めている

・筑豊は太陽光発電ばかりになって自然の野山が失われているので、規制して欲しい。おかげで数年前まで自宅付近で見ることなかった猪とかを見るようになった。これで太陽光発電のブームが終わったら、廃棄するパネルばかり残って第二の閉山になる。あとに残るのは荒れた野原だけになる。(炭鉱と違って経済的影響はほとんどないかもですが)

・福岡は都会と自然が近くて素敵な都市なので、開発を進めるだけではなく自然との共生を目指す都市にしてほしいです。

・大規模な太陽光発電の制限。休眠地を外国資本による買収の制限。

<ペット・犬猫関係>

・その場の勢いで犬や猫を含む生物をペットにして、最後まで面倒を見ない人が増えている気がします。

なんでも「お金」を出せば買って、要らなくなったら捨ててしまう消費する考え方を変えていかなければ、自然との共生は難しくなっていくのかと思っています。

短絡的に欲しいと言う欲求だけで動かず、未来を考えて動くような考え方を小さい頃から体験できれば良いと思います。

・池などに生き物を捨てない事。

<その他>

・私は宮若市の川に棲息するホタルを子どもの頃に見たのをとても印象強く覚えています。ふと思い出して数年前にまだいるだろうかと思に行ったら、その時と変わらず美しい光を放っていたので感動しました。

私が育った筑豊地域の自然環境は、昭和から平成にかけての時代よりむしろ良くなっていると思います。その要因として、筑豊地域が県内の経済的発展が比較的遅れているという残念な事実もあるでしょう。しかし、こと自然環境については、特に石炭採掘が盛んだった頃に比べて確実に良くなっていると思います。(遠賀川もきれいになったと聞いています)

・「自然との共生」「エコ」などを謳ったビジネスが横行しているため、区分けをしっかりしていただきたい。

・「自然との共生」は大事であることはわかるが、そのために私たちが何をすべきかよくわからない。

・日曜朝放送のテレビ番組で自然の風景を毎週見えています。魚、鳥、虫、小動物などの色々な生態が見られて面白いです。

・これから、生態系をこれ以上崩さない様に人間が努力しなければならないと考えている。

・経済至上主義から脱して、持続可能な社会の実現に向け、個人としてもできることをやっていきたい。

・見事に縁がありません。蜂、白アリ、野良猫くらいか。

昔、狩猟許可をもっていた父が撃てきたいのししやウサギをたべていましたが、今は捕まえて檻に詰め、山にのがしますよね。いたちごっこなんじゃないの?とってしまいます。でもうち殺すと批判が来るんでしょ。飼い犬でも人を襲ってケガをさせたら殺処分ですよね。うち殺しちゃダメなのでしょうか。

・今まであまり意識してこなかったのが今後は目を向けていきたい。

・山林の杉などアレルギーの原因になる木々を伐採し、影響の少ない種類への植替えへの助成を行ってほしい

・私の地域はある程度自然が残っているが、後世に豊かな自然を残していくためにも自治体と地域住民と協力して、できることからコツコツと始めていきたい。

・時には数を増やしたりまた駆除したり大変だと思う

・自然を大切にしたら分、人間も自然から、大切にされる。

・深く考えたことがありませんでした。

・人間が捕食者である以上、自然との共生は偏った考え方なのは明らかである。

・人口減少で手入れの出来ない土地は自然に帰っていくと思いますが、その場合はそこにある建物は処理しないといけない

・全く知りませんでした。内容詳しく知りたいです。

・地域の住民の方が行なっている里山の保全活動などのお手伝いがしたいと思います

・動植物の生態をよく知ることが必要

・動物は好きなのでもっと自然について考えていきたい。イベントなどがあれば参加したい

・勉強してください

・命あるものの話になるので、とても難しい問題だと思います。

なるべく駆除という形ではない解決方法を探す方が良いのかなとも感じます。